仙台市
下水道施設構造等標準図

平成２９年４月

仙台市建設局

1.　下水道布設一般図（分流式・合流式）　- - - - - 1

2.　管製品詳細図

○　下水道用鉄筋コンクリート管　- - - - - 4

○　下水道用硬質塩化ビニル管　- - - - - 7

○　下水道用強化プラスチック複合管　- - - - - 17

○　下水道推進工法用鉄筋コンクリート管　- - - - - 19

○　下水道小口径推進工法用鉄筋コンクリート管　- - - - - 23

○　下水道推進工法用硬質塩化ビニル管　- - - - - 25

○　下水道用ダクタイル鋳鉄管　- - - - - 28

○　下水道用リブ付硬質塩化ビニル管　- - - - - 32

3.　管渠の基礎

○　管渠基礎工の種類　- - - - - 39

○　砂　基　礎（可とう性管）　- - - - - 40

○　まくら土台基礎（剛性管）　- - - - - 41

○　はしご胴木基礎（剛性管）　- - - - - 42

○　コンクリート巻立基礎（剛性管）（90°・120°・180°）　- - - - - 43

4.　マンホール

○　形状別使用基準 ---------- 47

○　マンホール構造標準図（1～7号） ---------- 49

○　特殊マンホール構造標準図（Ａ型、特1号～特4号） ---------- 56

○　マンホール頂版鉄筋数量表 ---------- 61

○　壁立ち上がり鉄筋数量表 ---------- 62

○　組立式マンホール形状別使用基準 ---------- 63

○　組立式マンホール構造標準図及び使用数量表 ---------- 64

○　副管取付構造図 ---------- 85

○　マンホール内インバート設置標準図 ---------- 87

○　マンホール鉄蓋及び蓋受け金物構造図（Ｔ-25・Ｔ-14・化粧蓋） ---------- 89

○　マンホール側塊詳細図（直壁・片斜壁） ---------- 95

○　わく据付図（調整リング用） ---------- 97

○　足掛金物設置位置標準図 ---------- 98

○　足掛金物取付図（側塊用・現場打用・後付け） ---------- 99

○　埋設表示テープ標準図 ---------- 102

5.　汚水ます及び雨水ます

○　公共汚水ます構造図（330用・400以上） - - - - - - - - - - 103

○　公共汚水ます用底版ブロック構造図 - - - - - - - - - - 105

○　公共雨水ます構造図（330用・400以上） - - - - - - - - - - 106

○　公共雨水ます用底版ブロック構造図 - - - - - - - - - - 108

○　公共ます蓋（丸型密閉防臭形）構造図 - - - - - - - - - - 109

○　透水性公共雨水ます構造図 - - - - - - - - - - 113

○　雨水浸透ます構造図（330・400・450・600用） - - - - - - - - - - 114

○　仙台市型浸透防臭二連ます構造図 - - - - - - - - - - 118

○　下水道用硬質塩化ビニル製ます構造図 - - - - - - - - - - 119

6.　参考図

○　下水道用陶管（参考図） - - - - - - - - - - 121

○　わく据付図（調整レンガ用）（参考図） - - - - - - - - - - 126

○　公共雨水ます構造図(角型)（参考図） - - - - - - - - - - 127

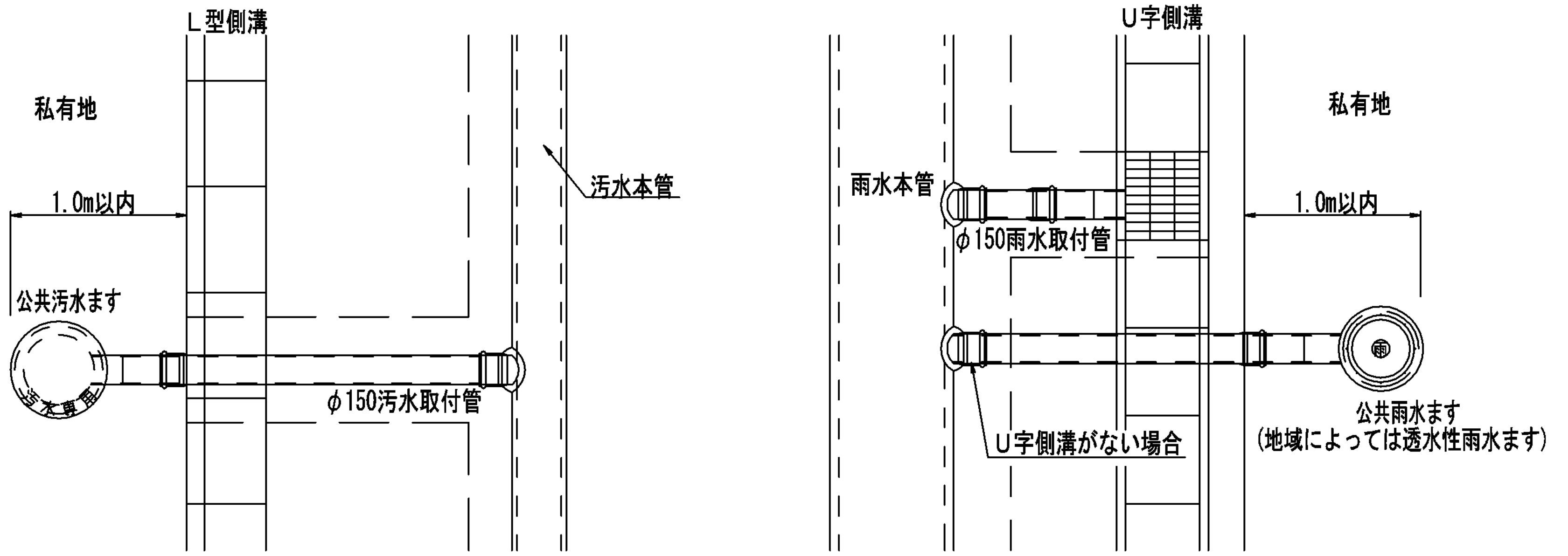
○　露出配管設置例（参考図） - - - - - - - - - - 128

○　飛散防止板設置例（参考図） - - - - - - - - - - 129

○　内副管取付構造図（参考図） - - - - - - - - - - 130

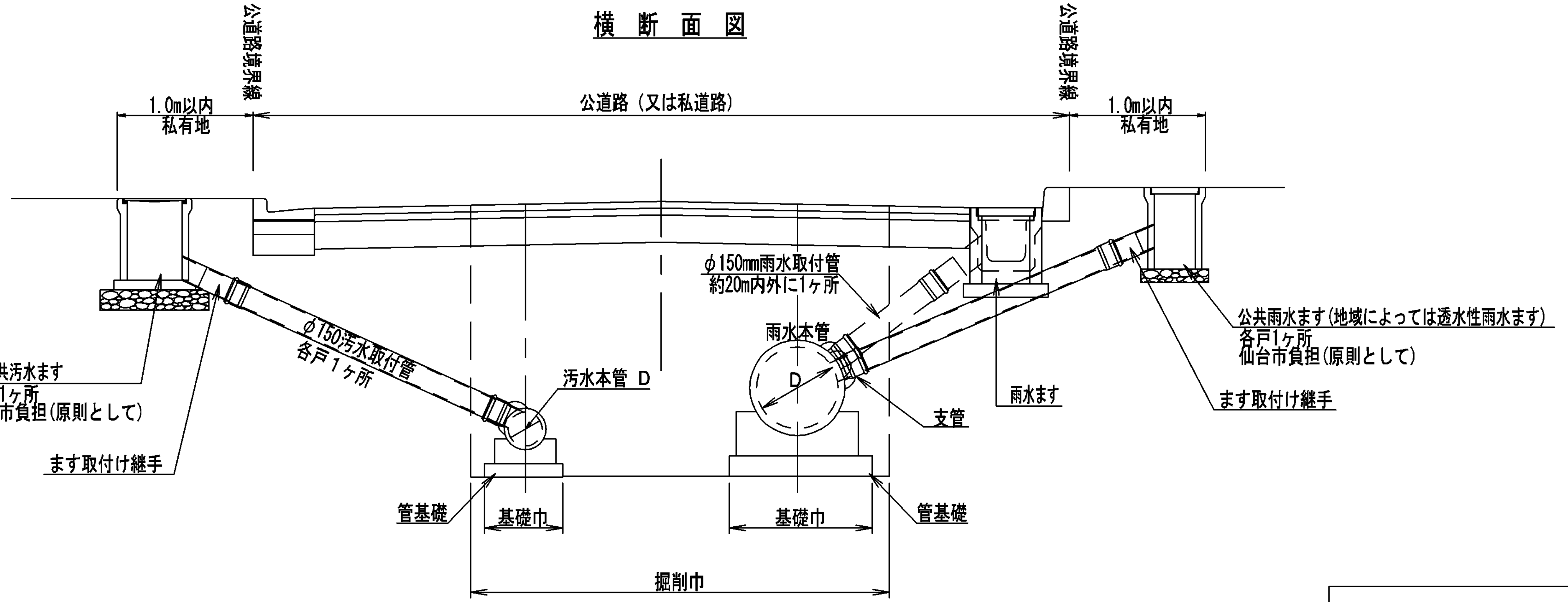
下水管布設一般図（分流式）

平 面 図



注）下水道管理者以外が所管するU字側溝に接続する場合には各管理者との協議すること。

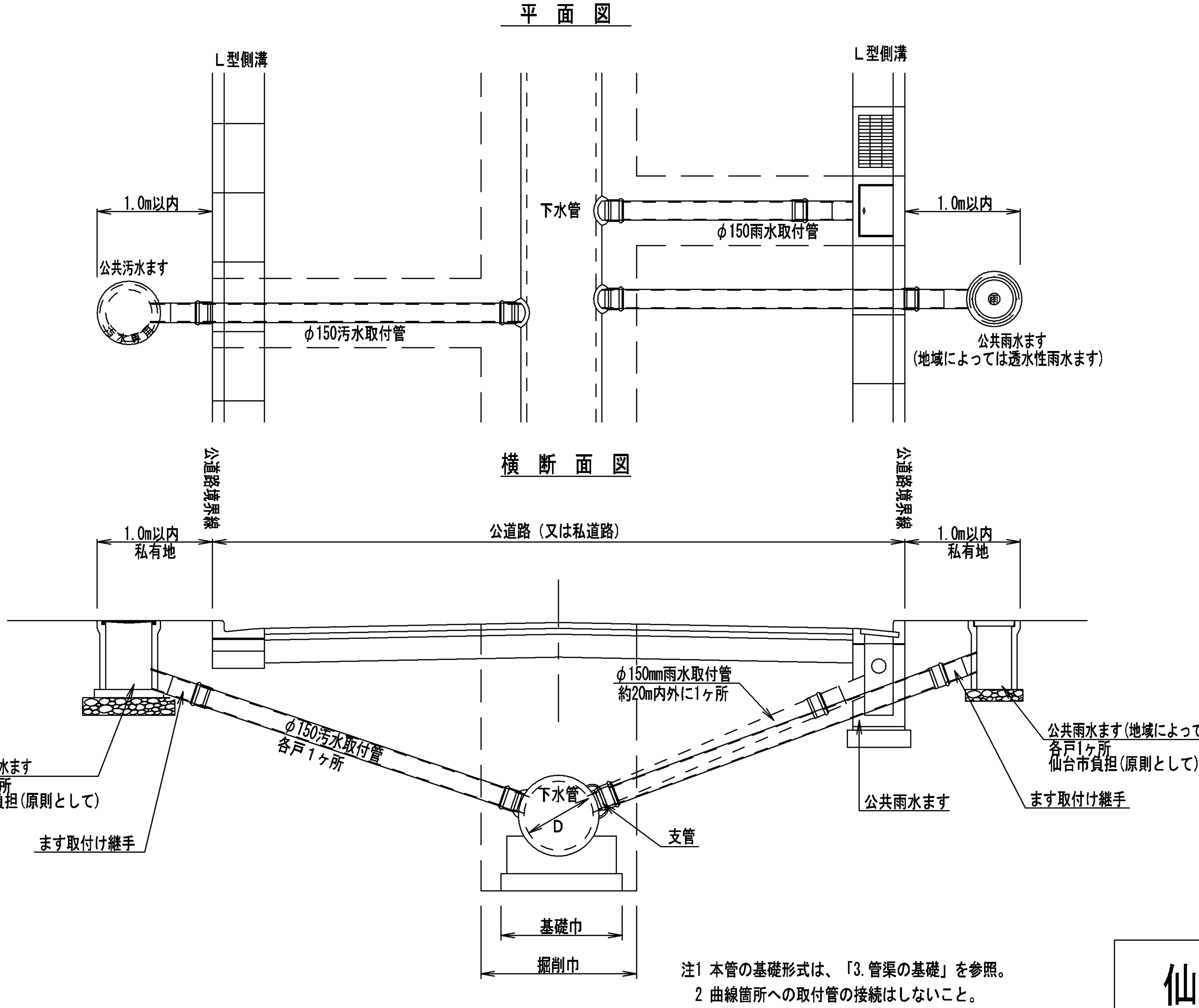
横 断 面 図



注1 本管の基礎形式は、「3.管渠の基礎」を参照。
2 曲線箇所への取付管の接続はしないこと。

仙台市建設局

下水管布設一般図（合流式）



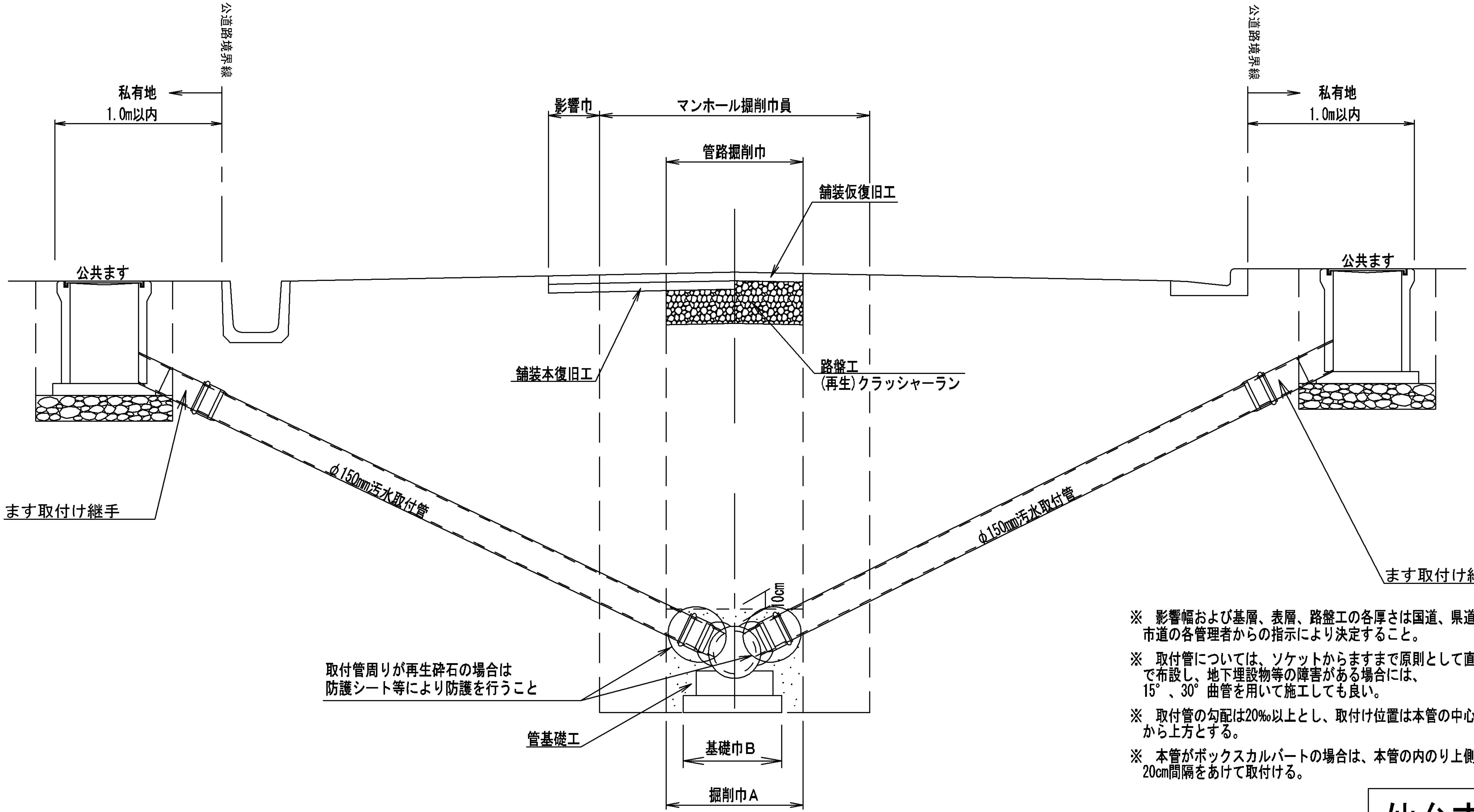
注1 本管の基礎形式は、「3.管渠の基礎」を参照。

2 曲線箇所への取付管の接続はしないこと。

仙台市建設局

管 布 設 標 準 断 面 図

縮尺　1：25



注）本管の基礎形式は、「3.管渠の基礎」を参照。

※　影響幅および基層、表層、路盤工の各厚さは国道、県道、市道の各管理者からの指示により決定すること。

※　取付管については、ソケットからますまで原則として直線で布設し、地下埋設物等の障害がある場合には、15°、30°曲管を用いて施工しても良い。

※　取付管の勾配は20‰以上とし、取付け位置は本管の中心線から上方とする。

※　本管がボックスカルバートの場合は、本管の内のり上側より20cm間隔をあけて取付ける。

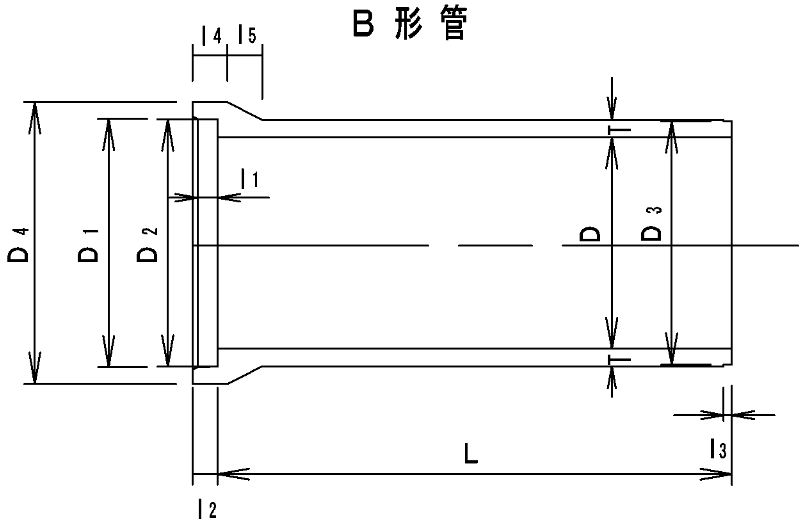
仙台市建設局

下水道用鉄筋コンクリート管詳細図（1）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ａ－１
平成23年12月1日改正

Ｂ　形　管

管の両端がソケット部とスピゴット部になっており、
ゴム輪を用いて接合する管である。



Ｂ　形　管　寸　法

単位：mm

呼び径	内径 D	D_1	D_2	D_3	D_4	厚さ T	l_1	l_2	l_3	l_4	l_5	有効長 L	参考重量 kg
150	150±3	210 ±2	206	194 ±2	262	26^{+3}_{-2}	65	90 ±5	32 ±4	115	50	$2,000^{+10}_{-5}$	77
200	200±3	262 ±2	258	246 ±2	316	27^{+3}_{-2}	65	90 ±5	32 ±4	115	55	$2,000^{+10}_{-5}$	103
250	250±3	314 ±2	310	298 ±2	370	28^{+3}_{-2}	65	90 ±5	32 ±4	120	60	$2,000^{+10}_{-5}$	131
300	300±4	368 ±2	364	350 ±2	424	30^{+4}_{-2}	65	90 ±5	36 ±4	120	60	$2,000^{+10}_{-5}$	165
350	350±4	422 ±2	418	404 ±2	482	32^{+4}_{-2}	65	90 ±5	36 ±4	120	65	$2,000^{+10}_{-5}$	204
400	400±4	478 ±2	474	460 ±2	544	35^{+4}_{-2}	70	95 ±5	36 ±4	125	70	$2,430^{+10}_{-5}$	306
450	450±4	534 ±2	530	516 ±2	606	38^{+4}_{-2}	70	95 ±5	36 ±4	125	75	$2,430^{+10}_{-5}$	373
500	500±4	592 ±2	588	574 ±2	672	42^{+4}_{-2}	70	95 ±5	36 ±4	130	85	$2,430^{+10}_{-5}$	459
600	600±4	708 ±2	704	690 ±2	804	50^{+4}_{-2}	75	100 ±5	36 ±4	135	100	$2,430^{+10}_{-5}$	660
700	700±4	824^{+3}_{-2}	820	802^{+3}_{-2}	936	58^{+4}_{-2}	75	105 ±5	40 ±5	140	115	$2,430^{+10}_{-5}$	899
800	800±4	940^{+3}_{-2}	936	918^{+3}_{-2}	1,068	66^{+4}_{-2}	80	110 ±5	40 ±5	150	130	$2,430^{+10}_{-5}$	1,170
900	900±4	$1,058^{+3}_{-2}$	1,054	$1,036^{+3}_{-2}$	1,204	75^{+4}_{-2}	85	115 ±5	40 ±5	160	150	$2,430^{+10}_{-5}$	1,520
1,000	1,000±6	$1,172^{+3}_{-2}$	1,168	$1,150^{+3}_{-2}$	1,332	82^{+6}_{-3}	96	120 ±5	40 ±5	165	165	$2,430^{+10}_{-5}$	1,850
1,100	1,100±6	$1,286^{+3}_{-2}$	1,282	$1,260^{+3}_{-2}$	1,458	88^{+6}_{-3}	100	125 ±5	42 ±5	175	175	$2,430^{+10}_{-5}$	2,190
1,200	1,200±6	$1,400^{+3}_{-2}$	1,396	$1,374^{+3}_{-2}$	1,586	95^{+6}_{-3}	104	130 ±5	42 ±5	185	190	$2,430^{+10}_{-5}$	2,600
1,350	1,350±6	$1,566^{+3}_{-2}$	1,562	$1,540^{+3}_{-2}$	1,768	103^{+6}_{-3}	108	135 ±5	42 ±5	195	205	$2,430^{+10}_{-5}$	3,190

注　呼び径150及び200の管の有効長(l)は500mm又は1000mm、呼び径250～350の管の有効長(L)は1000mm、
呼び径400～1350の管の有効長(L)は1200mmとすることができる。

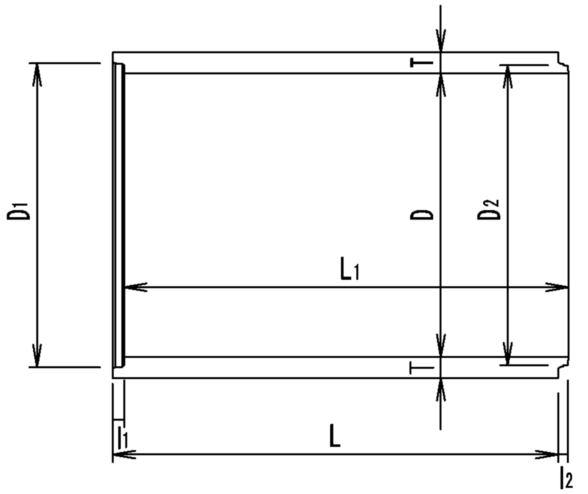
仙台市建設局

下水道用鉄筋コンクリート管詳細図（2）

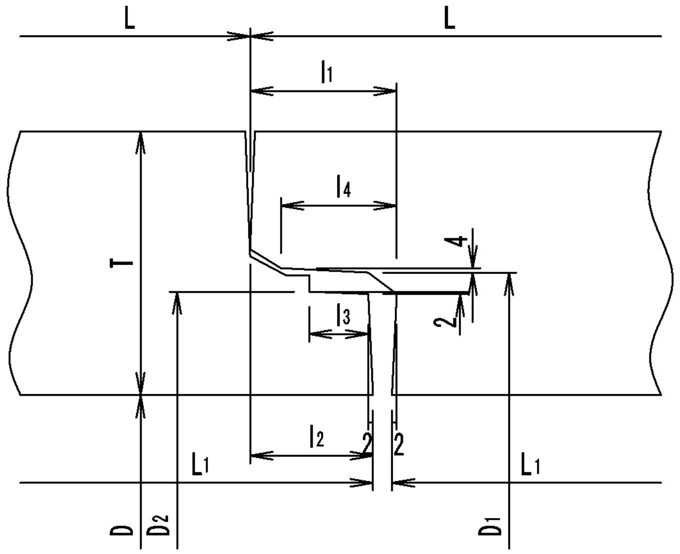
日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ａ－１
平成23年12月1日改正

ＮＣ　形　管

管の両端がそれぞれ雌雄部になっているいんろう管で、
ゴム輪を用いて接合する管である。



（継手部詳細図）



ＮＣ 形 管 寸 法

（単位：mm）

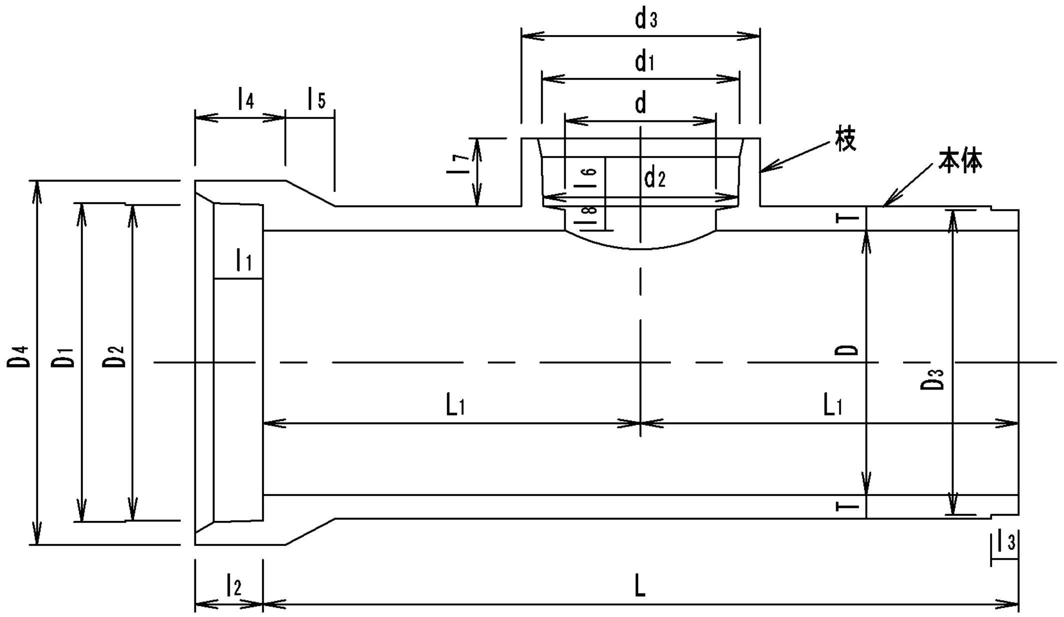
呼び径	内径 D	D1	D2	厚さ T	l1	l2	l3	l4	有効長 L	L1
1,500	1,500±8	1,632 ±3	1,598 ±2	140 $^{+8}_{-4}$						
1,650	1,650±8	1,792 ±3	1,758 ±2	150 $^{+8}_{-4}$						
1,800	1,800±8	1,950 ±3	1,916 ±2	160 $^{+8}_{-4}$	120 ±2	115 ±2	55	105		
2,000	2,000±10	2,164 ±3	2,130 ±2	175 $^{+10}_{-5}$						
2,200	2,200±10	2,378 ±3	2,344 ±2	190 $^{+10}_{-5}$					2,300 $^{+10}_{-5}$	2,295
2,400	2,400±10	2,594 ±3	2,550 ±2	205 $^{+10}_{-5}$						
2,600	2,600±12	2,808 ±4	2,764 ±3	220 $^{+12}_{-6}$						
2,800	2,800±12	3,022 ±4	2,978 ±3	235 $^{+12}_{-6}$	135 ±2	130 ±2	65	120		
3,000	3,000±12	3,236 ±4	3,192 ±3	250 $^{+12}_{-6}$						

注　平成23年12月1日に「Ｃ形管を削除しＮＣ形管に統一」された。

仙台市建設局

下水道用鉄筋コンクリート管詳細図（3）

Ｂ 形 Ｔ 字 管



Ｂ 形 Ｔ 字 管 寸 法

（単位：mm）

<table>
<tr><th rowspan="2">呼び径</th><th rowspan="2">呼び</th><th colspan="13">本　体</th></tr>
<tr><th>内径 D</th><th>D_1</th><th>D_2</th><th>D_3</th><th>D_4</th><th>厚さ T</th><th>l_1</th><th>l_2</th><th>l_3</th><th>l_4</th><th>l_5</th><th>有効長 L</th><th>L_1</th></tr>
<tr><td>200</td><td>200 × 150</td><td>200 ±3</td><td>262 ±2</td><td>258</td><td>246 ±2</td><td>316</td><td>27^{+3}_{-2}</td><td rowspan="4">65</td><td rowspan="4">90 ±5</td><td rowspan="2">32 ±4</td><td>115</td><td>55</td><td rowspan="4">600^{+10}_{-5}</td><td rowspan="4">300</td></tr>
<tr><td>250</td><td>250 × 150</td><td>250 ±3</td><td>314 ±2</td><td>310</td><td>298 ±2</td><td>370</td><td>28^{+3}_{-2}</td><td rowspan="3">120</td><td rowspan="2">60</td></tr>
<tr><td>300</td><td>300 × 150</td><td>300 ±4</td><td>368 ±2</td><td>364</td><td>350 ±2</td><td>424</td><td>30^{+4}_{-2}</td><td rowspan="4">36 ±4</td></tr>
<tr><td>350</td><td>350 × 150</td><td>350 ±4</td><td>422 ±2</td><td>418</td><td>404 ±2</td><td>482</td><td>32^{+4}_{-2}</td><td>65</td></tr>
<tr><td>400</td><td>400 × 150</td><td>400 ±4</td><td>478 ±2</td><td>474</td><td>460 ±2</td><td>544</td><td>35^{+4}_{-2}</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">95 ±5</td><td rowspan="2">125</td><td>70</td><td rowspan="2">800^{+10}_{-5}</td><td rowspan="2">400</td></tr>
<tr><td>450</td><td>450 × 150</td><td>450 ±4</td><td>534 ±2</td><td>530</td><td>516 ±2</td><td>606</td><td>38^{+4}_{-2}</td><td>75</td></tr>
<tr><td>250</td><td>250 × 200</td><td>250 ±3</td><td>314 ±2</td><td>310</td><td>298 ±2</td><td>370</td><td>28^{+3}_{-2}</td><td rowspan="3">65</td><td rowspan="3">90 ±5</td><td>32 ±4</td><td rowspan="3">120</td><td rowspan="2">60</td><td rowspan="3">600^{+10}_{-5}</td><td rowspan="3">300</td></tr>
<tr><td>300</td><td>300 × 200</td><td>300 ±4</td><td>368 ±2</td><td>364</td><td>350 ±2</td><td>424</td><td>30^{+4}_{-2}</td><td rowspan="4">36 ±4</td></tr>
<tr><td>350</td><td>350 × 200</td><td>350 ±4</td><td>422 ±2</td><td>418</td><td>404 ±2</td><td>482</td><td>32^{+4}_{-2}</td><td>65</td></tr>
<tr><td>400</td><td>400 × 200</td><td>400 ±4</td><td>478 ±2</td><td>474</td><td>460 ±2</td><td>544</td><td>35^{+4}_{-2}</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">95 ±5</td><td rowspan="2">125</td><td>70</td><td rowspan="2">800^{+10}_{-5}</td><td rowspan="2">400</td></tr>
<tr><td>450</td><td>450 × 200</td><td>450 ±4</td><td>534 ±2</td><td>530</td><td>516 ±2</td><td>606</td><td>38^{+4}_{-2}</td><td>75</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">呼び径</th><th rowspan="2">呼び</th><th colspan="7">枝</th></tr>
<tr><th>内径 d</th><th>d_1</th><th>d_2</th><th>d_3</th><th>l_6</th><th>l_7</th><th>l_8</th></tr>
<tr><td>200</td><td>200 × 150</td><td rowspan="6">150 ±3</td><td rowspan="6">210 ±2</td><td rowspan="6">206</td><td rowspan="6">262</td><td rowspan="6">65</td><td rowspan="6">90 ±5</td><td>27</td></tr>
<tr><td>250</td><td>250 × 150</td><td>28</td></tr>
<tr><td>300</td><td>300 × 150</td><td>30</td></tr>
<tr><td>350</td><td>350 × 150</td><td>32</td></tr>
<tr><td>400</td><td>400 × 150</td><td>35</td></tr>
<tr><td>450</td><td>450 × 150</td><td>38</td></tr>
<tr><td>250</td><td>250 × 200</td><td rowspan="5">200 ±3</td><td rowspan="5">262 ±2</td><td rowspan="5">258</td><td rowspan="5">316</td><td rowspan="5">65</td><td rowspan="5">90 ±5</td><td>28</td></tr>
<tr><td>300</td><td>300 × 200</td><td>30</td></tr>
<tr><td>350</td><td>350 × 200</td><td>32</td></tr>
<tr><td>400</td><td>400 × 200</td><td>35</td></tr>
<tr><td>450</td><td>450 × 200</td><td>38</td></tr>
</table>

仙台市建設局

下水道用硬質塩化ビニル管（1）
（呼び径　75～600）

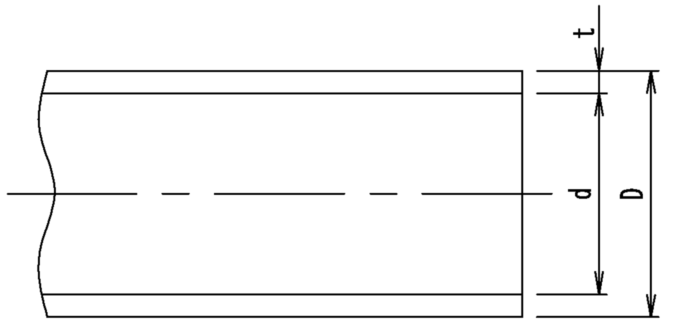
日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｋ－１
平成22年3月1日改正

表-1　直管及び異形管の種類

種類				用途	直間又は異形管と接合する側の形状	呼び径範囲
直管	プレーンエンド			全般	差し口	75～600
直管	片受け			本管 取付け管 排水設備	ゴム輪受口又は 接着受口	100～600
直管	両受け			本管 排水設備	ゴム輪受口	100～600
	曲管		15度 30度 45度 60度	取付け管 排水設備	ゴム輪受口又は 接着受口	100～200
	曲管		90度	副管 排水設備	接着受口	75～300
異形管	支管	硬質塩化ビニル管用	90度 管軸60度	取付け管 排水設備	ゴム輪受口	100～200
異形管	支管	硬質塩化ビニル管用	副管90度	副管	差し口	100～300
異形管	支管	鉄筋コンクリート管及び陶管用	90度 管軸60度 A形90度 枝付管	取付け管 排水設備	ゴム輪受口	100～200
異形管	支管	鉄筋コンクリート管用	副管90度	副管	差し口	125～300
異形管	マンホール継手及びます取付け継手		上流用	本管 取付け管 排水設備	ゴム輪受口	100～600
異形管	マンホール継手及びます取付け継手		下流用		差し口	
異形管	マンホール継手及びます取付け継手		副管分岐用		ゴム輪受口	150～600
異形管	マンホール継手及びます取付け継手		ます取付け用	取付け管 排水設備	差し口	100～200
異形管	カラー			全般	接着受口	75～300
異形管	カラー			取付け管	ゴム輪受口	100～200

備考1. ゴム輪受口は、ゴム輪及び差し口外面に滑剤を塗布して、挿入接合される受口をいう。
　　2. 接着受口は、受口内面及び差し口外面に接着剤を塗布して、挿入接合される受口をいう。

直管部共通寸法



（単位：mm）

	呼び径	外径D 基準寸法	外径D 平均外径の許容差	厚さt 最小	厚さt 許容差	参考 内径d	参考 1m当りの質量(kg)
	75	89.0	±0.3	2.7	+0.6	83.0	1.159
	100	114.0	±0.4	3.1	+0.8	107.0	1.737
	125	140.0	±0.5	4.1	+0.8	131.0	2.739
	150	165.0	±0.5	5.1	+0.8	154.0	3.941
※	200	216.0	±0.7	6.5	+1.0	202.0	6.572
※	250	267.0	±0.9	7.8	+1.2	250.2	9.758
※	300	318.0	±1.0	9.2	+1.4	298.2	13.701
※	350	370.0	±1.2	10.5	+1.4	347.6	18.051
※	400	420.0	±1.3	11.8	+1.6	394.8	23.059
※	450	470.0	±1.5	13.2	+1.8	441.8	28.875
	500	520.0	±1.6	14.6	+2.0	488.8	35.346
	600	630.0	±3.2	17.8	+2.8	591.6	52.679

備考　本表は、JIS　K　6741のVU（呼び径75～600）と同一である。

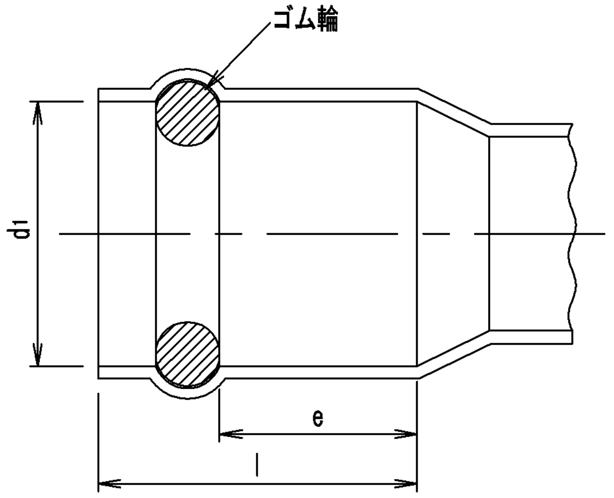
注1.　平均外径の許容差とは、任意断面における直角2方向以上の外径測定値の平均値（平均外径）と基準寸法との差をいう。
　2.　表中1m当りの質量は、密度1.43g/cm^3で算出したものである。
　3.　内径は、管の厚さをt（最小）＋ $\frac{許容差}{2}$ として算出したものである。
　4.　※印の呼び径については、リブ付を使用することを標準とする。

仙台市建設局

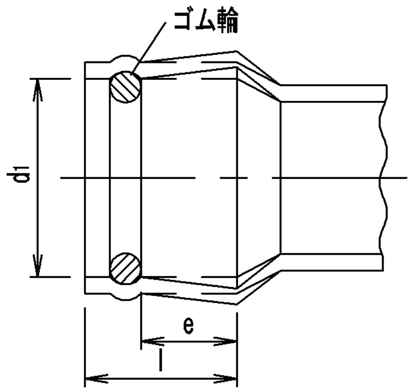
下水道用硬質塩化ビニル管（2）
（呼び径　75～600）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｋ－１
平成22年3月1日改正

本管ゴム輪受口共通寸法

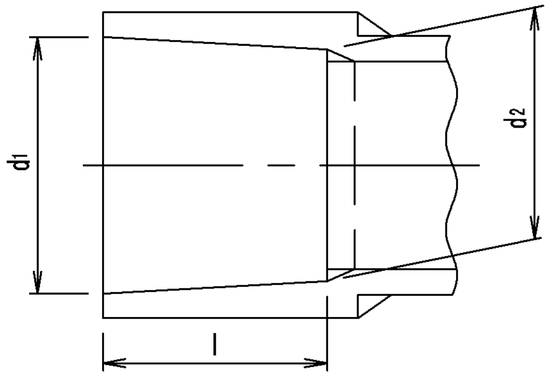


取付け管ゴム輪受口共通寸法

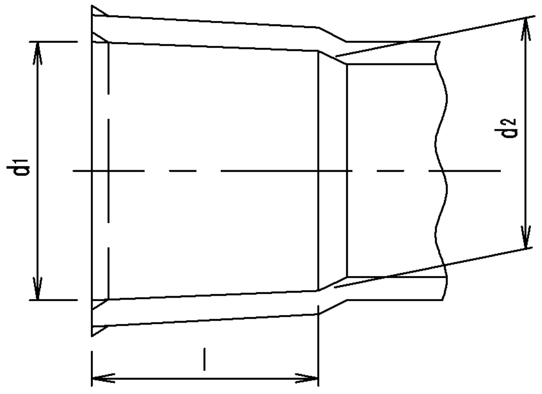


接着受口共通寸法
（一般的には使用しない）

接着受口A形



接着受口B形



（単位：mm）

呼び径	受口内径 d1（最小）	接合長さ e（最小）	受口長さ l（最大）
100	114.5	42	145
125	140.6	44	155
150	165.7	53	165
※ 200	216.9	54	185
※ 250	268.1	59	205
※ 300	319.3	62	225
※ 350	371.5	67	240
※ 400	421.7	72	260
※ 450	471.9	77	285
500	522.1	82	305
600	633.8	93	355

注1.　ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。
2.　受口内径ｄ１は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。
3.　※印の呼び径については、リブ付を使用することを標準とする。

（単位：mm）

呼び径	受口内径 d1（最小）	接合長さ e（最小）	受口長さ l（最大）
100	115.0	48	90
125	141.0	53	99
150	166.0	58	108
※ 200	218.0	69	126

注1.　破線で示す形状にすることもできる。
2.　ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。
3.　受口内径ｄ１は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。
4.　※印の呼び径については、リブ付を使用することを標準とする。

（単位：mm）

呼び径	受　口　内　径				受　口　長　さ	
	ｄ1	許容差	ｄ2	許容差	l	許容差
75	89.6	±0.3	88.3	±0.3	40	±5
100	114.8	±0.4	113.2	±0.4	50	±5
125	140.9	±0.4	139.1	±0.4	65	±5
150	166.1	±0.5	163.9	±0.5	80	±5
200	217.4	±0.6	214.6	±0.6	115	±10
250	268.6	±0.6	265.4	±0.6	140	±10
300	319.8	±0.7	316.2	±0.7	165	±10
350	372.0	±0.7	368.7	±0.7	200	±10
400	422.3	±0.8	418.4	±0.8	220	±10
450	472.6	±0.9	468.1	±0.9	250	±10
500	522.8	±0.9	518.2	±0.9	280	±10
600	634.3	±1.1	626.7	±1.1	330	±10

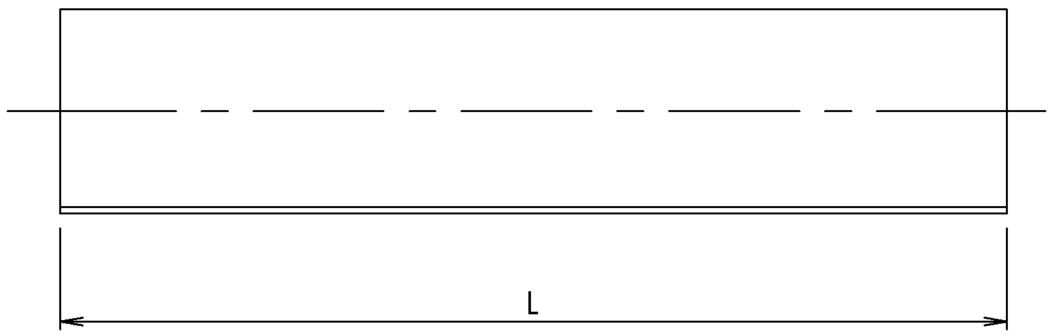
注1.　破線で示す形状にすることもできる。
2.　受口内径d1及びｄ2は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。
3.　接着受口Ａ形の受口長さを、呼び径250はｌ=125±10、呼び径300はｌ=140±10とすることができる。

仙台市建設局

下水道用硬質塩化ビニル管（3）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｋ－１
平成22年3月1日改正

プレーンエンド直管



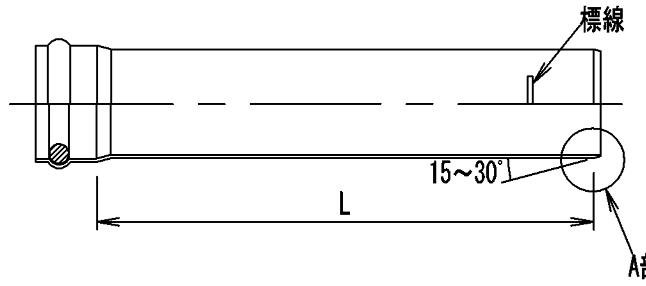
（単位：㎜）

	呼び径	L
	75	4,000　±10
	100	
	125	
	150	
※	200	
※	250	
※	300	
※	350	
※	400	
※	450	
	500	
	600	

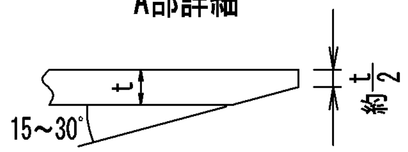
注 ※印の呼び径については、リブ付を
　使用することを標準とする。

ゴム輪受口片受け直管

本　管　形　（略号　SRA）



A部詳細

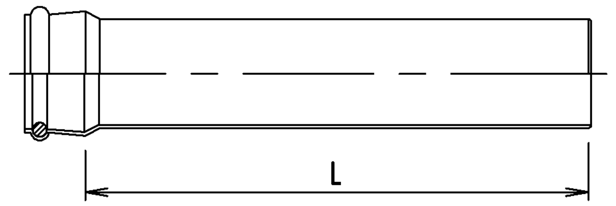


（単位：㎜）

	呼び径	L
	100	4,000　±15
	125	
	150	
※	200	
※	250	
※	300	
※	350	
※	400	
※	450	
	500	
	600	

注 ※印の呼び径については、リブ付を
　使用することを標準とする。

取付け管形（略号　SRB）



（単位：㎜）

	呼び径	L
	100	800　±10 4,000　±15
	125	
	150	
※	200	

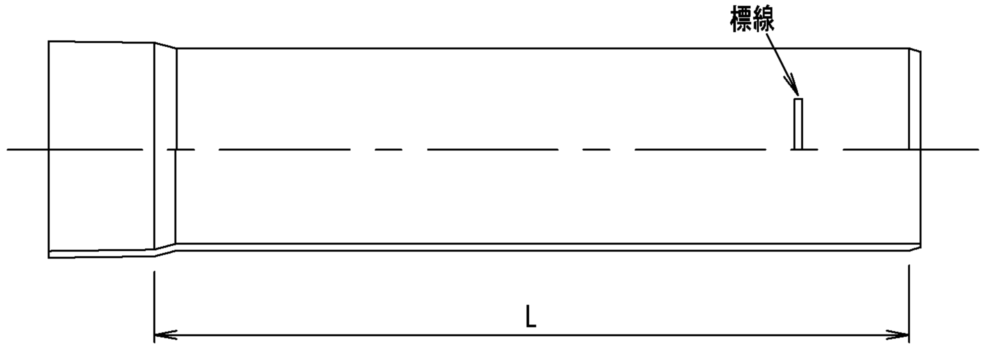
注1.　面取りの形状は、規定しない。
　2.　※印の呼び径については、リブ付を
　　使用することを標準とする。

仙台市建設局

下水道用硬質塩化ビニル管（4）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｋ－１
平成22年3月1日改正

接着受口片受け直管
（略号　ST）
（一般的には使用しない）

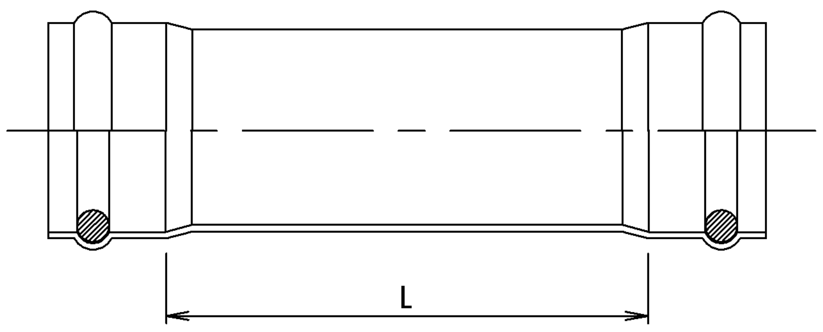


（単位：mm）

呼び径	L
100	4,000　±15
125	
150	
200	
250	
300	
350	
400	
450	
500	
600	

注　面取りの形状は、規定しない。

ゴム輪受口両受け直管
（略号　WSRA）



（単位：mm）

呼び径	L（最小）
100	3,500
125	
150	
※200	
※250	
※300	
※350	3,000
※400	
※450	
500	
600	

注　ゴム輪受口は、本管形とする。
※印の呼び径については、リブ付を使用することを標準とする。

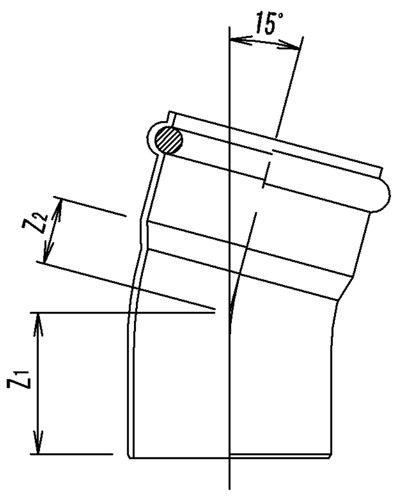
仙台市建設局

下水道用硬質塩化ビニル管（5）

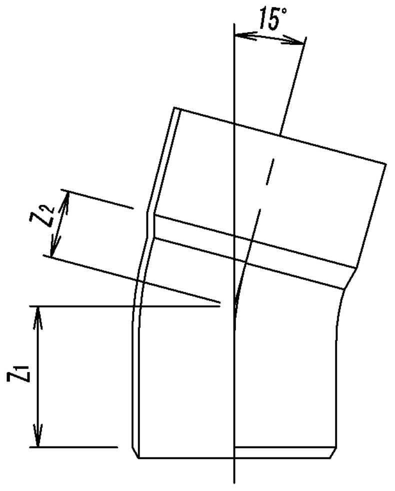
日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｋ－１
平成22年3月1日改正

15度曲管

ゴム輪受口(略号　15SR)



接着受口(略号　15ST)
(一般的には使用しない)



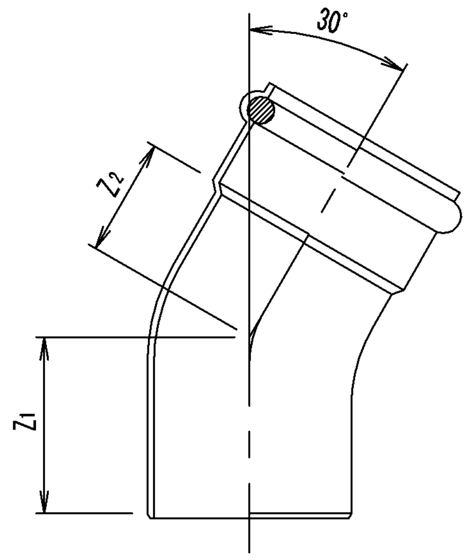
(単位：mm)

呼び径	Z1	Z2（最小）
100	110	5
125	118	10
150	129	15
200	149	25

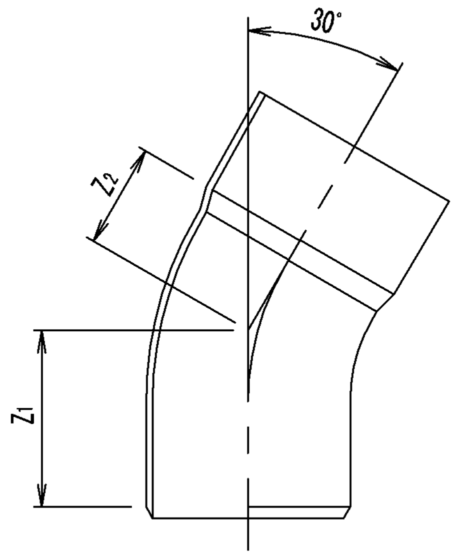
注1.　Z1の許容差は、±15mmとする。
2.　ゴム輪受口は、取付け管形とする。
3.　面取りの形状は、規定しない。

30度曲管

ゴム輪受口(略号　30SR)



接着受口(略号　30ST)
(一般的には使用しない)



(単位：mm)

呼び径	Z1	Z2（最小）
100	138	5
125	146	10
150	159	15
200	187	25

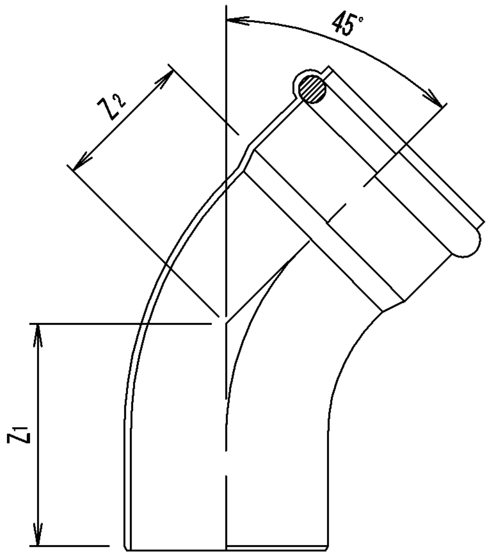
注1.　Z1の許容差は、±15mmとする。
2.　ゴム輪受口は、取付け管形とする。
3.　面取りの形状は、規定しない。

仙台市建設局

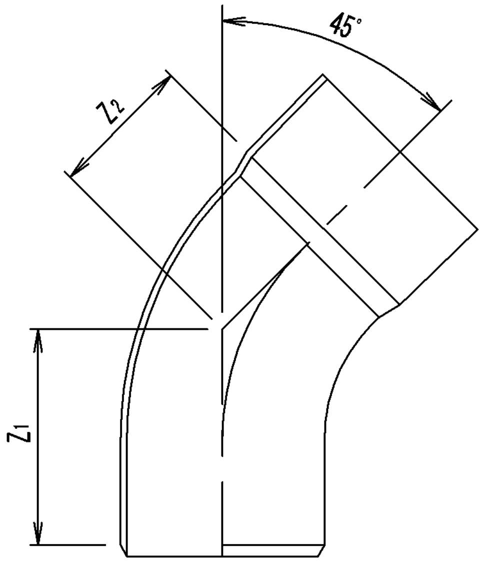
下水道用硬質塩化ビニル管（６）

45度曲管
（一般的には使用しない）

ゴム輪受口(略号　45SR)



接着受口(略号　45ST)



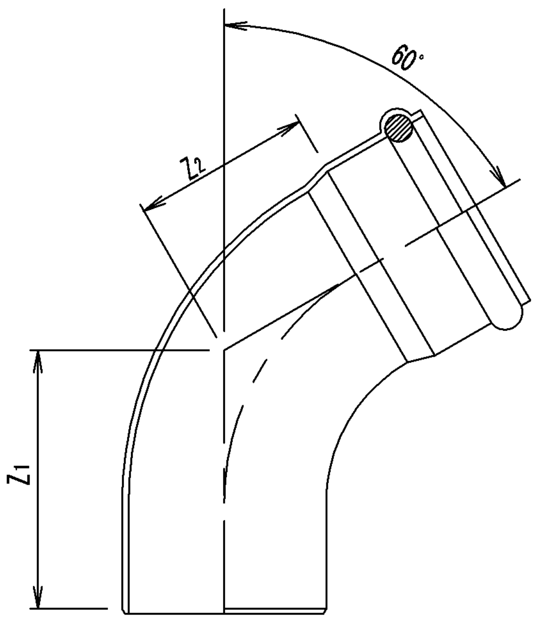
（単位：mm）

呼び径	Z_1	Z_2（最小）
100	167	35
125	175	35
150	191	40
200	228	55

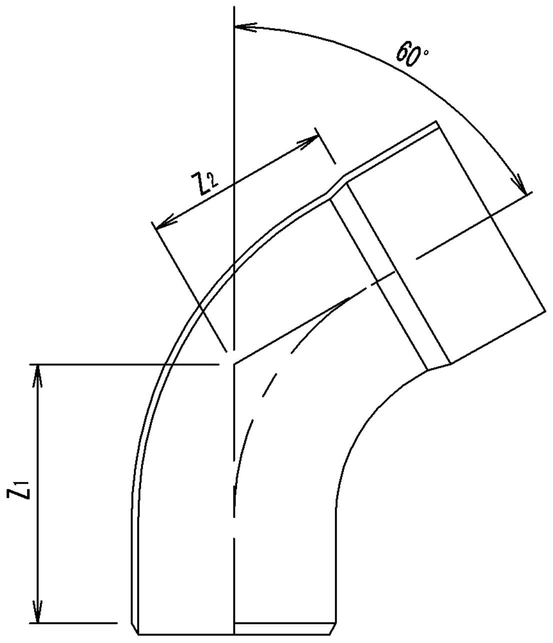
注1.　Z_1の許容差は、±15mmとする。
2.　ゴム輪受口は、取付け管形とする。
3.　面取りの形状は、規定しない。

60度曲管
（一般的には使用しない）

ゴム輪受口(略号　60SR)



接着受口(略号　60ST)



（単位：mm）

呼び径	Z_1	Z_2（最小）
100	199	55
125	207	55
150	227	60
200	274	75

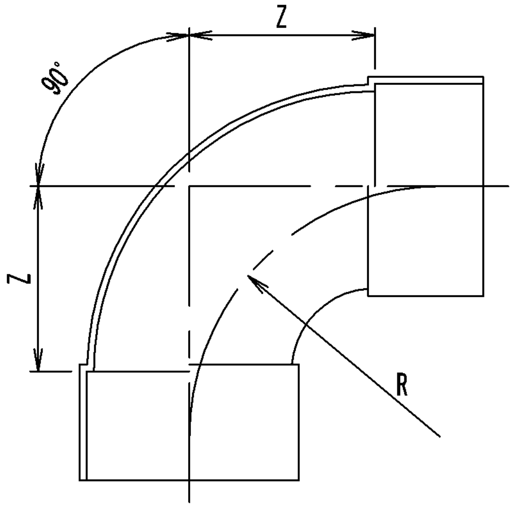
注1.　Z_1の許容差は、±15mmとする。
2.　ゴム輪受口は、取付け管形とする。
3.　面取りの形状は、規定しない。

仙台市建設局

下水道用硬質塩化ビニル管（7）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｋ－１
平成22年3月1日改正

90度曲管
（略号　90ST）



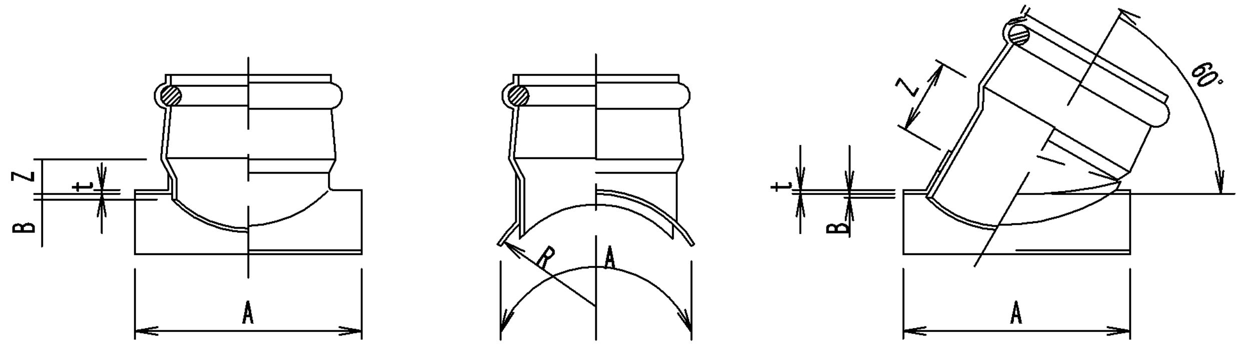
（単位：mm）

呼び径	Z	R（参考）
75	100	100
100	128	128
125	140	140
150	170	170
200	196	196
250	225	225
300	250	250

注1.　Ｚの許容差は、±15mmとする。
　2.　主に副管用に使用。

硬質塩化ビニル管用90度及び管軸60度支管

90度（略号　90SVR）　　管軸60度（略号　K60SVR）
（一般的には使用しない）



（単位：mm）

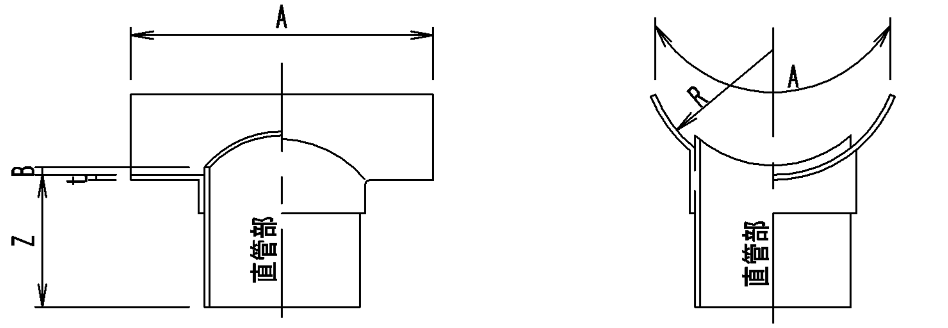
	呼び径	Z		t	A	B	R	呼び径	Z		t	A	B	R
		90度	60度	(最小)	(最小)	(最大)			90度	60度	(最小)	(最小)	(最大)	
	150 － 100	45	80	4	230	5.1	82.5	400 － 100	45	80	4	300	11.8	210
※	200 － 100	45	80	4	300	6.5	108	400 － 125	45	85				
※	200 － 125	45	85					400 － 150	50	95				
※	200 － 150	50	95					400 － 200	50	110				
※	250 － 100	45	80	4	300	7.8	133.5	450 － 100	45	80	4	300	13.2	235
※	250 － 125	45	85					450 － 125	45	85				
※	250 － 150	50	95					450 － 150	50	95				
※	250 － 200	50	110					450 － 200	50	110				
※	300 － 100	45	80	4	300	9.2	159	500 － 100	45	80	4	300	14.6	260
※	300 － 125	45	85					500 － 125	45	85				
※	300 － 150	50	95					500 － 150	50	95				
※	300 － 200	50	110					500 － 200	50	110				
※	350 － 100	45	80	4	300	10.5	185	600 － 100	45	80	4	300	17.8	315
※	350 － 125	45	85					600 － 125	45	85				
※	350 － 150	50	95					600 － 150	50	95				
※	350 － 200	50	110					600 － 200	50	110				

注1.　呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。
　2.　ｔ、Ａ、Ｂ、Ｒは、90度及び管軸60度支管に共通の寸法とする。
　3.　Ｚの許容差は、±15mmとする。
　4.　Ｒは、標準値を示す。
　5.　破線で示す形状にすることもできる。
　6.　ゴム輪受口は、取付け管形とする。
　7.　※印の呼び径については、リブ付を使用することを標準とする。

仙台市建設局

下水道用硬質塩化ビニル管（8）

硬質塩化ビニル管用副管90度支管
(略号　VS)

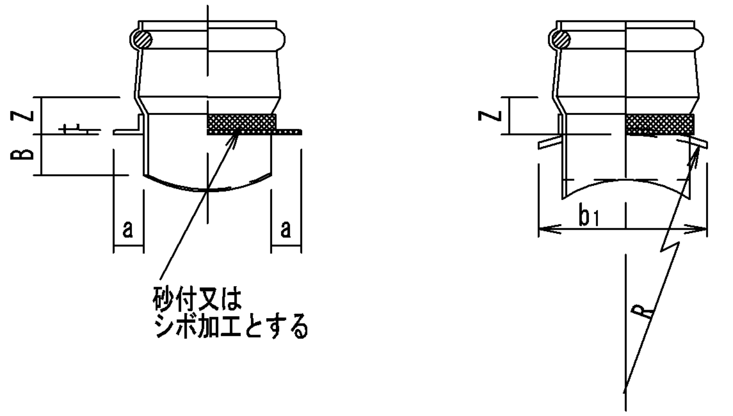


(単位：mm)

	呼び径	Z	t (最小)	A (最小)	B (最大)	R
	150 － 100	120	4	250	5.1	82.5
※	200 － 125	120	4	300	6.5	108
※	200 － 150	140				
※	250 － 125	120	4	300	7.8	133.5
※	250 － 150	140				
※	250 － 200	160				
※	300 － 150	140	4	300	9.2	159
※	300 － 200	160				
※	350 － 150	140	4	300	10.5	185
※	350 － 200	160				
※	400 － 200	160	4	300	11.8	210
※	400 － 250	200				
※	450 － 200	160	4	300	13.2	235
	450 － 250	200				
	500 － 250	200	4	350	14.6	260
	500 － 300	220				
	600 － 300	220	4	350	17.8	315

注1.　呼び径は、「本管呼び径-副管呼び径」である。
2.　Ｚの許容差は、±10mmとする。
3.　Ｒは、標準値を示す。
4.　破線で示す形状にすることもできる。
5.　直管部の寸法は、7ページによる。
6.　※印の呼び径については、リブ付を使用することを標準とする。

鉄筋コンクリート管及び陶管用A形90度支管
A形90度(略号　A90SHR)

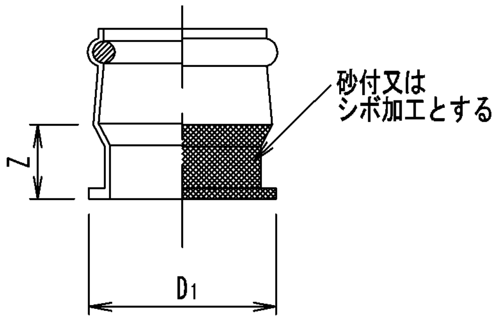


(単位：mm)

呼び径	Z	t (最小)	a (最小)	b1 (最小)	B (最大)
100	45	4	35	70	25
125	45	4	35	90	25
150	50	4	35	100	25
200	50	4	35	140	25

注1.　Ｚの許容差は、±15mmとする。
2.　Ｒは、本管の呼び径500以下は200mm、呼び径600以上は600mmを標準値とする。
3.　破線で示す形状にすることもできる。
4.　ゴム輪受口は、取付け管形とする。
5.　シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地等の浅い凸凹を付ける加工をいう。

枝付鉄筋コンクリート管及び陶管用支管
(略号　RH)



(単位：mm)

呼び径	D_1	Z
100	138	70
125	168	70
150	198	80
200	248	80

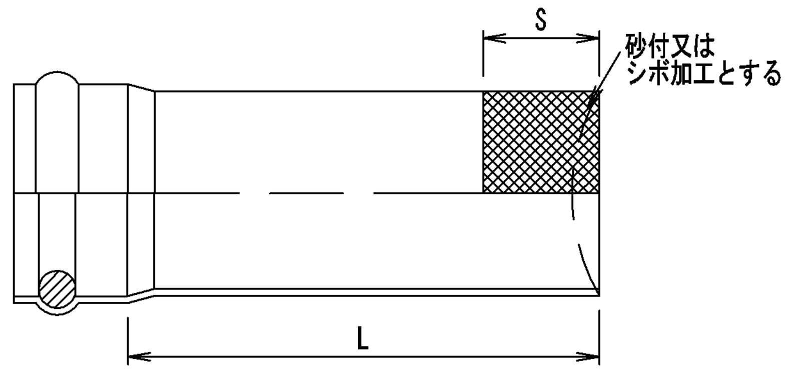
注1.　D_1 の許容差は、±5mmとする。
2.　Zの許容差は、±15mmとする。
3.　ゴム輪受口は、取付け管形とする。
4.　シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地等の浅い凸凹を付ける加工をいう。

仙台市建設局

下水道用硬質塩化ビニル管（9）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ Ｋ－１
平成22年3月1日改正

上流用マンホール継手
（略号　MR）

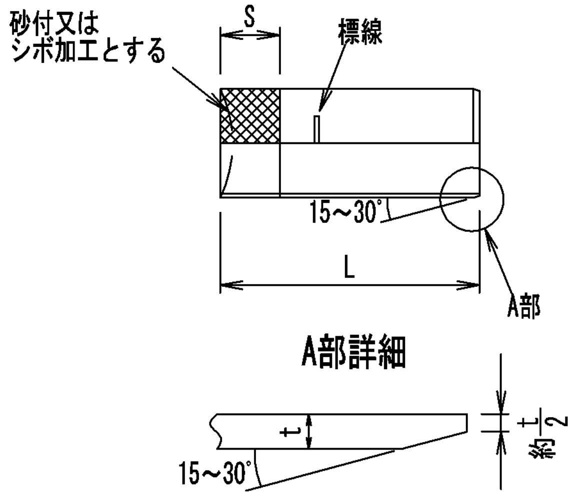


(単位：mm)

<table>
<tr><th>呼び径</th><th>L</th><th>S（参考）</th></tr>
<tr><td>100</td><td rowspan="11">500±15</td><td rowspan="3">200</td></tr>
<tr><td>125</td></tr>
<tr><td>150</td></tr>
<tr><td>※ 200</td><td rowspan="4">250</td></tr>
<tr><td>※ 250</td></tr>
<tr><td>※ 300</td></tr>
<tr><td>※ 350</td></tr>
<tr><td>※ 400</td><td rowspan="3">300</td></tr>
<tr><td>※ 450</td></tr>
<tr><td>500</td></tr>
<tr><td>600</td><td>350</td></tr>
</table>

注1.　マンホールの内径にあわせて、破線で示す形状にすることもできる。
2.　ゴム輪受口は、本管形とする。
3.　シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地等の浅い凸凹を付ける加工をいう。
4.　※印の呼び径については、リブ付を使用することを標準とする。

下流用マンホール継手
（略号　MSA）

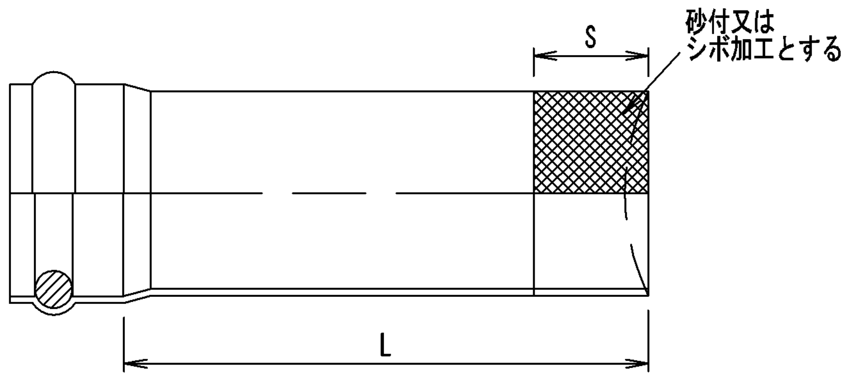


(単位：mm)

<table>
<tr><th>呼び径</th><th>L</th><th>S（参考）</th></tr>
<tr><td>100</td><td rowspan="5">500±15</td><td rowspan="3">200</td></tr>
<tr><td>125</td></tr>
<tr><td>150</td></tr>
<tr><td>※ 200</td><td rowspan="4">250</td></tr>
<tr><td>※ 250</td></tr>
<tr><td>※ 300</td><td rowspan="2">750±15</td></tr>
<tr><td>※ 350</td></tr>
<tr><td>※ 400</td><td rowspan="4">1000±15</td><td rowspan="3">300</td></tr>
<tr><td>※ 450</td></tr>
<tr><td>500</td></tr>
<tr><td>600</td><td>350</td></tr>
</table>

注1.　マンホールの内径にあわせて、破線で示す形状にすることもできる。
2.　シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地等の浅い凸凹を付ける加工をいう。
3.　※印の呼び径については、リブ付を使用することを標準とする。

副管分岐用マンホール継手
（略号　MRL）



(単位：mm)

<table>
<tr><th>呼び径</th><th>L</th><th>S（参考）</th></tr>
<tr><td>150</td><td rowspan="10">1000±15</td><td>200</td></tr>
<tr><td>※ 200</td><td rowspan="4">250</td></tr>
<tr><td>※ 250</td></tr>
<tr><td>※ 300</td></tr>
<tr><td>※ 350</td></tr>
<tr><td>※ 400</td><td rowspan="3">300</td></tr>
<tr><td>※ 450</td></tr>
<tr><td>500</td></tr>
<tr><td>600</td><td>350</td></tr>
</table>

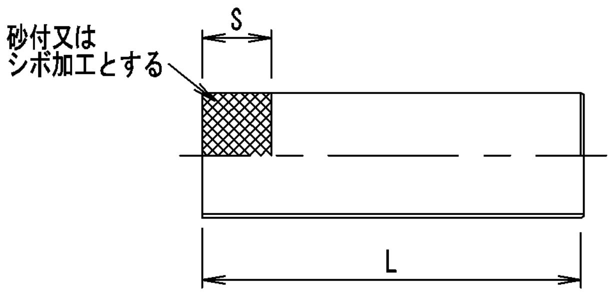
注1.　マンホールの内径にあわせて、破線で示す形状にすることもできる。
2.　ゴム輪受口は、本管形とする。
3.　シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地等の浅い凸凹を付ける加工をいう。
4.　※印の呼び径については、リブ付を使用することを標準とする。

仙台市建設局

下水道用硬質塩化ビニル管（10）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｋ－１
平成22年3月1日改正

ます取付け継手
（略号　MSB）

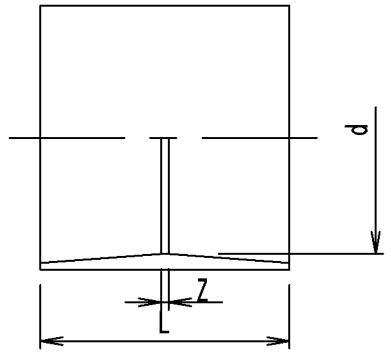


（単位：mm）

呼び径	L	S（参考）
100	500±15	200
125		
150		
200		

注1.　面取りの形状は、規定しない。
2.　シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地等の浅い凸凹を付ける加工をいう。

接着受口カラー
（略号　WTB）
（一般的には使用しない）

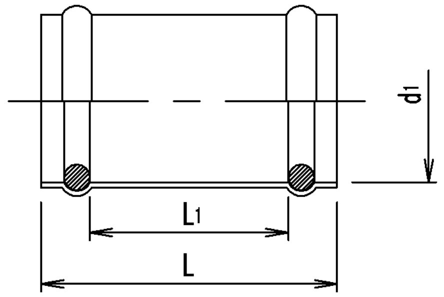


（単位：mm）

	呼び径	L	Z	d（参考）
	75	84	4	83
	100	105	5	107
	125	135	5	131
	150	165	5	154
※	200	235	5	202
※	250	276	5	250
※	300	307	5	298

注1.　Lの許容差は、呼び径75～150は±10mm、呼び径200～300は±20mmとする。
2.　Ｚの許容差は、±2mmとする。
3.　※印の呼び径については、リブ付を使用することを標準とする。

ゴム輪受口カラー
（略号　WR）



（単位：mm）

呼び径	L（最大）	L_1（最小）	d_1（最小）
100	180	66	114.5
125	200	76	140.6
150	220	86	165.7
200	250	107	216.9

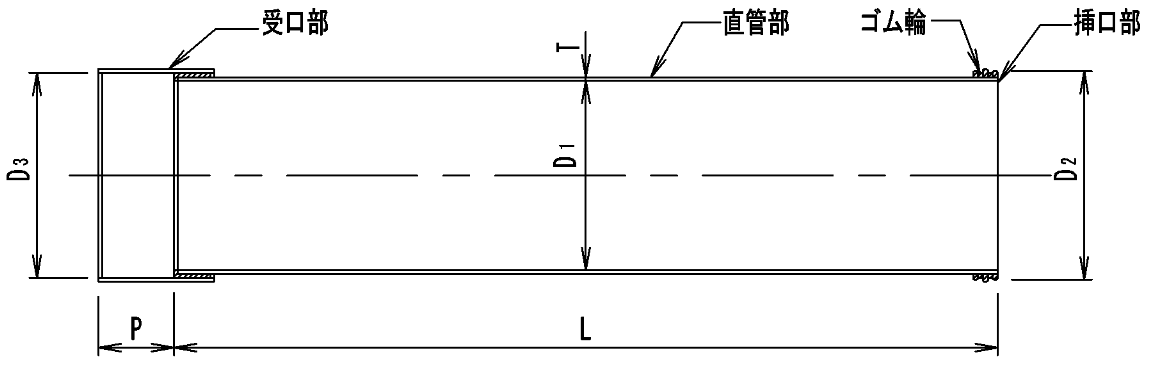
注. d_1の寸法は、本管形と同一である。

仙台市建設局

下水道用強化プラスチック複合管（1）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｋ－２
平成25年10月1日改正

直　管(B形)



（単位：mm）

呼び径	厚さ T	許容差	有効長 L	許容差	内径 D1	許容差	挿口部 D2	許容差	受口部 内径 D3	許容差	受口部 長さ P	許容差
200	7.0	+3 -0	4,000	+30 -10	200	±1.5	229	±1.0	230.5	±1.0	140	±5
250	7.5				250		280		281.5			
300	8.0				300		331		332.5		150	
350	8.5				350		382		383.5			
400	9.0				400		434		435.5		160	
450	9.5				450		485		486.5			
500	10.0				500		541		542.5		200	
600	12.0	+5 -0			600	±3.0	645	±1.5	646.5	±1.5		±10
700	14.0				700		749		750.5			
800	16.0				800		856		857.5		220	
900	18.0				900		960		961.5			
1,000	20.0				1,000		1,068		1,069.5			
1,100	22.0				1,100		1,172		1,173.5			
1,200	24.0				1,200		1,276		1,277.5			
1,350	27.0				1,350		1,432		1,433.5			
1,500	30.0				1,500		1,588		1,589.5		250	
1,650	33.0	+7 -0			1,650		1,748	±2.0	1,749.5	±2.0	300	
1,800	36.0				1,800		1,904		1,905.5			
2,000	40.0				2,000		2,112		2,113.5		330	
2,200	44.0				2,200		2,320		2,321.5			
2,400	48.0				2,400		2,532		2,533.5		400	
2,600	52.0				2,600		2,740		2,741.5			
2,800	56.0				2,800		2,948		2,949.5		430	
3,000	60.0				3,000		3,156		3,157.5			

注1． 有効長（Ｌ）は、4000mm以下の他の長さとすることができる。

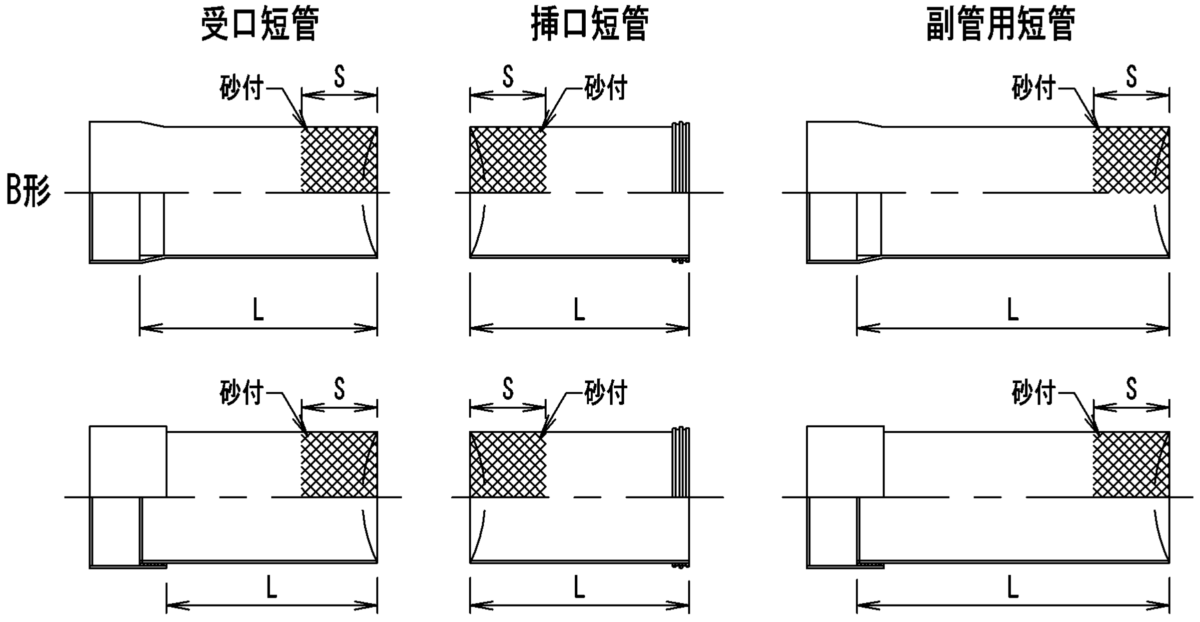
2． 内径（D_1）及び受口部内径（D_3）は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の内径測定値の算術平均値とする。

3． 挿口部外径（D_2）は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の外径測定値の算術平均値あるいは円周長を円周率3.1416で除した値とする。

仙台市建設局

下水道用強化プラスチック複合管（２）

マンホール短管



（単位：mm）

呼び径	受口短管		挿口短管		副管用短管	
	有効長（標準）L	砂付長さ（参考）S	有効長（標準）L	砂付長さ（参考）S	有効長（標準）L	砂付長さ（参考）S
200 － 350	500	250	500	250	1,000	250
400 － 700	750	300	750	300	1,250	300
800 － 1,350	1,000	400	1,000	400	1,500	400
1,500 － 2,000	1,500	600	1,500	600	2,000	600
2,200 － 3,000	2,000	800	2,000	800	－	

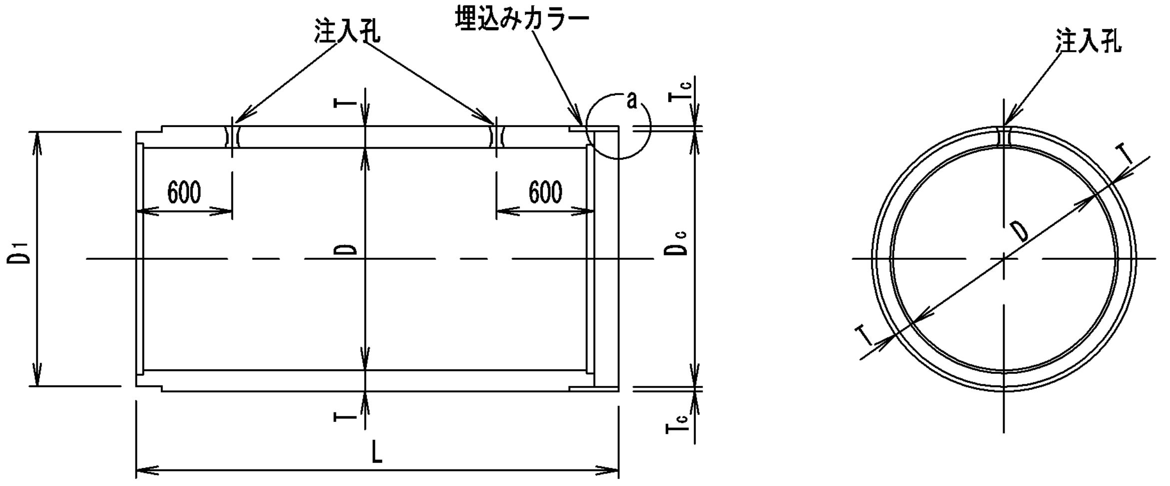
注　厚さ（Ｔ）、内径（Ｄ）、挿口部外径（D_2）、受口内径（D_3）および受口部長さ（Ｐ）は、直管の同じ呼び径の寸法とする。

仙台市建設局

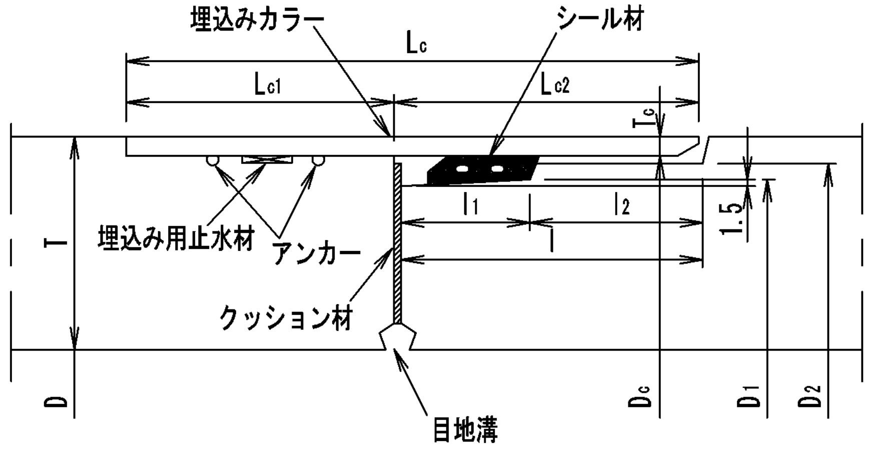
下水道推進工法用鉄筋コンクリート管（1）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ Ａ－２
平成11年11月1日改正

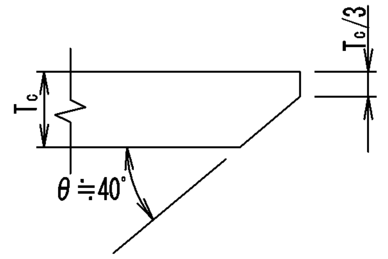
標準管の形状、寸法及び寸法の許容差
(単位mm)



継手部詳細



a部詳細図



(単位：mm)

呼び径	内 径 D	D_1	πD_1	D_2	厚さ T	有効長 L	l	l_1	l_2
800	800 ±4	933^{+3}_{-2}	2,931 ±3	942	80^{+4}_{-2}	$2,430^{+10}_{-5}$	132±2	60	72
900	900 ±6	$1,053^{+3}_{-2}$	3,308 ±3	1,062	90^{+6}_{-3}				
1,000	1,000 ±6	$1,173^{+3}_{-2}$	3,685 ±3	1,182	100^{+6}_{-3}				
1,100	1,100 ±6	$1,283^{+3}_{-2}$	4,031 ±3	1,292	105^{+6}_{-3}				
1,200	1,200 ±6	$1,403^{+3}_{-2}$	4,408 ±3	1,412	115^{+6}_{-3}				
1,350	1,350 ±8	$1,563^{+4}_{-3}$	4,910 ±6	1,577	125^{+8}_{-4}				
1,500	1,500 ±8	$1,743^{+4}_{-3}$	5,476 ±6	1,757	140^{+8}_{-4}				
1,650	1,650 ±8	$1,913^{+4}_{-3}$	6,010 ±6	1,927	150^{+8}_{-4}				
1,800	1,800 ±10	$2,083^{+4}_{-3}$	6,544 ±6	2,097	160^{+10}_{-5}				
2,000	2,000 ±10	$2,313^{+4}_{-3}$	7,267 ±6	2,327	175^{+10}_{-5}				
2,200	2,200 ±10	$2,543^{+4}_{-3}$	7,989 ±6	2,557	190^{+10}_{-5}				
2,400	2,400 ±12	$2,763^{+5}_{-3}$	8,680 ±9	2,779	205^{+12}_{-6}		152±2	70	82
2,600	2,600 ±12	$2,993^{+5}_{-3}$	9,403 ±9	3,009	220^{+12}_{-6}				
2,800	2,800 ±12	$3,223^{+5}_{-3}$	10,125 ±9	3,239	235^{+12}_{-6}				
3,000	3,000 ±12	$3,453^{+5}_{-3}$	10,848 ±9	3,469	250^{+12}_{-6}				

仙台市建設局

下水道推進工法用鉄筋コンクリート管（2）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ａ－２
平成11年11月1日改正

（単位：mm）

呼び径	L_{c1}	L_{c2}	L_c	T_c	D_c	$\pi(D_c+2T_c)$
800					951	3,016 ±3
900					1,071	3,393 ±3
1,000				4.5	1,191	3,770 ±3
1,100					1,301	4,115 ±3
1,200					1,421	4,492 ±3
1,350	120	130 ±2	250 $^{+5}_{-2}$		1,588	5,027 ±5
1,500					1,768	5,592 ±5
1,650				6	1,938	6,126 ±5
1,800					2,108	6,660 ±5
2,000					2,338	7,383 ±5
2,200					2,568	8,105 ±5
2,400					2,792	8,828 ±5
2,600	150	150 ±2	300 $^{+5}_{-2}$	9	3,022	9,550 ±5
2,800					3,252	10,273 ±5
3,000					3,482	10,996 ±5

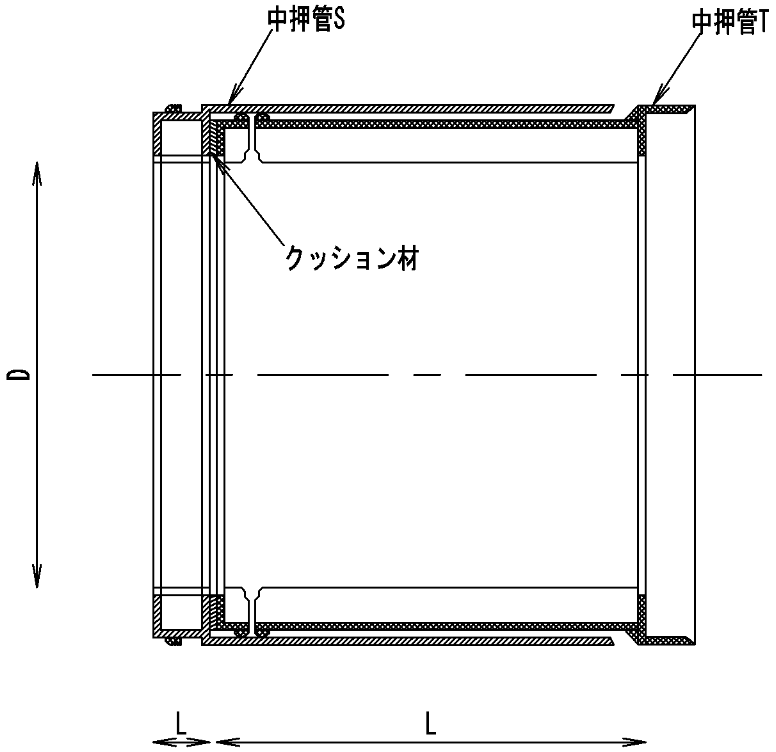
注1.　標準管の有効長は、1200 $^{+10}_{-5}$ とすることができる。
2.　標準管の形状は、カラーなしとすることができる。ただし、有効長は2430 $^{+10}_{-20}$、1200 $^{+10}_{-20}$とする。
3.　有効長の最大と最小との差は、3mm以内とする。
4.　呼び径1000以上の標準管には、緊結用埋込みナットをつけることができる。
5.　注入孔の数及び位置は、必要に応じて変えることができる。

仙台市建設局

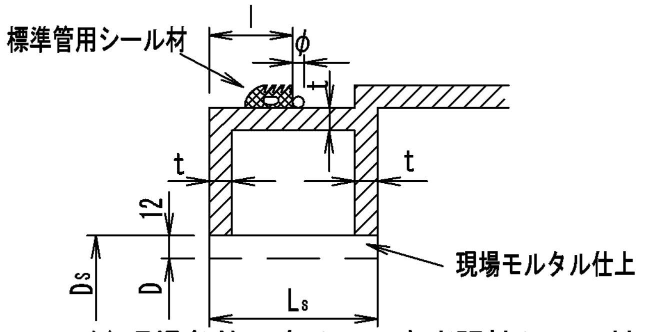
下水道推進工法用鉄筋コンクリート管（3）

日本下水道協会規格
JSWAS A－2
平成11年11月1日改正

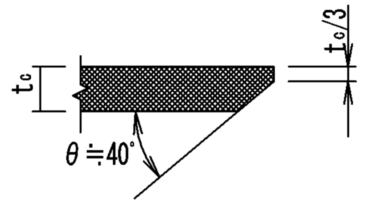
中押管S、Tの組合せ



a部詳細図

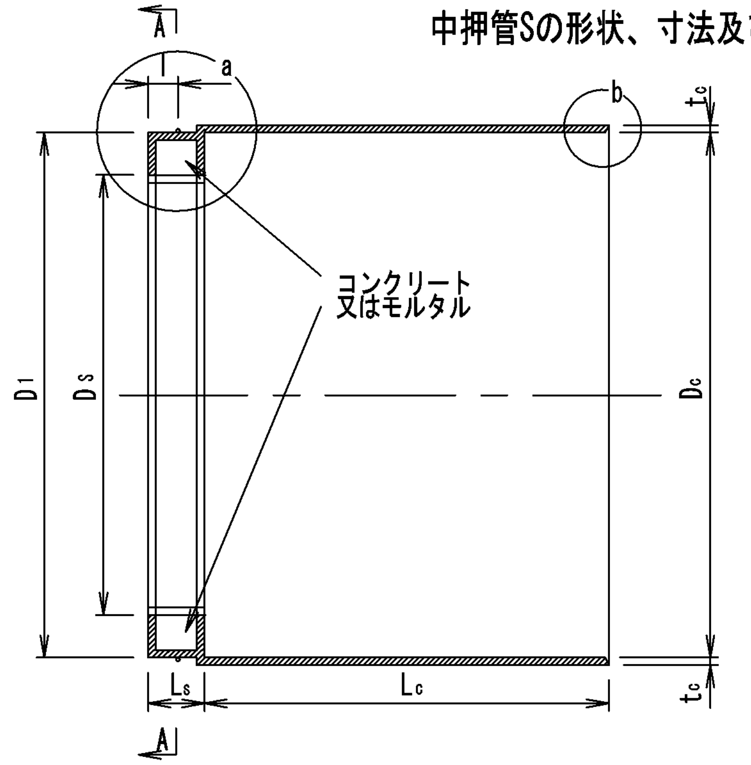


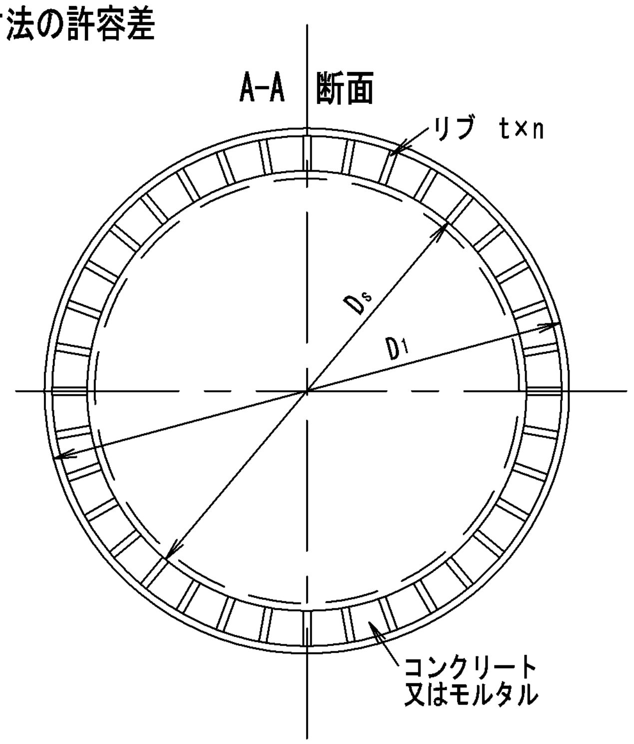
b部詳細図



注）現場条件に応じて、水膨張性シール材の使用を検討すること。

中押管Sの形状、寸法及び寸法の許容差





（単位：mm）

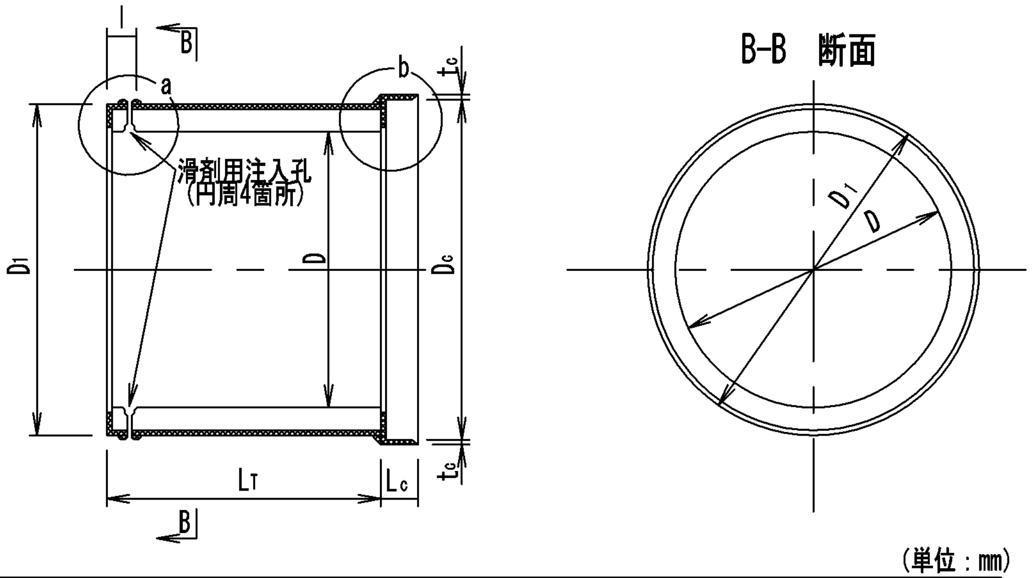
呼び径	内径 D	D_S	D_1	π・D_1	D_C	π（D_C+2t_C）	有効長 L_S	L_C	l	t_C	t	φ	リブ n(枚)
1,000	1,000	1,024	1,173 $^{+3}_{-2}$	3,685±3	1,182	3,770±3	150±2	1,100 $^{+5}_{-3}$	60	9	16	6	28
1,100	1,100	1,124	1,283 $^{+3}_{-2}$	4,031±3	1,292	4,115±3							32
1,200	1,200	1,224	1,403 $^{+3}_{-2}$	4,408±3	1,406	4,492±3	155±2			12	19		36
1,350	1,350	1,374	1,563 $^{+4}_{-3}$	4,910±6	1,576	5,027±5		1,150 $^{+5}_{-3}$				9	40
1,500	1,500	1,524	1,743 $^{+4}_{-3}$	5,476±6	1,756	5,592±5							44
1,650	1,650	1,674	1,913 $^{+4}_{-3}$	6,010±6	1,926	6,126±5	160±2				22		48
1,800	1,800	1,824	2,083 $^{+4}_{-3}$	6,544±6	2,096	6,660±5							52
2,000	2,000	2,024	2,313 $^{+4}_{-3}$	7,267±6	2,326	7,383±5							58
2,200	2,200	2,224	2,543 $^{+4}_{-3}$	7,989±6	2,556	8,105±5							64
2,400	2,400	2,424	2,763 $^{+5}_{-3}$	8,680±9	2,778	8,828±5	180±2	1,200 $^{+5}_{-3}$	70	16	25		72
2,600	2,600	2,624	2,993 $^{+5}_{-3}$	9,403±9	3,008	9,550±5							78
2,800	2,800	2,824	3,223 $^{+5}_{-3}$	10,125±9	3,238	10,273±5							84
3,000	3,000	3,024	3,453 $^{+5}_{-3}$	10,848±9	3,468	10,996±5							90

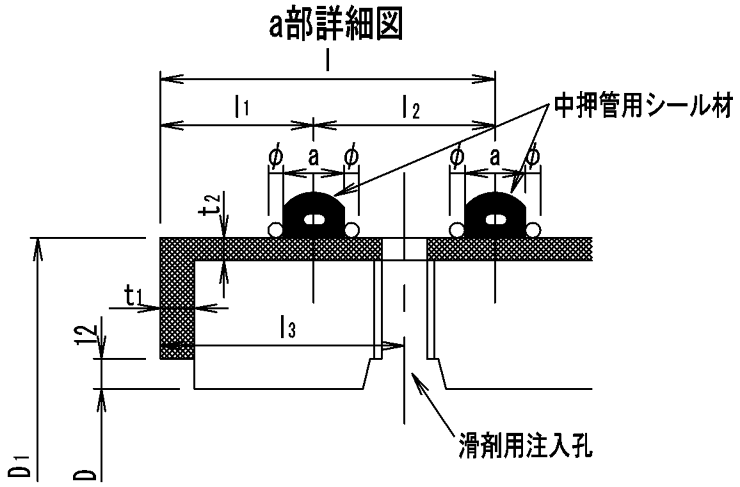
仙台市建設局

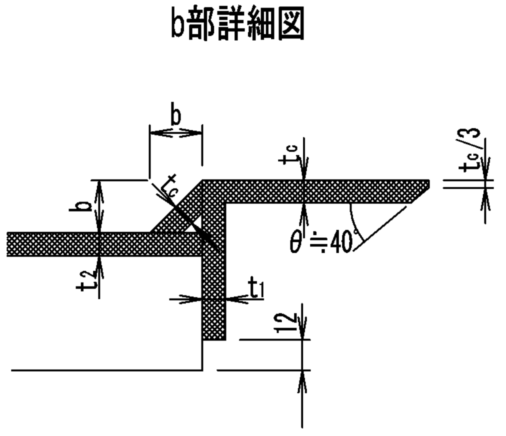
下水道推進工法用鉄筋コンクリート管（4）

日本下水道協会規格
JSWAS A－2
平成11年11月1日改正

中押管Tの形状、寸法及び寸法の許容差







注）現場条件に応じて、水膨張性シール材の使用を検討すること。

（単位：mm）

呼び径	内 径 D	D_1	π・D_1	D_C	π（D_C+2t_C）	有効長 L_T	L_C
1,000	1,000 ±6	$1,164^{+3}_{-2}$	3,657 ±3	1,191	3,770 ±3	$1,150^{+5}_{-3}$	130 ±2
1,100	1,100 ±6	$1,274^{+3}_{-2}$	4,002 ±3	1,301	4,115 ±3		
1,200	1,200 ±6	$1,388^{+3}_{-2}$	4,361 ±3	1,421	4,492 ±3		
1,350	1,350 ±8	$1,551^{+4}_{-3}$	4,873 ±6	1,588	5,027 ±5	$1,200^{+5}_{-3}$	
1,500	1,500 ±8	$1,731^{+4}_{-3}$	5,438 ±6	1,768	5,592 ±5		
1,650	1,650 ±8	$1,901^{+4}_{-3}$	5,972 ±6	1,938	6,126 ±5		
1,800	1,800 ±10	$2,071^{+4}_{-3}$	6,506 ±6	2,108	6,660 ±5		
2,000	2,000 ±10	$2,301^{+4}_{-3}$	7,229 ±6	2,338	7,383 ±5		
2,200	2,200 ±10	$2,531^{+4}_{-3}$	7,951 ±6	2,568	8,105 ±5		
2,400	2,400 ±12	$2,749^{+5}_{-3}$	8,636 ±9	2,792	8,828 ±5	$1,250^{+5}_{-3}$	150 ±2
2,600	2,600 ±12	$2,979^{+5}_{-3}$	9,359 ±9	3,022	9,550 ±5		
2,800	2,800 ±12	$3,209^{+5}_{-3}$	10,081 ±9	3,252	10,273 ±5		
3,000	3,000 ±12	$3,439^{+5}_{-3}$	10,804 ±9	3,482	10,996 ±5		

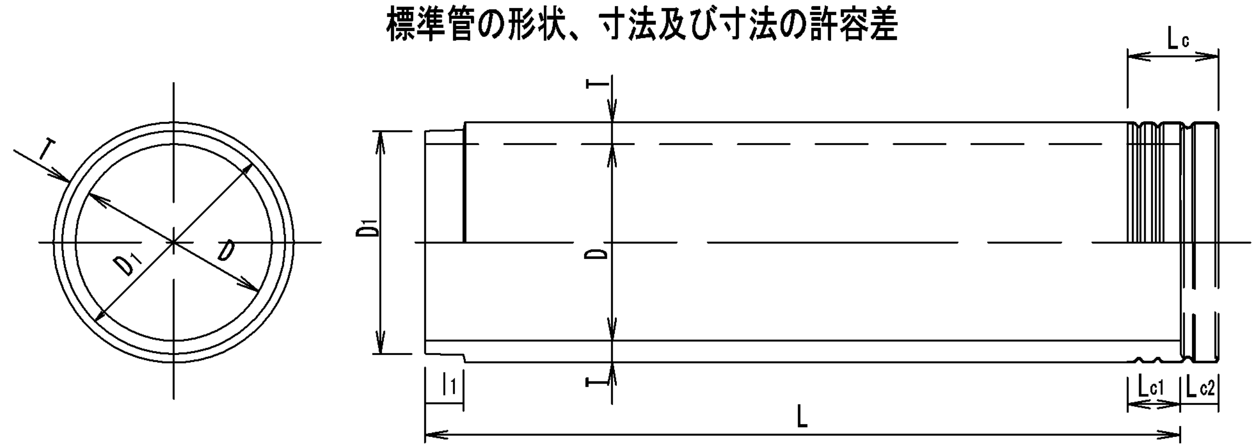
（単位：mm）

呼び径	l	l_1	l_2	l_3	a	b	t_C	t_1	t_2	φ
1,000	125	60	65	92.5	26	18	4.5	9	6	6
1,100										
1,200						21				
1,350	140	65	75	102.5	30	24	6			9
1,500										
1,650								12		
1,800										
2,000										
2,200										
2,400	150	70	80	110	34	30	9		9	
2,600										
2,800										
3,000										

仙台市建設局

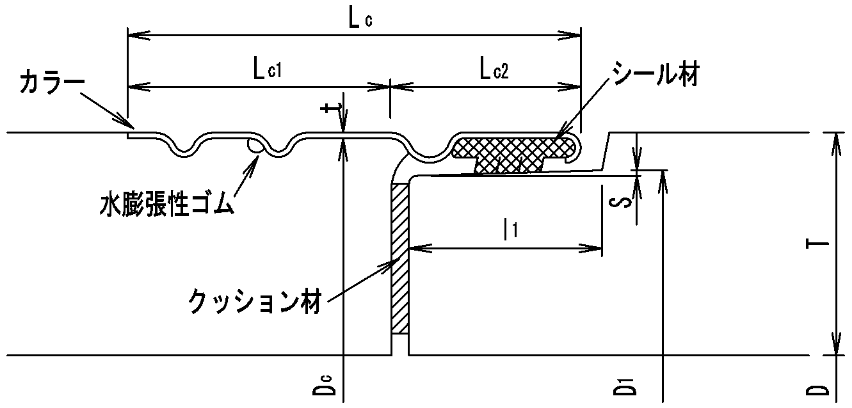
下水道小口径推進工法用鉄筋コンクリート管（1）

標準管の形状、寸法及び寸法の許容差



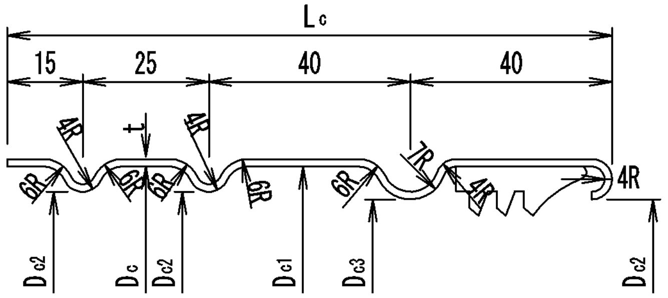
注)現場条件に応じて、水膨張性シール材の使用を検討すること。

継手部詳細

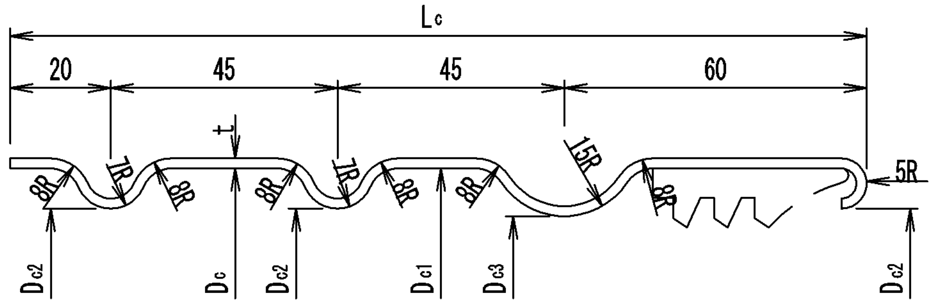


カラー詳細

呼び径　250～500



呼び径600及び700



（単位：mm）

呼び径	内 径 D	D_1	πD_1	厚さ T	有効長 L	L_1	S
200	200 ±3	298 ±2	936 ±3	59^{+4}_{-2}	$2,000^{+10}_{-5}$	51^{+3}_{-1}	1.5
250	250 ±3	340 ±2	1,068 ±3	55^{+4}_{-2}			
300	300 ±4	394 ±2	1,238 ±3	57^{+4}_{-2}			
350	350 ±4	450 ±2	1,414 ±3	60^{+4}_{-2}	$2,430^{+10}_{-5}$		
400	400 ±4	506 ±2	1,590 ±3	63^{+4}_{-2}			
450	450 ±4	564 ±2	1,772 ±3	67^{+4}_{-2}			
500	500 ±4	620 ±2	1,948 ±3	70^{+4}_{-2}			
600	600 ±4	736 ±2	2,312 ±3	80^{+4}_{-2}		81^{+3}_{-1}	2.5
700	700 ±4	856^{+3}_{-2}	2,689 ±3	90^{+4}_{-2}			

呼び径	L_C	L_{C1}	L_{C2}	t	D_C	π（D_C+2t）	D_{C1}	D_{C2}	D_{C3}
200	120^{+5}_{-2}	70	50 ±2	1.5	313	993 ±3	316	300	297
250					355	1,125 ±3	358	342	339
300					409	1,294 ±3	412	396	393
350					465	1,470 ±3	468	452	449
400					521	1,646 ±3	524	508	505
450					579	1,828 ±3	582	566	563
500					635	2,004 ±3	638	622	619
600	170^{+5}_{-2}	90	80 ±2	2.0	754	2,381 ±3	758	738	735
700					874	2,758 ±3	878	858	855

注1.　有効長（L）は、呼び径200～300については$1,000^{+10}_{-5}$mm、呼び径350～700については$1,200^{+10}_{-5}$mmとすることができる。

2.　標準管の形状は、カラーなしとすることができる。ただし、有効長は呼び径200～300については$2,000^{+10}_{-20}$mm、呼び径350～700については$2,430^{+10}_{-20}$mmとする。

3.　有効長の最大と最小の差は、3mm以内とする。

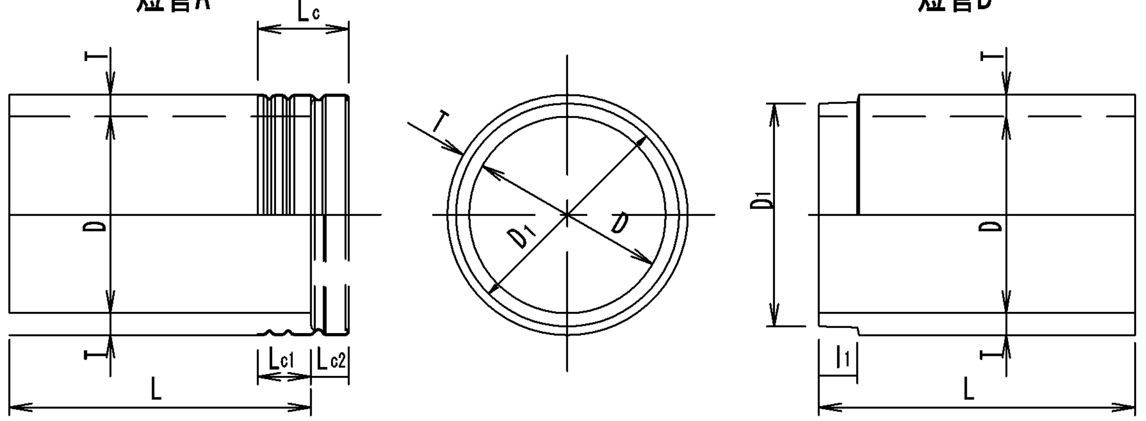
仙台市建設局

下水道小口径推進工法用鉄筋コンクリート管（2）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ａ－６
平成12年12月1日改正

短管の形状、寸法及び寸法の許容差

短管A　　短管B



（単位：mm）

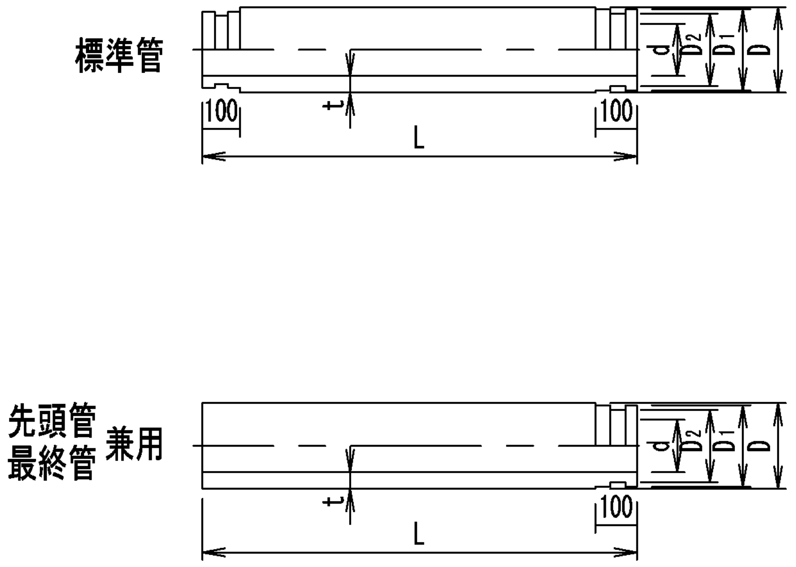
呼び径	内 径 D	D_1	πD_1	厚さ T	有効長 L	l_1	S	L_C	L_{C1}	L_{C2}	t	D_C	$\pi(D_C+2t)$	D_{C1}	D_{C2}	D_{C3}
200	200 ±3	298 ±2	936 ±3	59 $^{+4}_{-2}$	990 $^{+20}_{-10}$	51 $^{+3}_{-1}$	1.5	120 $^{+5}_{-2}$	70	50 ±2	1.5	313	993 ±3	316	300	297
250	250 ±3	340 ±2	1,068 ±3	55 $^{+4}_{-2}$								355	1,125 ±3	358	342	339
300	300 ±4	394 ±2	1,238 ±3	57 $^{+4}_{-2}$								409	1,294 ±3	412	396	393
350	350 ±4	450 ±2	1,414 ±3	60 $^{+4}_{-2}$	1,200 $^{+20}_{-10}$							465	1,470 ±3	468	452	449
400	400 ±4	506 ±2	1,590 ±3	63 $^{+4}_{-2}$								521	1,646 ±3	524	508	505
450	450 ±4	564 ±2	1,772 ±3	67 $^{+4}_{-2}$								579	1,828 ±3	582	566	563
500	500 ±4	620 ±2	1,948 ±3	70 $^{+4}_{-2}$								635	2,004 ±3	638	622	619
600	600 ±4	736 ±2	2,312 ±3	80 $^{+4}_{-2}$		81 $^{+3}_{-1}$	2.5	170 $^{+5}_{-2}$	90	80 ±2	2.0	754	2,381 ±3	758	738	735
700	700 ±4	856 $^{+3}_{-2}$	2,689 ±3	90 $^{+4}_{-2}$								874	2,758 ±3	878	858	855

仙台市建設局

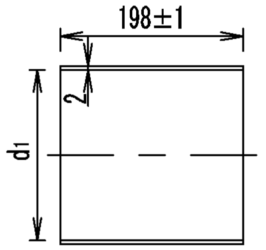
下水道推進工法用硬質塩化ビニル管（1）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｋ－６
平成21年3月1日改正

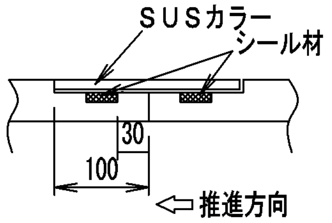
SUSカラー付直管(略号 SUSR)



SUSカラー詳細図



接続部参考図



（単位：mm）

呼び径	D	D_1	D_2	d（参考）	d_1	t	L
150	165 ±0.5	$160^{+0.6}_{-0.3}$	$154^{+0.6}_{-0.3}$	146	161.3 ±0.5	$8.9^{+1.4}_{0}$	1,000 ±3
200	216 ±0.7	$211^{+0.6}_{-0.3}$	$205^{+0.6}_{-0.3}$	194	212.3 ±0.5	$10.3^{+1.4}_{0}$	1,000 ±3
250	267 ±0.9	$262^{+0.6}_{-0.3}$	$256^{+0.6}_{-0.3}$	240	263.3 ±0.5	$12.7^{+1.8}_{0}$	
300	318 ±1.0	$313^{+0.6}_{-0.3}$	$307^{+0.6}_{-0.3}$	286	314.3 ±0.5	$15.1^{+2.2}_{0}$	
350	370 ±1.2	$365^{+1.0}_{-0.5}$	$359^{+1.0}_{-0.5}$	339	366.7 ±0.5	$14.3^{+2.0}_{0}$	2,000 ±5
400	420 ±1.3	$415^{+1.0}_{-0.5}$	$409^{+1.0}_{-0.5}$	385	416.7 ±0.5	$16.2^{+2.2}_{0}$	
450	470 ±1.5	$465^{+1.0}_{-0.5}$	$459^{+1.0}_{-0.5}$	431	466.7 ±0.5	$18.1^{+2.6}_{0}$	

注1.　D、D_1 及びD_2は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。
2.　先頭管とは、先導体に接続する管で、最終管とは、推進時の最後に使用する管である。また、標準管とは、その間の推進時に使用する管をいう。
3.　差し口先端部は、糸面取りとする。
4.　シール材の形状及びシール材周辺部の形状は、規定しない。

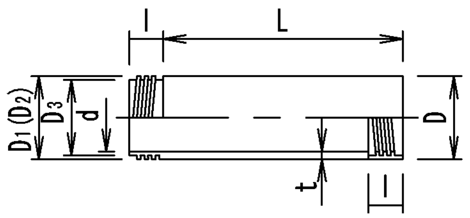
仙台市建設局

下水道推進工法用硬質塩化ビニル管（2）

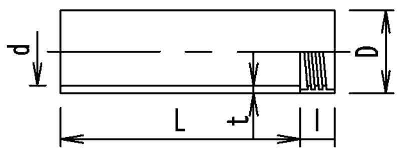
日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ Ｋ－６
平成21年3月1日改正

スパイラル継手付直管(略号 SSPS)

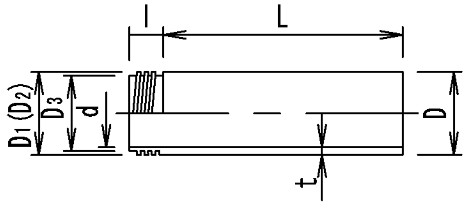
標準管



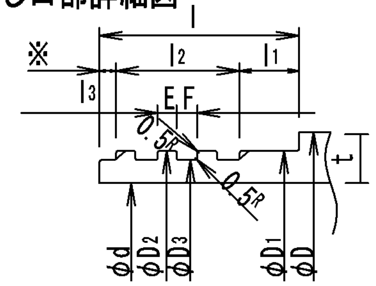
先頭管



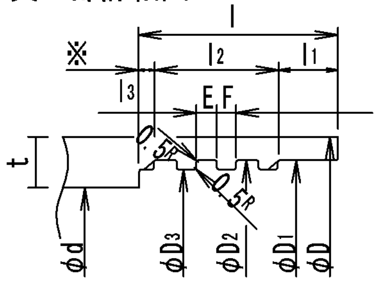
最終管



継手差し口部詳細図



継手受口部詳細図



接続部参考図

※は、差し口先端部が受口最奥部に当たる寸法にて加工すること。

（単位：mm）

呼び径		D	D_1	D_2	D_3	d（参考）	l	t	L
150	受口部	165 ±0.5	158.4 ±0.3	158.4 ±0.3	154.2 ±0.3	146	64 ±1	$8.9^{+1.4}_{0}$	800 ±3 1,000 ±3
	差し口部		157.8 ±0.3	157.4 ±0.3	153.2 ±0.3		65^{+1}_{0}		
200	受口部	216 ±0.7	208.2 ±0.3	208.2 ±0.3	203.2 ±0.3	194	64 ±1	$10.3^{+1.4}_{0}$	800 ±3 1,000 ±3 2,000 ±5
	差し口部		207.6 ±0.3	207.2 ±0.3	202.2 ±0.3		65^{+1}_{0}		
250	受口部	267 ±0.9	258.6 ±0.4	258.6 ±0.4	251.4 ±0.4	240	64 ±1	$12.7^{+1.8}_{0}$	
	差し口部		257.8 ±0.4	257.4 ±0.4	250.2 ±0.4		65^{+1}_{0}		
300	受口部	318 ±1.0	307.8 ±0.4	307.8 ±0.4	299.4 ±0.4	286	64 ±1	$15.1^{+2.2}_{0}$	
	差し口部		307.0 ±0.4	306.6 ±0.4	298.2 ±0.4		65^{+1}_{0}		
350	受口部	370 ±1.2	362.5 ±0.5	362.4 ±0.5	353.8 ±0.5	339	79 ±1	$14.3^{+2.0}_{0}$	
	差し口部		361.5 ±0.5	361.0 ±0.5	352.4 ±0.5		80^{+1}_{0}		
400	受口部	420 ±1.3	411.6 ±0.5	411.5 ±0.5	401.9 ±0.5	385	79 ±1	$16.2^{+2.2}_{0}$	
	差し口部		410.6 ±0.5	410.1 ±0.5	400.5 ±0.5		80^{+1}_{0}		
450	受口部	470 ±1.5	460.5 ±0.5	460.4 ±0.5	449.8 ±0.5	431	79 ±1	$18.1^{+2.6}_{0}$	
	差し口部		459.5 ±0.5	459.0 ±0.5	448.4 ±0.5		80^{+1}_{0}		

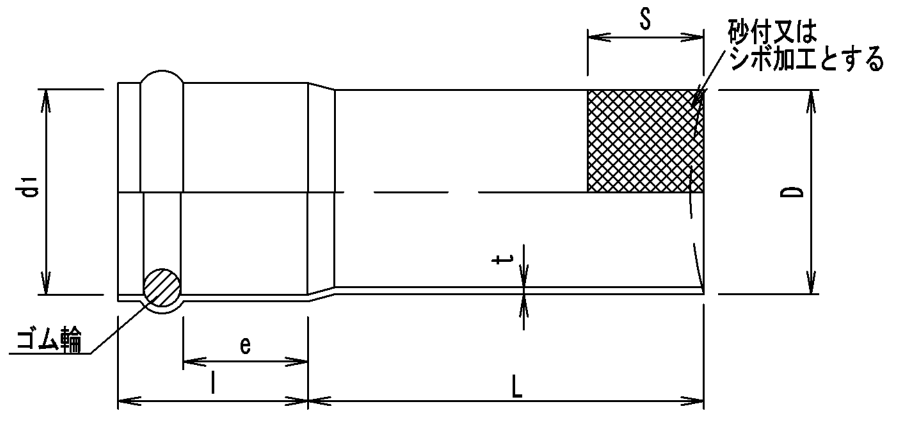
注1.　D、D_1、D_2及びD_3は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。
　2.　先頭管とは、先導体に接続する管で、最終管とは、推進時の最後に使用する管である。また、標準管とは、その間の推進時に使用する管をいう。
　3.　差し口先端部は、糸面取りとする。

仙台市建設局

下水道推進工法用硬質塩化ビニル管（3）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｋ－６
平成21年3月1日改正

上流用マンホール継手
（略号　MR-VP、MR-VM）

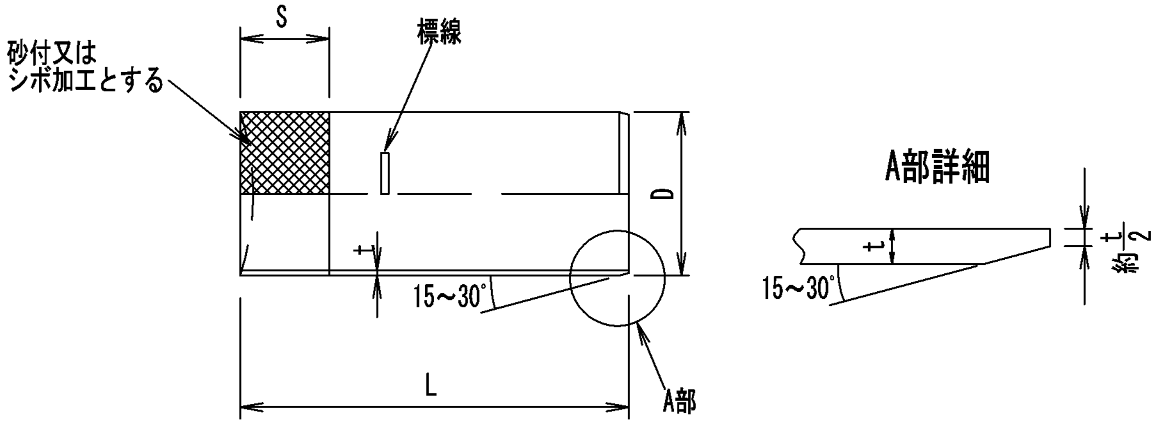


（単位：mm）

呼び径	受口部			直管部				略号
	d1（最小）	e（最小）	l（最大）	D	t	L	S（参考）	
150	165.7	53	165	165 ±0.5	$8.9^{+1.4}_{0}$	500 ±15	200	MR-VP
200	216.9	54	185	216 ±0.7	$10.3^{+1.4}_{0}$		250	
250	268.1	59	205	267 ±0.9	$12.7^{+1.8}_{0}$			
300	319.3	62	225	318 ±1.0	$15.1^{+2.2}_{0}$			
350	371.5	67	240	370 ±1.2	$14.3^{+2.0}_{0}$			MR-VM
400	421.7	72	260	420 ±1.3	$16.2^{+2.2}_{0}$		300	
450	471.9	77	285	470 ±1.5	$18.1^{+2.6}_{0}$			

注1.　マンホールの内径に合わせて破線で示す形状にすることができる。
　2.　ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状は、規定しない。
　3.　D 及びd_1は任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。
　4.　シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地などの凹凸を付ける加工をいう。

下流用マンホール継手
（略号　MSA-VP、MSA-VM）



（単位：mm）

呼び径	差し口部		直管部		略号
	D	t	L	S（参考）	
150	165 ±0.5	$8.9^{+1.4}_{0}$	500 ±15	200	MSA-VP
200	216 ±0.7	$10.3^{+1.4}_{0}$		250	
250	267 ±0.9	$12.7^{+1.8}_{0}$			
300	318 ±1.0	$15.1^{+2.2}_{0}$	750 ±15		
350	370 ±1.2	$14.3^{+2.0}_{0}$			MSA-VM
400	420 ±1.3	$16.2^{+2.2}_{0}$	1,000 ±15	300	
450	470 ±1.5	$18.1^{+2.6}_{0}$			

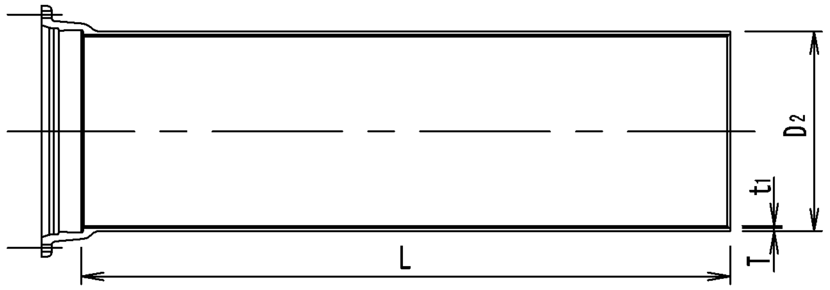
注1.　マンホールの内径に合わせて破線で示す形状にすることができる。
　2.　Dは任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。
　3.　シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地などの凹凸を付ける加工をいう。

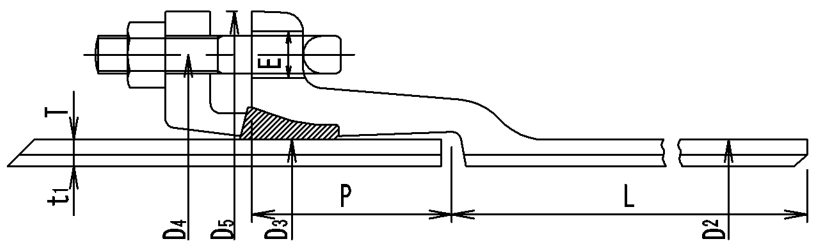
仙台市建設局

下水道用ダクタイル鋳鉄管（1）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ Ｇ－１
平成22年3月1日改正

K形ダクタイル鋳鉄直管





接合部詳細

（単位：mm）

呼び径	管厚					ﾗｲﾆﾝｸﾞ厚	外径	各部寸法						ボルトの数	有効長	参考質量（kg）													呼び径
	T					t1	D2	D3	D4	D5	P	E			L	受口突部	直部1m当たり						1本当たり						
D	D1	D2	D3	D4	D5											D1	D2	D3	D4	D5	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	D1	D2	D3	D4	D5	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	D
75	7.5	-	6.0	-	-	4	93.0	96.5	159	197	80	19	4	4,000	5.15	14.40	-	11.73	-	-	2.23	62.7	-	52.1	-	-	8.93	75
100	〃	-	〃	-	-	〃	118.0	121.5	186	232	〃	23	〃	〃	6.68	18.62	-	15.09	-	-	2.99	81.2	-	67.0	-	-	11.9	100
150	〃	-	〃	-	-	〃	169.0	172.5	241	287	〃	〃	6	5,000	9.64	27.21	-	21.97	-	-	4.52	146	-	119	-	-	22.6	150
200	〃	-	〃	-	-	〃	220.0	223.5	292	338	〃	〃	〃	〃	12.5	35.80	-	28.84	-	-	6.06	192	-	157	-	-	30.3	200
250	7.5	-	6.0	-	-	4	271.6	275.1	348	394	80	23	8	5,000	15.6	44.49	-	35.80	-	-	7.62	238	-	195	-	-	38.1	250
300	〃	-	6.5	-	-	6	322.8	326.8	399	445	110	〃	〃	6,000	24.0	53.12	-	46.18	-	-	13.65	343	-	301	-	-	81.9	300
350	〃	-	〃	-	-	〃	374.0	378.0	458	504	〃	〃	10	〃	28.9	61.74	-	53.66	-	-	15.97	399	-	351	-	-	95.8	350
400	8.5	7.5	7.0	-	-	〃	425.6	429.6	512	558	〃	〃	12	〃	34.5	79.64	70.44	65.82	-	-	18.21	512	457	429	-	-	109	400
450	9.0	8.0	7.5	-	-	6	476.8	480.8	567	613	110	23	12	6,000	39.5	94.57	84.24	79.06	-	-	20.48	607	545	514	-	-	123	450
500	9.5	8.5	8.0	-	-	〃	528.0	532.0	618	664	〃	〃	14	〃	45.7	110.64	99.19	93.44	-	-	22.76	710	641	606	-	-	137	500
600	11.0	10.0	9.0	8.5	7.5	〃	630.8	634.8	725	771	〃	〃	〃	〃	57.5	153.14	139.45	125.70	118.82	105.01	27.27	976	894	812	770	688	164	600
700	12.0	11.0	10.0	9.0	8.0	8	733.0	738.0	839	893	120	27	16	〃	75.0	194.35	178.40	162.40	146.37	130.28	42.28	1,240	1,150	1,050	953	857	254	700
800	13.5	12.0	11.0	10.0	9.0	8	836.0	841.0	942	996	120	27	20	6,000	90.7	249.42	222.11	203.85	185.54	167.19	48.32	1,590	1,420	1,310	1,200	1,090	290	800
900	15.0	13.0	12.0	11.0	9.5	〃	939.0	944.0	1,052	1,118	〃	33	〃	〃	112	311.33	270.40	249.87	229.30	198.35	54.35	1,980	1,730	1,610	1,490	1,300	326	900
1,000	16.5	14.5	13.0	12.0	10.5	10	1,041.0	1,047.0	1,160	1,226	130	〃	〃	〃	140	379.71	334.34	300.19	277.37	243.05	75.25	2,420	2,150	1,940	1,800	1,600	452	1,000
1,100	18.0	15.5	14.0	13.0	11.0	〃	1,144.0	1,150.0	1,266	1,332	〃	〃	24	〃	163	455.27	392.91	355.36	330.27	279.95	82.79	2,890	2,520	2,300	2,140	1,840	497	1,100
1,200	19.5	17.0	15.0	13.5	11.5	10	1,246.0	1,253.0	1,372	1,438	130	33	28	6,000	187	537.23	469.31	414.77	373.75	318.89	90.25	3,410	3,000	2,680	2,430	2,100	542	1,200
1,350	21.5	18.5	16.5	15.0	12.5	12	1,400.0	1,407.0	1,536	1,602	〃	〃	〃	〃	232	665.74	574.09	512.77	466.66	389.58	121.69	4,230	3,680	3,310	3,030	2,570	730	1,350
1,500	23.5	20.5	18.0	16.5	14.0	〃	1,554.0	1,561.0	1,700	1,766	〃	〃	〃	〃	280	807.90	706.15	621.04	569.84	484.29	135.26	5,130	4,520	4,010	3,700	3,190	812	1,500
1,600	25.0	22.0	19.0	17.5	14.5	15	1,650.0	1,658.0	1,790	1,856	160	〃	30	4,000 5,000	326	912.54	804.51	696.09	641.72	532.69	179.26	3,980 4,890	3,540 4,350	3,110 3,810	2,890 3,530	2,460 2,990	717 896	1,600
1,650	25.5	22.5	19.5	18.0	15.0	15	1,701.0	1,709.0	1,844	1,910	165	33	30	4,000 5,000	360	959.71	848.32	736.53	680.48	568.08	184.91	4,200 5,160	3,750 4,600	3,310 4,040	3,080 3,760	2,630 3,200	740 925	1,650
1,800	28.0	24.0	21.0	19.5	16.0	〃	1,848.0	1,856.0	1,996	2,062	170	〃	34	4,000 5,000	427	1,144.69	983.32	861.82	800.92	658.42	200.97	5,010 6,150	4,360 5,340	3,870 4,740	3,630 4,430	3,060 3,720	804 1,000	1,800
2,000	30.5	26.5	23.5	21.0	18.0	〃	2,061.0	2,069.0	2,216	2,282	180	〃	36	4,000 5,000	534	1,391.10	1,211.05	1,075.53	962.29	826.03	224.50	6,100 7,490	5,380 6,590	4,840 5,910	4,380 5,350	3,840 4,660	898 1,120	2,000
2,100	32.0	28.0	24.5	22.0	18.5	〃	2,164.0	2,172.0	2,322	2,388	185	〃	38	4,000 5,000	597	1,532.48	1,343.43	1,177.43	1,058.52	891.57	235.81	6,730 8,260	5,970 7,310	5,310 6,480	4,830 5,890	4,160 5,050	943 1,180	2,100
2,200	33.5	29.0	25.5	23.0	19.5	15	2,280.0	2,288.0	2,441	2,507	190	33	40	4,000 5,000	659	1,690.47	1,466.33	1,291.36	1,166.05	990.14	248.59	7,420 9,110	6,520 7,990	5,820 7,120	5,320 6,490	4,620 5,610	994 1,240	2,200
2,400	36.5	31.5	27.5	25.0	21.0	〃	2,458.0	2,466.0	2,626	2,692	200	〃	44	4,000	803	1,985.34	1,716.91	1,501.36	1,366.28	1,149.56	268.04	8,740	7,670	6,810	6,270	5,400	1,070	2,400
2,600	39.5	34.0	29.5	27.0	23.0	〃	2,684.0	2,692.0	2,862	2,928	230	〃	48	〃	1,001	2,346.38	2,023.86	1,758.98	1,611.43	1,374.77	292.92	10,390	9,100	8,040	7,450	6,500	1,170	2,600

注1.　受口突部及び直部1mの参考質量は、有効数字に丸めたので、その総和である1本当たりの参考質量とは必ずしも一致しない。

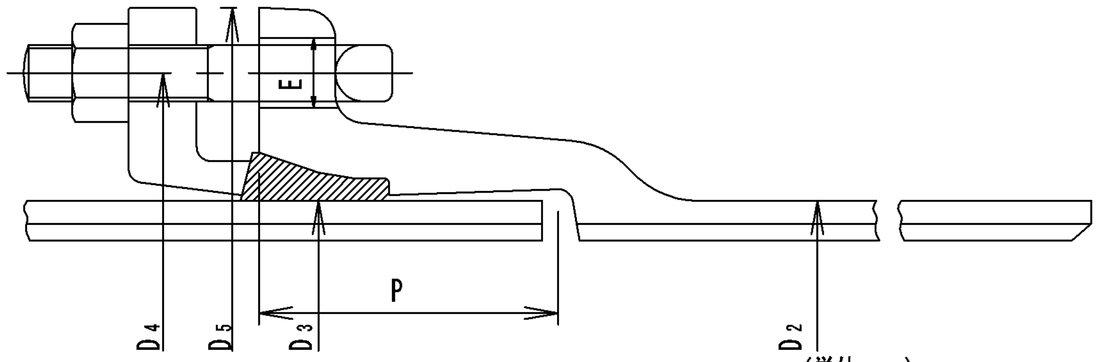
2.　受口内面の形状は、破線の形状でもよい。

仙台市建設局

下水道用ダクタイル鋳鉄管（2）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｇ－１
平成22年3月1日改正

K形異形管の接合部断面

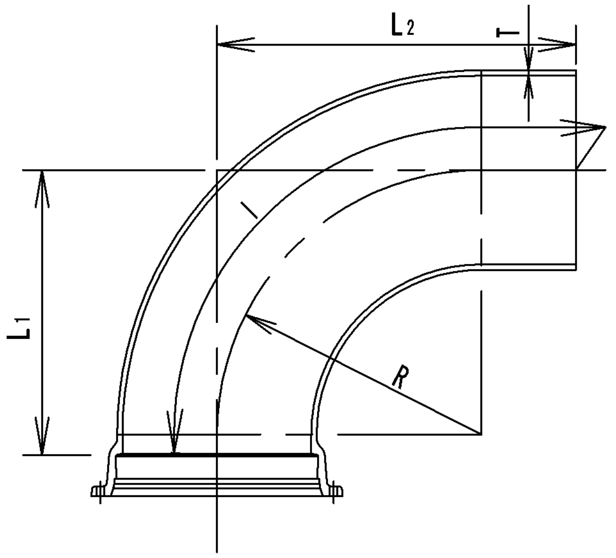


(単位：mm)

呼び径	外 径	各 部 寸 法					ボルトの数	参考質量(kg)
D	D_2	D_3	D_4	D_5	E	P		受口突部
75	93.0	96.5	159	197	19	80	4	5.06
100	118.0	121.5	186	232	23	〃	〃	6.56
150	169.0	172.5	241	287	〃	〃	6	9.45
200	220.0	223.5	292	338	〃	〃	〃	12.1
250	271.6	275.1	348	394	23	80	8	15.1
300	322.8	326.8	399	445	〃	110	〃	23.6
350	374.0	378.0	458	504	〃	〃	10	28.2
400	425.6	429.6	512	558	〃	〃	12	33.8
450	476.8	480.8	567	613	23	110	12	40.2
500	528.0	532.0	618	664	〃	〃	14	46.2
600	630.8	634.8	725	771	〃	〃	〃	57.9
700	733.0	738.0	839	893	27	120	16	76.0
800	836.0	841.0	942	996	27	120	20	92.0
900	939.0	944.0	1,052	1,118	33	〃	〃	113
1,000	1,041.0	1,047.0	1,160	1,226	〃	130	〃	141
1,100	1,144.0	1,150.0	1,266	1,332	〃	〃	24	166
1,200	1,246.0	1,253.0	1,372	1,438	33	130	28	190
1,350	1,400.0	1,407.0	1,536	1,602	〃	〃	〃	234
1,500	1,554.0	1,561.0	1,700	1,766	〃	〃	〃	283
1,600	1,650.0	1,658.0	1,790	1,856	〃	160	30	329
1,650	1,701.0	1,709.0	1,844	1,910	33	165	30	363
1,800	1,848.0	1,856.0	1,996	2,062	〃	170	34	429
2,000	2,061.0	2,069.0	2,216	2,282	〃	180	36	545
2,100	2,164.0	2,172.0	2,322	2,388	〃	185	38	605
2,200	2,280.0	2,288.0	2,441	2,507	33	190	40	670
2,400	2,458.0	2,466.0	2,626	2,692	〃	200	44	812
2,600	2,684.0	2,692.0	2,862	2,928	〃	230	48	1,041

注1.　受口内面の形状は、破線の形状でもよい。
2.　挿し口がＴ形管に挿入される場合、Ｔ形面取り加工する。

K 形 曲 管 90°



(単位：mm)

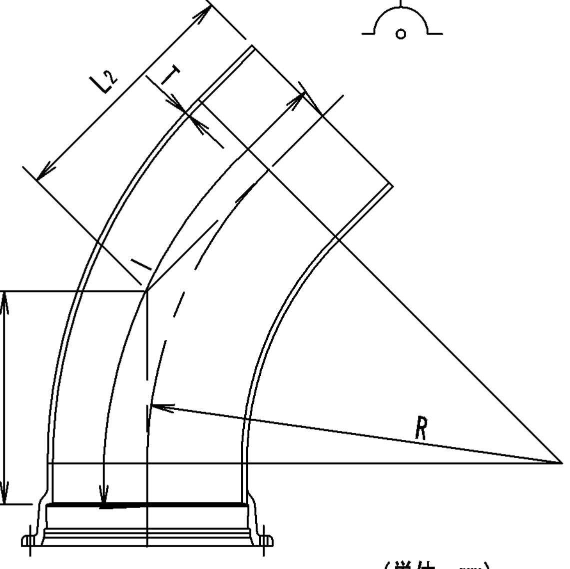
呼び径	管厚	各 部 寸 法			管心長	参考質量(kg)
D	T	R	L_1	L_2	l	
75	8.5	250	292	400	584	14.5
100	〃	〃	〃	〃	〃	18.8
150	9.0	300	342	500	713	32.5
200	11.0	400	443	600	872	57.1
250	12.0	400	445	650	923	79.7
300	12.5	550	597	800	1,161	125
350	13.0	〃	598	〃	1,162	151
400	14.0	600	650	850	1,243	195
450	14.5	600	652	850	1,244	228
500	15.0	700	754	950	1,403	289
600	16.0	800	855	1,100	1,612	414
700	17.0	900	957	1,200	1,771	560
800	18.0	1,000	1,061	1,300	1,931	731
900	19.0	1,100	1,164	1,400	2,092	934
1,000	20.0	1,150	1,218	1,450	2,174	1,140
1,100	21.0	1,200	1,269	1,500	2,254	1,360
1,200	22.0	1,200	1,271	1,500	2,256	1,550
1,350	24.0	〃	1,274	〃	2,259	1,910
1,500	26.0	〃	1,278	〃	2,263	2,300
1,600	27.5	〃	〃	1,550	2,313	2,650
1,650	28.0	1,200	1,280	1,550	2,315	2,800
1,800	30.0	1,250	1,335	1,600	2,399	3,370

仙台市建設局

下水道用ダクタイル鋳鉄管（3）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｇ－１
平成22年3月1日改正

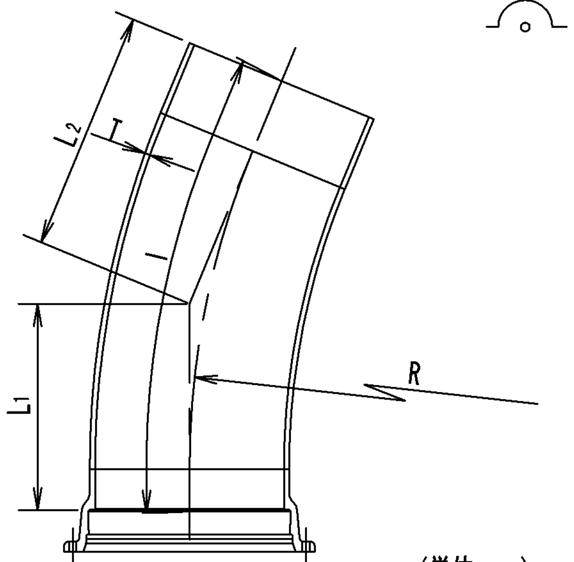
K 形 曲 管 45°



（単位：mm）

呼び径	管厚	各部寸法			管心長	参考質量
D	T	R	L_1	L_2	l	(kg)
75	8.5	400	207	316	506	13.2
100	〃	〃	〃	〃	〃	17.1
150	9.0	500	249	407	634	30.0
200	11.0	600	292	449	715	49.0
250	12.0	600	294	449	716	65.2
300	12.5	700	337	490	797	93.0
350	13.0	800	380	531	877	121
400	14.0	900	423	573	957	158
450	14.5	1,000	466	614	1,037	196
500	15.0	1,100	509	656	1,118	239
600	16.0	1,300	594	739	1,276	340
700	17.0	1,500	678	821	1,435	468
800	18.0	1,700	765	904	1,596	620
900	19.0	1,900	851	987	1,756	803
1,000	20.0	2,100	937	1,070	1,917	1,020
1,100	21.0	2,300	1,022	1,153	2,076	1,270
1,200	22.0	2,300	1,024	1,153	2,077	1,450
1,350	24.0	〃	1,027	〃	2,081	1,780
1,500	26.0	〃	1,031	〃	2,084	2,140
1,600	27.5	1,500	700	921	1,557	1,890
1,650	28.0	1,500	702	921	1,558	2,000
1,800	30.0	〃	706	〃	1,563	2,340
2,000	32.0	〃	713	〃	1,570	2,830
2,100	33.0	1,700	799	1,004	1,730	3,340
2,200	34.0	1,700	801	1,004	1,732	3,640
2,400	36.0	〃	808	1,054	1,789	4,320
2,600	37.5	1,740	900	1,030	1,855	5,180

K 形 曲 管 $22\frac{1}{2}$°



（単位：mm）

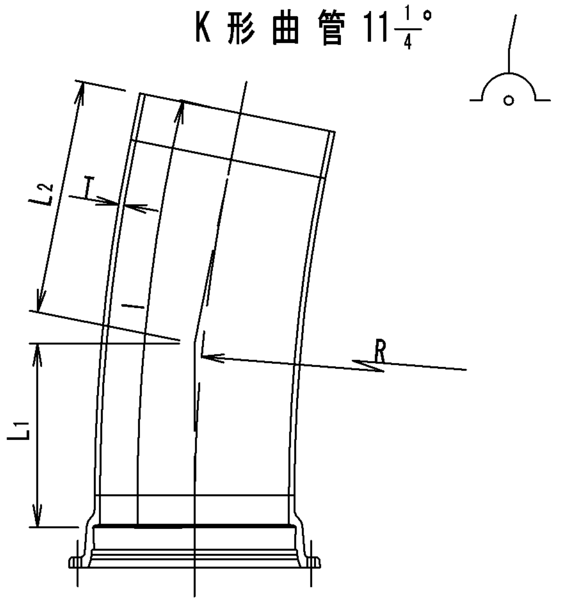
呼び径	管厚	各部寸法			管心長	参考質量
D	T	R	L_1	L_2	l	(kg)
75	8.5	800	201	309	506	13.2
100	〃	〃	〃	〃	〃	17.1
150	9.0	1,000	240	349	584	28.3
200	11.0	1,200	282	389	665	46.4
250	12.0	1,200	284	389	666	61.7
300	12.5	1,400	325	429	747	88.6
350	13.0	1,600	367	468	827	115
400	14.0	1,800	408	558	957	158
450	14.5	2,000	450	598	1,037	196
500	15.0	2,200	491	638	1,118	239
600	16.0	2,600	573	717	1,276	340
700	17.0	3,000	654	797	1,435	468
800	18.0	3,400	737	876	1,596	620
900	19.0	3,800	820	956	1,756	803
1,000	20.0	4,200	903	1,035	1,917	1,020
1,100	21.0	4,500	964	1,095	2,036	1,240
1,200	22.0	4,500	966	1,095	2,038	1,420
1,350	24.0	〃	970	〃	2,042	1,750
1,500	26.0	〃	973	〃	2,045	2,110
1,600	27.5	3,000	675	897	1,557	1,890
1,650	28.0	3,000	677	897	1,558	2,000
1,800	30.0	〃	682	〃	1,563	2,340
2,000	32.0	〃	688	〃	1,570	2,830
2,100	33.0	3,400	771	976	1,730	3,340
2,200	34.0	3,400	774	976	1,732	3,640
2,400	36.0	〃	780	1,026	1,789	4,320
2,600	37.5	3,640	900	1,030	1,911	5,300

仙台市建設局

日本下水道協会規格
JSWAS G−1
平成22年3月1日改正

下水道用ダクタイル鋳鉄管（4）

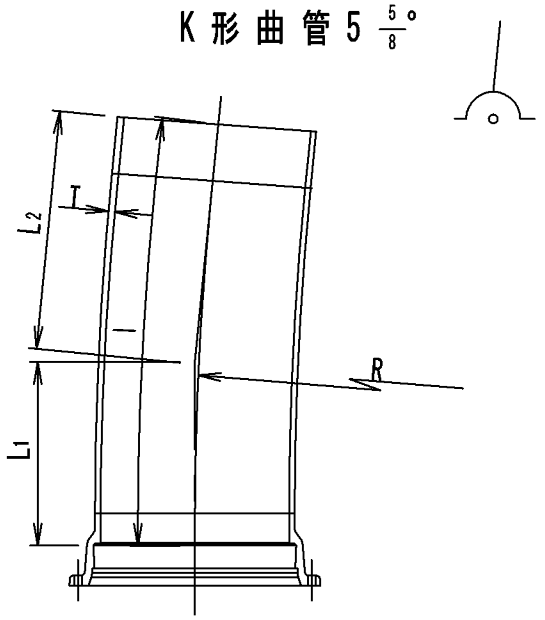
K形曲管 $11\frac{1}{4}$°



（単位：mm）

呼び径 D	管厚 T	各部寸法 R	L1	L2	管心長 l	参考質量 (kg)
75	8.5	3,000	337	446	781	17.7
100	〃	〃	〃	〃	〃	22.9
150	9.0	〃	〃	〃	〃	34.7
200	11.0	4,000	437	544	979	62.6
250	12.0	4,000	439	544	980	83.7
300	12.5	〃	441	〃	982	109
350	13.0	5,000	541	643	1,180	153
400	14.0	〃	543	693	1,232	193
450	14.5	5,000	544	693	1,234	226
500	15.0	6,000	645	791	1,432	294
600	16.0	〃	646	〃	1,434	375
700	17.0	〃	648	〃	1,435	468
800	18.0	6,000	652	791	1,439	568
900	19.0	〃	655	〃	1,442	679
1,000	20.0	〃	658	〃	1,446	804
1,100	21.0	〃	660	〃	1,447	933
1,200	22.0	6,000	662	791	1,449	1,070
1,350	24.0	〃	665	〃	1,453	1,310
1,500	26.0	〃	669	〃	1,456	1,580
1,600	27.5	〃	〃	891	1,557	1,890
1,650	28.0	6,000	671	891	1,558	2,000
1,800	30.0	〃	676	〃	1,563	2,340
2,000	32.0	〃	682	〃	1,570	2,830
2,100	33.0	〃	685	〃	1,572	3,090
2,200	34.0	6,000	688	891	1,575	3,370
2,400	36.0	〃	695	941	1,632	4,010
2,600	37.5	3,640	540	670	1,208	3,730

K形曲管 $5\frac{5}{8}$°



（単位：mm）

呼び径 D	管厚 T	各部寸法 R	L1	L2	管心長 l	参考質量 (kg)
300	12.5	10,000	538	641	1,178	126
350	13.0	〃	540	〃	1,180	153
400	14.0	〃	542	691	1,232	193
450	14.5	10,000	543	691	1,234	226
500	15.0	12,000	643	790	1,432	294
600	16.0	〃	645	〃	1,434	375
700	17.0	〃	647	〃	1,435	468
800	18.0	12,000	650	790	1,439	568
900	19.0	〃	654	〃	1,442	679
1,000	20.0	〃	657	〃	1,446	804
1,100	21.0	〃	659	〃	1,447	933
1,200	22.0	12,000	661	790	1,449	1,070
1,350	24.0	〃	664	〃	1,453	1,310
1,500	26.0	〃	667	〃	1,456	1,580
1,600	27.5	〃	668	890	1,557	1,890
1,650	28.0	12,000	670	890	1,558	2,000
1,800	30.0	〃	675	〃	1,563	2,340
2,000	32.0	〃	681	〃	1,570	2,830
2,100	33.0	〃	684	〃	1,572	3,090
2,200	34.0	12,000	687	890	1,575	3,370
2,400	36.0	〃	693	940	1,632	4,010
2,600	37.5	7,280	540	670	1,209	3,740

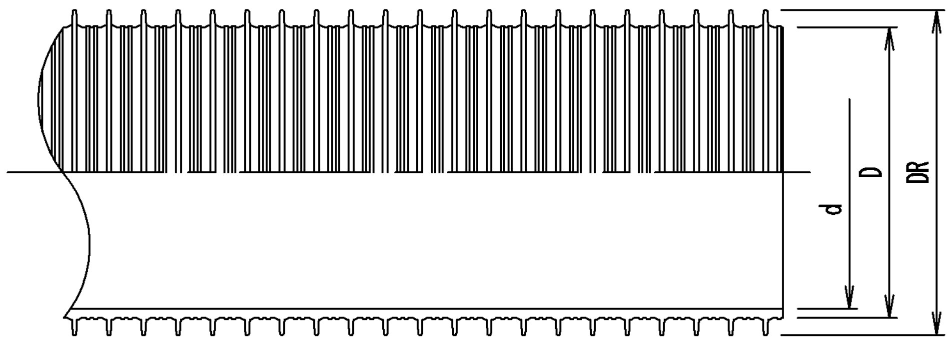
注　U形、T形、その他の管材については、日本下水道協会規格書、
　　日本ダクタイル鉄管協会便覧を参考にすること。

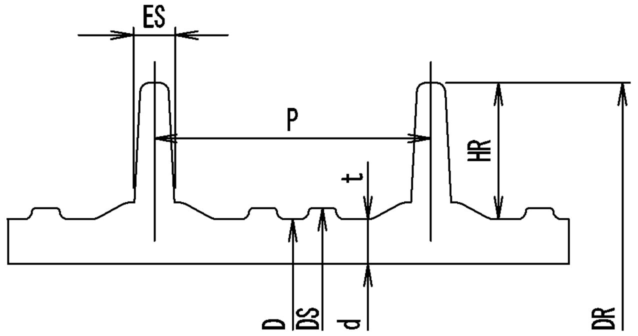
仙台市建設局

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｋ－１３
平成15年2月1日改正

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管（1）

直管部共通寸法





（単位：mm）

呼び径	シール部外径　ＤＳ		厚さ　t		リブ間隔　Ｐ		標準値				参　考	
	基準寸法	許容差	最小	許容差	基準寸法	許容差	外径 Ｄ	リブ外径 ＤＲ	リブ高さ ＨＲ	リブ幅 ＥＳ	近似内径 d	1m当りの質量 (kg)
150	157.5	±0.6	2.4	±0.8	19.1	±0.6	155.5	171.0	7.7	3.1	150	3.000
200	207.7	±0.7	2.4		25.4	±0.8	205.5	228.8	11.6	3.6	200	4.350
250	258.5	±0.9	2.7		30.5	±0.9	256.1	286.2	15.0	4.4	250	6.380
300	309.7	±1.0	3.0	±1.2	38.1	±1.1	307.1	343.6	18.2	5.4	300	9.020
350	360.2	±1.1	3.1		38.1	±1.1	357.4	400.6	21.6	5.9	350	12.030
400	411.0	±1.3	3.3	±1.4	38.1	±1.1	407.6	448.4	20.4	5.8	400	13.860
450	461.8	±1.4	3.5		38.1	±1.1	457.8	502.0	22.1	6.8	450	17.360

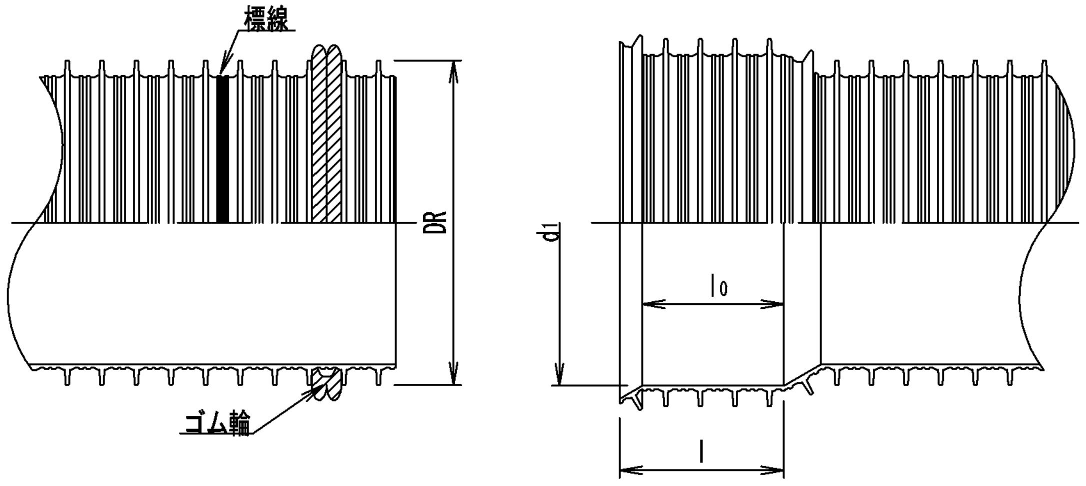
注1.　外径及びリブ外径は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の外径測定値及びリブ外径測定値の平均値をいう。
　2.　表中1m当りの質量は、密度1.43g/cm^3 で算出したものである。
　3.　リブ根元部分の詳細形状については、規定しない。

仙台市建設局

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管（2）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｋ－１３
平成15年2月1日改正

直管、異形管受口及びゴム輪差し口共通寸法



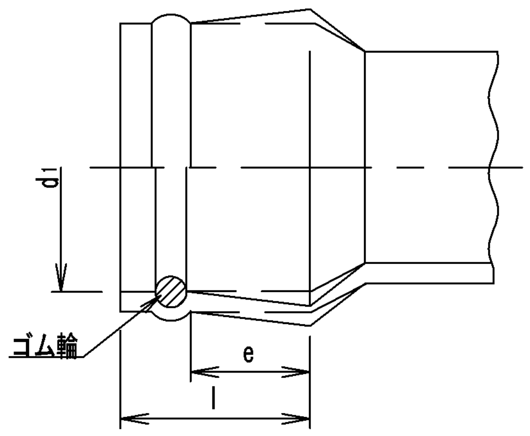
（単位：㎜）

呼び径	差し口部	受口部			
	リブ外径 ＤＲ (標準値)	受口内径 ｄ₁ (最小)	平行部長さ ｌ₀ (最小)	受口長さ ｌ (標準値)	接合長さ ｅ (参考)
150	171.0	171.7	90	100	61.3
200	228.8	229.7	100	115	61.9
250	286.2	287.3	115	140	69.2
300	343.6	344.9	135	170	77.8
350	400.6	402.1	135	170	77.8
400	448.4	450.2	135	170	77.8
450	502.0	504.0	135	170	77.8

注1.　受口内径ｄ₁ は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の内径測定値の平均値とする。
2.　ゴム輪の形状は、規定しない。
3.　ゴム輪差し口でのゴム輪取付け位置は、管端より第2番目と第3番目のリブの間とする。
4.　標線位置は、呼び径150の場合は管端より第6番目と第7番目のリブの間、呼び径200以上の場合は第5番目と第6番目のリブの間とする。
5.　接合長さｅは、平行部長さｌ₀（最小）－（1.5×リブ間隔Ｐ）として算出したものである。

90度支管用取付け管ゴム輪受口共通寸法

取付け管形



（単位：㎜）

呼び径	受口内径 ｄ₁ (最小)	接合長さ ｅ (最小)	受口長さ ｌ (最大)
100	115.0	48	90
125	141.0	53	99
150	166.0	58	108
200	218.0	69	126

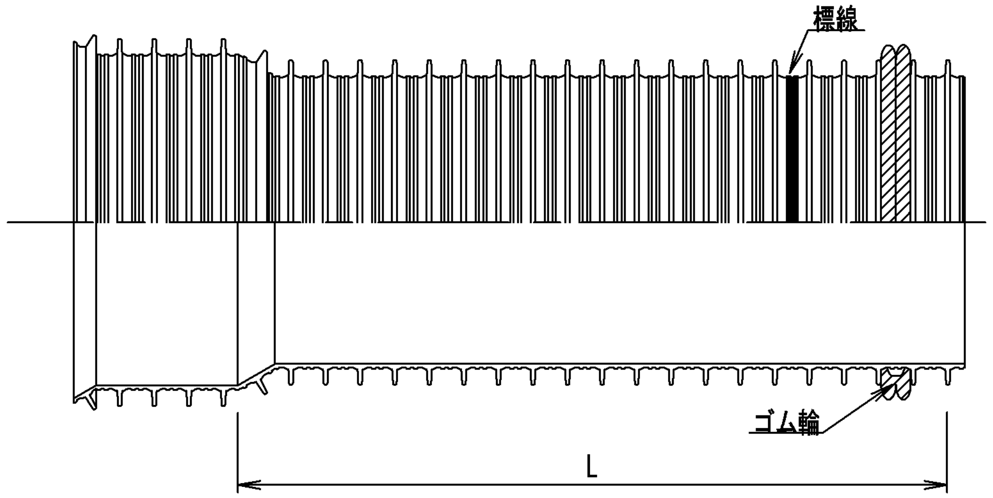
注1.　破線で示す形状にすることもできる。
2.　ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。
3.　受口内径ｄ₁ は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の内径測定値の平均値とする。

仙台市建設局

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管（3）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｋ－１３
平成15年2月1日改正

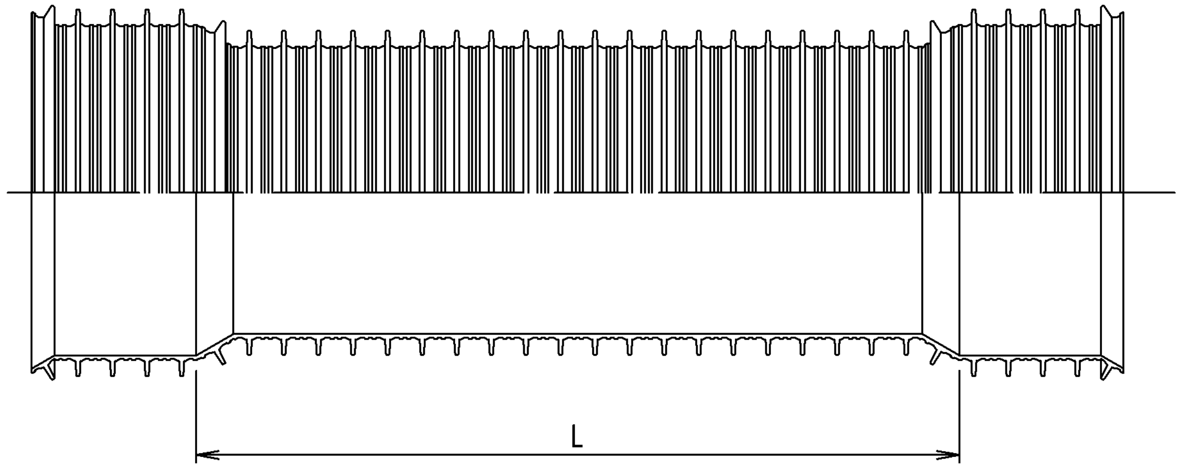
片受け直管
(略号　PRP)



（単位：mm）

呼び径	L	許容差
150	4,000	+30 −10
200		
250		
300		+40 −10
350		
400		
450		

両受け直管
(略号　WPRP)



（単位：mm）

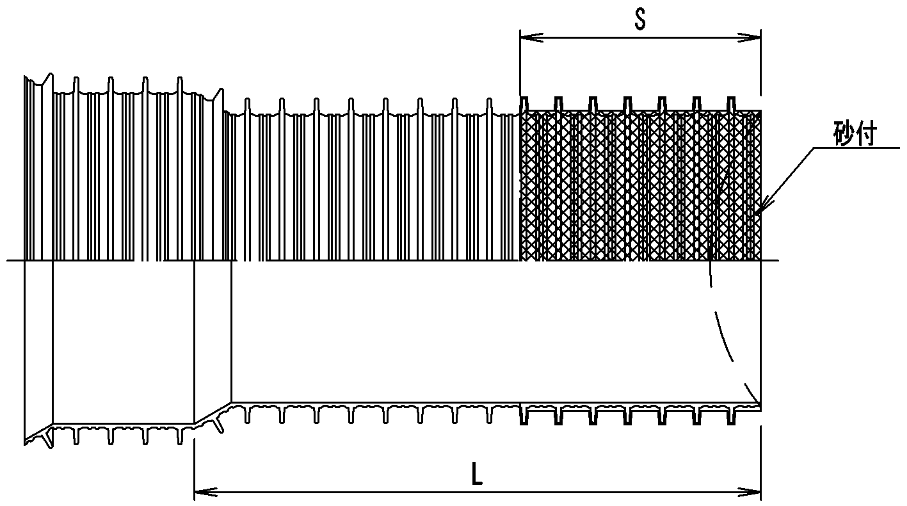
呼び径	L（最小）
150	3,800
200	
250	
300	3,750
350	
400	
450	

仙台市建設局

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管（4）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｋ－１３
平成15年2月1日改正

上流用マンホール継手
（略号　MR-PRP）

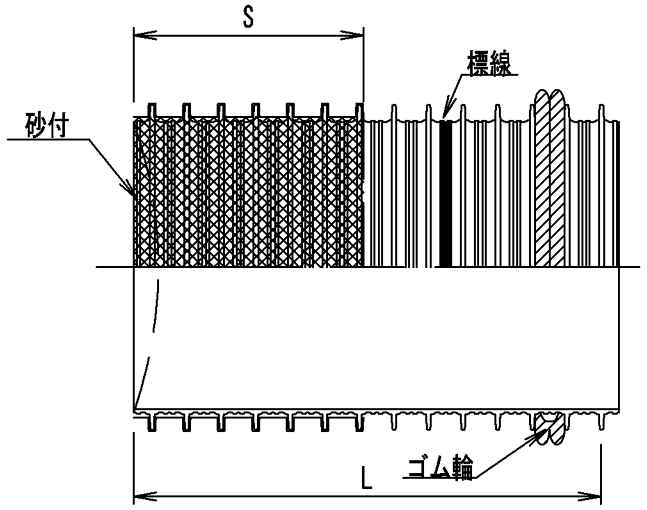


（単位：mm）

<table>
<tr><th>呼び径</th><th>L</th><th>許容差</th><th>S
（参考）</th></tr>
<tr><td>150</td><td rowspan="7">500</td><td rowspan="3">+30
−10</td><td rowspan="7">250</td></tr>
<tr><td>200</td></tr>
<tr><td>250</td></tr>
<tr><td>300</td><td rowspan="4">+40
−10</td></tr>
<tr><td>350</td></tr>
<tr><td>400</td></tr>
<tr><td>450</td></tr>
</table>

注　マンホールの内径にあわせて破線で示す形状にすることができる。

下流用マンホール継手
（略号　MSA-PRP）



（単位：mm）

<table>
<tr><th>呼び径</th><th>L</th><th>許容差</th><th>S
（参考）</th></tr>
<tr><td>150</td><td rowspan="7">500</td><td rowspan="3">+30
−10</td><td rowspan="7">250</td></tr>
<tr><td>200</td></tr>
<tr><td>250</td></tr>
<tr><td>300</td><td rowspan="4">+40
−10</td></tr>
<tr><td>350</td></tr>
<tr><td>400</td></tr>
<tr><td>450</td></tr>
</table>

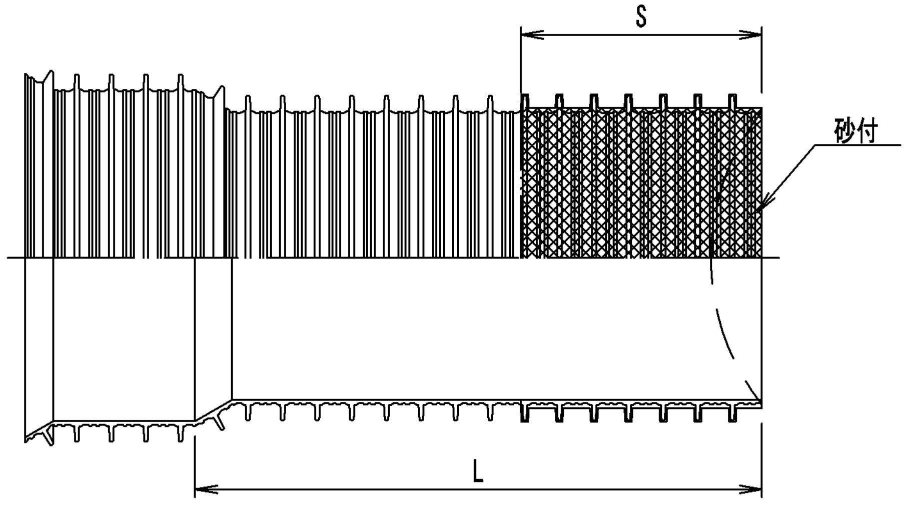
注　マンホールの内径にあわせて破線で示す形状にすることができる。

仙台市建設局

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管（5）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ Ｋ－１３
平成15年2月1日改正

副管分岐用マンホール継手
（略号　MRL-PRP）

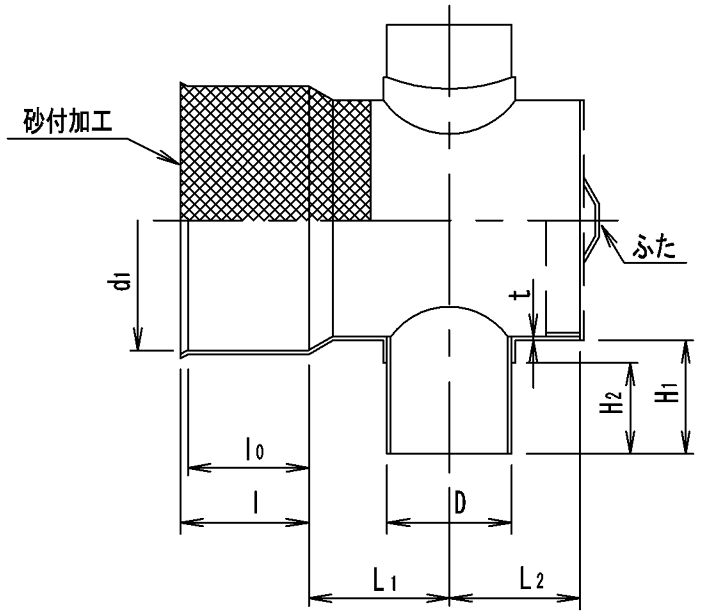


（単位：㎜）

<table>
<tr><th>呼び径</th><th>L</th><th>許容差</th><th>S
（参考）</th></tr>
<tr><td>150</td><td rowspan="7">1,000</td><td rowspan="3">+30
-10</td><td rowspan="7">250</td></tr>
<tr><td>200</td></tr>
<tr><td>250</td></tr>
<tr><td>300</td><td rowspan="4">+40
-10</td></tr>
<tr><td>350</td></tr>
<tr><td>400</td></tr>
<tr><td>450</td></tr>
</table>

注　マンホールの内径にあわせて破線で示す形状にすることができる。

十字型内副管
（略号　MRL-UC-PRP）



（単位：㎜）

呼び径	L_1 （最小）	L 2 （最大）	l （参考）	l_0 （最小）	d_1 （最小）	D	H_1 （最小）	H_2 （最小）	t （最小）
150 － 100	135	175	100	90	171.7	114 ±0.4	120	55	5.1
200 － 150	160	190	115	100	229.7	165 ±0.5	130	85	6.5
250 － 150	160	190	140	115	287.3	165 ±0.5	130	85	7.8
250 － 200	190	215	140	115	287.3	216 ±0.7	150	125	7.8
300 － 150	160	190	170	135	344.9	165 ±0.5	130	85	9.2
300 － 200	190	215	170	135	344.9	216 ±0.7	150	125	9.2

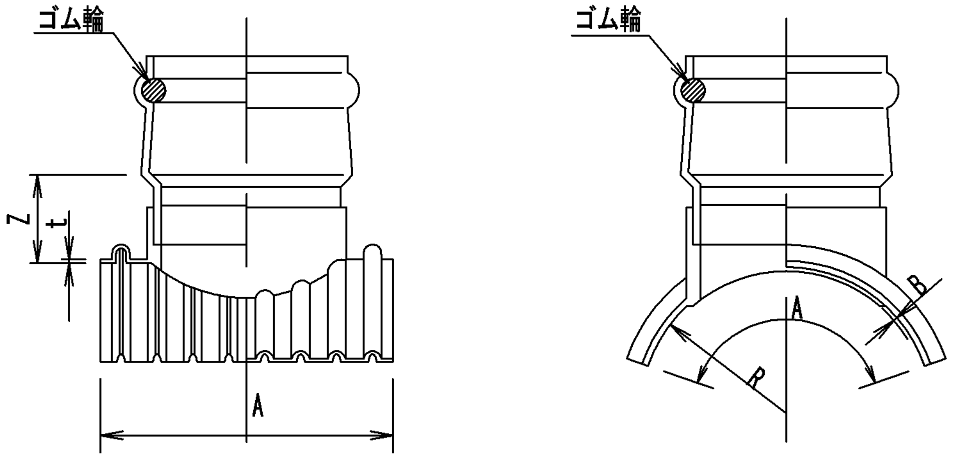
注1.　呼び径は、「本管呼び径-副管呼び径」とする。
　2.　ふたの形状は、規定しない。
　3.　上部点検口の形状は、規定しない。

仙台市建設局

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管（6）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ Ｋ－１３
平成15年2月1日改正

90度支管(取付け管用)
(略号 90SVR-PRP)

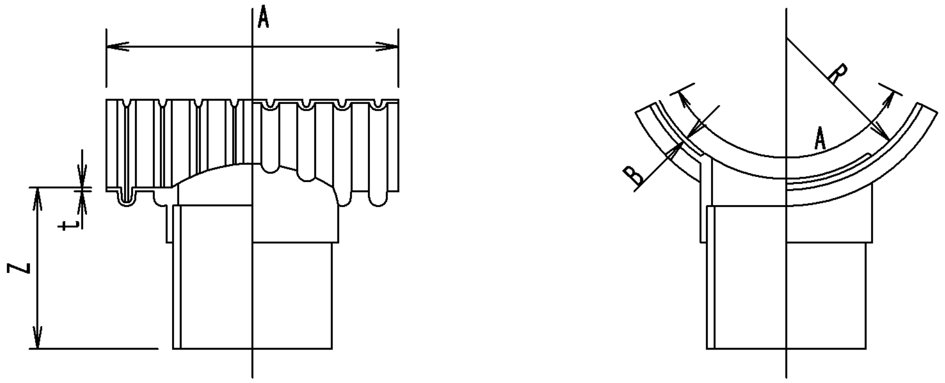


(単位：mm)

呼び径	Z	A (最小)	B (最大)	t (最小)	R	呼び径	Z	A (最小)	B (最大)	t (最小)	R
150 － 100	68	195	4.5	4	79	350 － 100	78	240	5.8	4	180
200 － 100	68	205	4.6		104	350 － 150	83	285			
200 － 125	68	255				350 － 200	98	315			
200 － 150	73	255				400 － 100	81	240	6.5		206
250 － 100	71	190	5.0		129	400 － 150	86	285			
250 － 125	71	250				400 － 200	101	315			
250 － 150	76	250				450 － 100	84	240	6.7		231
250 － 200	91	310				450 － 150	89	285			
300 － 100	75	240	5.5		155	450 － 200	104	315			
300 － 150	80	300									
300 － 200	95	315									

注1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」とする。
2. Ｚの許容差は±15mmとする。
3. Ｒは標準値を示すものであり、許容差は規定しない。
4. ゴム輪の形状及びサドルと短管の接合部の詳細は規定しない。

副管用90度支管
(略号 VS-PRP)



(単位：mm)

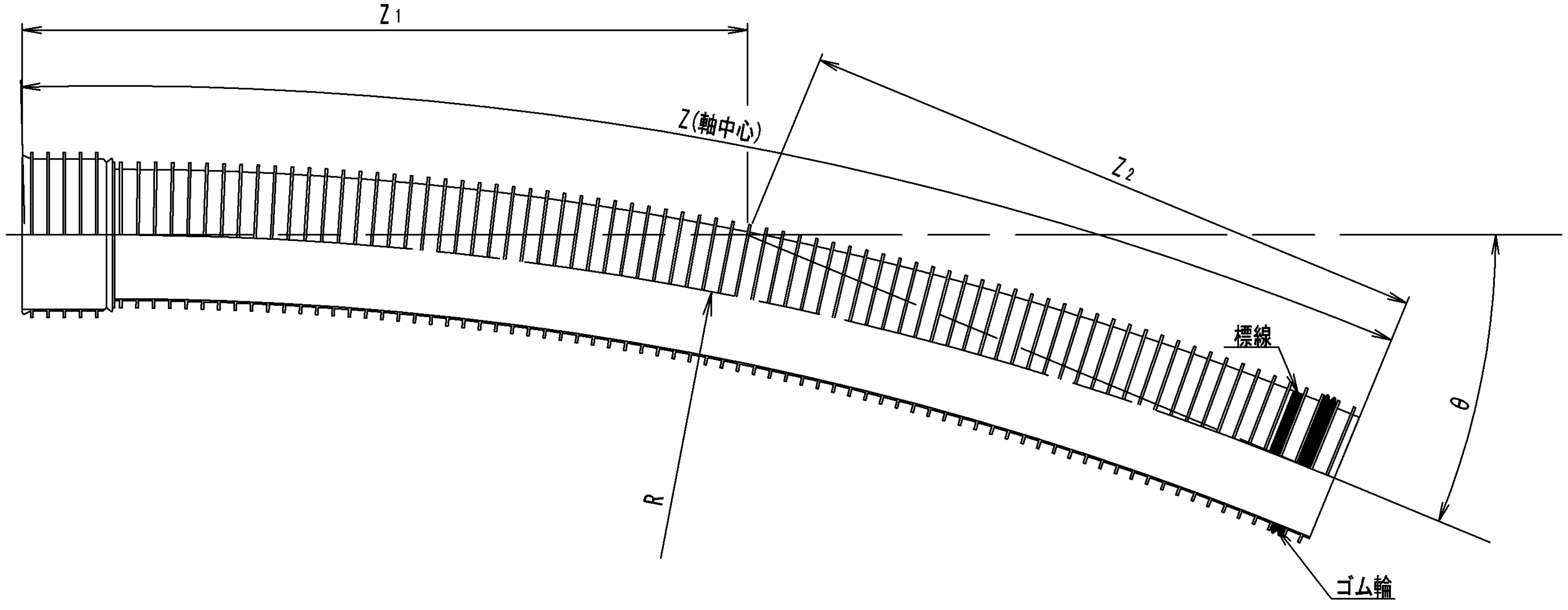
呼び径	Z	A (最小)	B (最大)	t (最小)	R
150 － 100	124	195	4.5	4	79
200 － 125	143	255	4.6		104
200 － 150	163	255			
250 － 125	146	250	5.0		129
250 － 150	166	250			
250 － 200	201	310			
300 － 150	170	300	5.5		155
300 － 200	205	315			
350 － 150	173	285	5.8		180
350 － 200	208	315			
400 － 200	211	315	6.5		206
450 － 200	214	315	6.7		231

注1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」とする。
2. Ｚの許容差は±10mmとする。
3. Ｒは標準値を示すものであり、許容差は規定しない。
4. サドルと短管の接合部の詳細は規定しない。

仙台市建設局

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管（7）

リブ付曲管



（単位：mm）

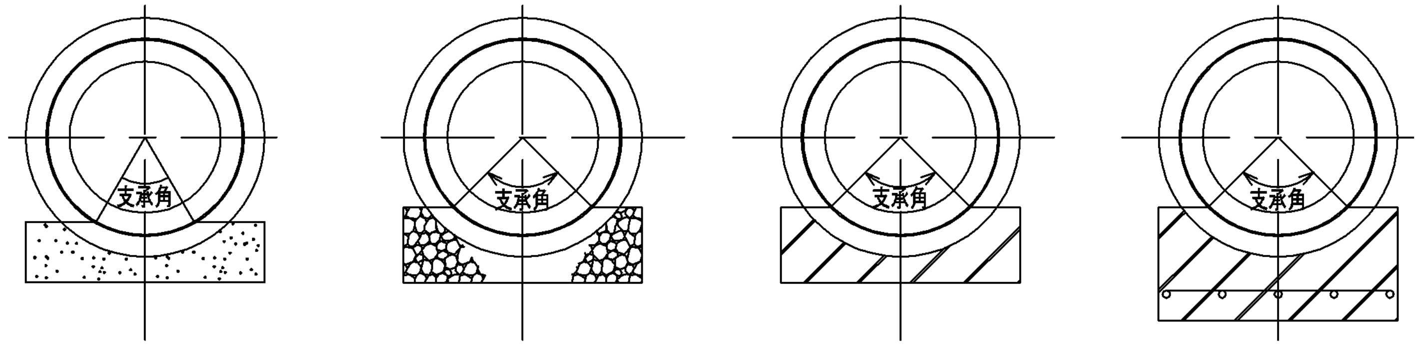
呼び径	θ＝5°				θ＝10°				θ＝11° 1/4				θ＝22° 1/2			
	Z1	Z2	Z	R（m）	Z1	Z2	Z	R（m）	Z1	Z2	Z	R（m）	Z1	Z2	Z	R（m）
150	487	561	1,045	10	925	1,174	2,095	10	−	−	−	−	1,045	1,140	2,160	5
200																
250																
300	497	638	1,135		935	1,338	2,270		552	727	1,275	5	−	−	−	−

仙台市建設局

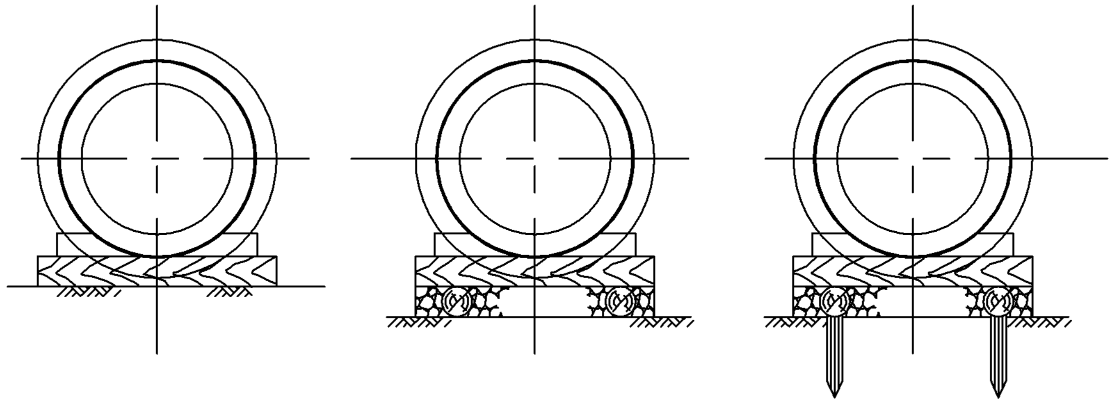
管渠基礎工の種類

剛性管の基礎工の種類

砂基礎(自由)　砂利又は砕石基礎(自由)　コンクリート基礎(固定)　鉄筋コンクリート基礎(固定)



(参考)
まくら木基礎　はしご胴木基礎　鳥居基礎



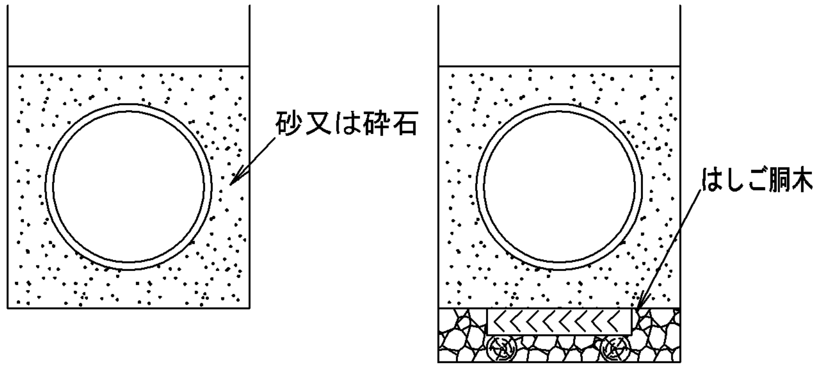
管の種類と基礎

管種＼地盤		硬質土及び普通土	軟弱土	極軟弱土
剛性管	鉄筋コンクリート管 レジンコンクリート管	砂基礎 砕石基礎 コンクリート基礎	砂基礎 砕石基礎 はしご胴木基礎 コンクリート基礎	はしご胴木基礎 鳥居基礎 鉄筋コンクリート基礎
可とう性管	硬質塩化ビニル管 ポリエチレン管	砂基礎	砂基礎 ベットシート基礎 ソイルセメント基礎	ベットシート基礎 ソイルセメント基礎 はしご胴木基礎 布基礎
	強化プラスチック複合管	砂基礎 砕石基礎		
	リブ付硬質塩化ビニル管	砕石基礎	砕石基礎 ベットシート基礎 ソイルセメント基礎	
	ダクタイル鋳鉄管 鋼管	砂基礎	砂基礎	砂基礎 はしご胴木基礎 布基礎

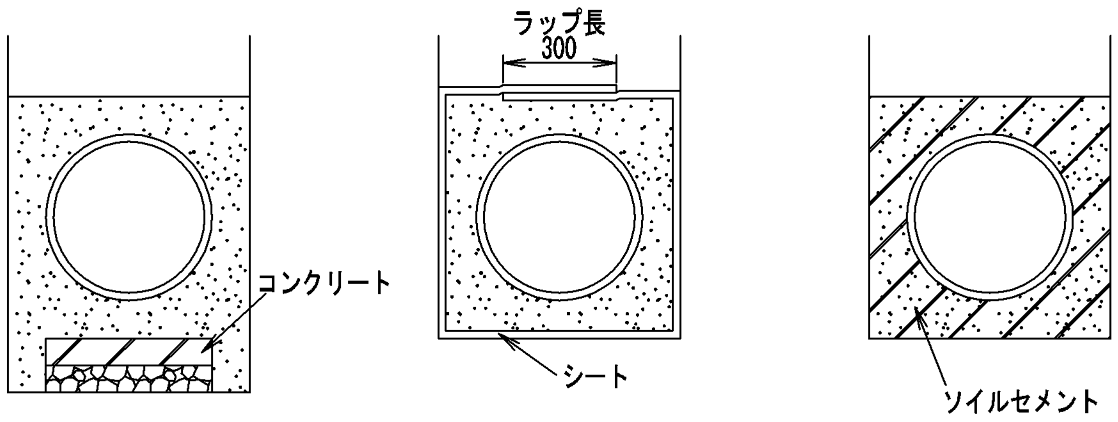
注1.　岩盤に敷設する場合は、応力を均等に分布できる構造となる基礎とする。
2.　地盤の区分を例示すると、右表、地盤の区分例のとおりである。
3.　砕石基礎とする場合は、取付管を防護シート等で防護する。

可とう性管の基礎工の種類

砂基礎　はしご胴木基礎



布基礎　ベッドシート基礎　ソイルセメント基礎

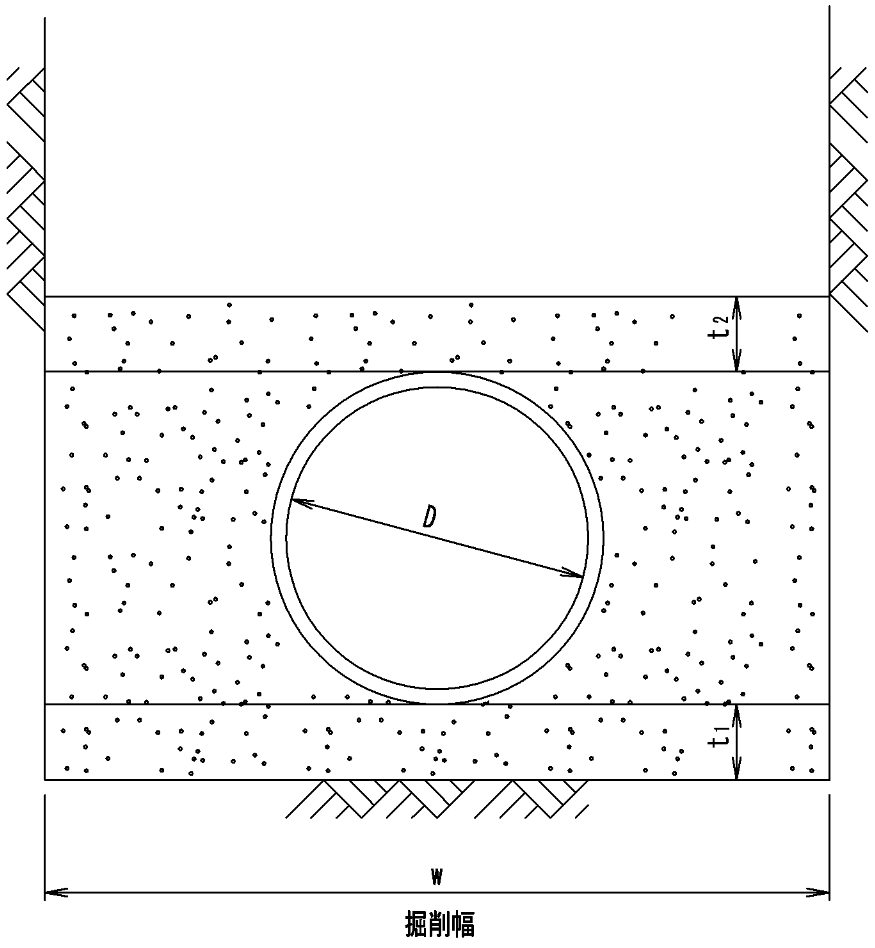


地盤の区分例

地盤	代表的な土質
硬質土	硬質粘土、れき混り土及びれき混り砂
普通土	砂、ローム及び砂質粘土
軟弱土	シルト及び有機質土
極軟弱土	非常に緩い、シルト及び有機質土

仙台市建設局

砂基礎構造図（可とう性管の場合）

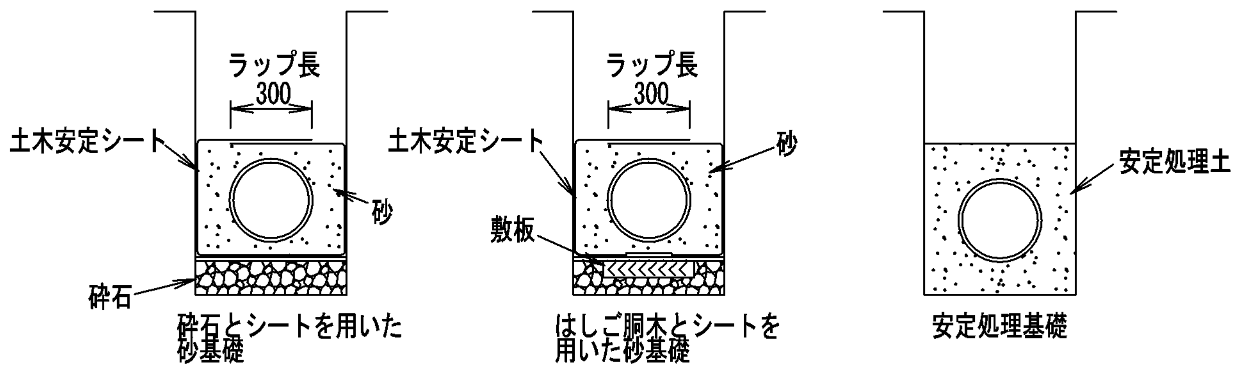


寸　法　表

管径（D）	t 1	t 2	w
200～250	100	100	掘削幅
300	100	100	〃
350	150	100	〃
400	150	100	〃
450	150	100	〃

砂基礎工に使用する砂は、最大粒径20㎜以下74μふるい通過重量率が10%以下の川砂等とする。

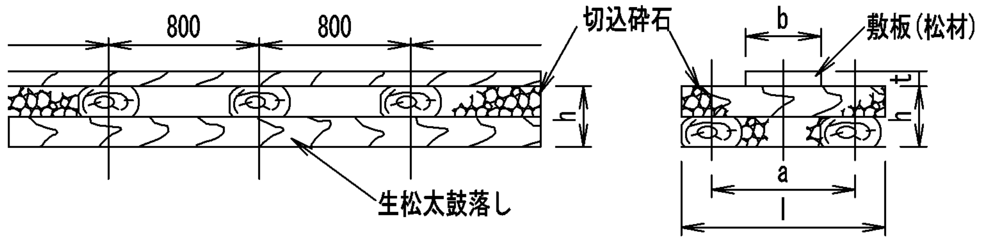
（参　考）



軟弱地盤の基礎例

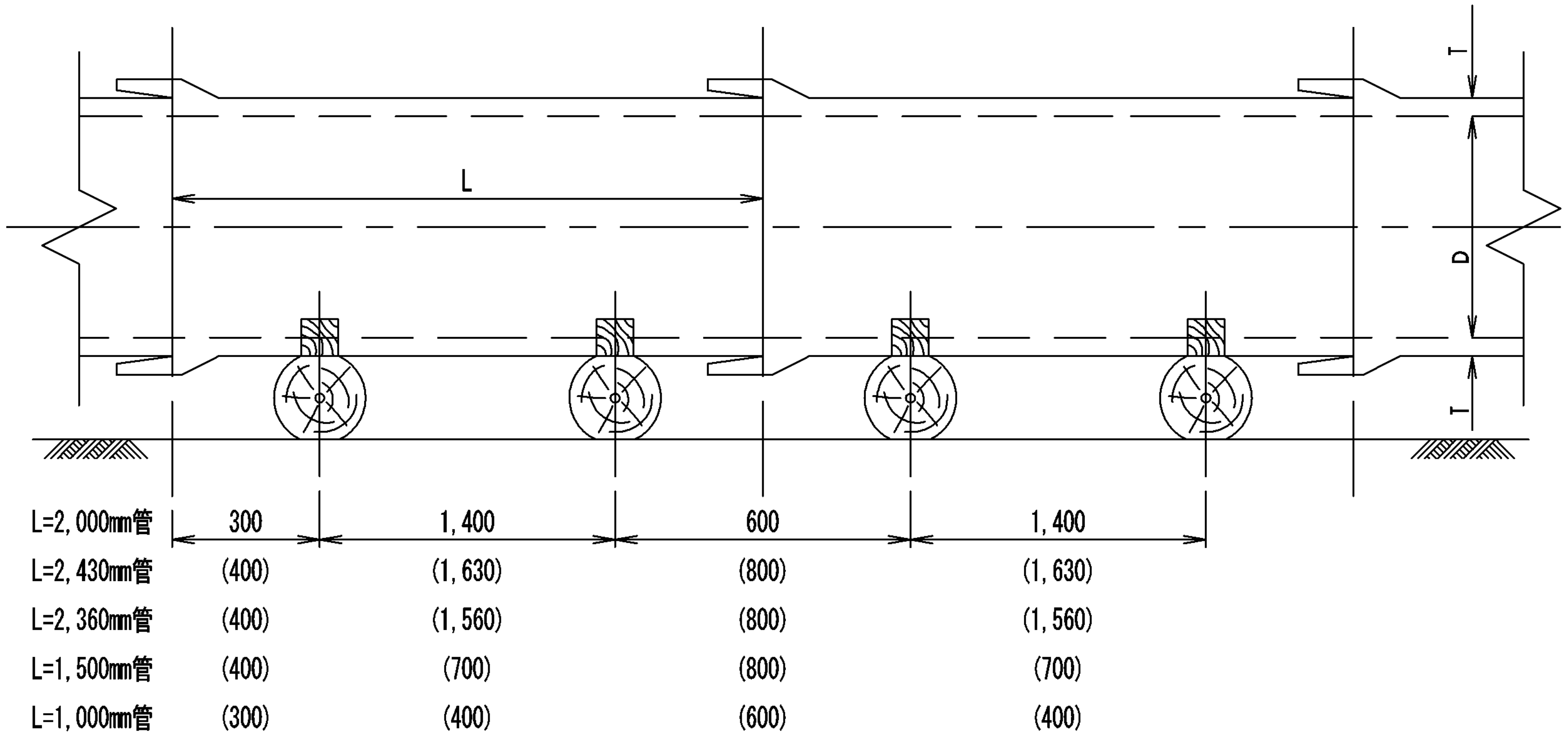
（参　考）　　　　（単位：㎜）

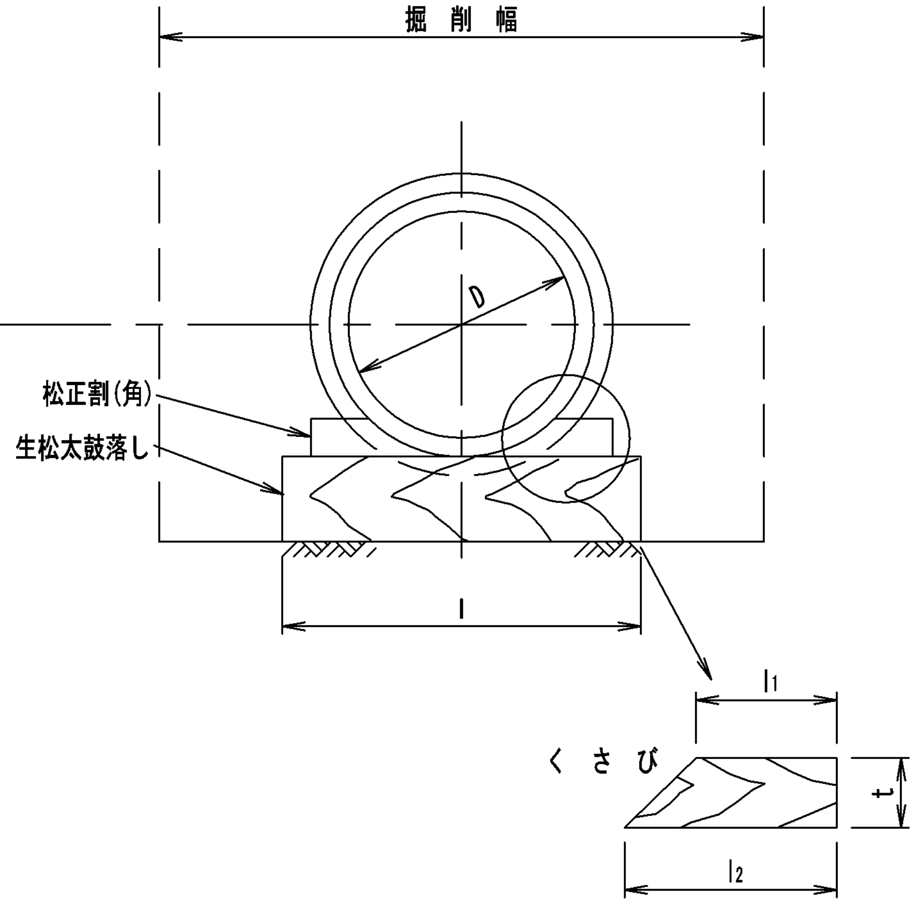
管の呼び	切込砕石	はしご胴木			敷　板	
	厚さ（h）	縦木間隔（a）	胴木幅（l）	胴木厚（h）	板　幅（b）	板厚（t）
200～400	165	300	450	165	160～300	15
450～600	180	400	600	180	340～450	15
700～800	240	600	900	240	520～600	15



仙台市建設局

まくら土台基礎構造図（剛性管　内径250～1,800mm）



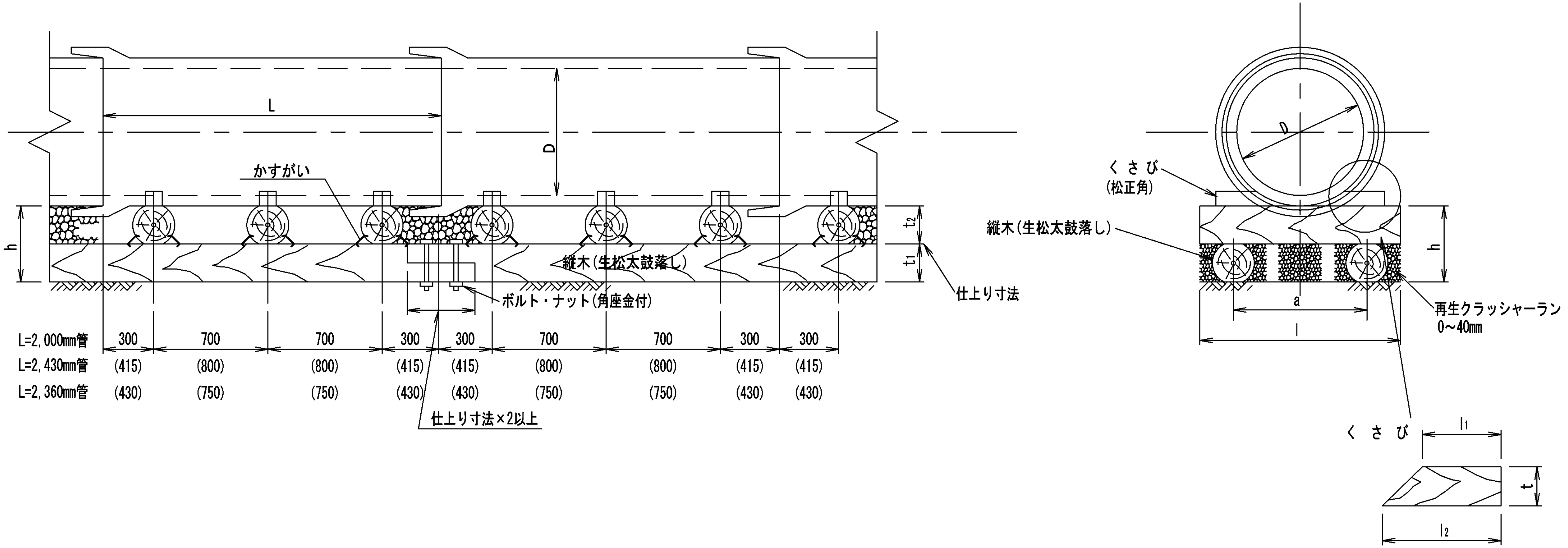


まくら土台基礎・材料寸法表

内径（D）（mm）	基礎幅 l（mm）	横木材（生松太鼓落し）		くさび材（mm）	くさび寸法（mm）			釘	
		末口（mm）	仕上り（T）（mm）	松正割角（t）（mm）	l_1	l_2	t	呼名	長（mm）
250 ～ 350	450	105	75	60 × 60	100	170	60		
400	450	120	90	60 × 60	100	180	60	N125	127
450 ～ 600	600	120	90	60 × 60	150	230	60		
700 ～ 1,000	900	150	120	75 × 75	200	300	75		
1,100 ～ 1,200	1,200	150	120	75 × 75	300	400	75		
1,350	1,500	150	120	75 × 75	300	400	75	N150	152
1,500	1,500	180	150	90 × 90	350	450	90		
1,650 ～ 1,800	1,800	180	150	90 × 90	350	450	90		

仙台市建設局

はしご胴木基礎構造図（剛性管　内径250～1,800㎜）



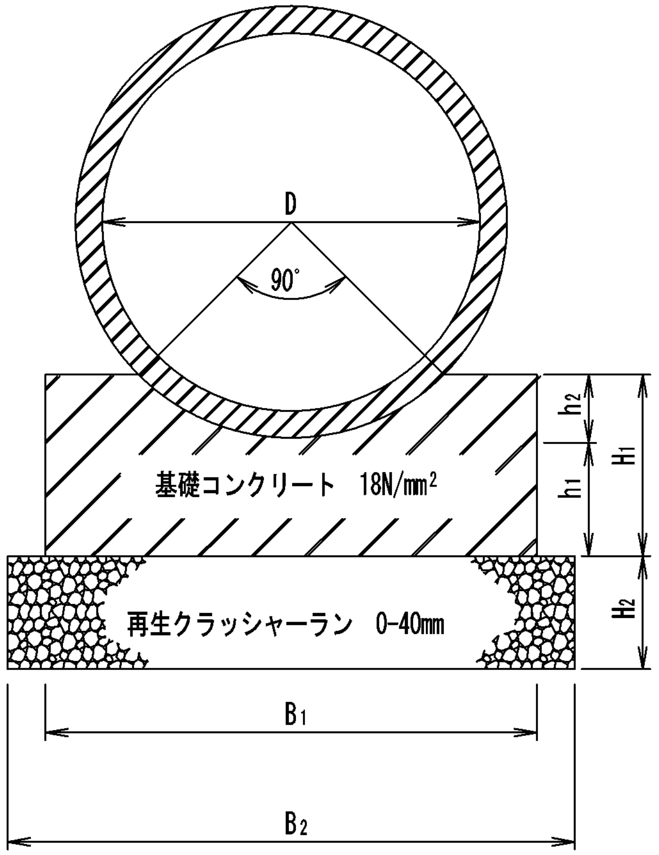
はしご胴木基礎寸法表

内径（D）（㎜）	縦木間隔（a）（㎜）	基礎幅（l）（㎜）	基礎工（h）（㎜）	縦木寸法（t1）（㎜）	横木寸法（t2）（㎜）	くさび寸法（㎜） l1	l2	t	釘	かすがい	ボルトナット
250　～ 350	300	450	165	9.0 × 9.0	7.5 × 7.5	100	170	60	N125 × 127	9.0 × 150	9 × 125
400	300	450	180	9.0 × 9.0	9.0 × 9.0	100	180	60			
450　～ 600	400	600	180	9.0 × 9.0	9.0 × 9.0	150	230	60			
700　～ 1,000	600	900	240	12.0 × 12.0	12.0 × 12.0	200	300	75	N150 × 152	9.0 × 180	9 × 150
1,100　～ 1,200	800	1,200	240	12.0 × 12.0	12.0 × 12.0	300	400	75			
1,350	1,000	1,500	240	12.0 × 12.0	12.0 × 12.0	300	400	75		12 × 210	13 × 210
1,500	1,000	1,500	300	15.0 × 15.0	15.0 × 15.0	350	450	90			
1,650　～ 1,800	1,200	1,800	300	15.0 × 15.0	15.0 × 15.0	350	450	90			

仙台市建設局

コンクリート90°基礎構造図

断　面　図



寸　法　表

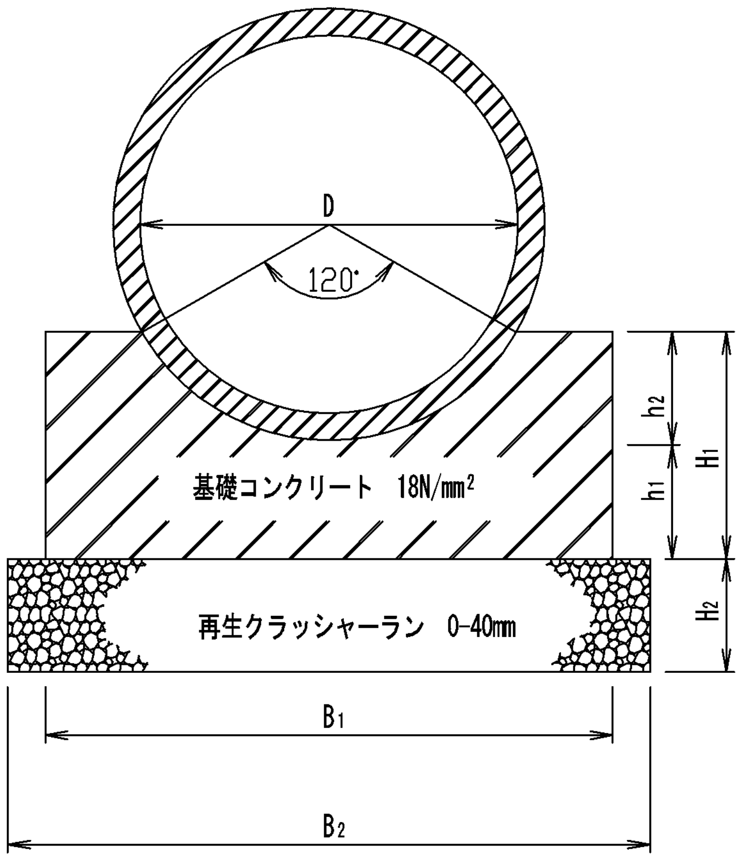
(単位：mm)

内　径 D	基礎幅 B1	基礎幅 B2	基礎厚 H1	基礎厚 H2	基礎厚 h1	基礎厚 h2
250	400	500	145	100	100	45
300	450	550	155	100	100	55
350	500	600	165	100	100	65
400	550	650	170	100	100	70
450	600	700	180	100	100	80
500	650	750	240	150	150	90
600	750	850	255	150	150	105
700	900	1,000	270	150	150	120
800	1,000	1,100	340	150	200	140
900	1,150	1,250	355	150	200	155
1,000	1,250	1,350	370	150	200	170
1,100	1,350	1,450	440	150	250	190
1,200	1,500	1,600	455	150	250	205
1,350	1,650	1,750	530	150	300	230
1,500	1,800	1,900	555	150	300	255
1,650	2,000	2,100	630	150	350	280
1,800	2,150	2,250	655	150	350	305
2,000	2,350	2,450	735	150	400	335

仙台市建設局

コンクリート120°基礎構造図

断　面　図



寸　法　表

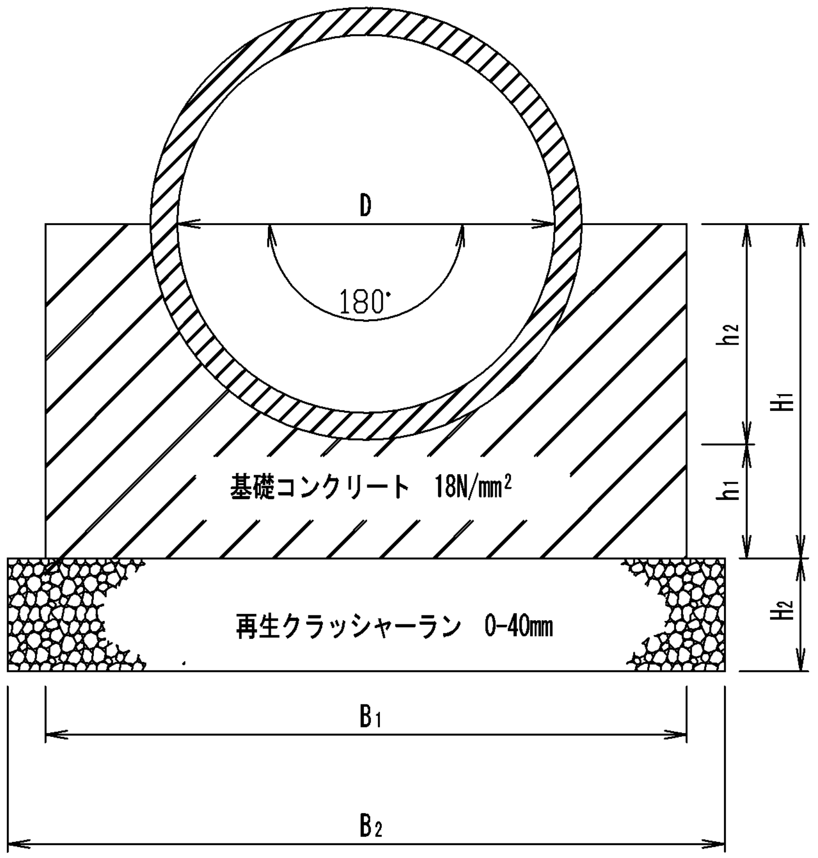
（単位：mm）

内径 D	基礎幅		基礎厚			
	B_1	B_2	H_1	H_2	h_1	h_2
250	450	550	180	100	100	80
300	500	600	190	100	100	90
350	550	650	205	100	100	105
400	600	700	220	100	100	120
450	650	750	235	100	100	135
500	750	850	300	150	150	150
600	900	1,000	325	150	150	175
700	1,000	1,100	355	150	150	205
800	1,150	1,250	435	150	200	235
900	1,300	1,400	465	150	200	265
1,000	1,450	1,550	495	150	200	295
1,100	1,550	1,650	570	150	250	320
1,200	1,700	1,800	600	150	250	350
1,350	1,900	2,000	690	150	300	390
1,500	2,100	2,200	735	150	300	435
1,650	2,250	2,350	825	150	350	475
1,800	2,450	2,550	865	150	350	515
2,000	2,750	2,850	975	150	400	575

仙台市建設局

コンクリート180° 基礎構造図

断　面　図



寸　法　表

(単位：mm)

内　径 D	基 礎 幅		基　礎　厚			
	B 1	B 2	H 1	H 2	h 1	h 2
250	500	600	255	100	100	155
300	550	650	280	100	100	180
350	600	700	310	100	100	210
400	650	750	335	100	100	235
450	750	850	365	100	100	265
500	850	950	445	150	150	295
600	1,000	1,100	500	150	150	350
700	1,150	1,250	560	150	150	410
800	1,300	1,400	670	150	200	470
900	1,450	1,550	725	150	200	525
1,000	1,600	1,700	785	150	200	585
1,100	1,750	1,850	890	150	250	640
1,200	1,900	2,000	945	150	250	695
1,350	2,100	2,200	1,080	150	300	780
1,500	2,300	2,400	1,165	150	300	865
1,650	2,500	2,600	1,295	150	350	945
1,800	2,700	2,800	1,380	150	350	1,030
2,000	3,050	3,150	1,545	150	400	1,145

仙台市建設局

コンクリート巻立数量表

コンクリート90°巻立基礎数量表
（B形ヒューム管）

（普通地盤）

口　径	コンクリート量 1m当たりm^3	砕　石　量 1m当たりm^3	型わく量 1m当たりm^2	残　土　量 1m当たりm^3
250 mm	0.051	0.050	0.29	0.177
300 mm	0.059	0.055	0.31	0.219
350 mm	0.068	0.060	0.33	0.266
400 mm	0.076	0.065	0.34	0.318
450 mm	0.086	0.070	0.36	0.378
500 mm	0.128	0.113	0.48	0.515
600 mm	0.153	0.128	0.51	0.675
700 mm	0.192	0.150	0.54	0.878
800 mm	0.271	0.165	0.68	1.137
900 mm	0.322	0.188	0.71	1.402
1,000 mm	0.358	0.203	0.74	1.658
1,100 mm	0.464	0.218	0.88	2.003
1,200 mm	0.530	0.240	0.91	2.340
1,350 mm	0.683	0.263	1.06	2.915
1,500 mm	0.762	0.285	1.11	3.467
1,650 mm	0.974	0.315	1.26	4.201
1,800 mm	1.069	0.338	1.31	4.849

コンクリート120°巻立基礎数量表
（B形ヒューム管）

（普通地盤）

口　径	コンクリート量 1m当たりm^3	砕　石　量 1m当たりm^3	型わく量 1m当たりm^2	残　土　量 1m当たりm^3
250 mm	0.065	0.055	0.36	0.196
300 mm	0.074	0.060	0.38	0.239
350 mm	0.085	0.065	0.41	0.288
400 mm	0.096	0.070	0.44	0.343
450 mm	0.107	0.075	0.47	0.404
500 mm	0.169	0.128	0.60	0.571
600 mm	0.214	0.150	0.65	0.758
700 mm	0.248	0.165	0.71	0.949
800 mm	0.359	0.188	0.87	1.248
900 mm	0.424	0.210	0.93	1.526
1,000 mm	0.495	0.233	0.99	1.825
1,100 mm	0.618	0.248	1.14	2.187
1,200 mm	0.703	0.270	1.20	2.543
1,350 mm	0.916	0.300	1.38	3.185
1,500 mm	1.052	0.330	1.47	3.802
1,650 mm	1.268	0.353	1.65	4.533
1,800 mm	1.426	0.383	1.73	5.251

コンクリート180°巻立基礎数量表
（B形ヒューム管）

（普通地盤）

口　径	コンクリート量 1m当たりm^3	砕　石　量 1m当たりm^3	型わく量 1m当たりm^2	残　土　量 1m当たりm^3
250 mm	0.089	0.060	0.51	0.255
300 mm	0.102	0.065	0.56	0.272
350 mm	0.116	0.070	0.62	0.324
400 mm	0.129	0.075	0.67	0.381
450 mm	0.162	0.085	0.73	0.464
500 mm	0.239	0.143	0.89	0.656
600 mm	0.303	0.165	1.00	0.862
700 mm	0.374	0.188	1.12	1.098
800 mm	0.517	0.210	1.34	1.428
900 mm	0.605	0.233	1.45	1.730
1,000 mm	0.704	0.255	1.57	2.056
1,100 mm	0.895	0.278	1.78	2.494
1,200 mm	1.011	0.300	1.89	2.881
1,350 mm	1.280	0.330	2.16	3.579
1,500 mm	1.464	0.360	2.33	4.244
1,650 mm	1.782	0.390	2.59	5.084
1,800 mm	1.999	0.420	2.76	5.861

仙台市建設局

マンホール形状別使用基準及び各部名称（組立マンホールを除く）

標準マンホールの形状別使用基準

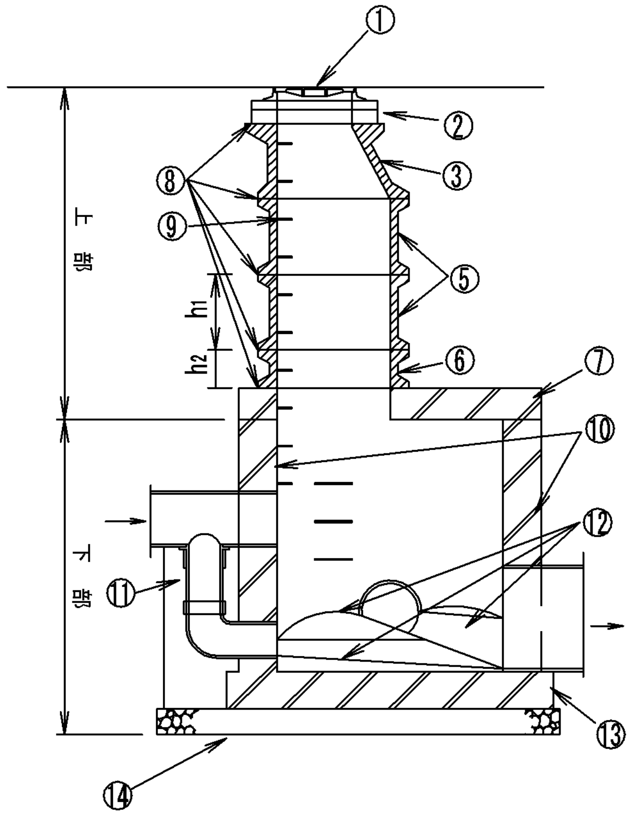
呼 び 方	形 状 寸 法	使 用 基 準
1号マンホール	内　径　90cm 円 形	本管4本の会合点では、2号以上のマンホールを設置すること。管の起点および600mm以下の管の中間点ならびに内径450mmまでの管の会合点。マンホール深4.5m以下
2号マンホール	内　径　120cm 円 形	内径900mm以下の管の中間点および内径600mm以下の管の会合点。マンホール深6.0m以下
3号マンホール	内　径　150cm 円 形	内径1200mm以下の管の中間点および内径800mm以下の管の会合点。マンホール深6.0m以下
4号マンホール	内　径　180cm 円 形	内径1500mm以下の管の中間点および内径900mm以下の管の会合点。マンホール深6.0m以下
5号マンホール	内のり（法）210 × 120cm 角 形	内径1800mm以下の管の中間点。マンホール深6.0m以下
6号マンホール	内のり（法）260 × 120cm 角 形	内径2200mm以下の管の中間点。マンホール深6.0m以下
7号マンホール	内のり（法）300 × 120cm 角 形	内径2400mm以下の管の中間点。マンホール深6.0m以下

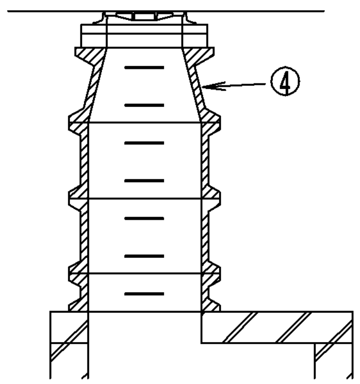
特殊マンホールの形状別使用基準

呼 び 方	形 状 寸 法	使 用 基 準
特1号マンホール	内のり（法）60 × 90cm 角 形	土かぶりが特に少ない場合、他の埋設物等の関係で1号マンホールが設置できない場合。マンホール深5.0m以下
特2号マンホール	内のり（法）120 × 120cm 角 形	内径1000mm以下の管の中間点で、円形マンホールが設置できない場合。マンホール深5.0m以下
特3号マンホール	内のり（法）140 × 120cm 角 形	内径1200mm以下の管の中間点で、円形マンホールが設置できない場合。マンホール深5.0m以下
特4号マンホール	内のり（法）180 × 120cm 角 形	内径1500mm以下の管の中間点で、円形マンホールが設置できない場合。マンホール深5.0m以下
現場打ち管きょ用マンホール	内　径　90，120cm 角 形 内のり（法）D × 120cm 角 形	長方形きょ、馬てい（蹄）形きょ等およびシールド工法による下水管きょの中間点。ただし、Dは管きょの内幅。
特殊マンホールA型	内　径　60cm 円 形 （高さ調整ブロックは、組立1号マンホールと同じものを使用する。）	内径250mm以下の管の中間点で、起点には使用しない。マンホール深1.2m以下
副管付きマンホール		管きょの段差が0.6m以上となる場合。

※ マンホールのスラブまでの高さは、原則として2m以上を確保すること。
※ 中間スラブについては、4.0m以内に設けること。
※ 既製ブロックの高さについては最大3.3mとすること。
※ 標準マンホール、特殊マンホールの壁立上りが高くなる（深い）場合（現場条件により異なる）については、構造計算を行うこと。

マンホール各部の名称





①マンホールふた
②高さ調整コンクリートブロック
③側塊(マンホール片斜壁)
④側塊(マンホール両斜壁)
⑤側塊(マンホール直壁h =600)
⑥側塊(マンホール直壁h =300)
⑦床版
⑧目地モルタル
⑨足掛け金物
⑩側壁(壁立ち上り部)
⑪副　管
⑫インバート
⑬底　版
⑭砕石基礎(再生0～40mm)

仙台市建設局

現場打マンホールの設計条件

１．設計条件（底版コンクリート）

１）材料の単位重量

鉄筋コンクリート　２４．５KN／m^3

２）材料の基準値及び許容応力度

（１）コンクリート

設計基準強度　２４N／mm^2

許容曲げ圧縮応力度　８．０N／mm^2

許容せん断応力度　一般部　０．３５N／mm^2

許容曲げ引張応力度　０．２６N／mm^2

ヤング係数　２．５０×10^4N／mm^2

ポアソン比　０．１５

（２）鉄筋

許容曲げ引張応力度　１８０N／mm^2

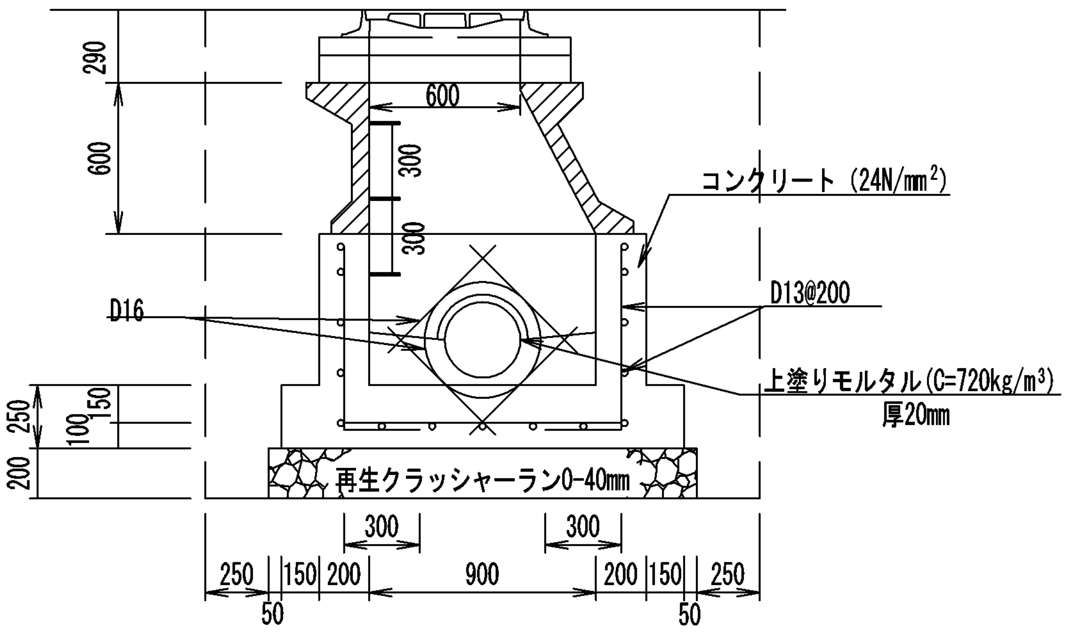
３）活荷重　車道部　Ｔ－２５荷重積載（荷重としては１０ｋＮ）

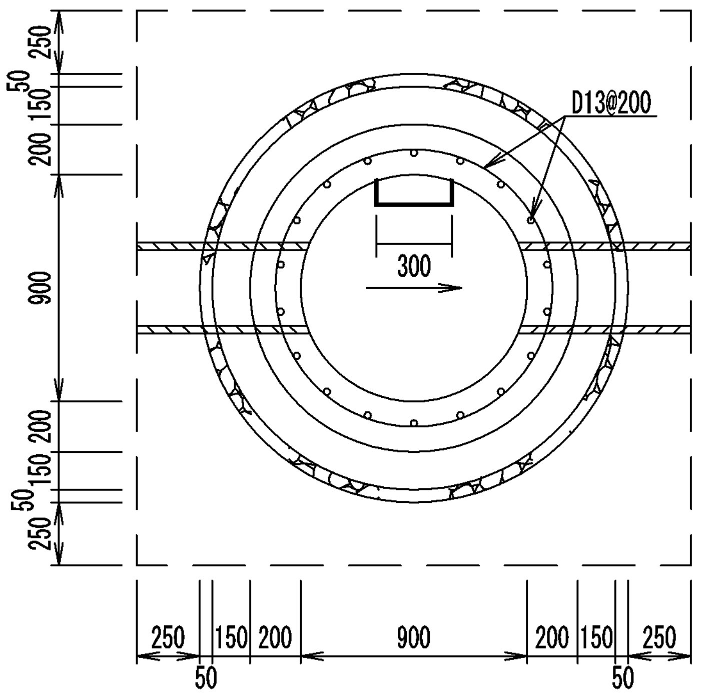
４）その他　地下水（浮力）は考慮してない。

１号、２号、３号、４号マンホールの底版は、円形スラブの周辺固定支持で算定した。

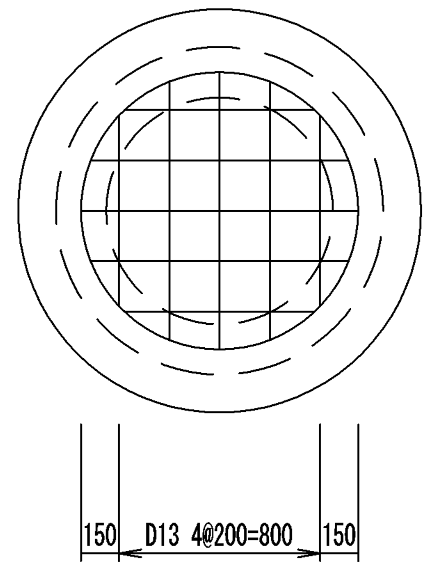
仙台市建設局

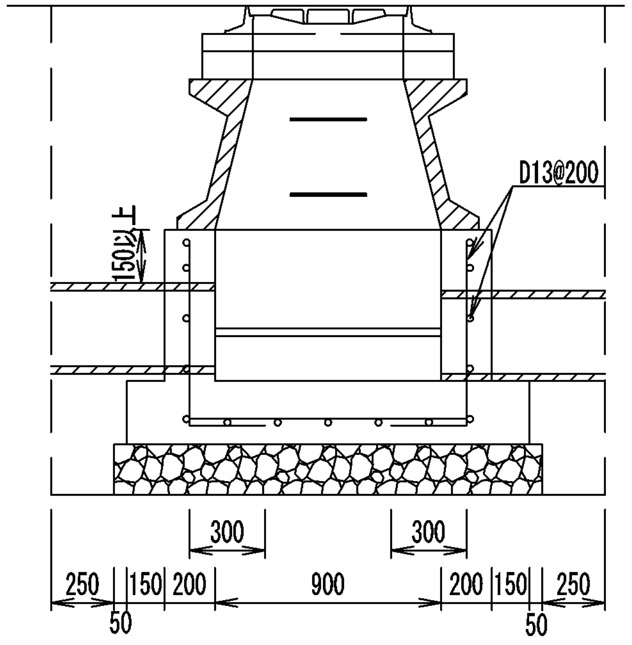
1号マンホール（内径90cm円形）構造標準図　S=1/30





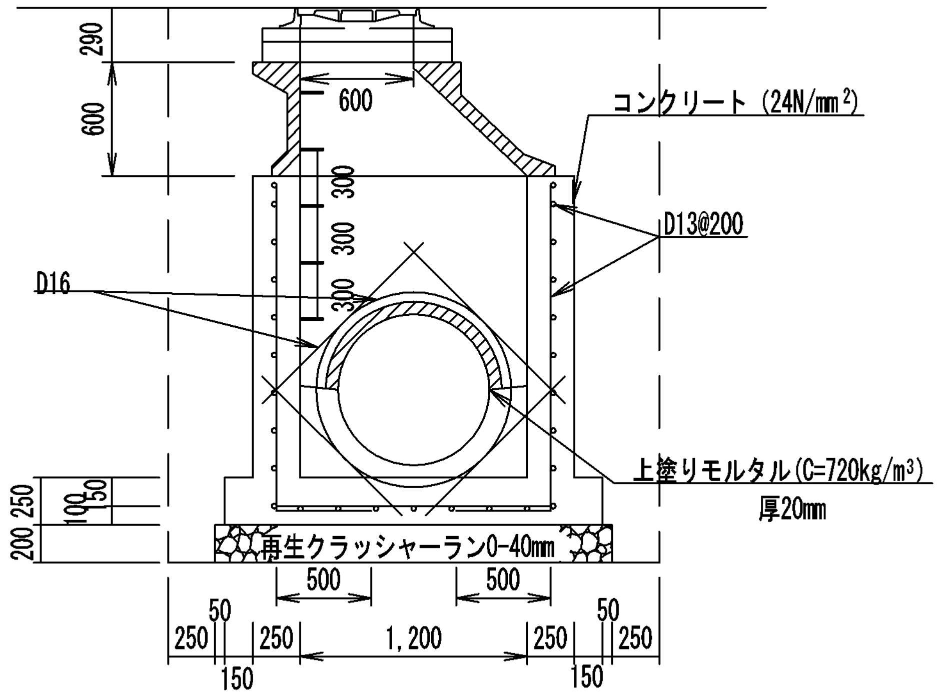
底版部配筋図

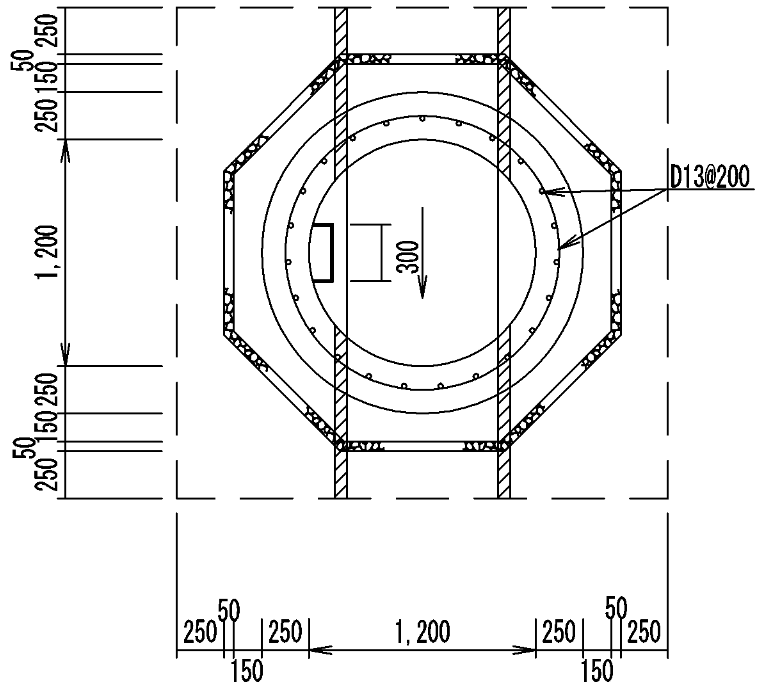




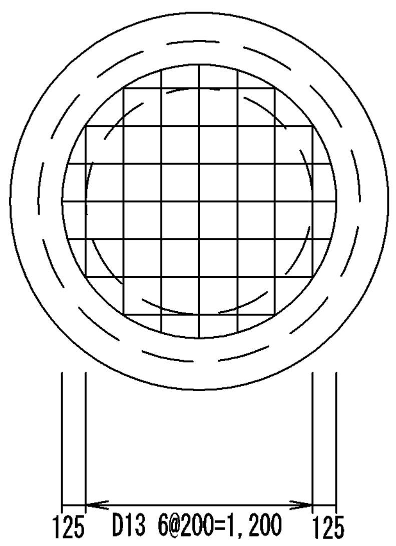
仙台市建設局

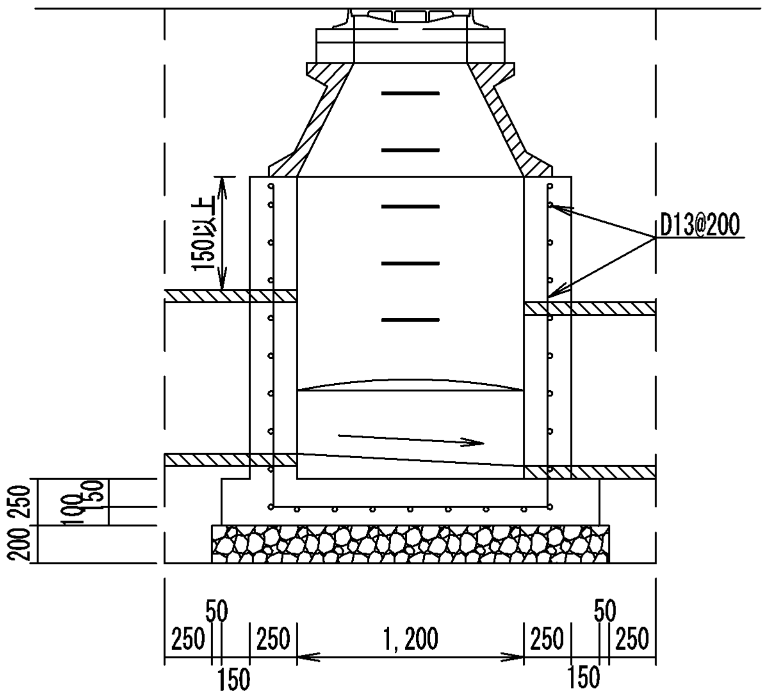
２号マンホール（内径120cm円形）構造標準図　S=1/40





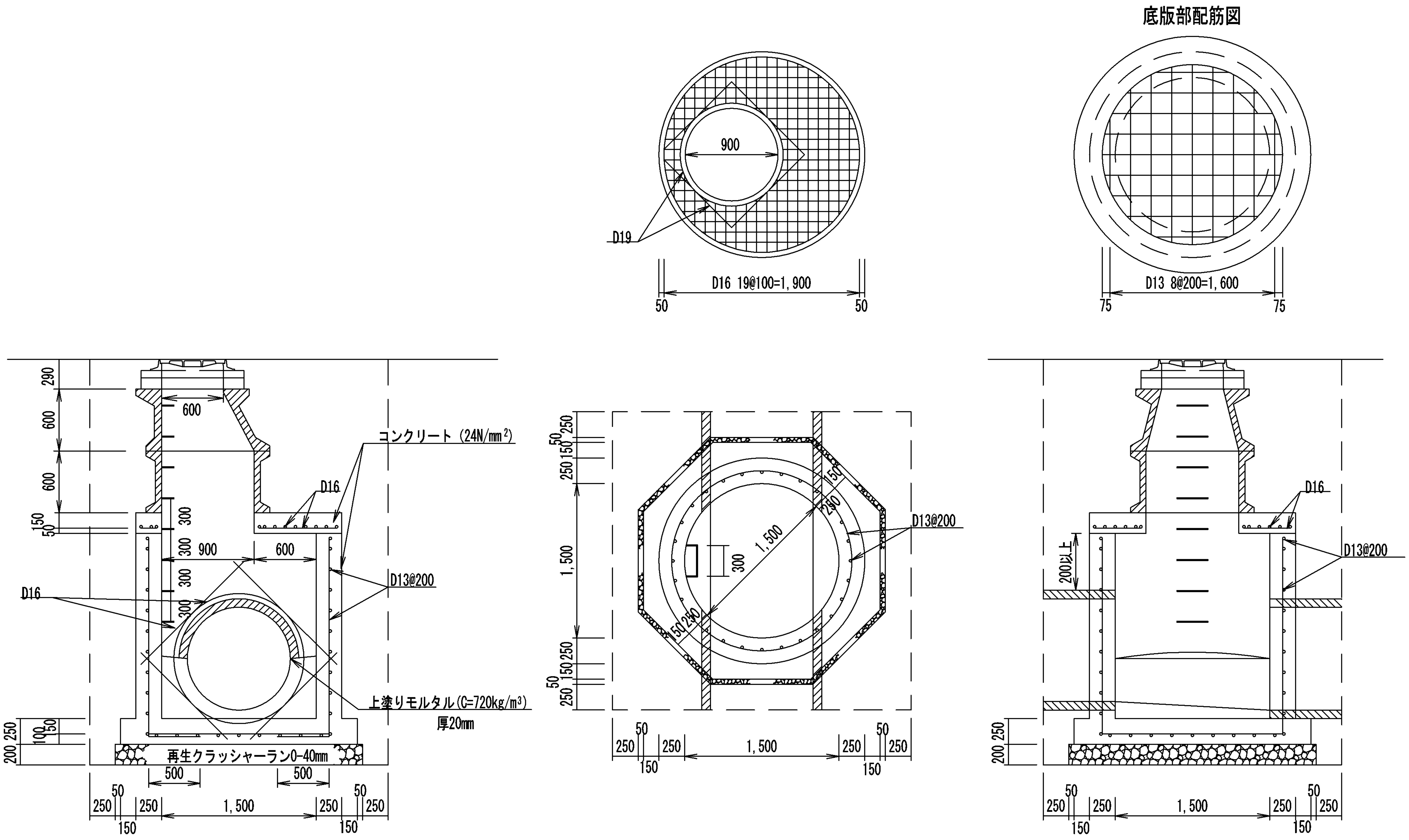
底版部配筋図





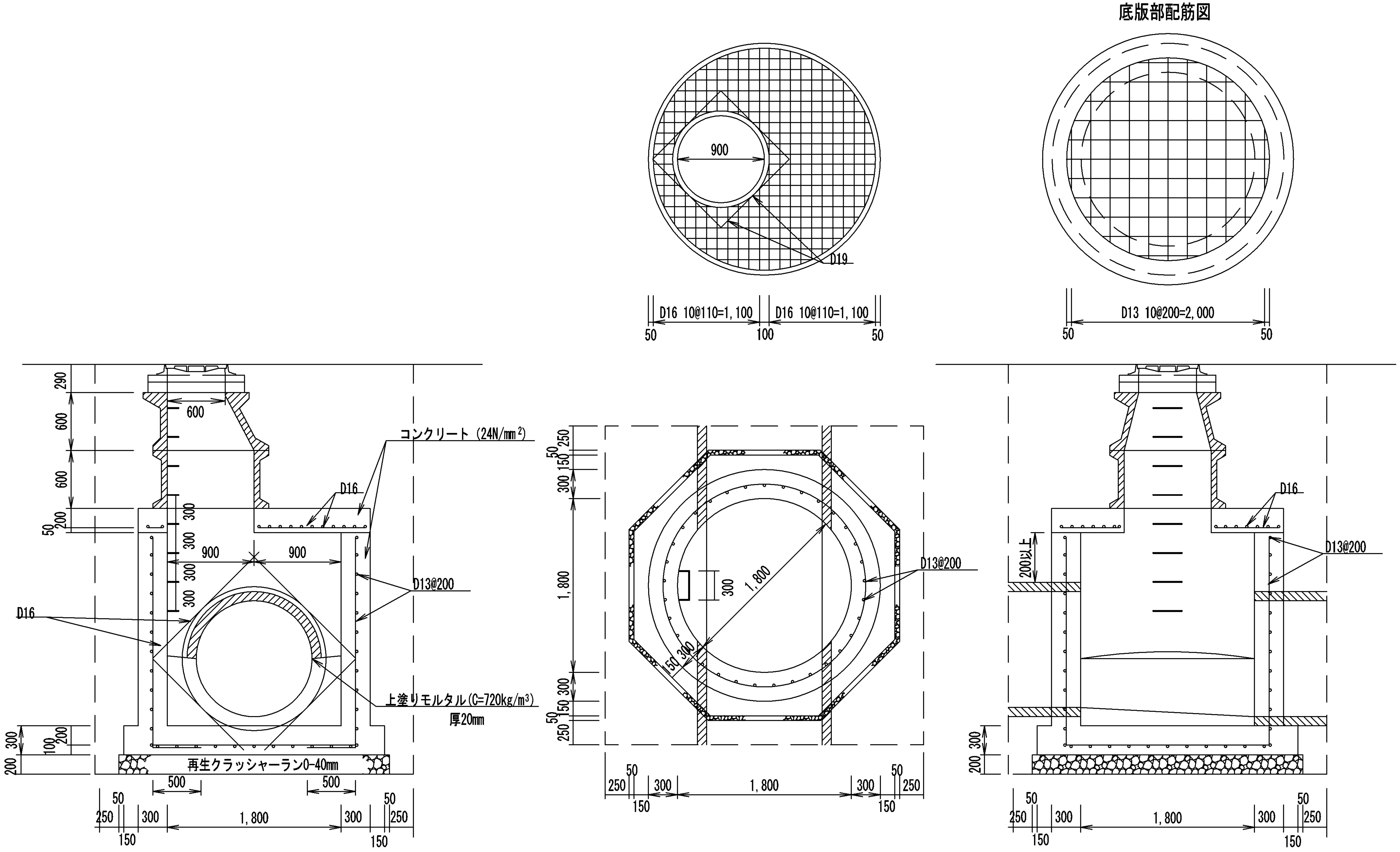
仙台市建設局

3号マンホール（内径150cm円形）構造標準図　S=1/40

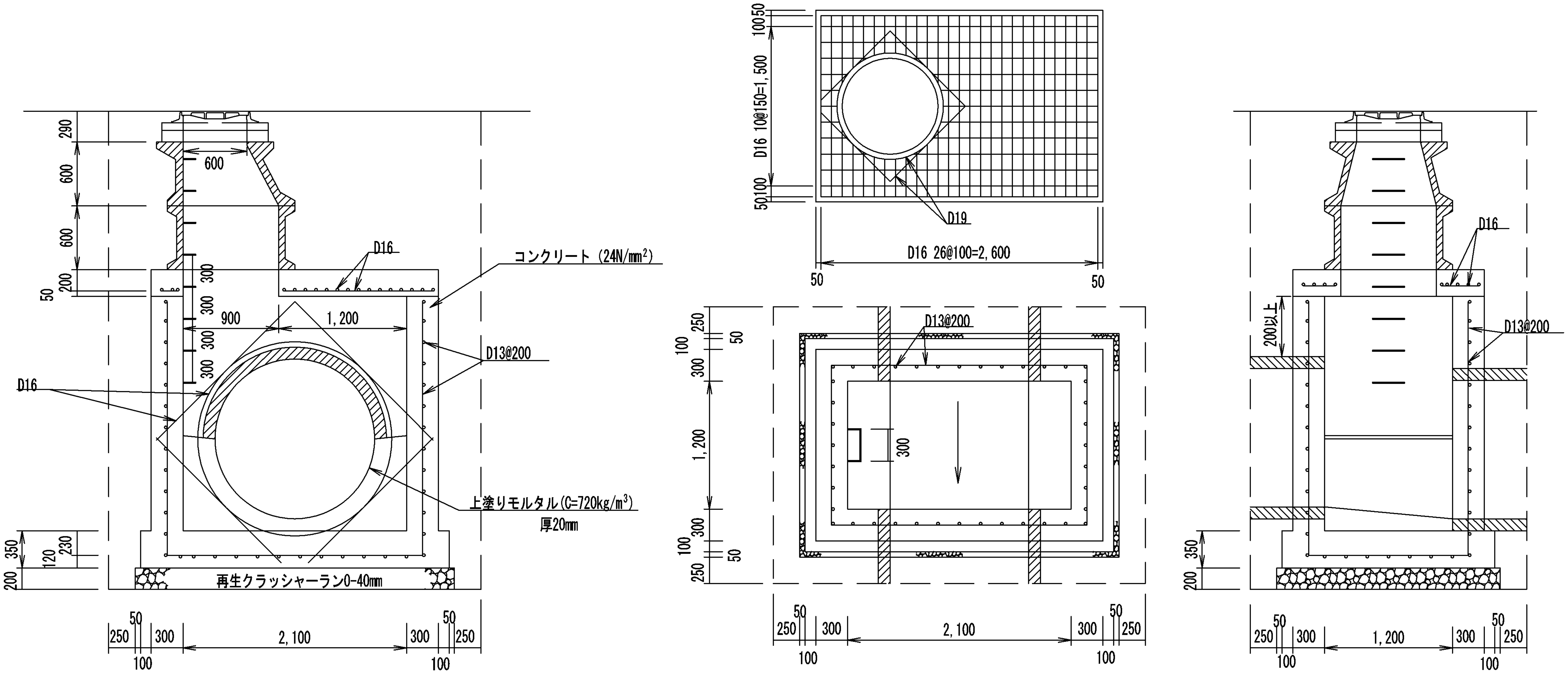


仙台市建設局

4号マンホール（内径180cm円形）構造標準図　S=1/40

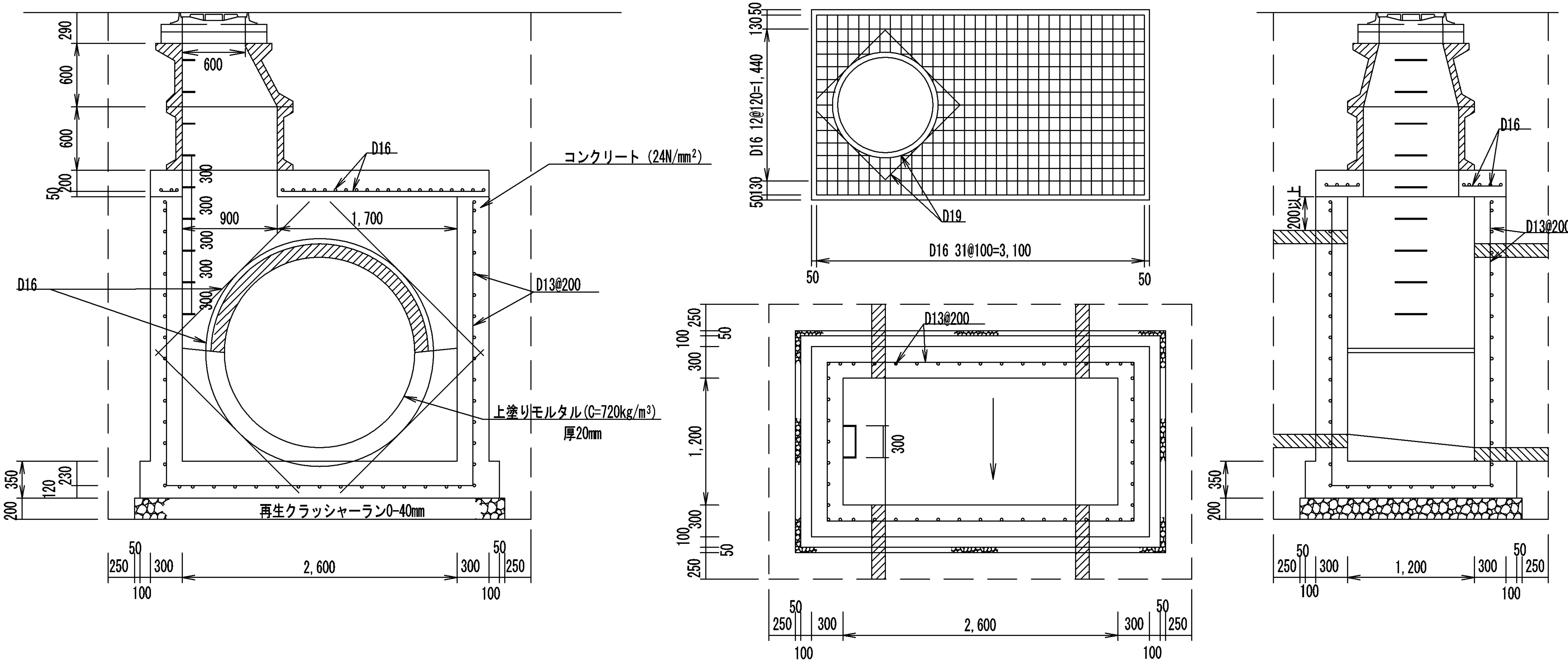


５号マンホール（内法210cm×120cm角形）構造標準図　S=1/40



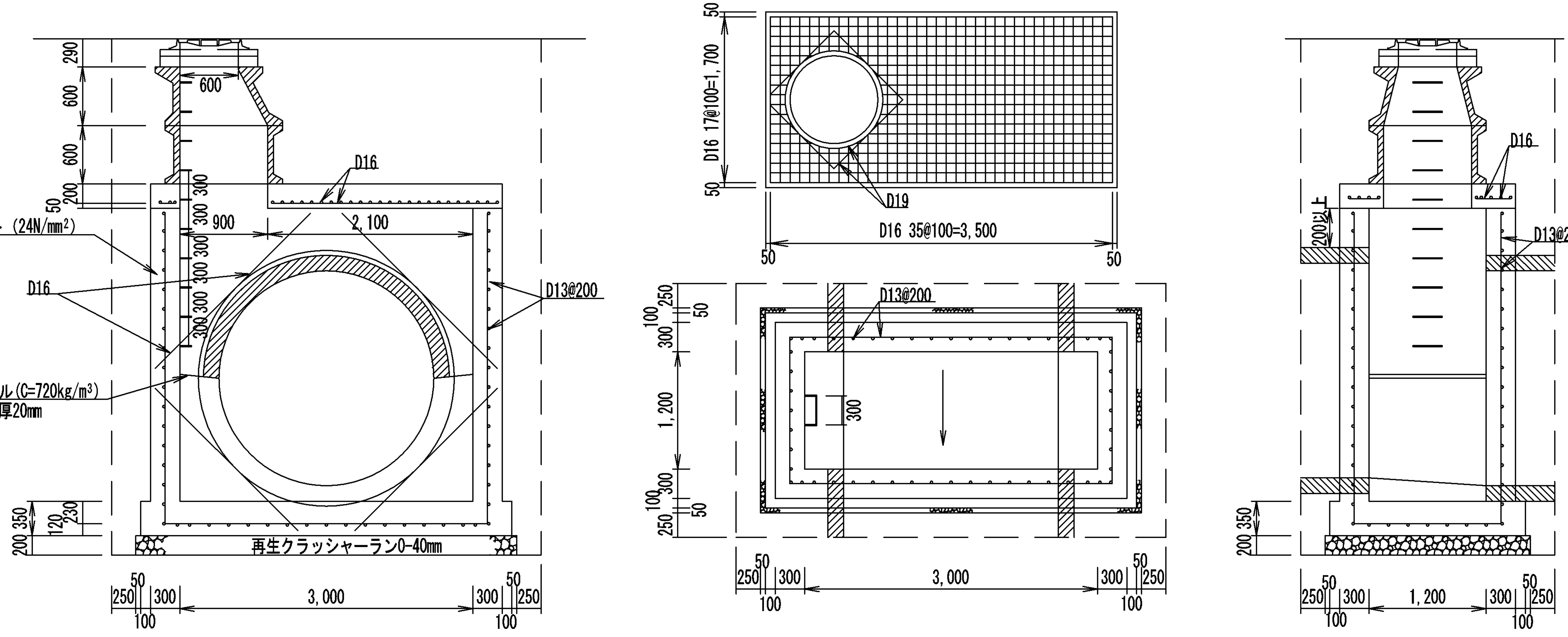
仙台市建設局

６号マンホール（内法260cm×120cm角形）構造標準図　S=1/40



仙台市建設局

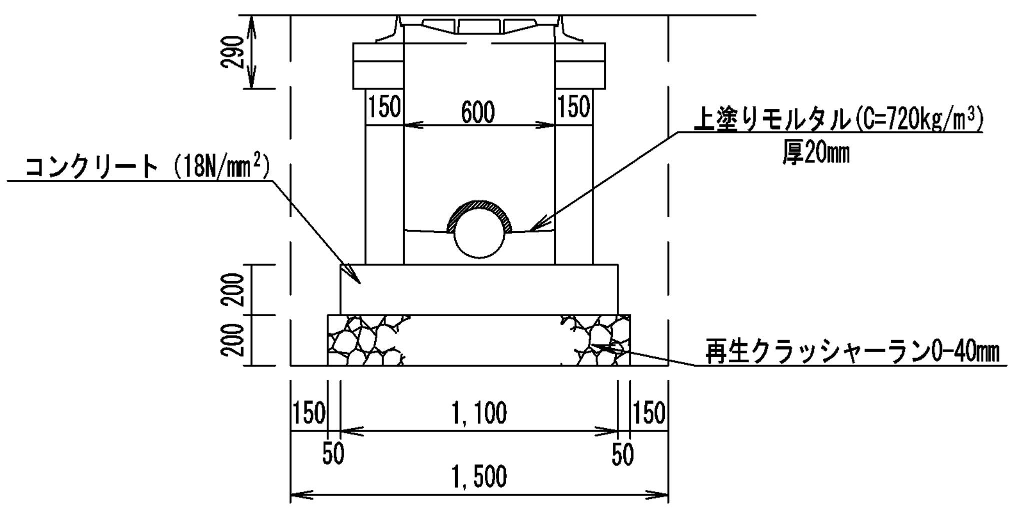
7号マンホール（内法300cm×120cm角形）構造標準図　S=1/50



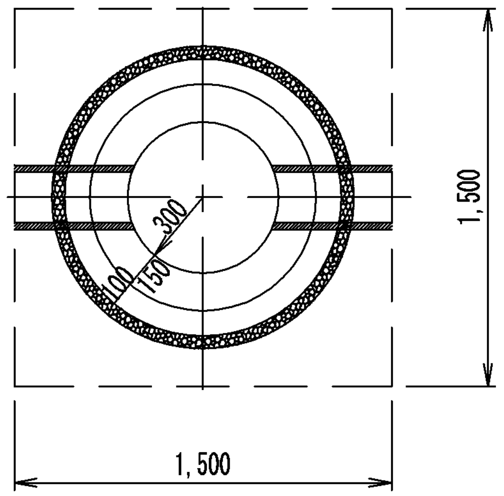
仙台市建設局

特殊マンホール A型（内径60cm円形）構造標準図　S=1/30

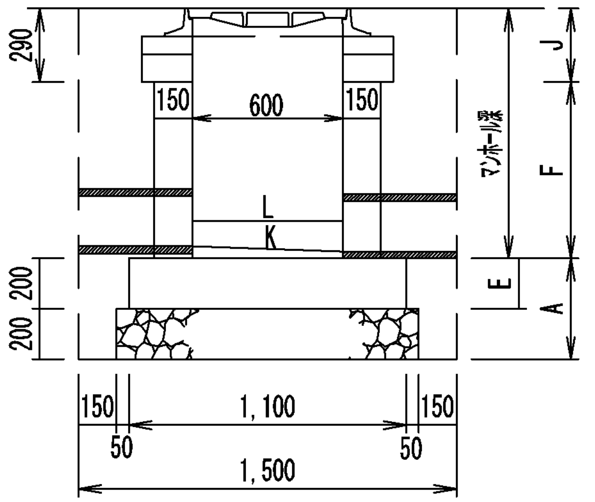
横　断　面　図



平　面　図



縦　断　面　図

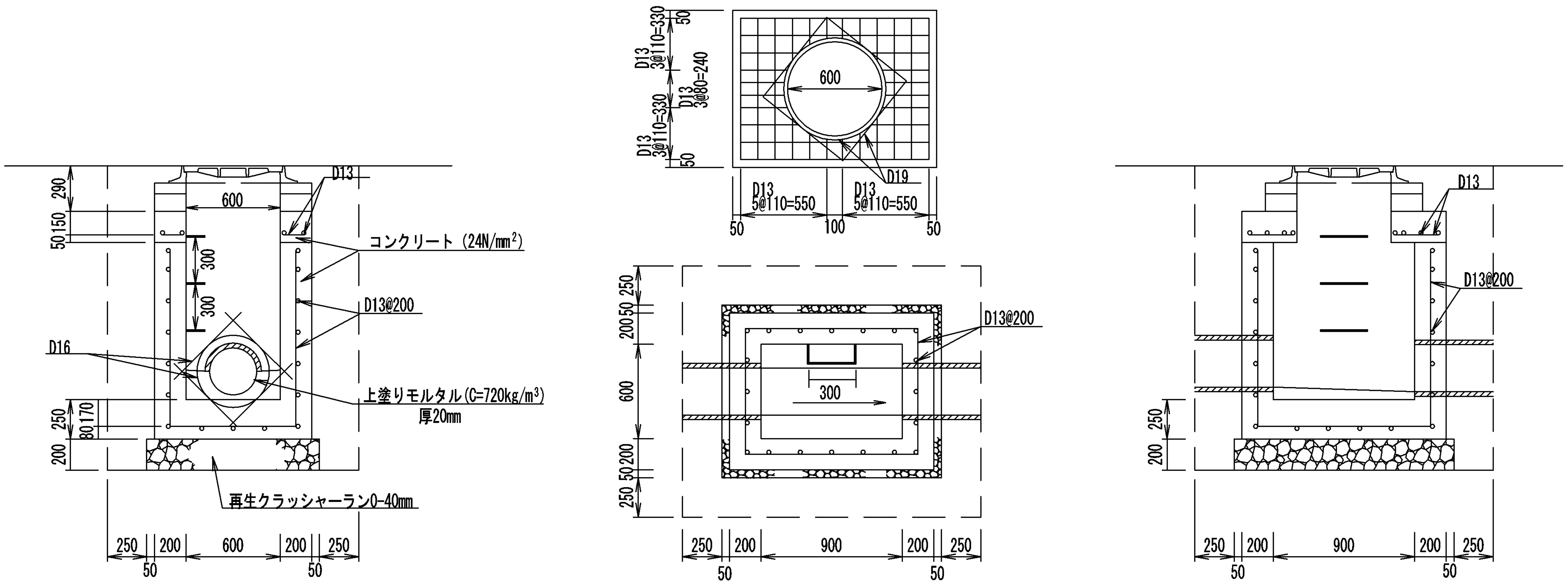


※　私道対策工事等に於いて路面が急傾地でなおかつマンホール深が1.5m以内のものについて適用する。

※　足掛金物の取付は行わないものとする。

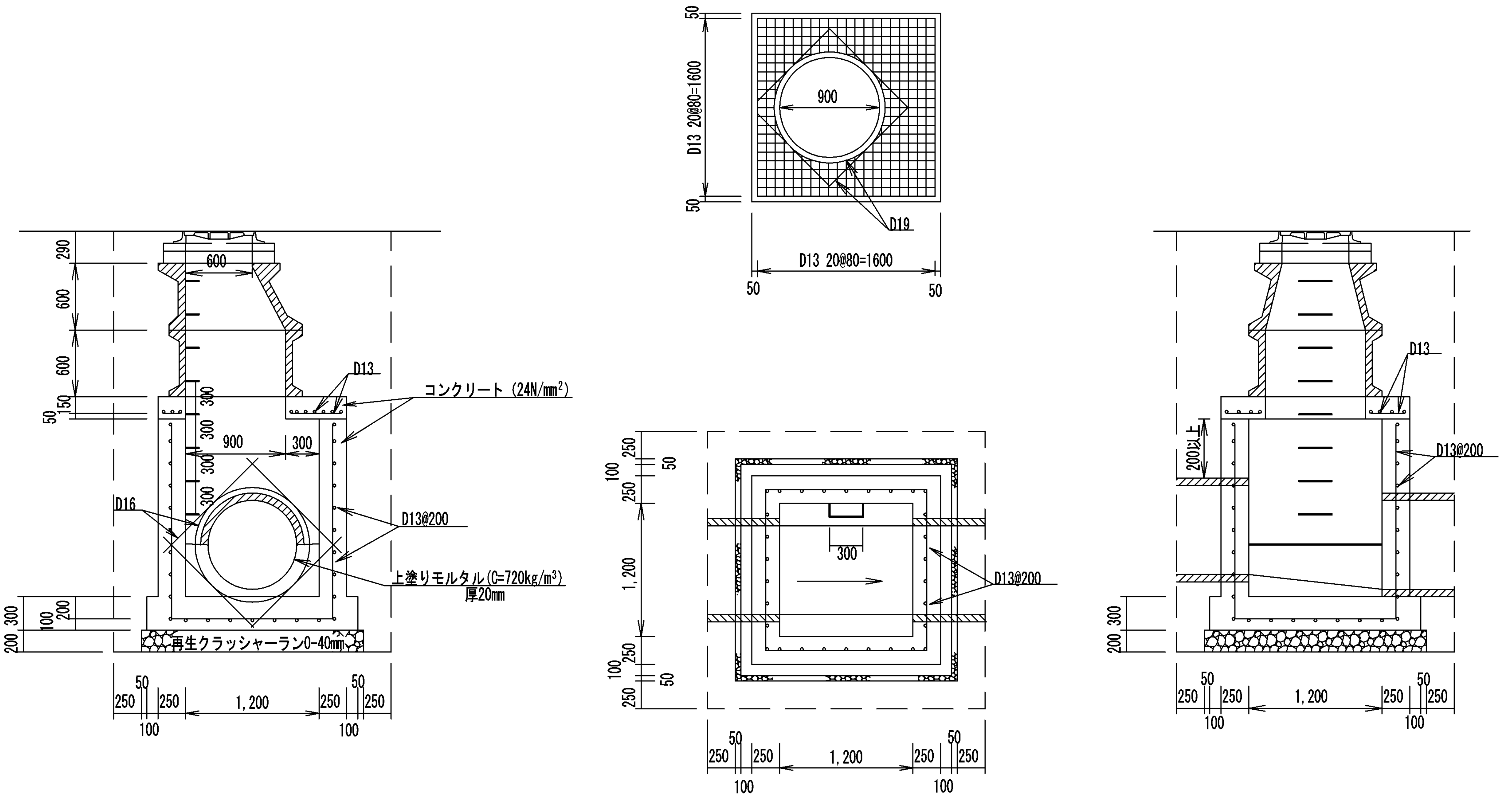
仙台市建設局

特１号マンホール（内法60cm×90cm角形）構造標準図　S=1/30



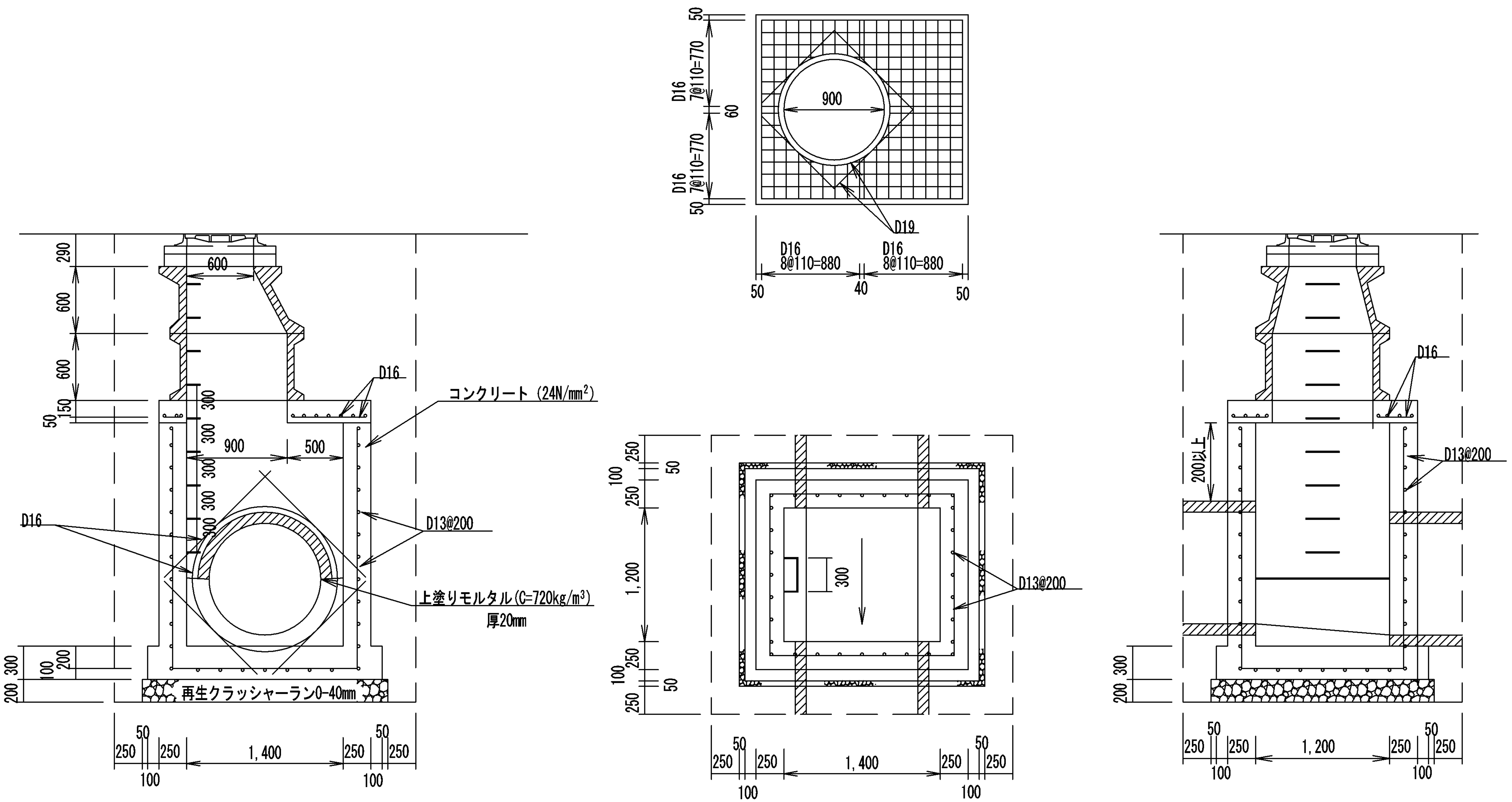
仙台市建設局

特２号マンホール（内法120cm×120cm角形）構造標準図　S=1/40



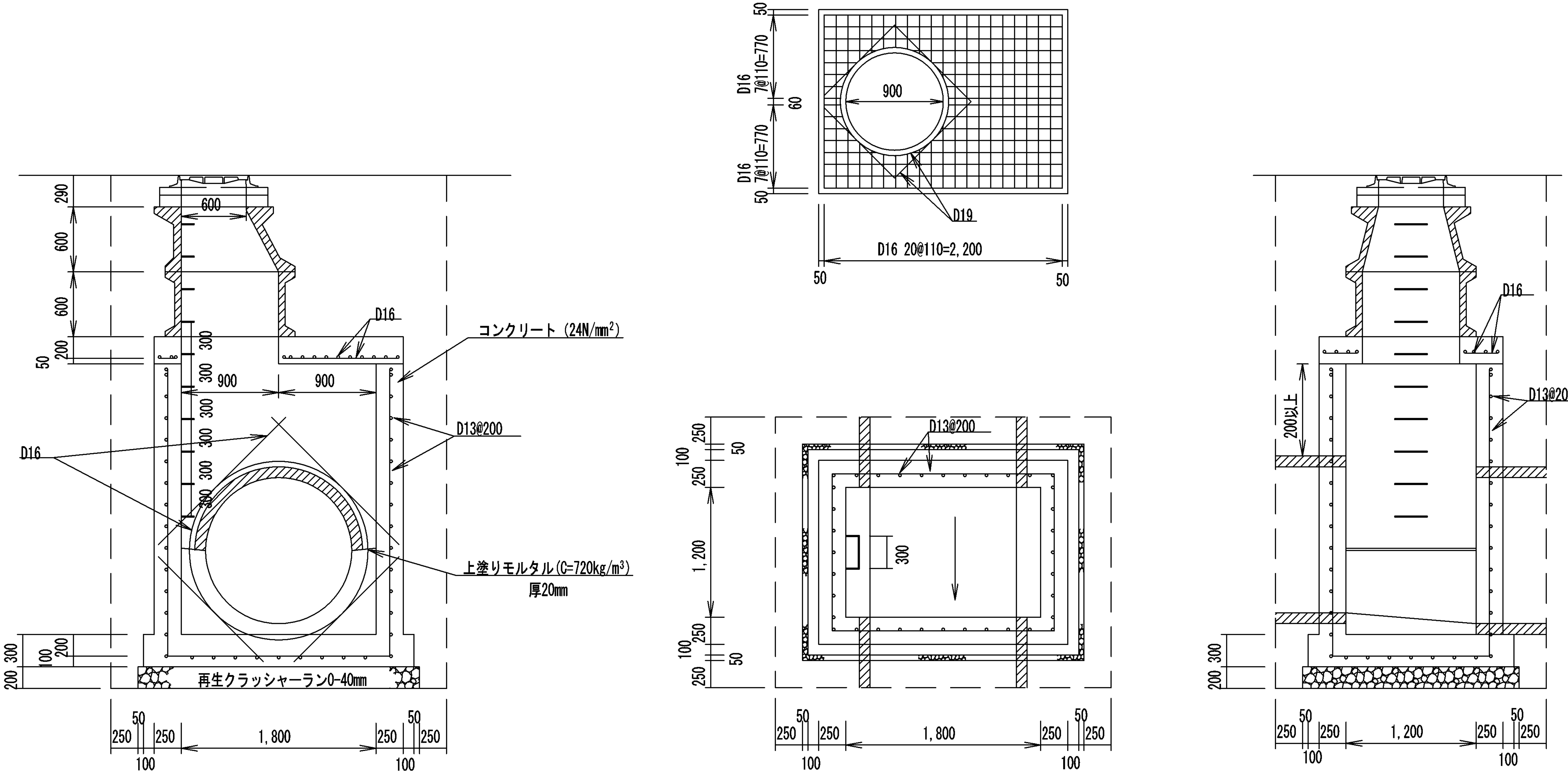
仙台市建設局

特３号マンホール（内法140cm×120cm角形）構造標準図　S=1/40



仙台市建設局

特４号マンホール（内法180cm×120cm角形）構造標準図　S=1/40



仙台市建設局

マンホール頂版鉄筋数量表

マンホール / 鉄筋の種類	3号マンホール kg	4号マンホール kg	5号マンホール kg	6号マンホール kg	7号マンホール kg	特1号マンホール kg	特2号マンホール kg	特3号マンホール kg	特4号マンホール kg
Ｄ１３						16	48		
Ｄ１６	73	106	107	135	169			67	86
Ｄ１９	18	18	18	18	18	13	18	18	18

仙台市建設局

壁立上がり鉄筋数量表（D13底版鉄筋含む）

高さ（m）＼マンホール	1号マンホール kg	2号マンホール kg	3号マンホール kg	4号マンホール kg	5号マンホール kg	6号マンホール kg	7号マンホール kg	特1号マンホール kg	特2号マンホール kg	特3号マンホール kg	特4号マンホール kg	備　考
0.5	46							43	77			
0.6	52							45	80			
0.7	54	77						52	89			
0.8	59	85						54	92	100		
0.9	61	87						60	102	110		
1.0	67	94						62	105	114		
1.1	69	96	121					68	114	123		
1.2	74	104	130					70	117	127	141	
1.3	76	106	133					76	127	137	151	
1.4	82	113	141	175				78	130	140	155	
1.5	83	115	144	186				84	139	150	166	
1.6	89	123	153	189				86	142	153	170	
1.7	91	125	155	199	205			92	152	163	180	
1.8	96	132	164	202	209	242		94	155	167	184	
1.9	98	134	167	213	221	255		100	164	177	195	
2.0	104	142	175	216	225	260	285	102	167	180	199	
2.1	106	144	178	226	238	274	300	108	177	190	209	
2.2	111	151	187	229	242	278	305	110	180	193	213	
2.3	113	153	190	240	254	292	320	117	189	203	224	
2.4	119	161	198	243	258	296	325	119	192	207	228	
2.5	120	163	201	253	270	310	340	125	202	217	238	
2.6	126	170	210	256	274	315	345	127	205	220	242	
2.7	128	172	212	267	286	328	360	133	214	230	253	
2.8	133	179	221	270	290	333	365	135	217	233	257	
2.9	135	182	224	280	302	347	379	141	227	243	267	
3.0	141	189	232	283	306	351	384	143	230	247	271	
3.1	142	191	235	294	318	365	399	149	239	256	282	
3.2	148	198	244	297	322	370	404	151	242	260	285	
3.3	150	201	247	307	334	383	419	157	252	270	296	
3.4	155	208	255	310	338	388	424	159	255	273	300	
3.5	157	210	258	321	350	402	439	165	264	283	311	
3.6	163	217	267	324	354	406	444	167	267	286	314	
3.7		220	270	334	366	420	459	173	277	296	325	
3.8		227	278	337	370	424	464	175	280	300	329	
3.9		229	281	348	382	438	479	182	289	310	340	
4.0		236	290	351	386	443	484	184				
4.1		239	292	361	398	456	499	190				
4.2		246	301	364	402	461	504	192				
4.3		248	304	375	415	475	519	198				
4.4		255						200				
4.5		258						206				
4.6		265										
4.7		267										
4.8		274										
4.9		277										
5.0		284										

※　マンホール壁立上がり部鉄筋はＤ１３使用とするが、管挿入部（削孔部）の鉄筋減少分は、Ｄ１６のリング筋、ダイヤ筋等により補充するものとする。

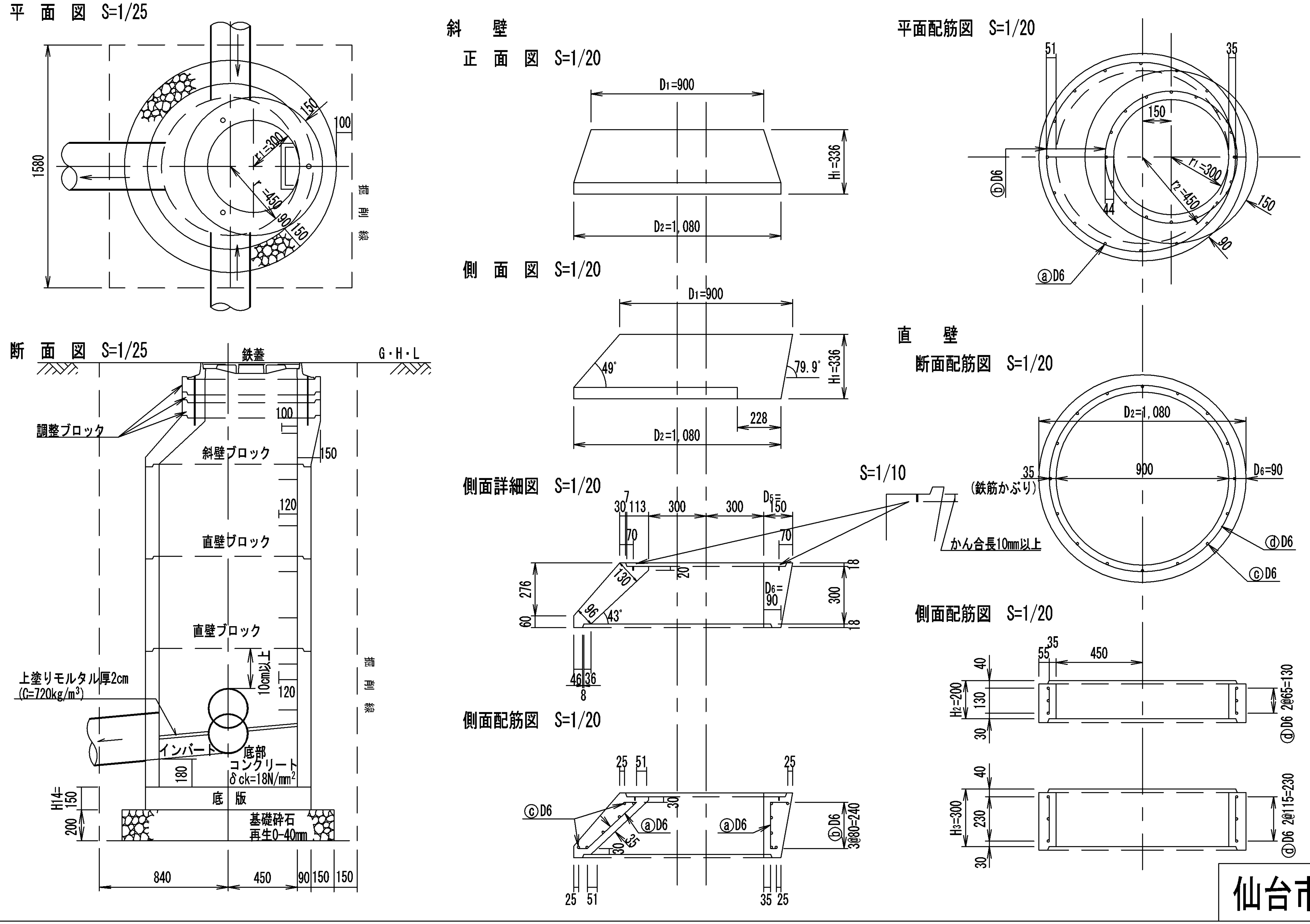
仙台市建設局

仙台市型組立マンホール形状別使用基準（現場打ちマンホールを除く）

種　　別	形状・寸法	使用材料の基準	使用基準	備　　考
組立式１号マンホール	内径　90cm	・コンクリート：fck＝25N/mm^2 ・鉄筋：ＳＤ295 σsa＝180N/mm^2	・本管管径、200mm≦φ≦400mmの中間、最上流部及び三本以下の会合点。 ・管径200mm以下の十字会合点 ・マンホール深1.08m≦ｈ≦4.23m ・車両総重量25ton以下	
組立式２号マンホール	内径　120cm （上部は、組立式１号マンホールの直・斜壁等を使用する。）	・コンクリート：fck＝25N/mm^2 ・鉄筋：ＳＤ295 σsa＝180N/mm^2	・本管管径、450mm≦φ≦500mmの中間、最上流部及び三本以下の会合点 ・本管管径、250mm≦φ≦400mmの十字会合点 ・マンホール深1.38m≦ｈ≦6.68m ・車両総重量25ton以下	ｈ≦4.98mでは中間スラブを設置する。
組立式特１号マンホール	内法　60cm×90cm	・コンクリート：fck＝35N/mm^2 ・鉄筋：ＳＤ390 σsa＝210N/mm^2	・本管管径、200mm≦φ≦450mmの中間及び最上流部マンホール ・マンホール深1.13m≦ｈ≦4.03m ・車両総重量25ton以下	
組立式特殊マンホールＡ型	内法　60cm （高さ調節ブロックは組立式1号マンホールと同じものを使用する。）	・コンクリート：fck＝25N/mm^2 ・鉄筋：ＳＤ295 σsa＝180N/mm^2	・本管管径、φ≦250mmの中間点 ・マンホール深　h≦1.20m ・車両総重量25t以下	マンホールに足掛金物は設置しない。 小規模な排水等、他の地下埋設物の制約等から組立0号マンホールが設置できない場合。

仙台市建設局

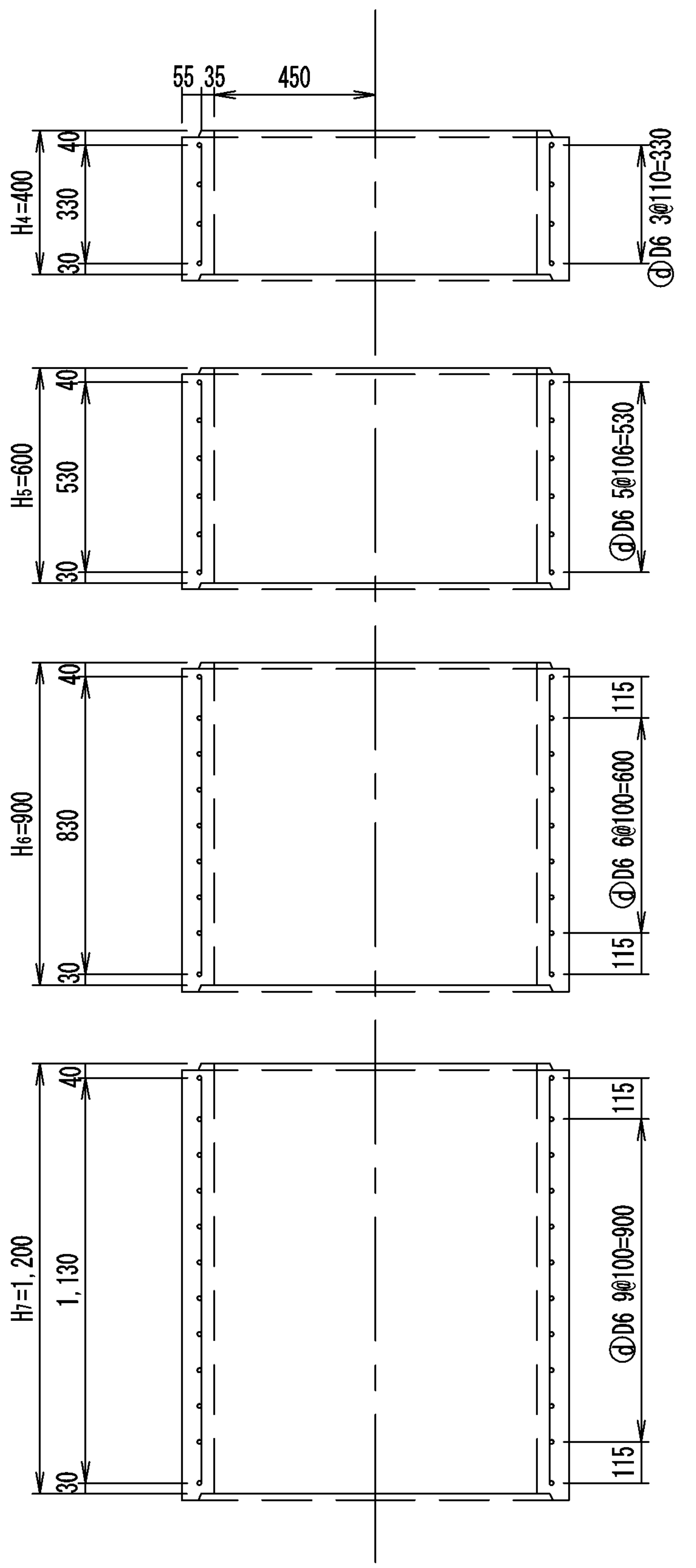
仙台市型組立式１号マンホール（内径９０cm）構造標準図（１）



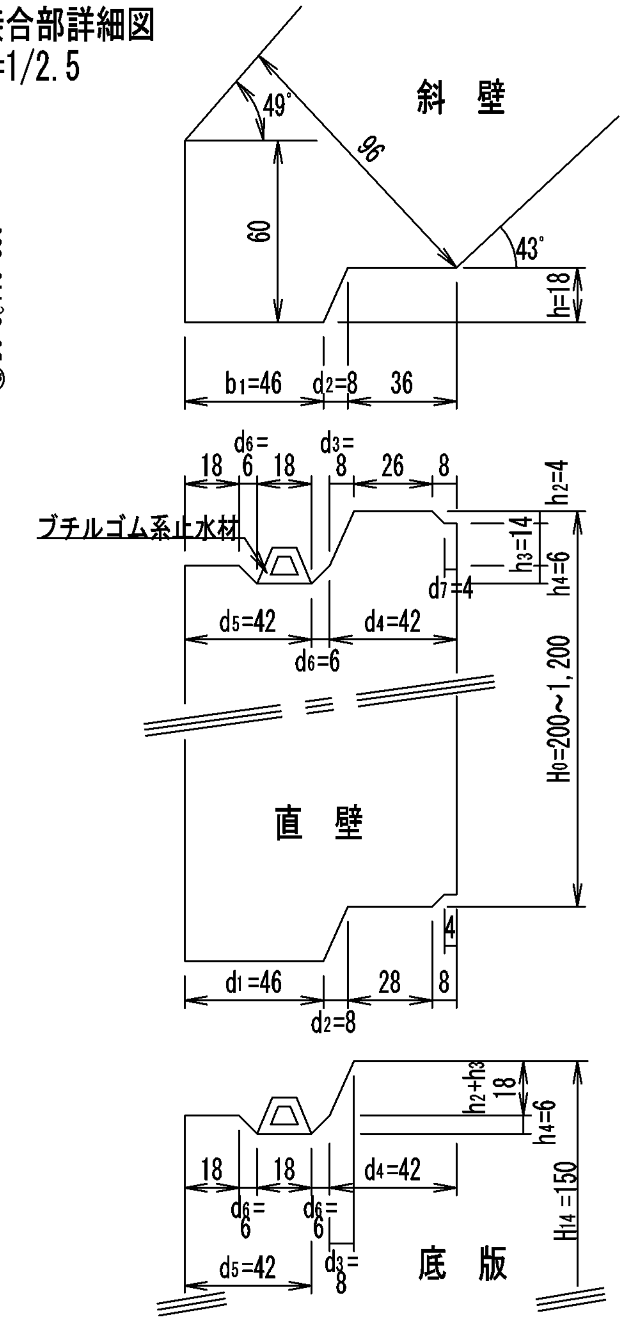
仙台市建設局

仙台市型組立式１号マンホール（内径９０cm）構造標準図（２）

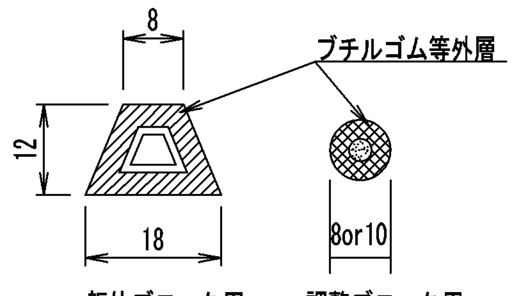
側面配筋図　S=1/20



接合部詳細図
S=1/2.5

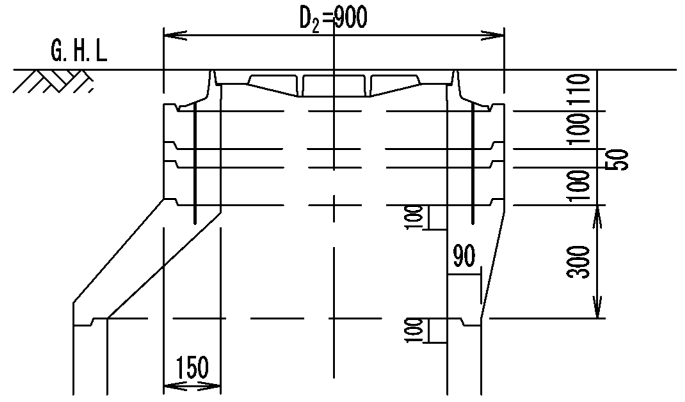


接合部止水材形状図　S=1/1

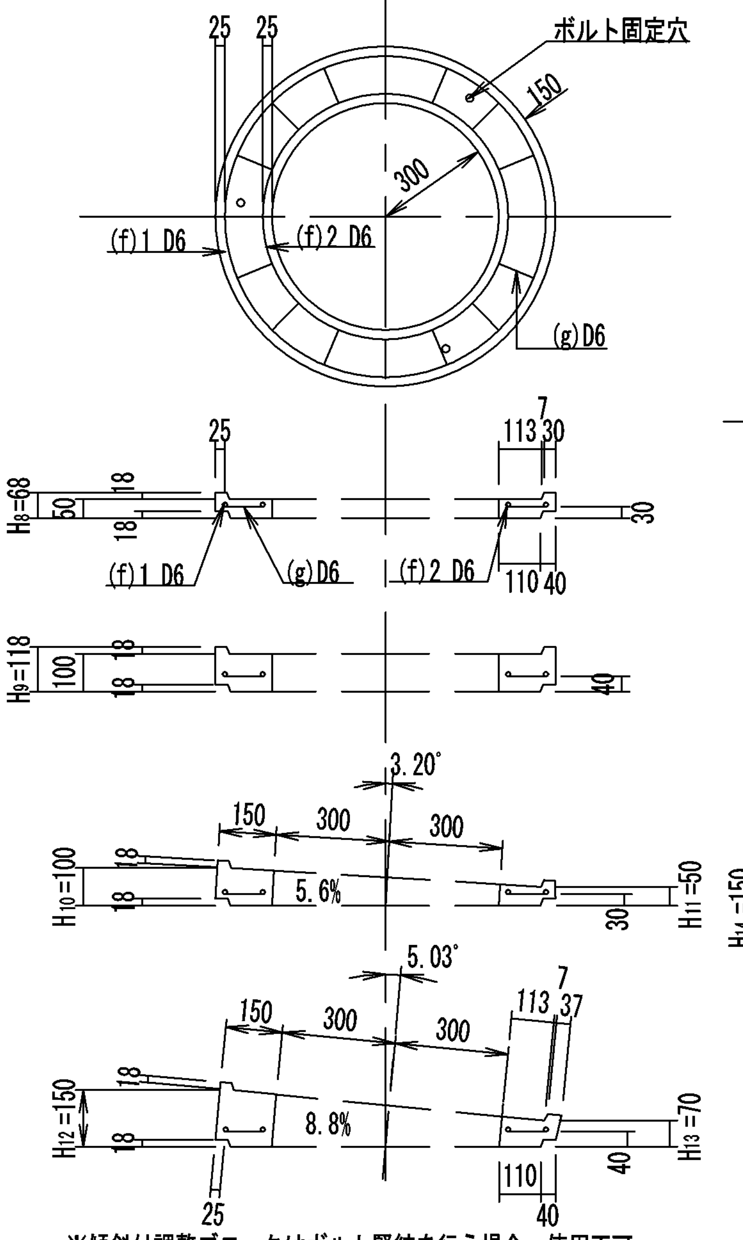


※調整ブロック用止水材については、ブチルゴムのみの
規格も可とする。

調整ブロック等詳細図　S=1/20

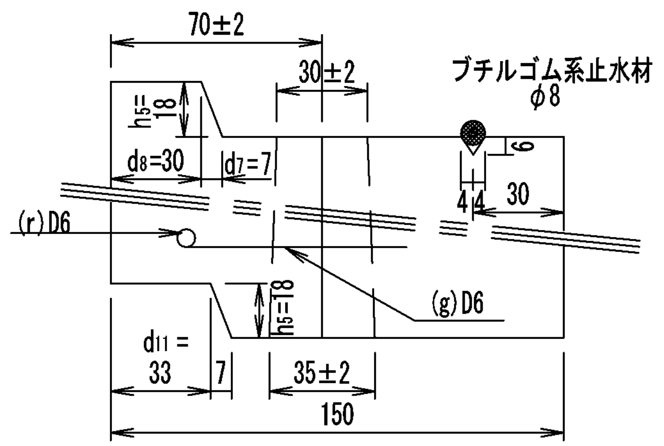


調整ブロック配筋図　S=1/20

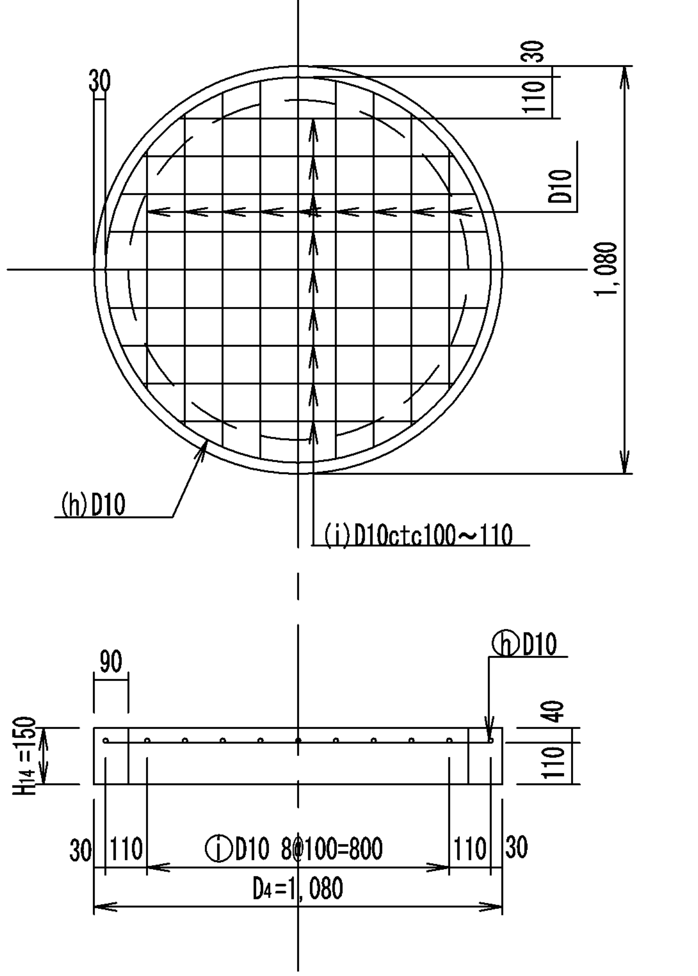


※傾斜付調整ブロックはボルト緊結を行う場合、使用不可。

調整ブロック等接合部詳細図　S=1/2.5



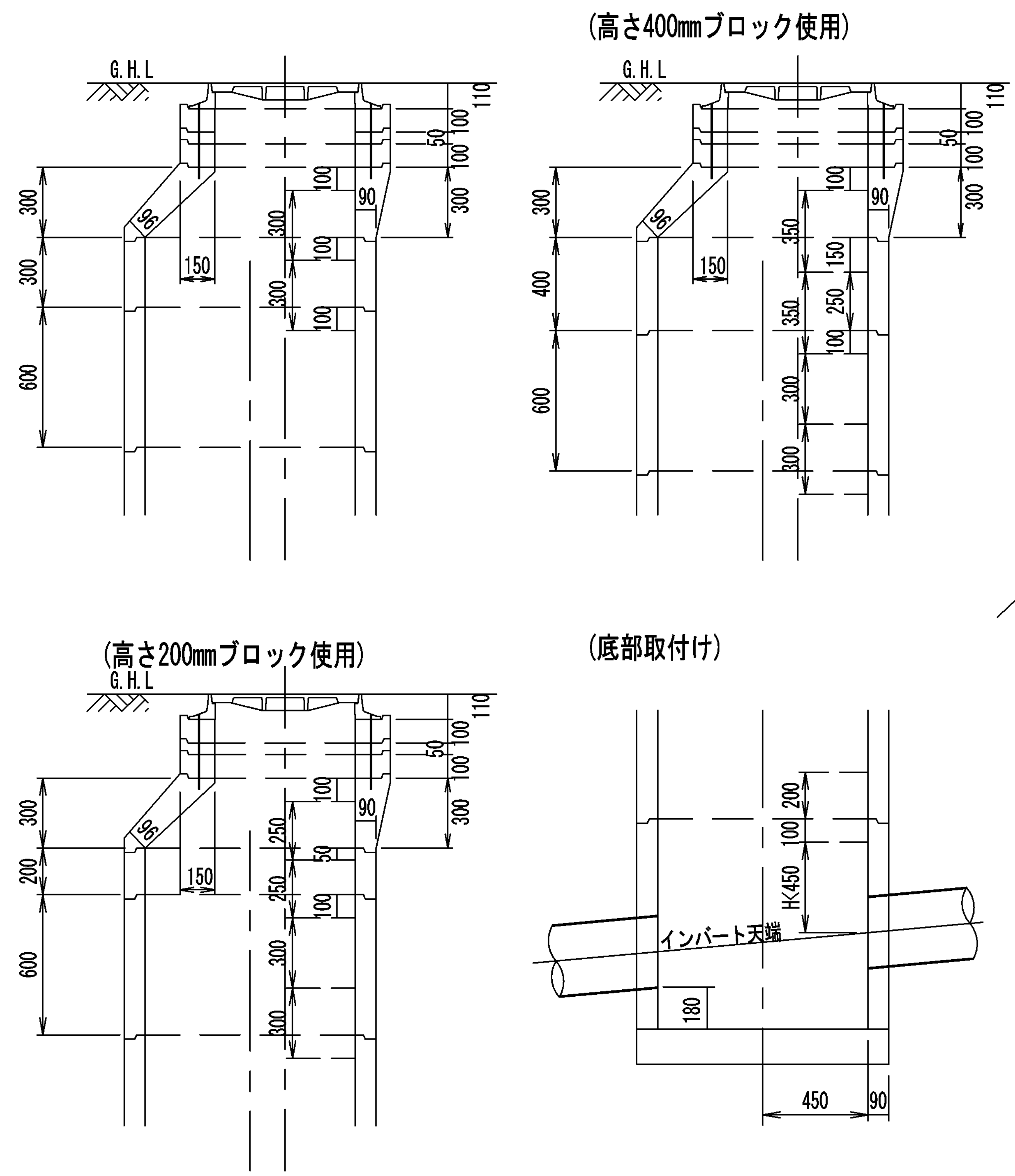
底版配筋図　S=1/20



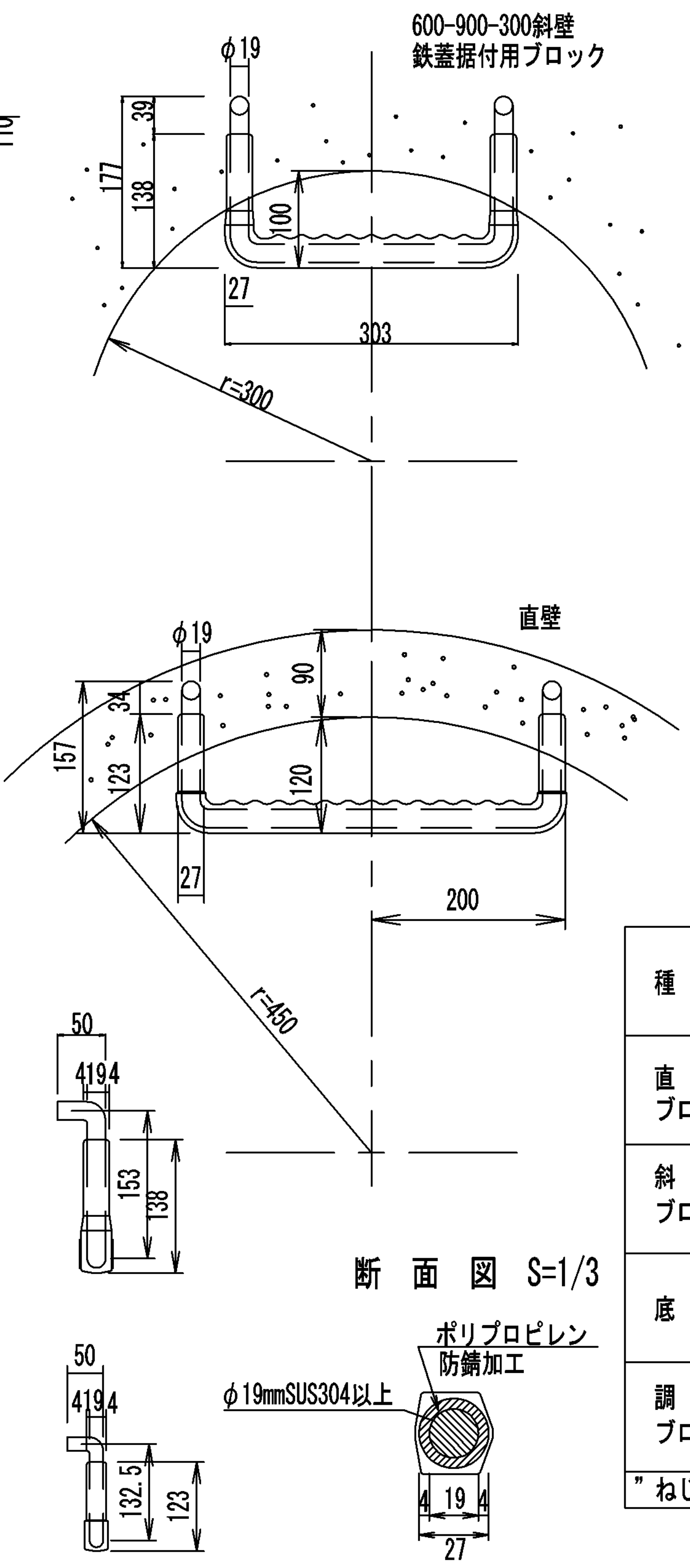
仙台市建設局

仙台市型組立式１号マンホール（内径９０cm）構造標準図（３）

足掛金物取付位置標準図　S=1/25



足掛金物・構造・取付図　S=1/7.5



組立マンホール製造、使用上の基準

1. 本基準図は、円形帯鉄筋を使用するものとしてあるが、鉄筋量、配筋の基準等が同等以上のものであれば、らせん鉄筋を使用してもよい。
2. 直壁等の成形は、遠心力及び振動成形とも可とする。
3. 接合部止水材、足掛金物は標準仕様として図示しているが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは協議の上使用できる。なお、調整ブロック用止水材については、ブチルゴムのみの規格でもよいものとする。
4. 鉄蓋据付ブロックは高さ調整ブロック（厚10cmのもの）に足掛金物を取付けたものとする。
5. 吊り金具はブロック１個に付き３箇所設置するものとし、１箇所当たりの耐力は5t以上とする。
6. 緊結ボルトは、M16、SUS304を標準として図示してあるが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは協議の上使用できる。
7. 斜壁に設置する埋込ナットとボルトのかん合長は10mm以上を確保すること。

各部寸法の許容差(mm)等の基準

種　別	D_1～D_4	D_5～D_6	H_1～H_{14}	d_1	d_2～d_3	d_4	d_5	d_6	d_7～d_{11} h_1～h_5	r_1 r_2
直　壁 ブロック	±4	±2	±4	+1.5 -2	±1.5	+1.5 -2	+2 -1.5	±1.5	±2	±3
斜　壁 ブロック	±4	±2	±3	+1.5 -2	±1.5				±2	±3
底　版	±4		±3	+1.5 -2	±1.5	+1.5 -2	+2 -1.5	±1.5	±2	
調　整 ブロック等	±4		±3						±2	±3
”ねじれ””そり”はいずれの部分にもあってはならない										

仙台市建設局

仙台市型組立式1号マンホール（内径90cm）組合せ数量表(1)

ブロック等組合せ数量表	
使用方法	1. 本表は、原則として上部ブロックに高さ調整ブロック（厚5cm×1、厚10cm×2）を使用するものとして作成してある。したがって、路面勾配等が急な場所に傾斜ブロックを使用する場合は、これに加えて使用することになり本表はそのまま使用できない。 2. 本表は、ブロックに本管用の削孔を行う場合には、最下段ブロックの下縁端よりの場合を除きブロックの上下縁端より10cm以上離して削孔するものとして作成してある。 3. 本表は、本管に塩ビ管を用いるものとして作成している。他の管種を用いる場合は、別途検討が必要である。 4. 本表は、高さ調整ブロックの数を最小にするよう躯体ブロックの組合せを考慮したものであり、（高さ調整ブロック厚5cmのものと10cmのもの合わせて15cmは原則として確保する）この範囲内で高さの高い躯体ブロックから順次使用するよう作成してある。したがって、副管付本管が中間点にくる場合で削孔残（10cm）を確保するため組合せを変える場合は、本表は使用できないので別途考慮することとなる。 5. 高さ5cm未満の微調整は、最下段ブロックの削孔部及び鉄蓋据付モルタルで行うものとし、本表では考慮していない。 6. 無収縮モルタルを使用し高さ調整をした場合については、本表と異なる場合があるので注意すること。

マンホール深 (Hm)	本管及び許容段差(m)					底版厚 0.15m	斜壁 h=0.3m	調整ブロック (100mm) 厚0.21m	最下部直壁ブロック h=0.6m～1.2m		調整高 H-a 0.48	上置直壁ブロック						調整ブロック		止水シール材	
	φ200 (塩ビ) t=8.0㎜	φ250 (塩ビ) t=8.5㎜	φ300 (塩ビ) t=9.0㎜	φ350 (塩ビ) t=10.0㎜	φ400 (塩ビ) t=10.0㎜	(個)	(個)	(個)	(個)	a(m)	(m)	h1 t=0.2m (個)	h2 t=0.3m (個)	h3 t=0.4m (個)	h4 t=0.6m (個)	h5 t=0.9m (個)	h6 t=1.2m (個)	h7 t=0.05m (個)	h8 t=0.1m (個)	躯体ブロック用 (組)	調整ブロック用 (組)
1.07m 以下																					
1.08m 〜	0.112	0.0615	0.011			1	1	1	1	0.60	0.00							1	1	2	3
1.13m 〜	0.112	0.0615	0.011			1	1	1	1	0.60	0.05							2	1	2	4
1.18m 〜	0.112	0.0615	0.011			1	1	1	1	0.60	0.10							1	2	2	4
1.23m 〜	0.112	0.0615	0.011			1	1	1	1	0.60	0.15							2	2	2	5
1.28m 〜	0.112	0.0615	0.011			1	1	1	1	0.60	0.20	1						1	1	3	3
1.33m 〜	0.112	0.0615	0.011			1	1	1	1	0.60	0.25	1						2	1	3	4
1.38m 〜	0.412	0.3615	0.311	0.26	0.21	1	1	1	1	0.90	0.00							1	1	2	3
1.43m 〜	0.412	0.3615	0.311	0.26	0.21	1	1	1	1	0.90	0.05							2	1	2	4
1.48m 〜	0.412	0.3615	0.311	0.26	0.21	1	1	1	1	0.90	0.10							1	2	2	4
1.53m 〜	0.412	0.3615	0.311	0.26	0.21	1	1	1	1	0.90	0.15							2	2	2	5
1.58m 〜	0.412	0.3615	0.311	0.26	0.21	1	1	1	1	0.90	0.20	1						1	1	3	3
1.63m 〜	0.412	0.3615	0.311	0.26	0.21	1	1	1	1	0.90	0.25	1						2	1	3	4
1.68m 〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.00							1	1	2	3
1.73m 〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.05							2	1	2	4
1.78m 〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.10							1	2	2	4
1.83m 〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.15							2	2	2	5
1.88m 〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.20	1						1	1	3	3
1.93m 〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.25	1						2	1	3	4
1.98m 〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.30		1					1	1	3	3
2.03m 〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.35		1					2	1	3	4
2.08m 〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.40			1				1	1	3	3

仙台市建設局

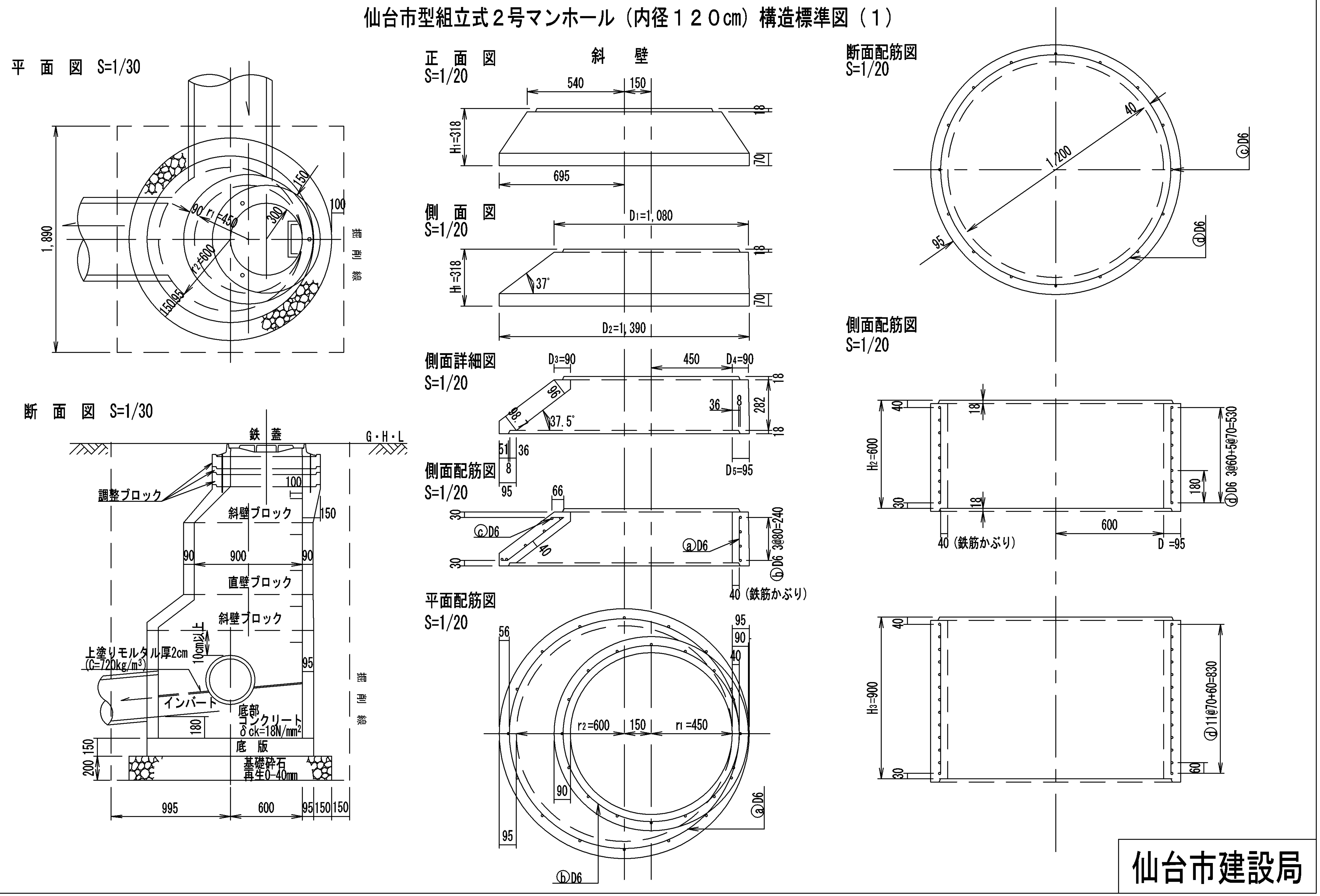
仙台市型組立式1号マンホール（内径90㎝）組合せ数量表（2）

マンホール深(Hm)	本管及び許容段差(m)					底版厚	斜壁	調整ブロック	最下部直壁ブロック		調整高	上置直壁ブロック						調整ブロック		止水シール材	
	φ200(塩ビ) t=8.0㎜	φ250(塩ビ) t=8.5㎜	φ300(塩ビ) t=9.0㎜	φ350(塩ビ) t=10.0㎜	φ400(塩ビ) t=10.0㎜	0.15m	h=0.3m	(100㎜)厚0.21m	h=0.6m～1.2m		H-a 0.48	h1 t=0.2m	h2 t=0.3m	h3 t=0.4m	h4 t=0.6m	h5 t=0.9m	h6 t=1.2m	h7 t=0.05m	h8 t=0.1m	躯体ブロック用	調整ブロック用
						(個)	(個)	(個)	(個)	a(m)	(m)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(組)	(組)
2.13m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.45			1				2	1	3	4
2.18m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.50			1				1	2	3	4
2.23m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.55			1				2	2	3	5
2.28m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.60				1			1	1	3	3
2.33m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.65				1			2	1	3	4
2.38m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.70				1			1	2	3	4
2.43m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.75				1			2	2	3	5
2.48m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.80	1			1			1	1	4	3
2.53m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.85	1			1			2	1	4	4
2.58m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.90					1		1	1	3	3
2.63m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	0.95					1		2	1	3	4
2.68m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.00					1		1	2	3	4
2.73m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.05					1		2	2	3	5
2.78m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.10	1				1		1	1	4	3
2.83m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.15	1				1		2	1	4	4
2.88m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.20						1	1	1	3	3
2.93m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.25						1	2	1	3	4
2.98m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.30						1	1	2	3	4
3.03m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.35						1	2	2	3	5
3.08m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.40	1					1	1	1	4	3
3.13m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.45	1					1	2	1	4	4
3.18m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.50		1				1	1	1	4	3

マンホール深(Hm)	本管及び許容段差(m)					底版厚	斜壁	調整ブロック	最下部直壁ブロック		調整高	上置直壁ブロック						調整ブロック		止水シール材	
	φ200(塩ビ) t=8.0㎜	φ250(塩ビ) t=8.5㎜	φ300(塩ビ) t=9.0㎜	φ350(塩ビ) t=10.0㎜	φ400(塩ビ) t=10.0㎜	0.15m	h=0.3m	(100㎜)厚0.21m	h=0.6m～1.2m		H-a 0.48	h1 t=0.2m	h2 t=0.3m	h3 t=0.4m	h4 t=0.6m	h5 t=0.9m	h6 t=1.2m	h7 t=0.05m	h8 t=0.1m	躯体ブロック用	調整ブロック用
						(個)	(個)	(個)	(個)	a(m)	(m)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(組)	(組)
3.23m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.55		1				1	2	1	4	4
3.28m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.60			1			1	1	1	4	3
3.33m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.65			1			1	2	1	4	4
3.38m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.70			1			1	1	2	4	4
3.43m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.75			1			1	2	2	4	5
3.48m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.80				1		1	1	1	4	3
3.53m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.85				1		1	2	1	4	4
3.58m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.90				1		1	1	2	4	4
3.63m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	1.95				1		1	2	2	4	5
3.68m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	2.00	1			1		1	1	1	5	3
3.73m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	2.05	1			1		1	2	1	5	4
3.78m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	2.10					1	1	1	1	4	3
3.83m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	2.15					1	1	2	1	4	4
3.88m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	2.20					1	1	1	2	4	4
3.93m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	2.25					1	1	2	2	4	5
3.98m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	2.30					1	1	1	3	4	5
4.03m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	2.35	1				1	1	2	1	5	4
4.08m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	2.40						2	1	1	4	3
4.13m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	2.45						2	2	1	4	4
4.18m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	2.50						2	1	2	4	4
4.23m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	1	1	1	1	1.20	2.55						2	2	2	4	5

仙台市建設局

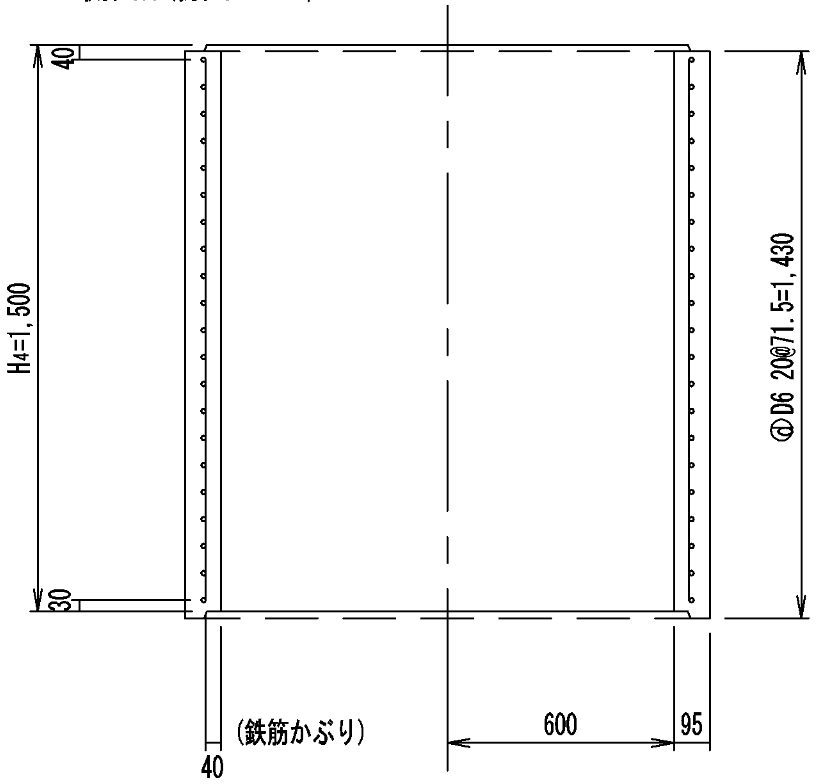
仙台市型組立式２号マンホール（内径１２０cm）構造標準図（１）

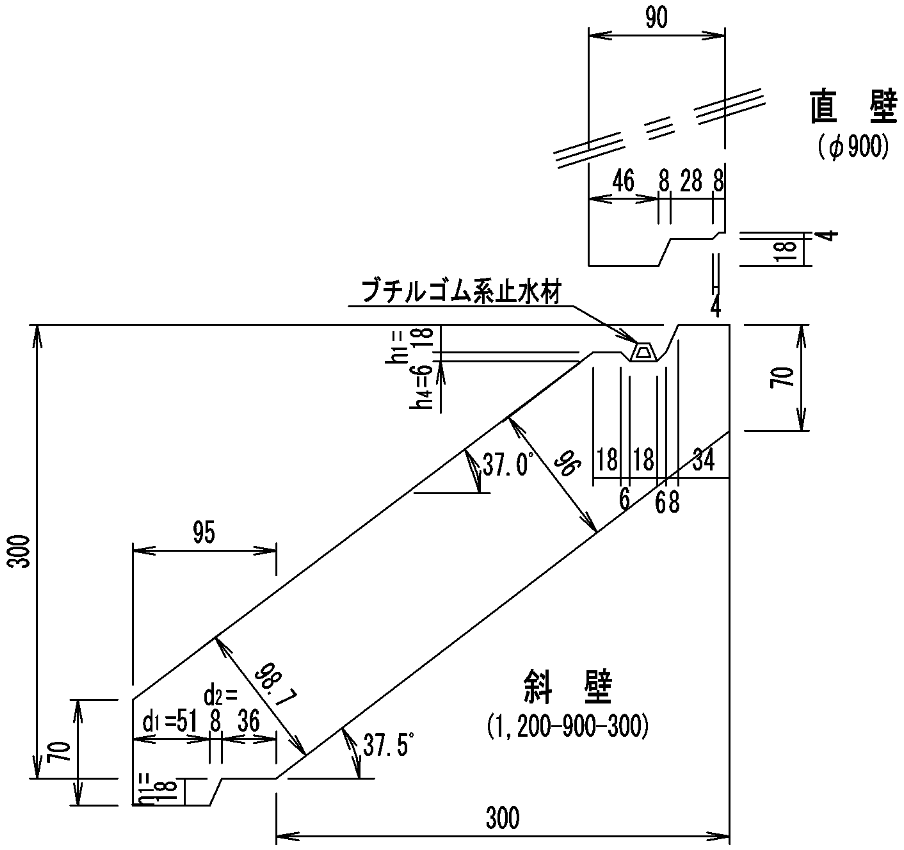


仙台市建設局

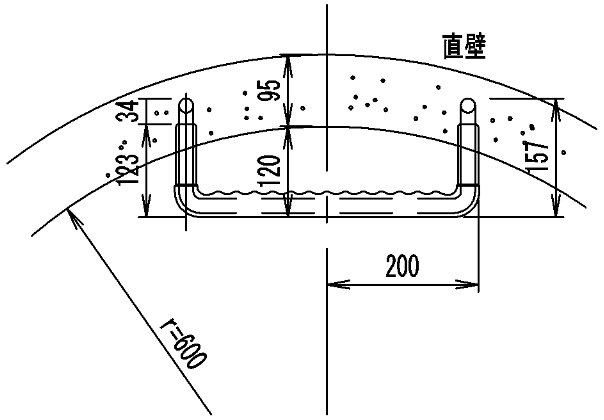
仙台市型組立式２号マンホール（内径１２０cm）構造標準図（２）

側面配筋図　S=1/20

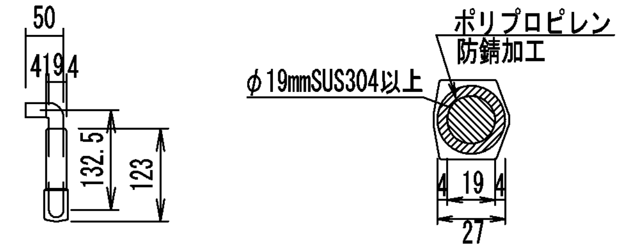




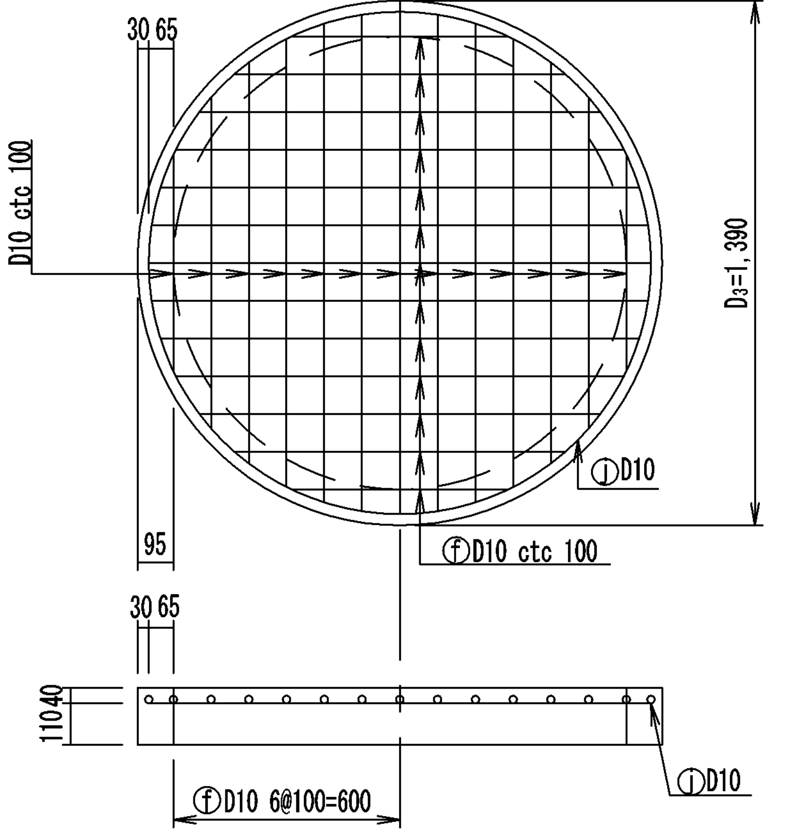
足掛金物取付図　S=1/10

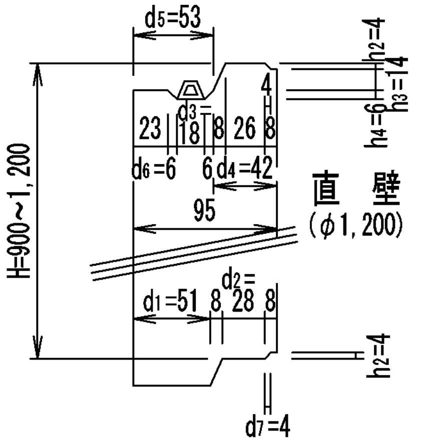


断　面　図　S=1/3

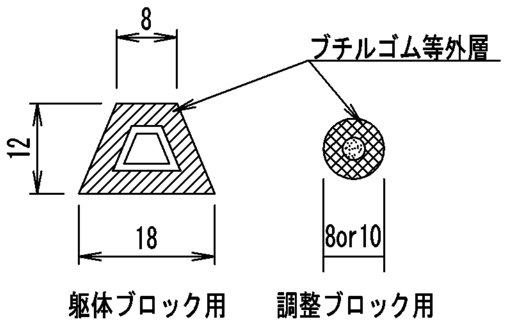


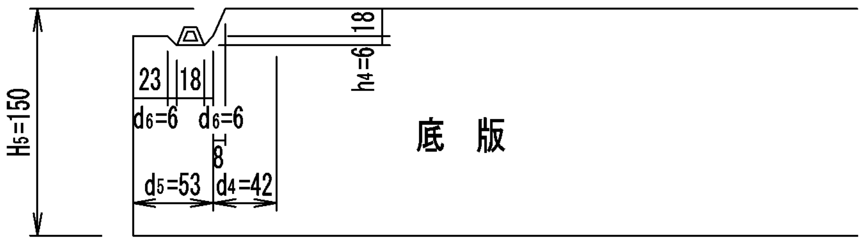
底版配筋図　S=1/20





接合部止水材形状図　S=1/1





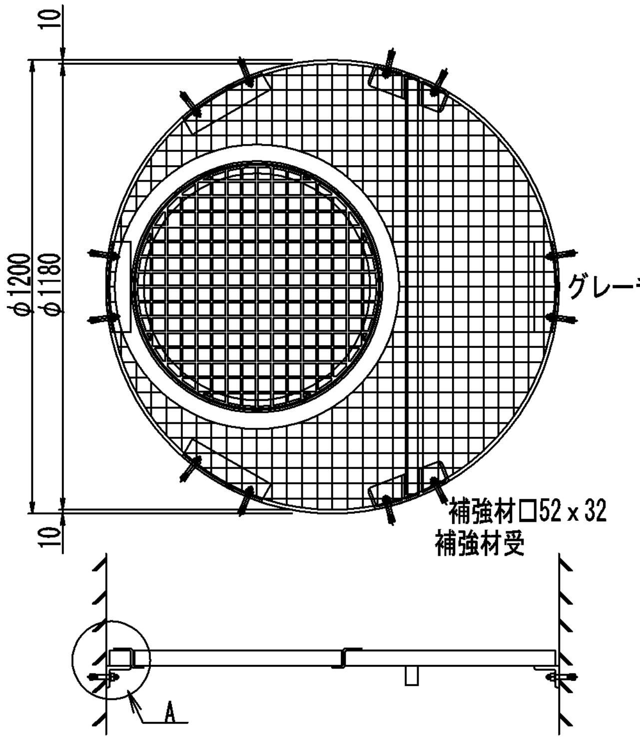
各部寸法の許容差(mm)等の基準

種　　別	D_1～D_3	D_4～D_6	H_1～H_5	d_1 d_4	d_2～d_3 d_6～d_7	d_5	h_1～h_4	r_1～r_2
直　壁 ブロック	±4	±2	+3 -2	+1.5 -2	±1.5	+2 -1.5	±2	±3
斜　壁 ブロック	±4	±2	+3 -2	+1.5 -2	±1.5	+2 -1.5	±2	±3
底　版	±4		+3 -2	+1.5 -2	±1.5	+2 -1.5	±2	
”ねじれ””そり”はいずれの部分にもあってはならない								

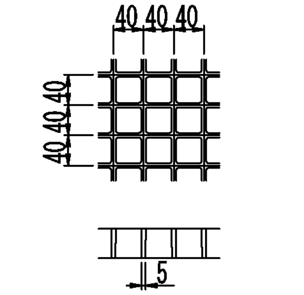
仙台市建設局

仙台市型組立式２号マンホール（内径１２０cm）構造標準図（３）

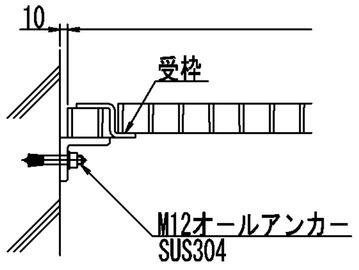
中間スラブ詳細図　S=1/20



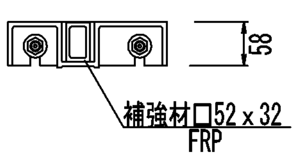
ＦＲＰグレーチング詳細図



Ａ部詳細図



補強材受詳細図



製造、使用上の基準

1. 本標準図は、円形帯鉄筋をしようするものとしてあるが、鉄筋量・配筋の基準等が同等以上のものであれば、らせん鉄筋を使用してもよい。
2. 直壁等の成形は、遠心力及び振動成形とも可とする。
3. 接合部止水材・足掛金物並びに中間スラブは、標準仕様として図示してあるが、形状・機能・材質等に於いて同等以上のものは協議の上使用できる。
4. 鉄蓋据付ブロックは高さ調整ブロック（厚10cmのもの）に足掛金物を取付けたものとする。
5. 本マンホールの上部直斜壁、及び調整ブロック等は組立式1号マンホールと同規格のものを使用する。
6. 中間スラブは1.5m直壁の上縁端より10cm下部、足掛金物の直下に取り付けるものとする。
7. 吊り金具はブロック1個につき3箇所設置するものとし、1箇所当りの耐力は5t以上とする。

ブロック等組合せ数量表

使用方法

1. 本表は、原則として上部ブロックは高さ調整ブロック（厚5cm×1、厚10cm×2）を使用するものとして作成してある。したがって、路面勾配等が急な場所に傾斜ブロックを使用する場合は、これに加えて使用することになり本表はそのまま使用できない。
2. 本表は、ブロックに本管用の削孔を行う場合には、最下段ブロックの下縁端よりの場合を除きブロックの上下縁端より10cm以上離して削孔するものとして作成してある。
3. 本表は、高さ調整ブロックの数を最小にするよう躯体ブロックの組合せを考慮したものであり（高さ調整ブロック厚5cmのものと10cmのもの合わせて15cmは原則として確保する）、この範囲内で高さの高い躯体ブロックから順次使用するよう作成してある。
4. 高さ5cm未満の微調整は、最下段ブロックの削孔部及び鉄蓋据付けモルタルルタルで行うものとし、本表では考慮していない。
5. 副管付本管、及び将来流入予定管がある場合は、それら本管の上部まで内径1200mmのブロックで立ち上げるものとし、本表はそのまま使用できない。
6. 本表は、孔内作業上の容易さ、及び他地下埋設物との関係を考慮し、標準的な組合せとして設定したものである。したがって、実際の施工条件等が特殊な場合には本表によらず、実情にあった組合せを設定することとなる。
7. 無収縮モルタルを使用し高さ調整をした場合については、本表と異なる場合があるので注意すること。

仙台市建設局

仙台市型組立式2号マンホール（内径120cm）組合せ数量表（1）

マンホール深（Hm）	本管及び許容段差（m）						底版厚 0.15m	斜壁（120－90）h＝0.3m	斜壁（90－60）h＝0.3m	調整ブロック（100mm）厚0.21m	最下部直壁ブロック h＝0.6m～1.5m		調整高 H－a －0.78	躯体ブロック（φ1200）b（m）			上置直壁ブロック（φ900） c（m）						調整ブロック d（m）		止水シール材			下部 a+b －0.18	上部 c+d +0.51	中間スラブ φ120
	φ250（塩ビ）t＝8.5㎜	φ300（塩ビ）t＝9.0㎜	φ350（塩ビ）t＝10.0㎜	φ400（塩ビ）t＝10.0㎜	φ450（塩ビ）t＝10.0㎜	φ500（塩ビ）t＝10.0㎜								h1 ＝0.6m	h2 ＝0.9m	h3 ＝1.5m	h1 ＝0.2m	h2 ＝0.3m	h3 ＝0.4m	h4 ＝0.6m	h5 ＝0.9m	h6 ＝1.2m	h7 ＝0.05m	h8 ＝0.10m	躯体ブロック用A	躯体ブロック用B	調整ブロック用			
							（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	a（m）	（m）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（組）	（組）	（組）	（m）	（m）	（組）
1.37m 以下																														
1.38m ～	0.0615	0.011					1	1	1	1	1	0.60	0.00										1	1	2	1	3	0.42	0.66	
1.43m ～	0.0615	0.011					1	1	1	1	1	0.60	0.05										2	1	2	1	4	0.42	0.71	
1.48m ～	0.0615	0.011					1	1	1	1	1	0.60	0.10										1	2	2	1	4	0.42	0.76	
1.53m ～	0.0615	0.011					1	1	1	1	1	0.60	0.15										2	2	2	1	5	0.42	0.81	
1.58m ～	0.0615	0.011					1	1	1	1	1	0.60	0.20				1						1	1	2	2	3	0.42	0.86	
1.63m ～	0.0615	0.011					1	1	1	1	1	0.60	0.25				1						2	1	2	2	4	0.42	0.91	
1.68m ～	0.3615	0.311	0.26	0.21	0.16	0.11	1	1	1	1	1	0.90	0.00										1	1	2	1	3	0.72	0.66	
1.73m ～	0.3615	0.311	0.26	0.21	0.16	0.11	1	1	1	1	1	0.90	0.05										2	1	2	1	4	0.72	0.71	
1.78m ～	0.3615	0.311	0.26	0.21	0.16	0.11	1	1	1	1	1	0.90	0.10										1	2	2	1	4	0.72	0.76	
1.83m ～	0.3615	0.311	0.26	0.21	0.16	0.11	1	1	1	1	1	0.90	0.15										2	2	2	1	5	0.72	0.81	
1.88m ～	0.3615	0.311	0.26	0.21	0.16	0.11	1	1	1	1	1	0.90	0.20				1						1	1	2	2	3	0.72	0.86	
1.93m ～	0.3615	0.311	0.26	0.21	0.16	0.11	1	1	1	1	1	0.90	0.25				1						2	1	2	2	4	0.72	0.91	
1.98m ～	0.3615	0.311	0.26	0.21	0.16	0.11	1	1	1	1	1	0.90	0.30					1					1	1	2	2	3	0.72	0.96	
2.03m ～	0.3615	0.311	0.26	0.21	0.16	0.11	1	1	1	1	1	0.90	0.35					1					2	1	2	2	4	0.72	1.01	
2.08m ～	0.3615	0.311	0.26	0.21	0.16	0.11	1	1	1	1	1	0.90	0.40						1				1	1	2	2	3	0.72	1.06	
2.13m ～	0.3615	0.311	0.26	0.21	0.16	0.11	1	1	1	1	1	0.90	0.45						1				2	1	2	2	4	0.72	1.11	
2.18m ～	0.3615	0.311	0.26	0.21	0.16	0.11	1	1	1	1	1	0.90	0.50				1	1					1	1	2	3	3	0.72	1.16	

仙台市建設局

仙台市型組立式2号マンホール（内径120cm）組合せ数量表（2）

マンホール深（Hm）	本管及び許容段差（m）						底版厚 0.15m	斜壁 (120-90) h=0.3m	斜壁 (90-60) h=0.3m	調整ブロック (100mm) 厚0.21m	最下部直壁ブロック h=0.6m～1.5m		調整高 H-a -0.78	躯体ブロック(φ1200) b(m)			上置直壁ブロック(φ900) c(m)						調整ブロック d(m)		止水シール材			下部 a+b -0.18	上部 c+d +0.51	中間スラブ φ120
	φ250（塩ビ）t=8.5mm	φ300（塩ビ）t=9.0mm	φ350（塩ビ）t=10.0mm	φ400（塩ビ）t=10.0mm	φ450（塩ビ）t=10.0mm	φ500（塩ビ）t=10.0mm								h1 =0.6m	h2 =0.9m	h3 =1.5m	h1 =0.2m	h2 =0.3m	h3 =0.4m	h4 =0.6m	h5 =0.9m	h6 =1.2m	h7 =0.05m	h8 =0.10m	躯体ブロック用A	躯体ブロック用B	調整ブロック用			
							（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	a（m）	（m）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（組）	（組）	（組）	（m）	（m）	（組）
2.23m～	0.3615	0.311	0.26	0.21	0.16	0.11	1	1	1	1	1	0.90	0.55				1	1					2	1	2	3	4	0.72	1.21	
2.28m～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.00										1	1	2	1	3	1.32	0.66	
2.33m～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.05										2	1	2	1	4	1.32	0.71	
2.38m～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.10										1	1	2	1	3	1.32	0.66	
2.43m～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.15										2	1	2	1	4	1.32	0.71	
2.48m～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.20				1						1	1	2	2	3	1.32	0.86	
2.53m～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.25				1						2	1	2	2	4	1.32	0.91	
2.58m～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.30					1					1	1	2	2	3	1.32	0.96	
2.63m～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.35					1					2	1	2	2	4	1.32	1.01	
2.68m～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.40						1				1	1	2	2	3	1.32	1.06	
2.73m～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.45						1				2	1	2	2	4	1.32	1.11	
2.78m～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.50				1	1					1	1	2	3	3	1.32	1.16	
2.83m～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.55				1	1					2	1	2	3	4	1.32	1.21	
2.88m～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.60							1			1	1	2	2	3	1.32	1.26	
2.93m～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.65							1			2	1	2	2	4	1.32	1.31	
2.98m～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.70					1	1				1	1	2	3	3	1.32	1.36	
3.03m～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.75					1	1				2	1	2	3	4	1.32	1.41	
3.08m～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.80				1			1			1	1	2	3	3	1.32	1.46	

仙台市建設局

仙台市型組立式2号マンホール（内径120cm）組合せ数量表（3）

マンホール深 (Hm)	本管及び許容段差(m)						底版厚 0.15m	斜壁 (120-90) h=0.3m	斜壁 (90-60) h=0.3m	調整ブロック (100mm) 厚0.21m	最下部直壁ブロック h=0.6m～1.5m		調整高 H-a -0.78	躯体ブロック(φ1200) b(m)			上置直壁ブロック(φ900) c(m)						調整ブロック d(m)		止水シール材			下部 a+b -0.18	上部 c+d +0.51	中間スラブ φ120
	φ250 (塩ビ) t=8.5mm	φ300 (塩ビ) t=9.0mm	φ350 (塩ビ) t=10.0mm	φ400 (塩ビ) t=10.0mm	φ450 (塩ビ) t=10.0mm	φ500 (塩ビ) t=10.0mm								h1 =0.6m	h2 =0.9m	h3 =1.5m	h1 =0.2m	h2 =0.3m	h3 =0.4m	h4 =0.6m	h5 =0.9m	h6 =1.2m	h7 =0.05m	h8 =0.10m	躯体ブロック用 A	躯体ブロック用 B	調整ブロック用			
							(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	a(m)	(m)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(組)	(組)	(組)	(m)	(m)	(組)
3.13m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.85				1			1			2	1	2	3	4	1.32	1.51	
3.18m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.90								1		1	1	2	2	3	1.32	1.56	
3.23m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	0.95								1		2	1	2	2	4	1.32	1.61	
3.28m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.00						1	1			1	1	2	3	3	1.32	1.66	
3.33m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.05						1	1			2	1	2	3	4	1.32	1.71	
3.38m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.10				1				1		1	1	2	3	3	1.32	1.76	
3.43m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.15				1				1		2	1	2	3	4	1.32	1.81	
3.48m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.20									1	1	1	2	2	3	1.32	1.86	
3.53m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.25									1	2	1	2	2	4	1.32	1.91	
3.58m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.30						1		1		1	1	2	3	3	1.32	1.96	
3.63m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.35						1		1		2	1	2	3	4	1.32	2.01	
3.68m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.40				1					1	1	1	2	3	3	1.32	2.06	
3.73m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.45				1					1	2	1	2	3	4	1.32	2.11	
3.78m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.50					1				1	1	1	2	3	3	1.32	2.16	
3.83m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.55					1				1	2	1	2	3	4	1.32	2.21	
3.88m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.60						1			1	1	1	2	3	3	1.32	2.26	
3.93m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.65						1			1	2	1	2	3	4	1.32	2.31	
3.98m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.70				1	1				1	1	1	2	4	3	1.32	2.36	

仙台市建設局

仙台市型組立式2号マンホール（内径120cm）組合せ数量表（4）

マンホール深（Hm）	本管及び許容段差（m）						底版厚 0.15m	斜壁（120－90）h＝0.3m	斜壁（90－60）h＝0.3m	調整ブロック（100mm）厚0.21m	最下部直壁ブロック h=0.6m～1.5m		調整高 H-a −0.78	躯体ブロック（φ1200） b（m）			上置直壁ブロック（φ900） c（m）						調整ブロック d（m）		止水シール材			下部 a+b −0.18	上部 c+d +0.51	中間スラブ φ120
	φ250（塩ビ）t=8.5mm	φ300（塩ビ）t=9.0mm	φ350（塩ビ）t=10.0mm	φ400（塩ビ）t=10.0mm	φ450（塩ビ）t=10.0mm	φ500（塩ビ）t=10.0mm								h1 =0.6m	h2 =0.9m	h3 =1.5m	h1 =0.2m	h2 =0.3m	h3 =0.4m	h4 =0.6m	h5 =0.9m	h6 =1.2m	h7 =0.05m	h8 =0.10m	躯体ブロック用 A	躯体ブロック用 B	調整ブロック用			
							（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	a（m）	（m）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（組）	（組）	（組）	（m）	（m）	（組）
4.03m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.75				1	1				1	2	1	2	4	4	1.32	2.41	
4.08m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.80	1								1	1	1	3	2	3	1.92	1.86	
4.13m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.85	1								1	2	1	3	2	4	1.92	1.91	
4.18m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.90	1					1		1		1	1	3	3	3	1.92	1.96	
4.23m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	1.95	1					1		1		2	1	3	3	4	1.92	2.01	
4.28m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.00	1			1					1	1	1	3	3	3	1.92	2.06	
4.33m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.05	1			1					1	2	1	3	3	4	1.92	2.11	
4.38m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.10		1							1	1	1	3	2	3	2.22	1.86	
4.43m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.15		1							1	2	1	3	2	4	2.22	1.91	
4.48m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.20		1				1		1		1	1	3	3	3	2.22	1.96	
4.53m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.25		1				1		1		2	1	3	3	4	2.22	2.01	
4.58m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.30		1		1					1	1	1	3	3	3	2.22	2.06	
4.63m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.35		1		1					1	2	1	3	3	4	2.22	2.11	
4.68m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.40		1			1				1	1	1	3	3	3	2.22	2.16	
4.73m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.45		1			1				1	2	1	3	3	4	2.22	2.21	
4.78m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.50		1				1			1	1	1	3	3	3	2.22	2.26	
4.83m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.55		1				1			1	2	1	3	3	4	2.22	2.31	
4.88m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.60		1		1	1				1	1	1	3	4	3	2.22	2.36	

仙台市建設局

仙台市型組立式2号マンホール（内径120cm）組合せ数量表（5）

マンホール深(Hm)	本管及び許容段差(m) φ250（塩ビ）t=8.5mm	φ300（塩ビ）t=9.0mm	φ350（塩ビ）t=10.0mm	φ400（塩ビ）t=10.0mm	φ450（塩ビ）t=10.0mm	φ500（塩ビ）t=10.0mm	底版厚0.15m	斜壁(120-90) h=0.3m	斜壁(90-60) h=0.3m	調整ﾌﾞﾛｯｸ(100mm)厚0.21m	最下部直壁ブロック h=0.6m～1.5m		調整高 H-a -0.78	躯体ブロック(φ1200) b(m) h1=0.6m	h2=0.9m	h3=1.5m	上置直壁ブロック(φ900) c(m) h1=0.2m	h2=0.3m	h3=0.4m	h4=0.6m	h5=0.9m	h6=1.2m	調整ブロック d(m) h7=0.05m	h8=0.10m	止水シール材 躯体ブロック用A	躯体ブロック用B	調整ブロック用	下部 a+b -0.18	上部 c+d +0.51	中間スラブφ120
							(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	a(m)	(m)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(組)	(組)	(組)	(m)	(m)	(組)
4.93m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.65		1		1	1				1	2	1	3	4	4	2.22	2.41	
4.98m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.70			1						1	1	1	3	2	3	2.82	1.86	1
5.03m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.75			1						1	2	1	3	2	4	2.82	1.91	1
5.08m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.80			1			1		1		1	1	3	3	3	2.82	1.96	1
5.13m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.85			1			1		1		2	1	3	3	4	2.82	2.01	1
5.18m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.90			1	1					1	1	1	3	3	3	2.82	2.06	1
5.23m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	2.95			1	1					1	2	1	3	3	4	2.82	2.11	1
5.28m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.00			1		1				1	1	1	3	3	3	2.82	2.16	1
5.33m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.05			1		1				1	2	1	3	3	4	2.82	2.21	1
5.38m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.10			1			1			1	1	1	3	3	3	2.82	2.26	1
5.43m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.15			1			1			1	2	1	3	3	4	2.82	2.31	1
5.48m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.20			1	1	1				1	1	1	3	4	3	2.82	2.36	1
5.53m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.25			1	1	1				1	2	1	3	4	4	2.82	2.41	1
5.58m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.30	1		1						1	1	1	4	2	3	3.42	1.86	1
5.63m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.35	1		1						1	2	1	4	2	4	3.42	1.91	1
5.68m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.40	1		1			1		1		1	1	4	3	3	3.42	1.96	1
5.73m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.45	1		1			1		1		2	1	4	3	4	3.42	2.01	1
5.78m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.50	1		1	1					1	1	1	4	3	3	3.42	2.06	1

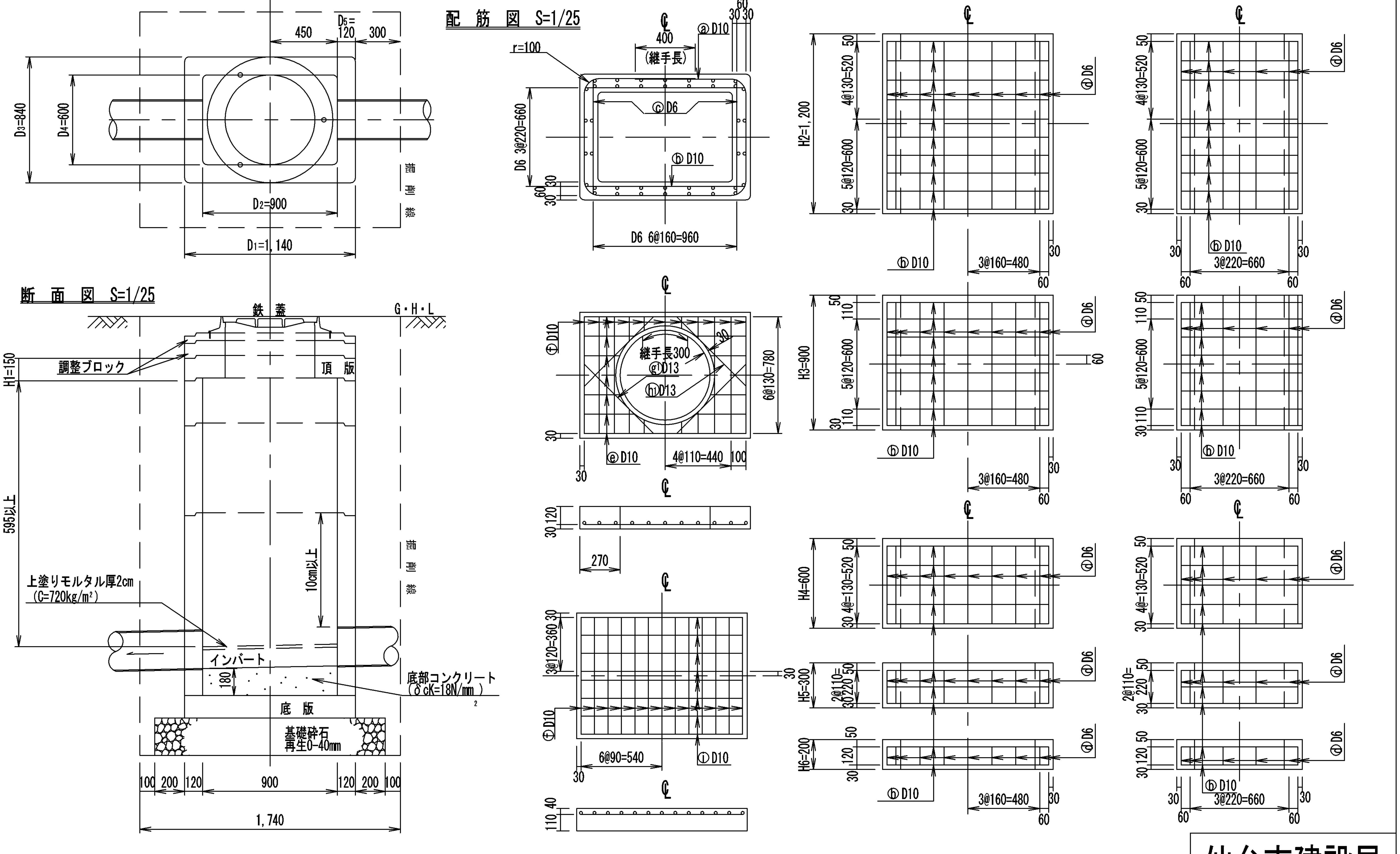
仙台市建設局

仙台市型組立式2号マンホール（内径120cm）組合せ数量表（6）

マンホール深（Hm）	本管及び許容段差（m） φ250（塩ビ）t=8.5mm	φ300（塩ビ）t=9.0mm	φ350（塩ビ）t=10.0mm	φ400（塩ビ）t=10.0mm	φ450（塩ビ）t=10.0mm	φ500（塩ビ）t=10.0mm	底版厚 0.15m	斜壁（120−90）h=0.3m	斜壁（90−60）h=0.3m	調整ブロック（100mm）厚0.21m	最下部直壁ブロック h=0.6m〜1.5m		調整高 H−a −0.78	躯体ブロック（φ1200）b(m) h1=0.6m	h2=0.9m	h3=1.5m	上置直壁ブロック（φ900） c(m) h1=0.2m	h2=0.3m	h3=0.4m	h4=0.6m	h5=0.9m	h6=1.2m	調整ブロック d(m) h7=0.05m	h8=0.10m	止水シール材 躯体ブロック用A	躯体ブロック用B	調整ブロック用	下部 a+b −0.18	上部 c+d +0.51	中間スラブ φ120
							（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	a（m）	（m）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（個）	（組）	（組）	（組）	（m）	（m）	（組）
5.83m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.55	1		1	1					1	2	1	4	3	4	3.42	2.11	1
5.88m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.60		1	1						1	1	1	4	2	3	3.72	1.86	1
5.93m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.65		1	1						1	2	1	4	2	4	3.72	1.91	1
5.98m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.70		1	1			1		1		1	1	4	3	3	3.72	1.96	1
6.03m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.75		1	1			1		1		2	1	4	3	4	3.72	2.01	1
6.08m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.80		1	1	1					1	1	1	4	3	3	3.72	2.06	1
6.13m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.85		1	1	1					1	2	1	4	3	4	3.72	2.11	1
6.18m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.90		1	1		1				1	1	1	4	3	3	3.72	2.16	1
6.23m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	3.95		1	1		1				1	2	1	4	3	4	3.72	2.21	1
6.28m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	4.00		1	1			1			1	1	1	4	3	3	3.72	2.26	1
6.33m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	4.05		1	1			1			1	2	1	4	3	4	3.72	2.31	1
6.38m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	4.10		1	1	1	1				1	1	1	4	4	3	3.72	2.36	1
6.43m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	4.15		1	1	1	1				1	2	1	4	4	4	3.72	2.41	1
6.48m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	4.20			2						1	1	1	4	2	3	4.32	1.86	1
6.53m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	4.25			2						1	2	1	4	2	4	4.32	1.91	1
6.58m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	4.30			2			1		1		1	1	4	3	3	4.32	1.96	1
6.63m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	4.35			2			1		1		2	1	4	3	4	4.32	2.01	1
6.68m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	4.40			2	1					1	1	1	4	3	3	4.32	2.06	1
6.73m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	4.45			2	1					1	2	1	4	3	4	4.32	2.11	1
6.78m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	4.50			2		1				1	1	1	4	3	3	4.32	2.16	1
6.83m ～	0.9615	0.911	0.86	0.81	0.76	0.71	1	1	1	1	1	1.50	4.55			2		1				1	2	1	4	3	4	4.32	2.21	1

仙台市建設局

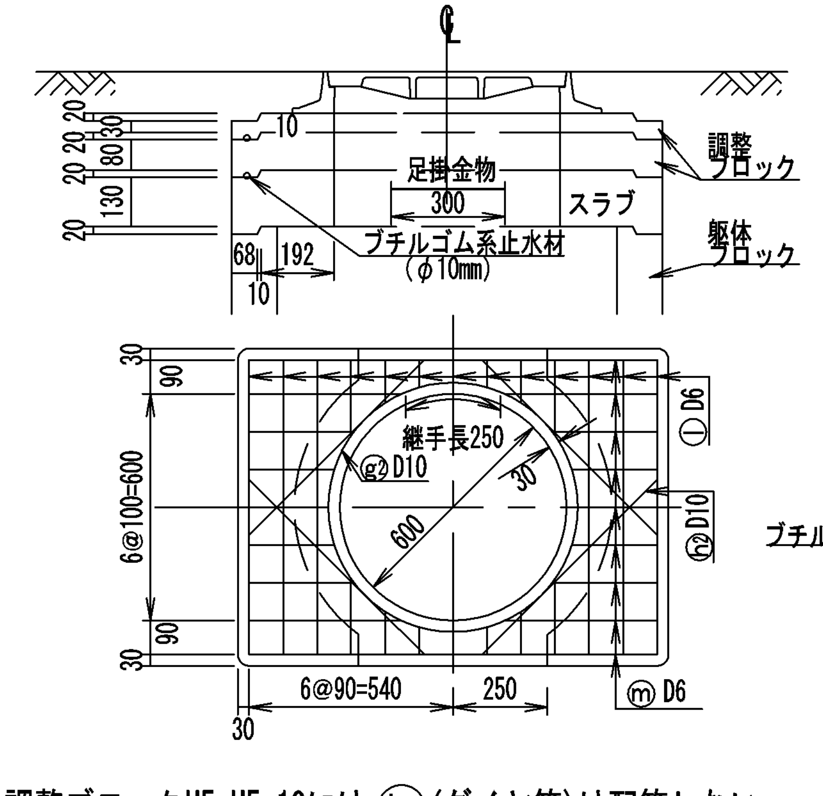
仙台市型組立式特１号マンホール（内法90cm×60cm）構造標準図（１）



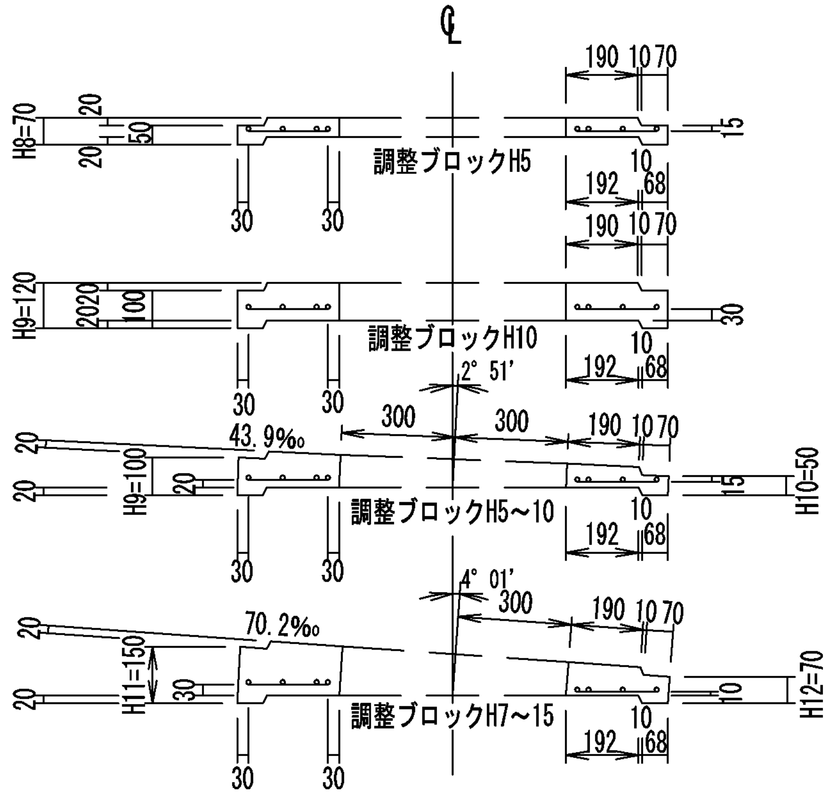
仙台市建設局

仙台市型組立式特１号マンホール（内法90cm×60cm）構造標準図（２）

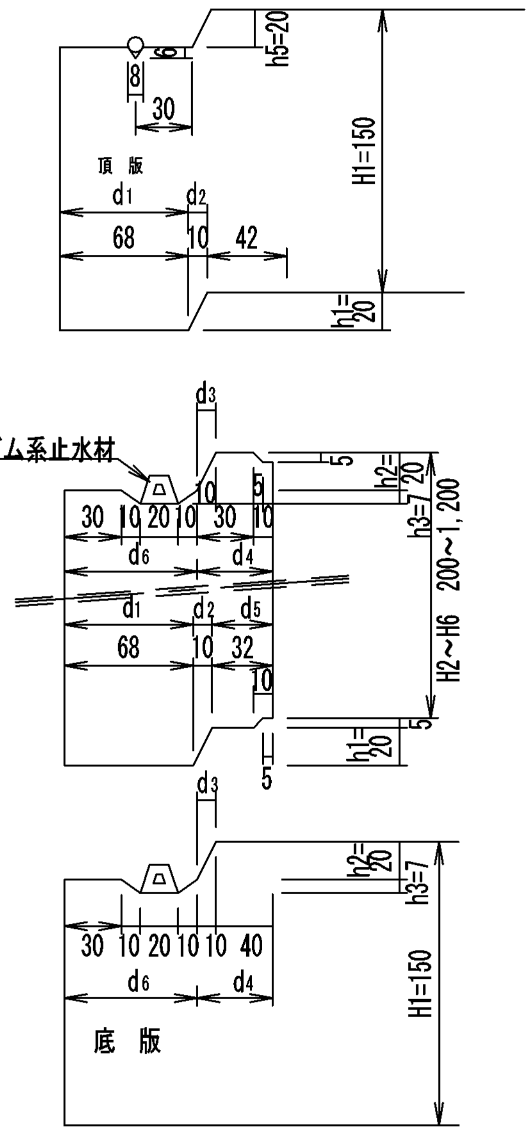
調整ブロック等構造図　S=1/20



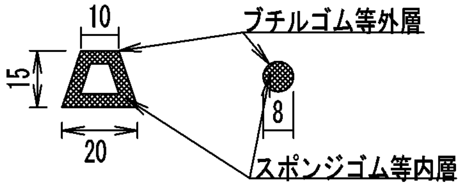
調整ブロックH5,H5-10には ⓗ2（ダイヤ筋）は配筋しない。



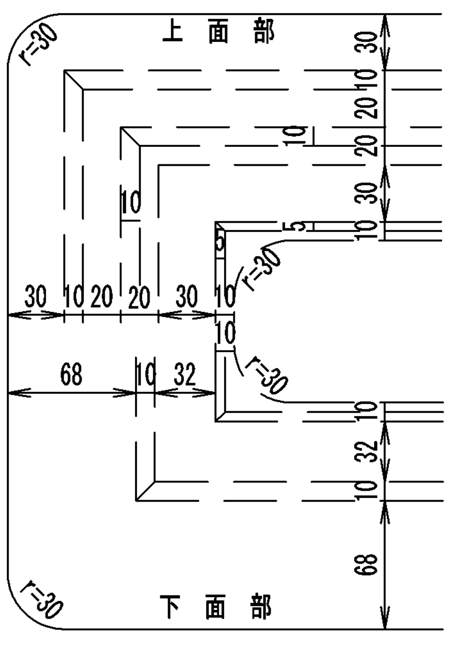
躯体ブロック等接合部詳細図　S=1/4



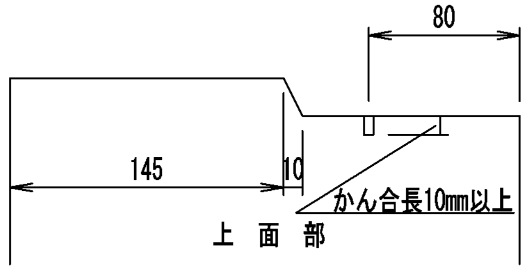
接合部止水材形状図　S=1/2



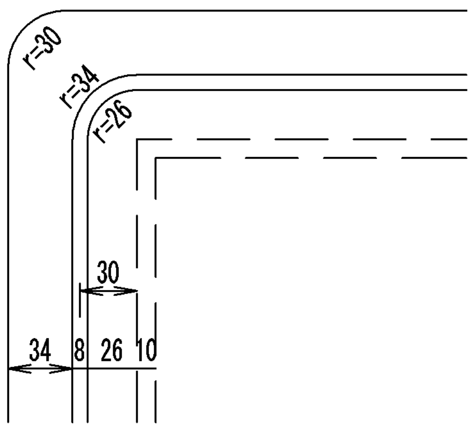
躯体ブロック等隅角部詳細図　S=1/4



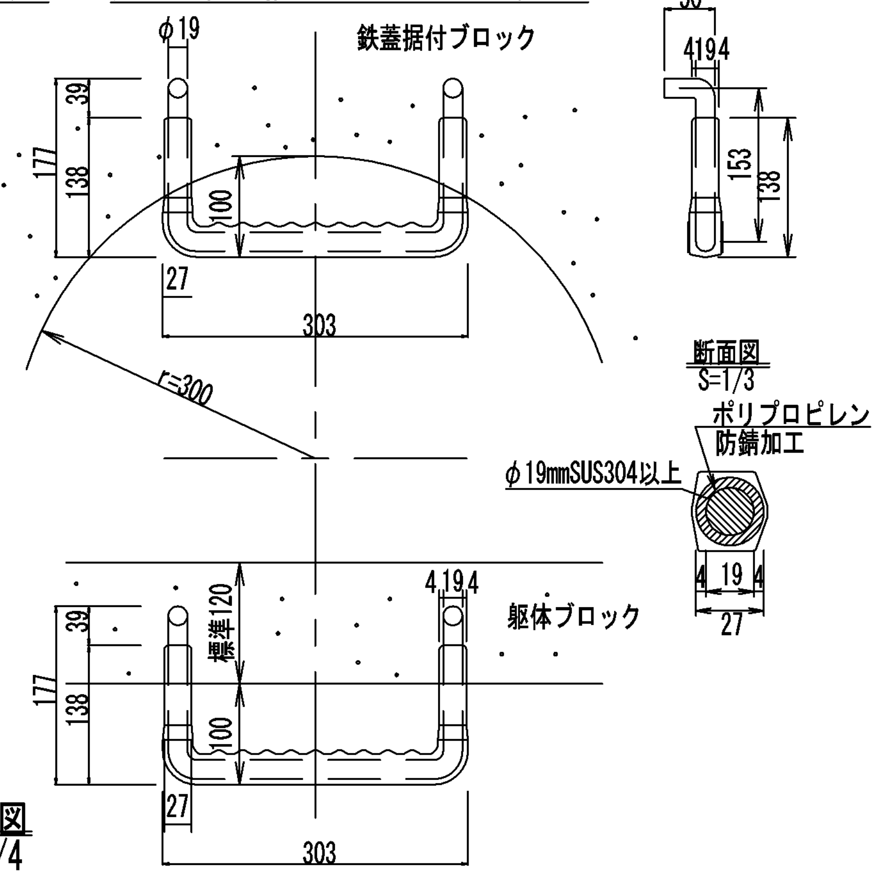
鉄蓋据付ブロックボルト固定詳細図　S=1/4



調整ブロック等隅角部詳細図S=1/4



足掛金物・構造・取付図　S=1/7.5



（接合部止水材、足掛金物は標準仕様であり、形状・機能・材質等に於て同等以上のものは協議のうえ使用できる。）

各部寸法の許容差(mm)等の基準

種　別	D1～D4	D5	H1～H12	d1	d2～d3	d4	d5	d6	h1～h5	r
躯体ブロック	±4		±4	+1.5 -2	±1.5	+1.5 -2	+2 -1.5	+2 -1.5	±2	±3
頂　版	±4	±3	±3	+1.5 -2	±1.5				±2	±3
底　版	±4		±3		±1.5	+1.5 -2	+2 -1.5	+2 -1.5	±2	±3
調整ブロック等	±4	±3	±3	+1.5 -2	±1.5				±2	±3
”ねじれ””そり”はいずれの部分にもあってはならない										

仙台市建設局

仙台市型組立式特１号マンホール（内法90cm×60cm）構造標準図（３）

ブロック等組合せ数量表

使用方法

1.本表は、原則として頂版の上部ブロックは高さ調整用ブロック（厚5cm×1、厚10cm×2）二個を使用するものとして作成してある。（マンホール深Ｈが1.13≦Ｈ<1.23、1.33≦Ｈ<1.43の場合を除く）したがって、路面勾配等が急な場所に傾斜ブロックを使用する場合は、これに加えて使用することとなり本表はそのまま使用できない。

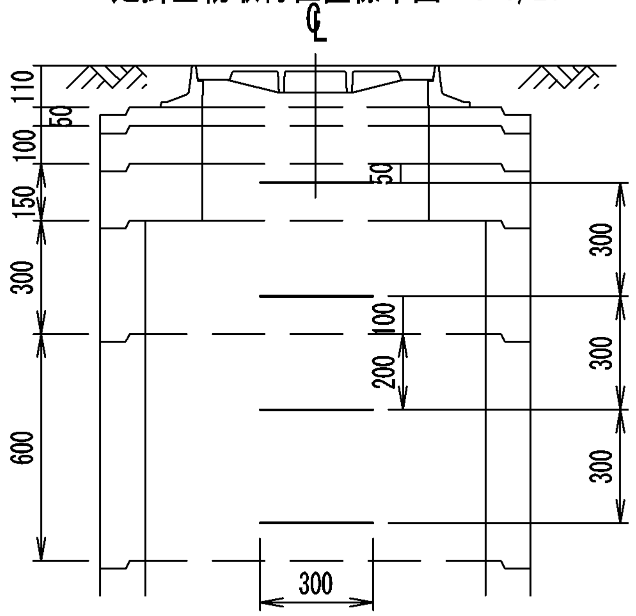
2.本表は、ブロックに本管用の削孔を行う場合には、最下段ブロックの下縁端よりの場合を除きブロックの上下縁端より10cm以上離して削孔するものとして作成してある。

3.本表は、内空高（インバートより頂版までの高さ）を59.5cm以上確保するものとして作成してある。したがって傾斜ブロック等を使用する場合には内空高を確保するよう別途考慮することとなる。

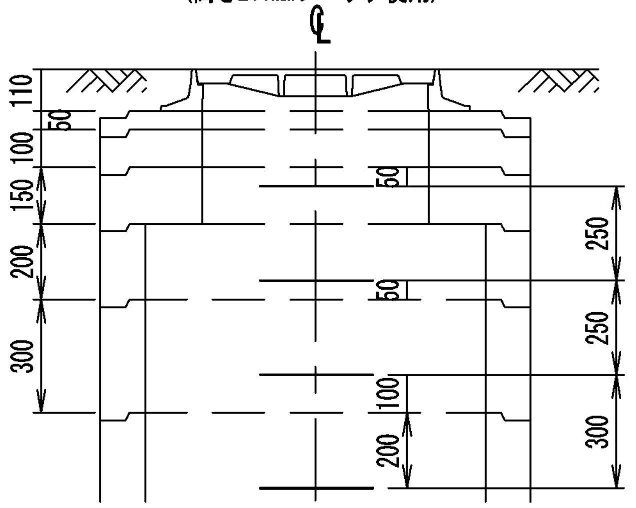
4.本表は、高さ調整ブロックの数を最小にするよう躯体ブロックの組合せを考慮したものであり（高さ調整ブロック厚5cmのものと10cmのもの合わせて15cmは原則として確保する）、この範囲内で高さの高い躯体ブロックから順次使用するよう作成してある。したがって、副管付本管が中間点にくる場合で削孔残（10cm）を確保するため組合せを変える場合は、本表は使用できないので別途考慮することとなる。

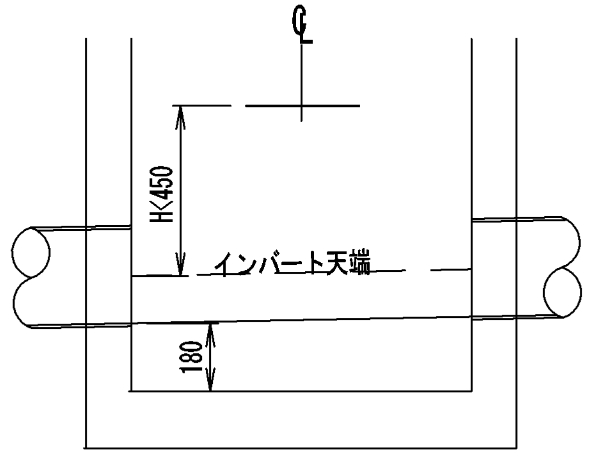
マンホール深(Hm)	本管及び許容段差(m) φ200（塩ビ）t=8.0mm	φ250（塩ビ）t=8.5mm	φ300（塩ビ）t=9.0mm	φ350（塩ビ）t=10.0mm	φ400（塩ビ）t=10.0mm	φ450（塩ビ）t=10.0mm	底版厚 0.15m（個）	頂版厚 0.15m（個）	調整ブロック（100mm）厚0.21m（個）	最下部直壁ブロック h=0.9m～1.2m（個）	a(m)	調整高 H-a -0.33（-0.18）(m)	上置直壁ブロック h1 =0.2m（個）	h2 =0.3m（個）	h3 =0.4m（個）	h4 =0.6m（個）	h5 =0.9m（個）	h6 =1.2m（個）	調整ブロック h7 =0.05m（個）	h8 =0.10m（個）	止水シール材 躯体ブロック用（組）	調整ブロック用（組）
1.12m 以下																						
1.13m ～	0.362	0.3115	0.261	0.21	0.16	0.11	1	1	1	1	0.90	(0.05)							1		2	2
1.18m ～	0.312	0.2615	0.211	0.16	0.11	0.06	1	1	1	1	0.90	(0.10)								1	2	2
1.23m ～	0.412	0.3615	0.311	0.26	0.21	0.16	1	1	1	1	0.90	0.00							1	1	2	3
1.28m ～	0.362	0.3115	0.261	0.21	0.16	0.11	1	1	1	1	0.90	0.05							2	1	2	4
1.33m ～	0.312	0.2615	0.211	0.16	0.11	0.06	1	1	1	1	0.90	0.10							1	2	2	4
1.38m ～	0.262	0.2115	0.161	0.11	0.06	0.01	1	1	1	1	0.90	0.15							2	2	2	5
1.43m ～	0.412	0.3615	0.311	0.26	0.21	0.16	1	1	1	1	0.90	0.20	1						1	1	3	3
1.48m ～	0.362	0.3115	0.261	0.21	0.16	0.11	1	1	1	1	0.90	0.25	1						2	1	3	4
1.53m ～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	0.00							1	1	2	3
1.58m ～	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	0.05							2	1	2	4
1.63m ～	0.612	0.5615	0.511	0.46	0.41	0.36	1	1	1	1	1.20	0.10							1	2	2	4
1.68m ～	0.562	0.5115	0.461	0.41	0.36	0.31	1	1	1	1	1.20	0.15							2	2	2	5
1.73m ～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	0.20	1						1	1	3	3

足掛金物取付位置標準図　S=1/20



（高さ200mmブロック使用）





仙台市建設局

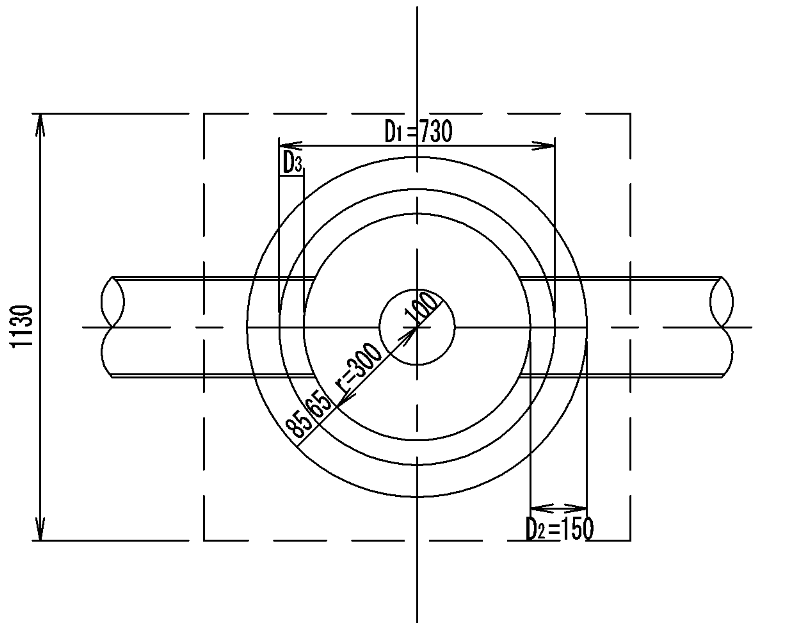
マンホール深(Hm)	本管及び許容段差(m)						底版厚 0.15m	頂版厚 0.15m	調整ブロック(100mm)厚0.21m	最下部直壁ブロック h=0.9m～1.2m		調整高 H-a -0.33 (-0.18)	上置直壁ブロック						調整ブロック		止水シール材	
	φ200 (塩ビ) t=8.0mm	φ250 (塩ビ) t=8.5mm	φ300 (塩ビ) t=9.0mm	φ350 (塩ビ) t=10.0mm	φ400 (塩ビ) t=10.0mm	φ450 (塩ビ) t=10.0mm	(個)	(個)	(個)	(個)	a(m)	(m)	h1 =0.2m (個)	h2 =0.3m (個)	h3 =0.4m (個)	h4 =0.6m (個)	h5 =0.9m (個)	h6 =1.2m (個)	h7 =0.05m (個)	h8 =0.10m (個)	躯体ブロック用 (組)	調整ブロック用 (組)
1.78m〜	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	0.25	1						2	1	3	4
1.83m〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	0.30		1					1	1	3	3
1.88m〜	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	0.35		1					2	1	3	4
1.93m〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	0.40			1				1	1	3	3
1.98m〜	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	0.45			1				2	1	3	4
2.03m〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	0.50	1	1					1	1	4	3
2.08m〜	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	0.55	1	1					2	1	4	4
2.13m〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	0.60				1			1	1	3	3
2.18m〜	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	0.65				1			2	1	3	4
2.23m〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	0.70		1	1				1	1	4	3
2.28m〜	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	0.75		1	1				2	1	4	4
2.33m〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	0.80	1			1			1	1	4	3
2.38m〜	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	0.85	1			1			2	1	4	4
2.43m〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	0.90					1		1	1	3	3
2.48m〜	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	0.95					1		2	1	3	4
2.53m〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	1.00			1	1			1	1	4	3
2.58m〜	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	1.05			1	1			2	1	4	4
2.63m〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	1.10	1				1		1	1	4	3
2.68m〜	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	1.15	1				1		2	1	4	4
2.73m〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	1.20						1	1	1	3	3
2.78m〜	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	1.25						1	2	1	3	4
2.83m〜	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	1.30			1		1		1	1	4	3
2.88m〜	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	1.35			1		1		2	1	4	4

マンホール深(Hm)	本管及び許容段差(m)						底版厚 0.15m	頂版厚 0.15m	調整ブロック(100mm)厚0.21m	最下部直壁ブロック h=0.9m～1.2m		調整高 H−a −0.33 (−0.18)	上置直壁ブロック						調整ブロック		止水シール材	
	φ200 (塩ビ) t=8.0mm	φ250 (塩ビ) t=8.5mm	φ300 (塩ビ) t=9.0mm	φ350 (塩ビ) t=10.0mm	φ400 (塩ビ) t=10.0mm	φ450 (塩ビ) t=10.0mm							h1 =0.2m	h2 =0.3m	h3 =0.4m	h4 =0.6m	h5 =0.9m	h6 =1.2m	h7 =0.05m	h8 =0.10m	躯体ブロック用	調整ブロック用
							(個)	(個)	(個)	(個)	a(m)	(m)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(組)	(組)
2.93m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	1.40	1					1	1	1	4	3
2.98m～	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	1.45	1					1	2	1	4	4
3.03m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	1.50		1				1	1	1	4	3
3.08m～	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	1.55		1				1	2	1	4	4
3.13m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	1.60			1			1	1	1	4	3
3.18m～	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	1.65			1			1	2	1	4	4
3.23m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	1.70	1	1				1	1	1	5	3
3.28m～	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	1.75	1	1				1	2	1	5	4
3.33m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	1.80				1		1	1	1	4	3
3.38m～	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	1.85				1		1	2	1	4	4
3.43m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	1.90		1	1			1	1	1	5	3
3.48m～	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	1.95		1	1			1	2	1	5	4
3.53m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	2.00	1			1		1	1	1	5	3
3.58m～	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	2.05	1			1		1	2	1	5	4
3.63m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	2.10					1	1	1	1	4	3
3.68m～	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	2.15					1	1	2	1	4	4
3.73m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	2.20			1	1		1	1	1	5	3
3.78m～	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	2.25			1	1		1	2	1	5	4
3.83m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	2.30	1				1	1	1	1	5	3
3.88m～	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	2.35	1				1	1	2	1	5	4
3.93m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	2.40						2	1	1	4	3
3.98m～	0.662	0.6115	0.561	0.51	0.46	0.41	1	1	1	1	1.20	2.45						2	2	1	4	4
4.03m～	0.712	0.6615	0.611	0.56	0.51	0.46	1	1	1	1	1.20	2.50			1		1	1	1	1	5	3

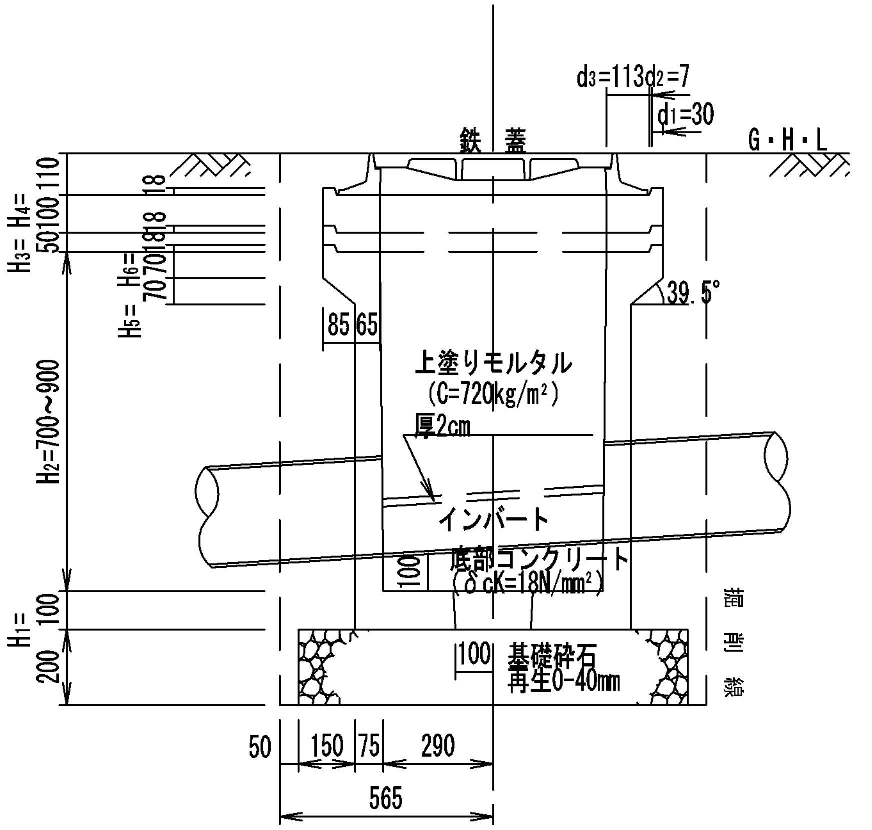
仙台市建設局

仙台市型組立式特殊マンホールA型（内径６０cm）構造標準図（１）

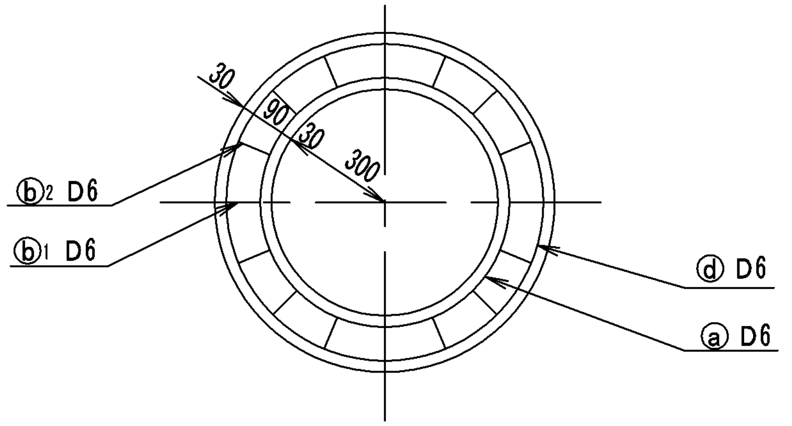
平 面 図 S＝1／20



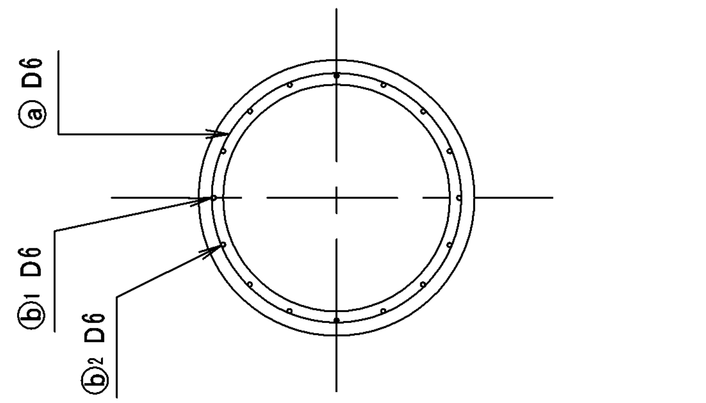
断 面 図 S＝1／20



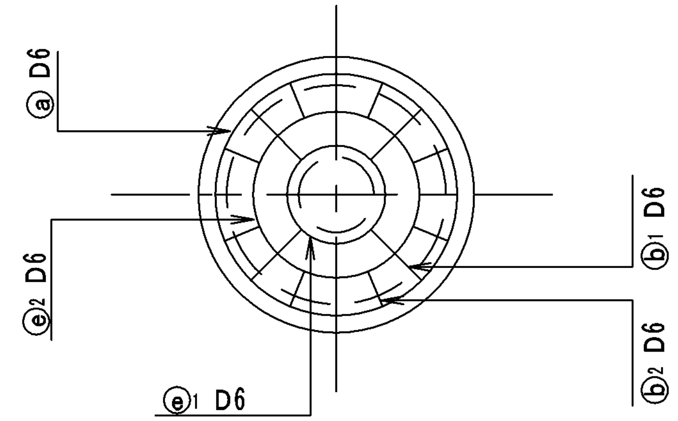
A－A' 断 面 配 筋 図 S＝1／20



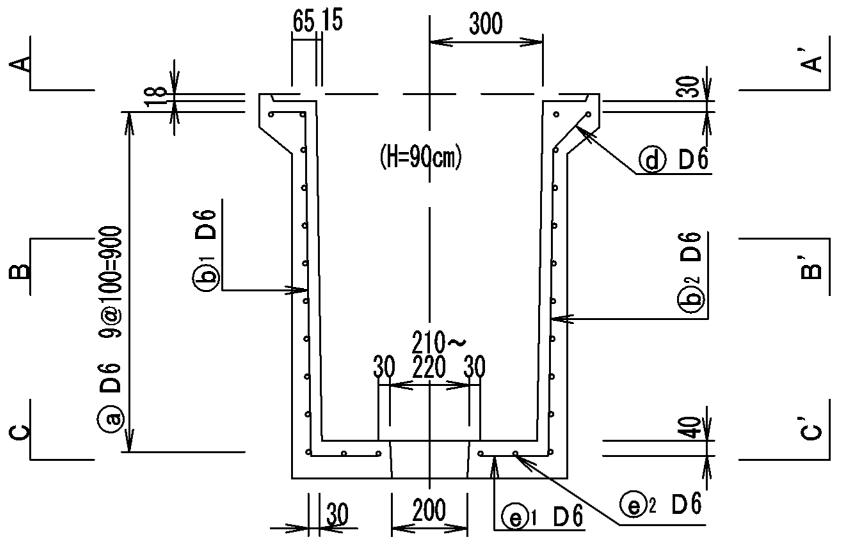
B－B' 断 面 配 筋 図 S＝1／20

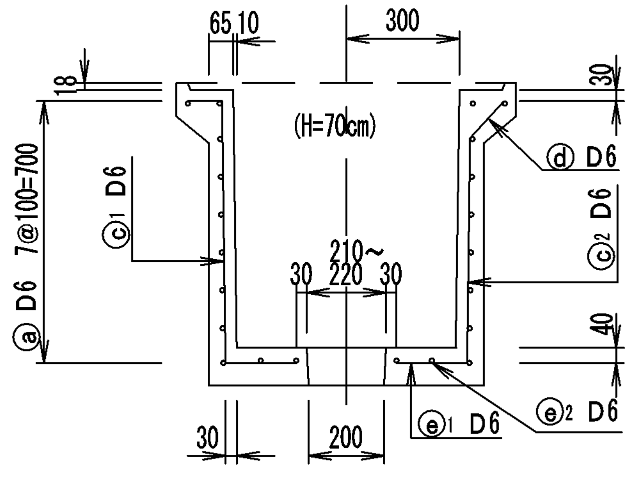


C－C' 断 面 配 筋 図 S＝1／20

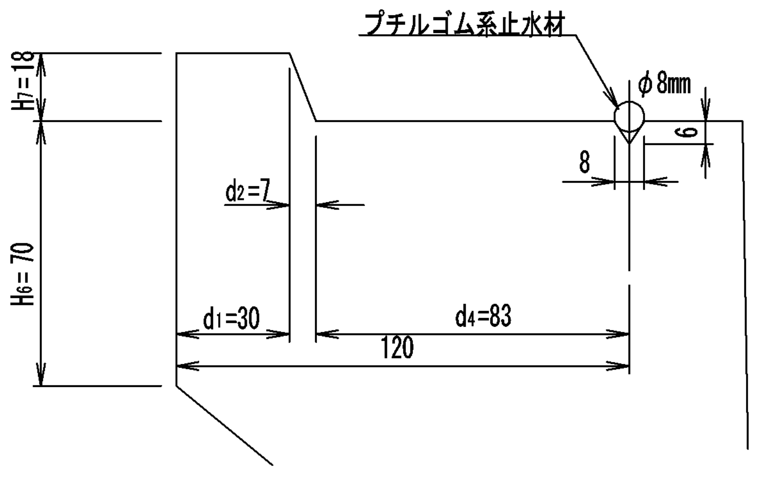


側 面 配 筋 図 S＝1／20





躯体ブロック等接合部詳細図 S＝1／2



仙台市建設局

仙台市型組立式特殊マンホールＡ型（内径６０cm）構造標準図（２）及び組合せ数量表

○　各部寸法の許容差（mm）等の基準

種　　別	D１～D３	H１～H７	d１	d２～d３	d４	r
躯体　ブロック	±4	±4	+1.5 － 2	±1.5	＋ 2 -1.5	±3
調整ブロック等	±4	±3	±2	±2	±2	±3
”ねじれ””そり”はいずれの部分にもあってはならない。						

○　製造、使用上の基準

1. 本標準図は、円形帯鉄筋を使用するものとしてあるが、鉄筋量・配筋の基準等が同等以上ののもであれば、らせん鉄筋を使用してもよい。
2. 成形は遠心力及び振動成形とも可する。
3. 接合部止水材は、標準仕様として図示してあるが、形状・機能・材質等に於いて同等以上のものは協議の上使用できる。
4. 高さ調整ブロックは、組立式1号マンホールと同じものを使用する。
5. 本マンホールに足掛金物は取り付けないものとする。
6. 吊り金具はブロック1個につき3箇所設置するものとし、1箇所当りの耐力は5ｔ以上とする。

ブロック等組合せ数量表

使用方法

1. 本表は、可能な限り調整ブロック2個を使用するよう作成してある。したがって傾斜調整ブロックを使用する場合は、本表はそのまま使用できない。
2. 高さ5cm未満の微調整は、躯体ブロックの削孔部及び鉄蓋据付モルタルで行うものとし、本表では考慮していない。

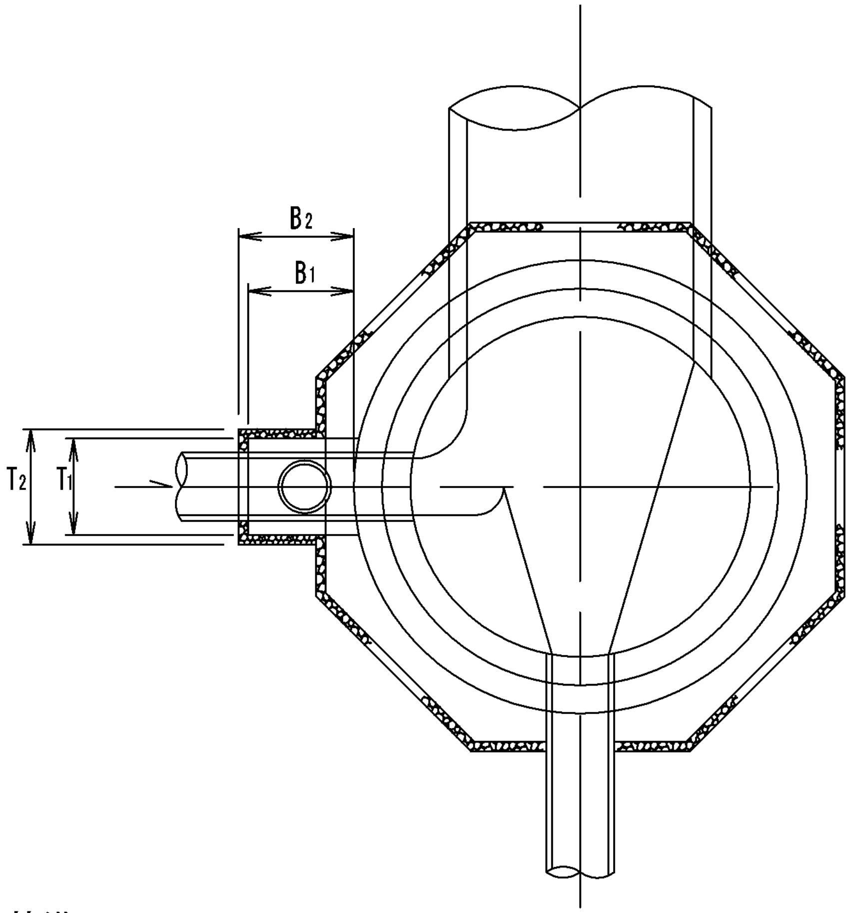
数量表

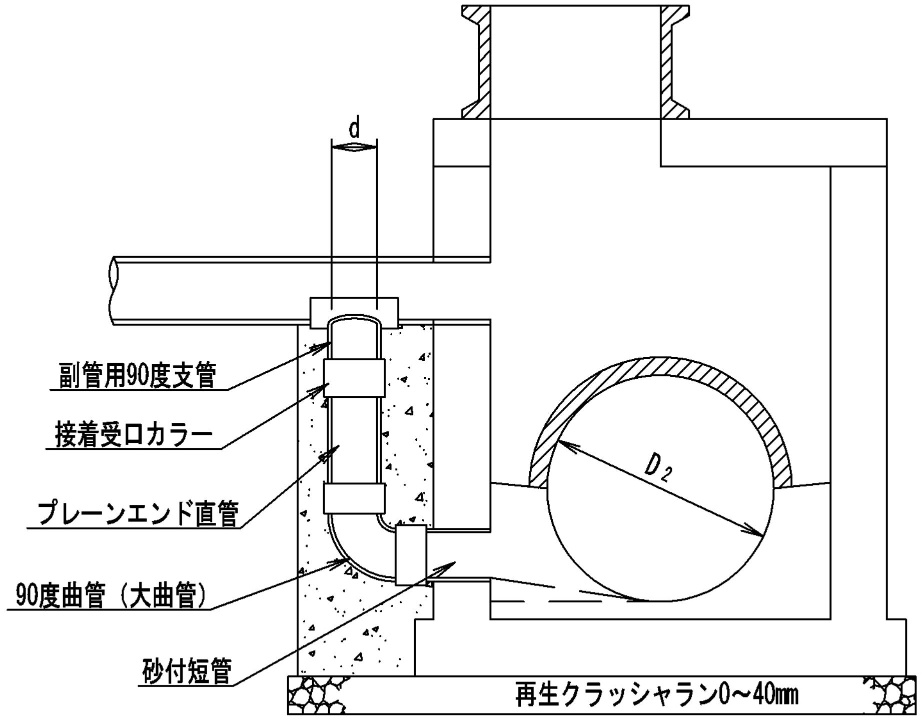
マンホール深	鉄　蓋 厚0.11m	躯体ブロック　a（m）		H－a-0.01	調　整 ブロック		止水シール材	備考
		h＝0.7m W=0.4ｔ	h＝0.9m W=0.5ｔ		h＝0.05m W=0.04ｔ	h＝0.10m W=0.09ｔ	調整ﾌﾞﾛｯｸ用 ϕ10mm	
(Hm)	(個)	(個)	(個)	(m)	(個)	(個)	(組)	
0.71 ≀	1	1		0 ≀				重量Wは 参考重量。 砕石 (0～40mm) V=0.17m^3
0.76 ≀	1	1		0.05 ≀	1		1	
0.81 ≀	1	1		0.10 ≀		1	1	
0.86 ≀	1	1		0.15 ≀	1	1	2	
0.91 ≀	1	1		0.20 ≀	2	1	3	
0.96 ≀	1	1		0.25 ≀	1	2	3	
1.01 ≀	1	1		0.30 ≀	2	2	4	
1.06 ≀	1		1	0.15 ≀	1	1	2	
1.11 ≀	1		1	0.20 ≀	2	1	3	
1.16 ≀	1		1	0.25 ≀	1	2	3	

仙台市建設局

外副管取付構造図

単位：mm





副管使用の基準

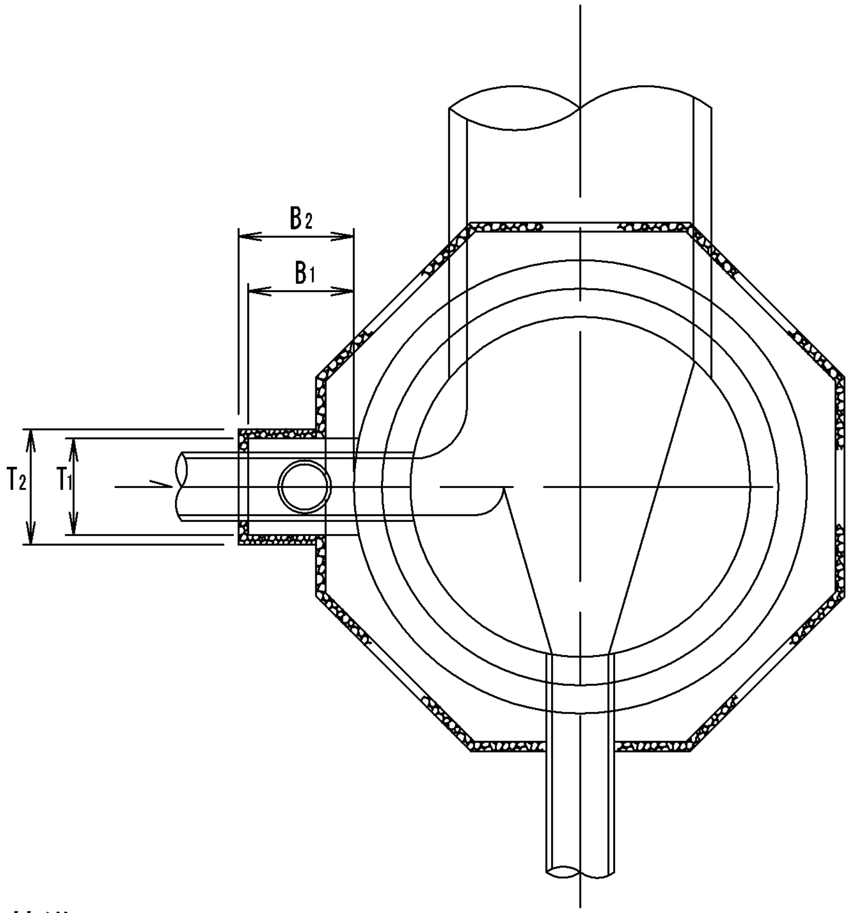
本管径（mm）	副管径（mm）
200	150
250	200
300	200
350	200
400	200
450	250
500	250
600以上	300

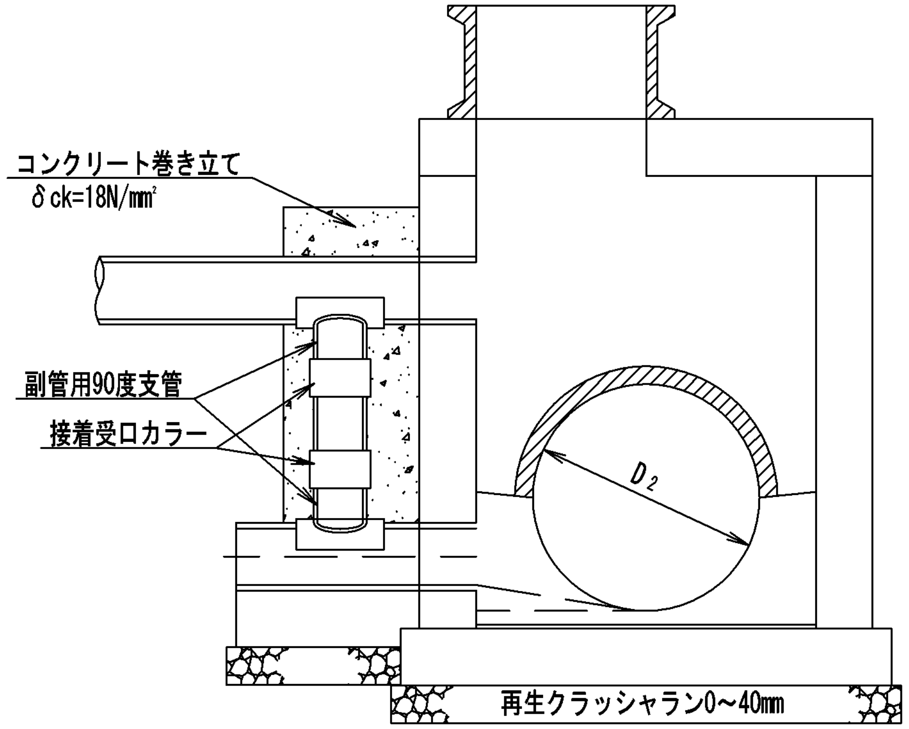
d	B_1	B_2	T_1	T_2
150	400	450	400	500
200	450	500	450	550
250	500	550	500	600
300	550	600	550	650

仙台市建設局

外副管（二段構造）取付構造図

単位：mm





副管使用の基準

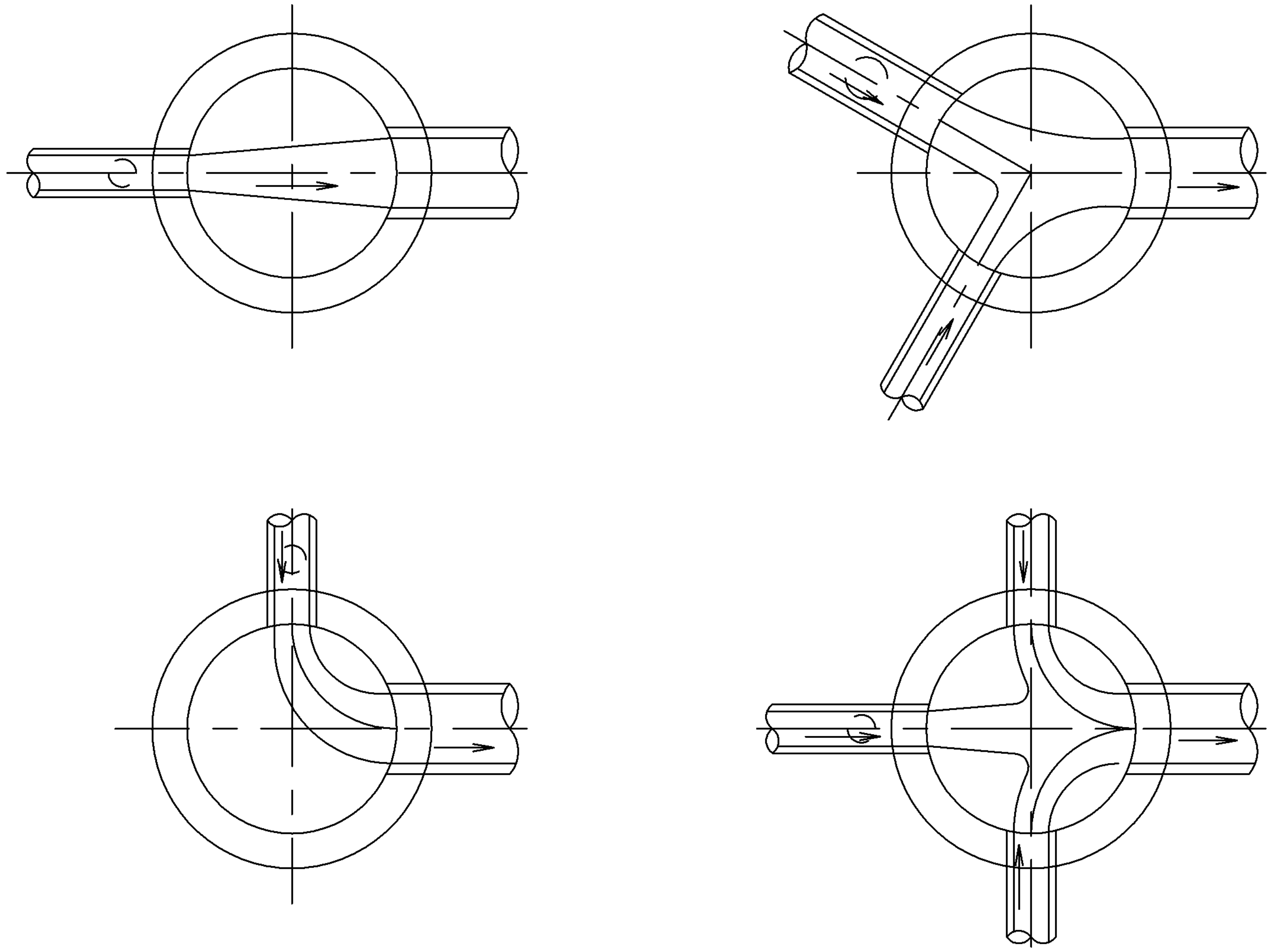
本管径（mm）	副管径（mm）
200	150
250	200
300	200
350	200
400	200
450	250
500	250
600以上	300

d	B_1	B_2	T_1	T_2
150	400	450	400	500
200	450	500	450	550
250	500	550	500	600
300	550	600	550	650

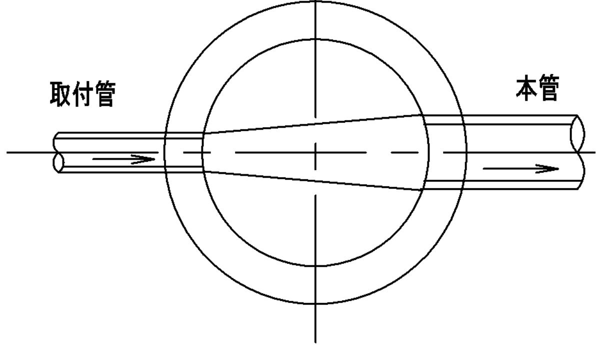
仙台市建設局

マンホール内インバート設置標準図（１）

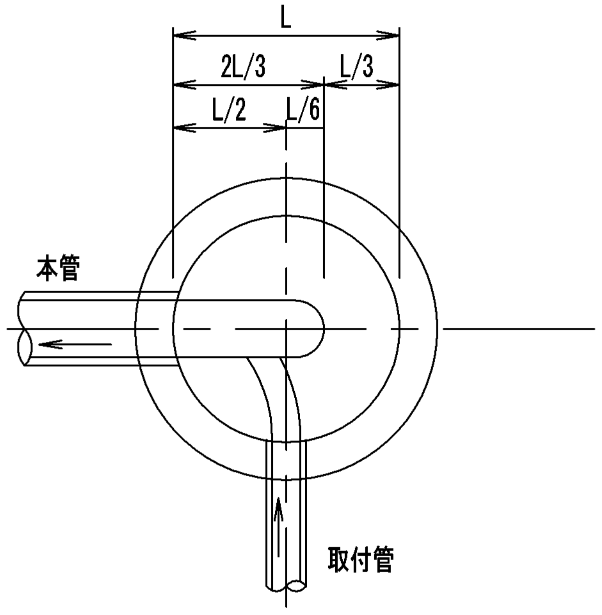
1.平面図形状



取付管ありの止りマンホール
（取付管方向180°）



取付管ありの止りマンホール
（取付管方向180°以外）



注）副管が設置される場合においても、インバートの仕上げは本管径とする。
特殊なところは、工事監督員と協議すること。

仙台市建設局

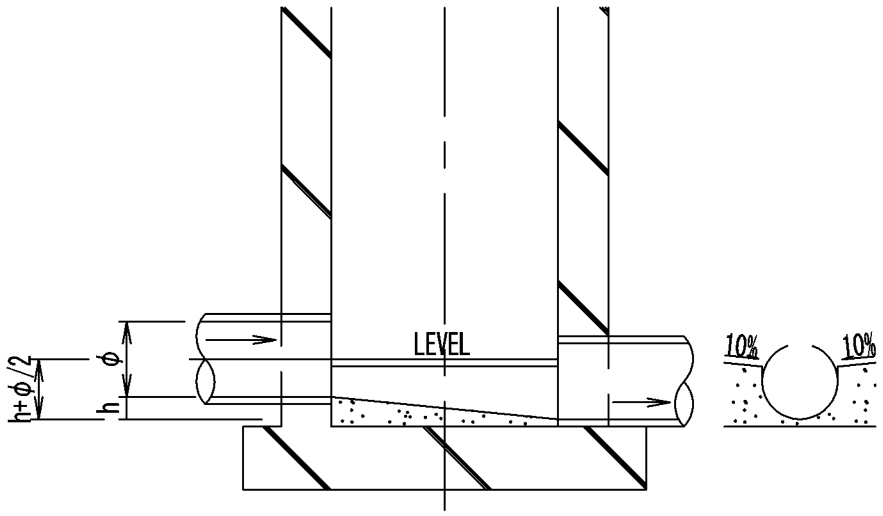
マンホール内インバート設置標準図（２）

2.断面形状

上下流管の段差=h

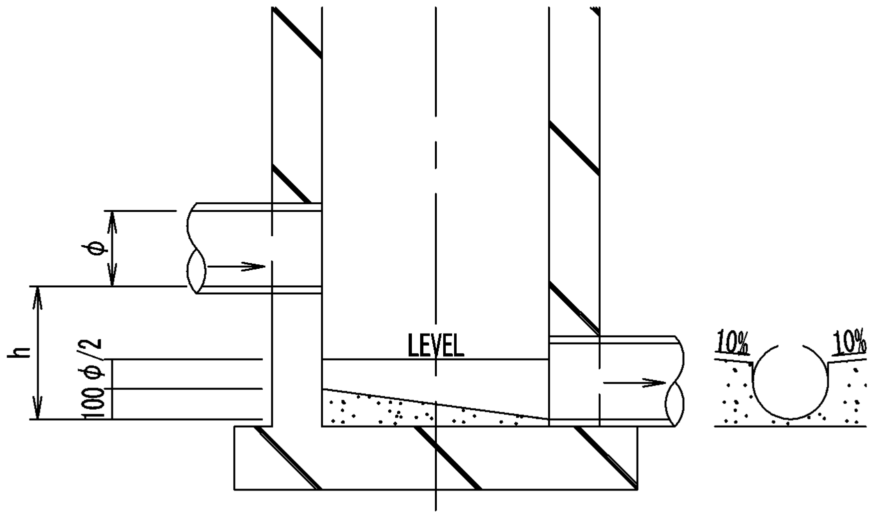
上流管の管径=φ

中間マンホール(h<10cm)



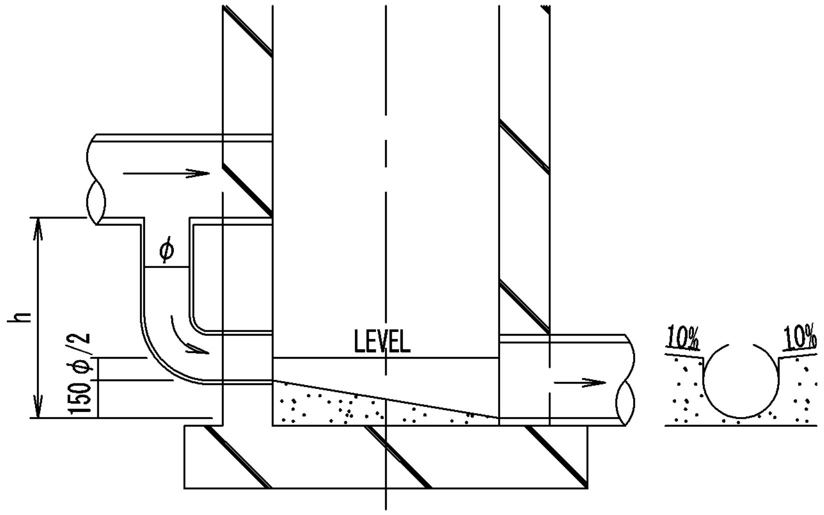
インバートの底辺が上流管底と下流管底ですりつく場合は、天端開口部もラッパ状にすりつける。

段差付マンホール(10cm≦h<60cm)

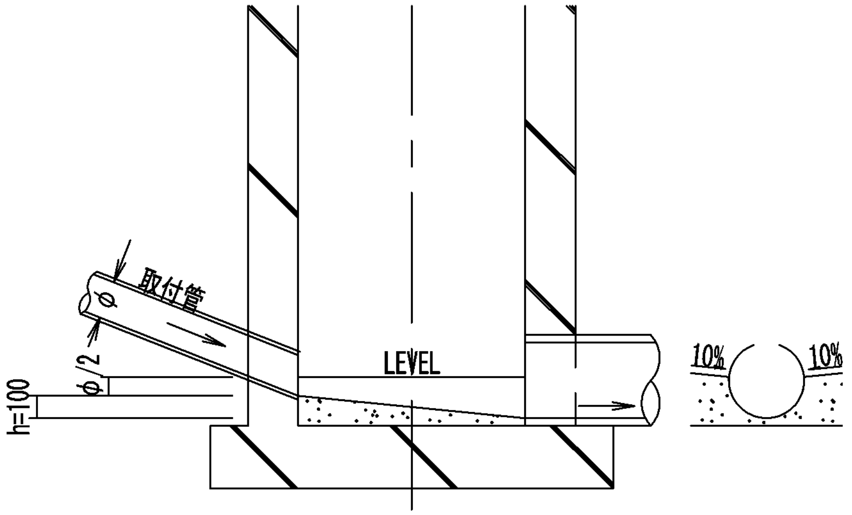


上図のように上流管底とインバート底面に段差がある場合のインバート天端開口幅は、下流管直径のままとする。

副管付マンホール(h≦60cm)



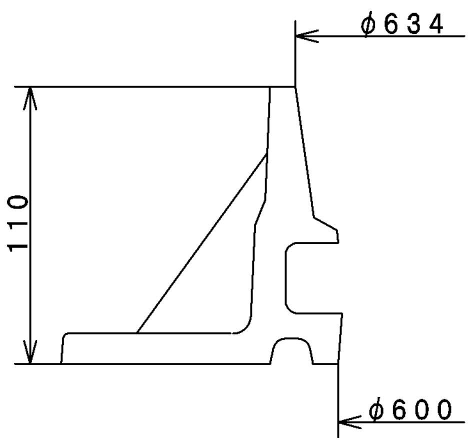
最上流部及び取付管流入中間マンホール



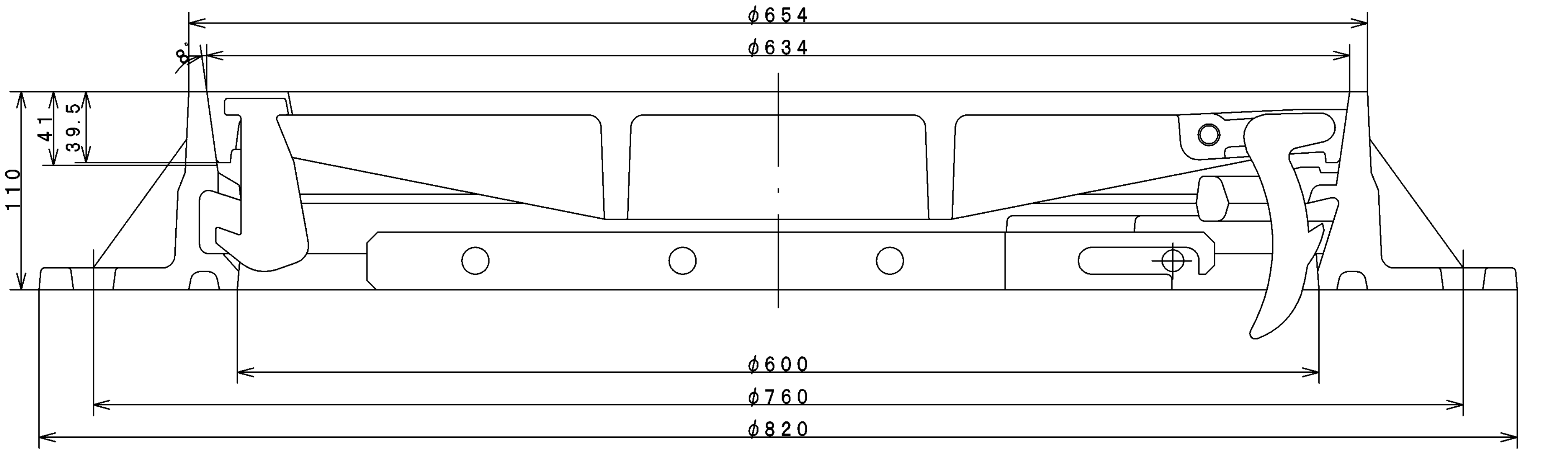
仙台市建設局

マンホール鉄蓋及び蓋受け金物構造図（1）　（口径60cm、T－25）

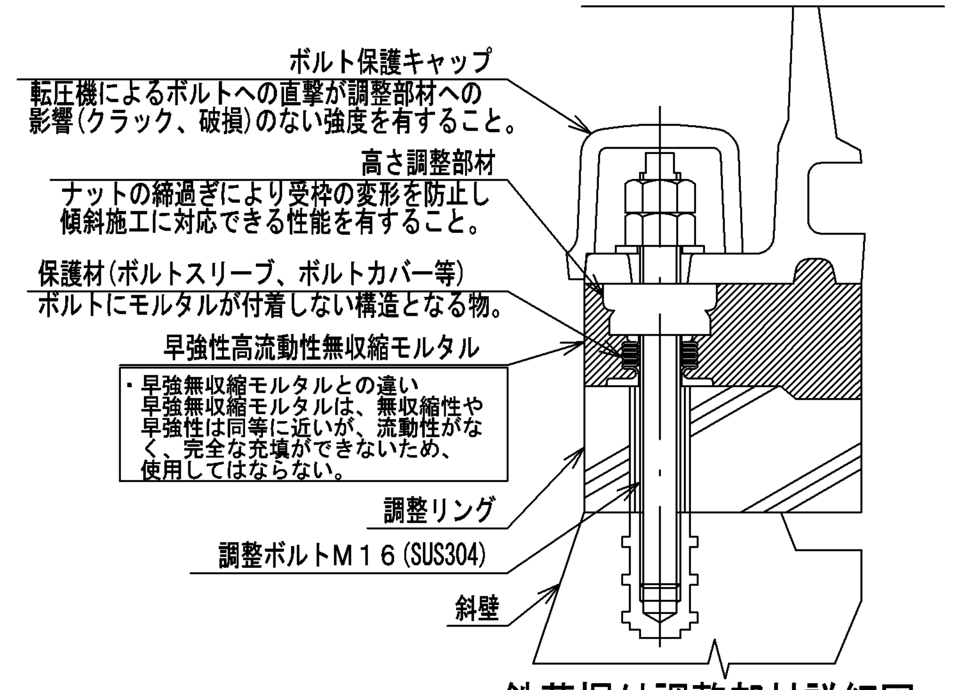
単位 mm



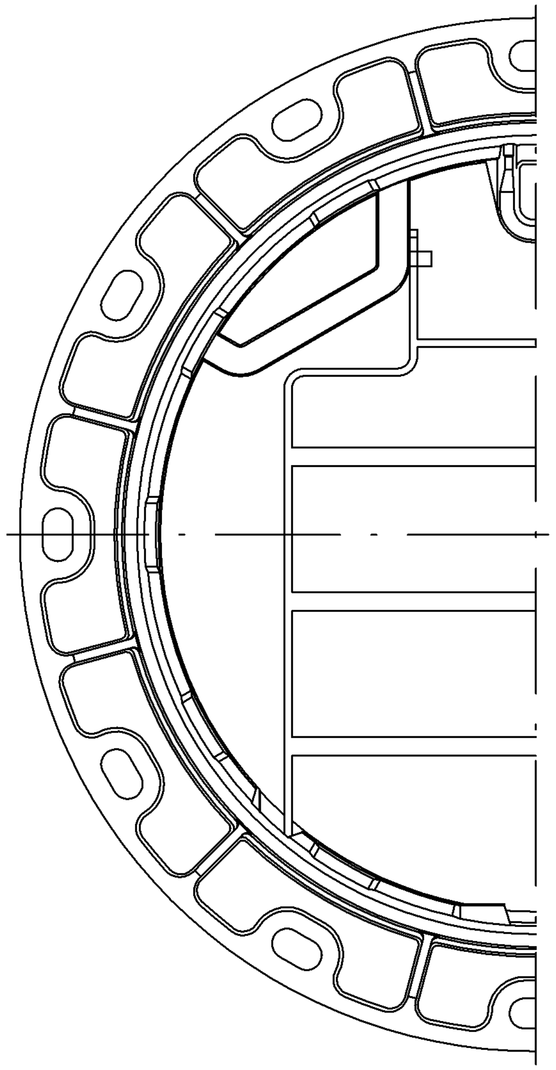
受枠一般断面図



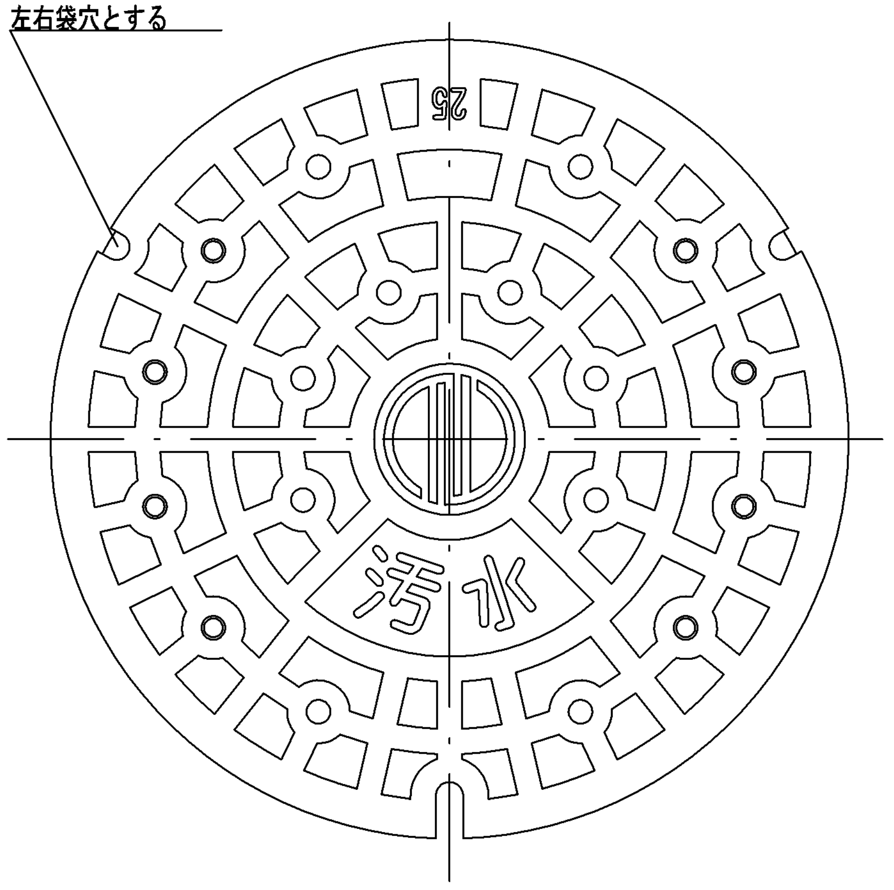
蓋、受枠断面図



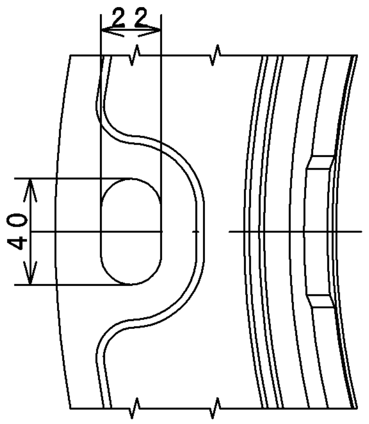
鉄蓋据付調整部材詳細図



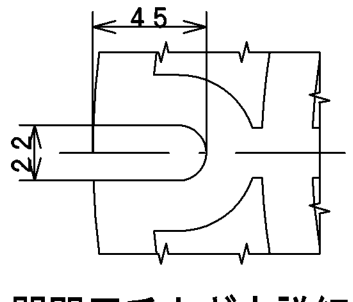
受枠詳細図



蓋平面図



アンカー穴詳細図



開閉用手カギ穴詳細図

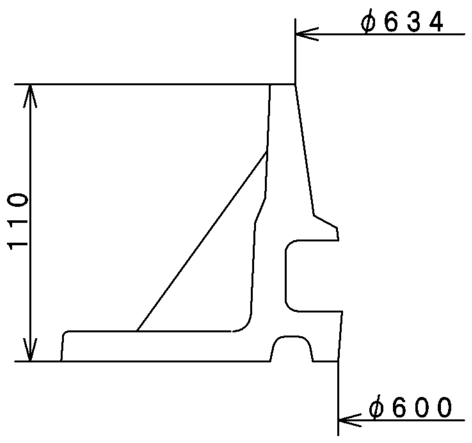
- 斜壁の埋め込みインサートはブロック1個につき3箇所設置するものとし、1箇所当たりの耐力は50kN(5t)以上とする。
- 緊結ボルトはM16、SUS304を標準とするが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは協議の上使用できる。
- 傾斜設置する埋め込みインサートとボルトの嵌合長は10mm以上を確保すること。
- 緊結ボルトは高さ調整用モルタルが付着しないように保護材等を使用し、施工すること。
- 緊結ボルト頂部には、保護キャップを使用し、ボルトを保護すること。また、キャップの材質については、鋳鉄製のものを原則とするが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは、協議の上使用できる。

※本図は参考図であり、機能を表現したものである。
機能としては、本図と同等の機能とする。

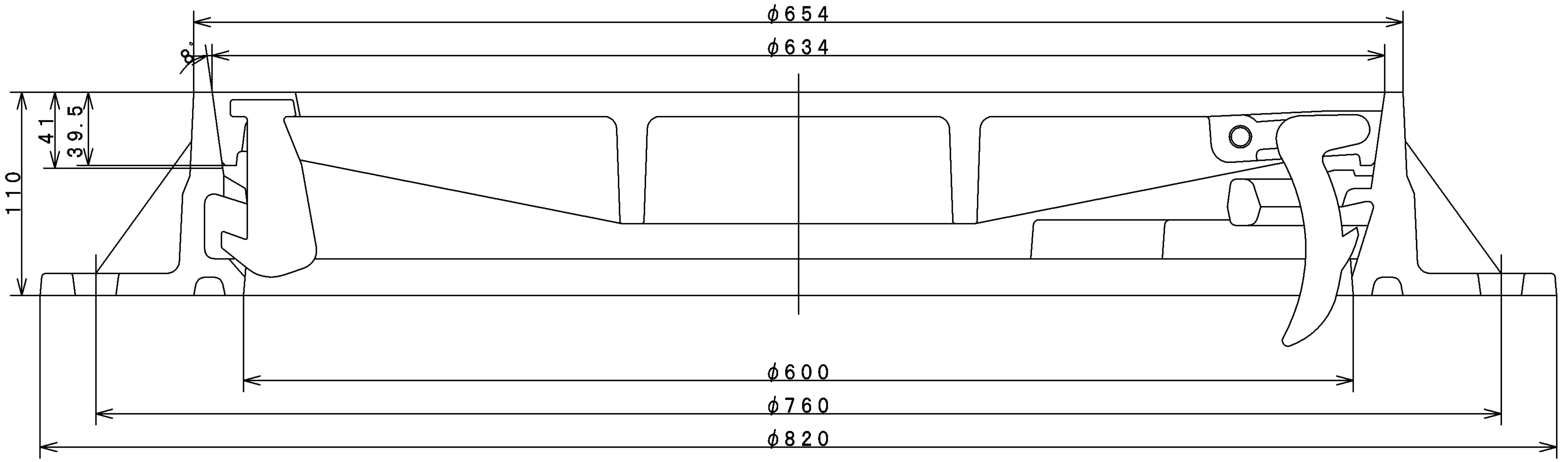
仙台市建設局

マンホール鉄蓋及び蓋受け金物構造図（2）　（口径60cm、T－25）

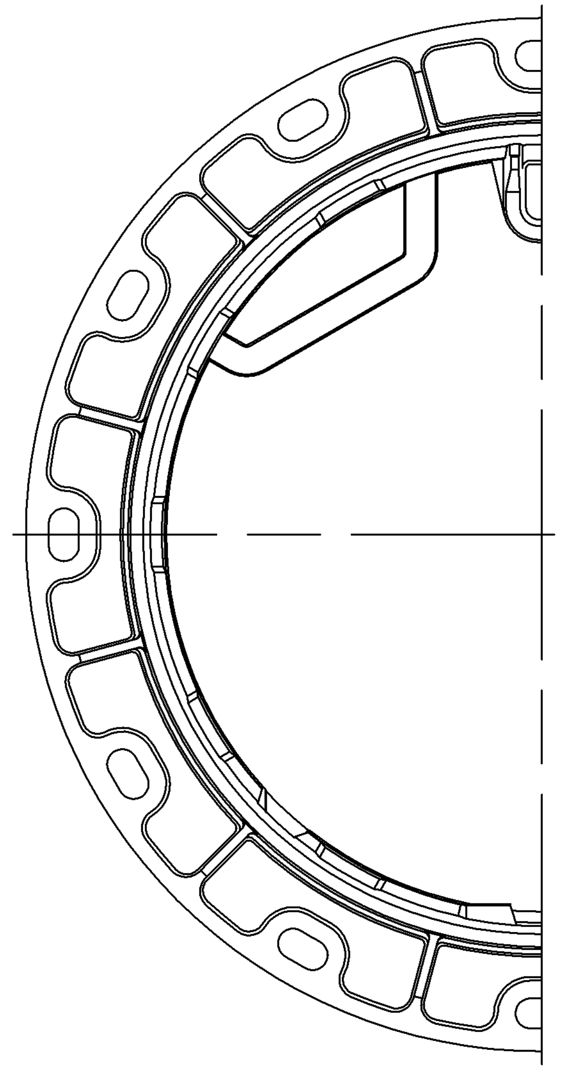
単位 mm



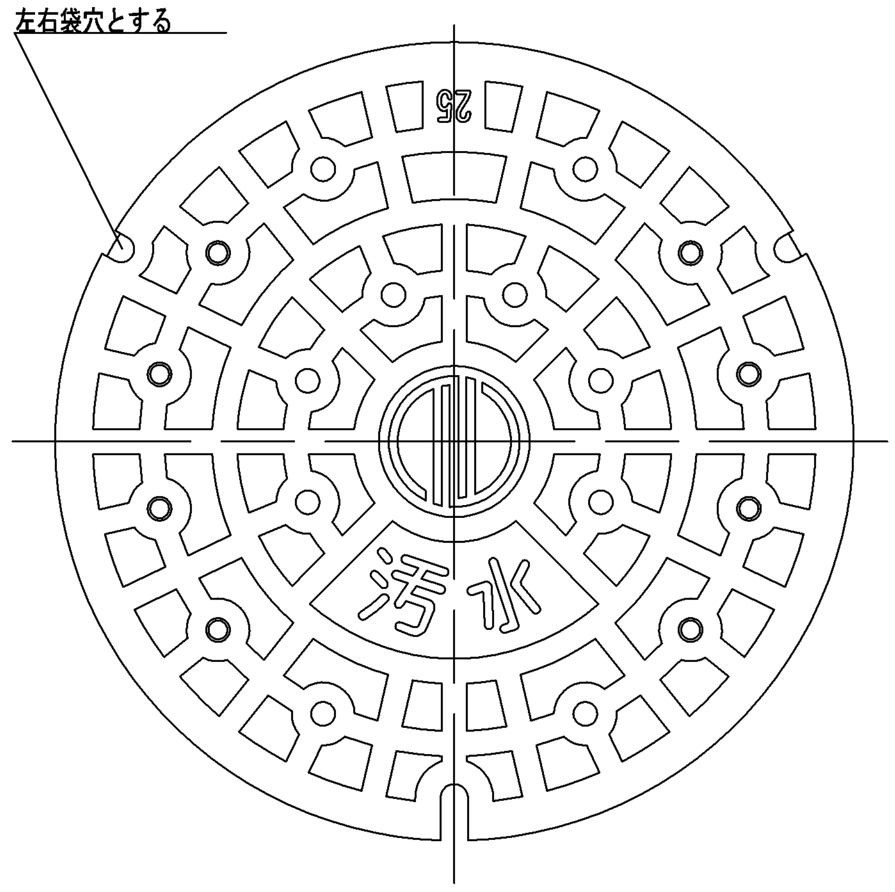
受枠一般断面図



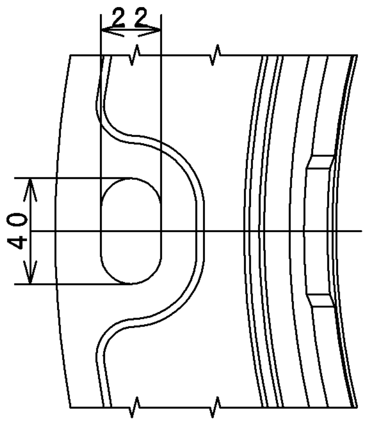
蓋、受枠断面図



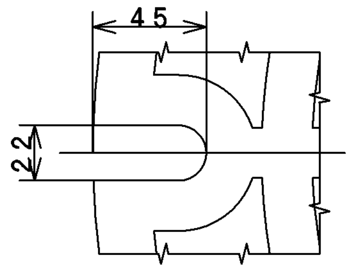
受枠詳細図



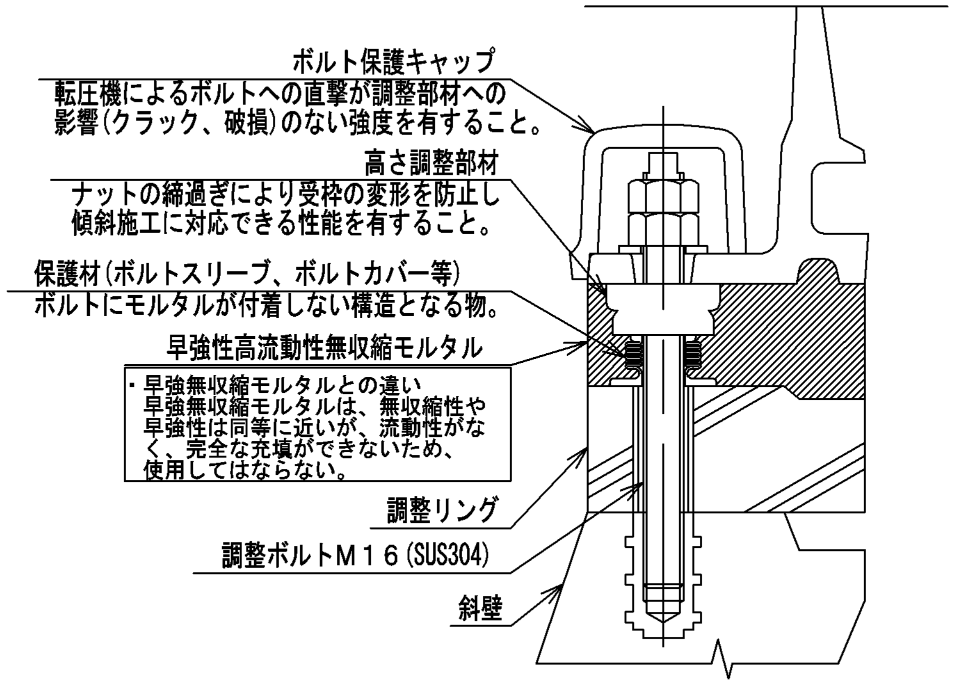
蓋平面図



アンカー穴詳細図



開閉用手カギ穴詳細図



鉄蓋据付調整部材詳細図

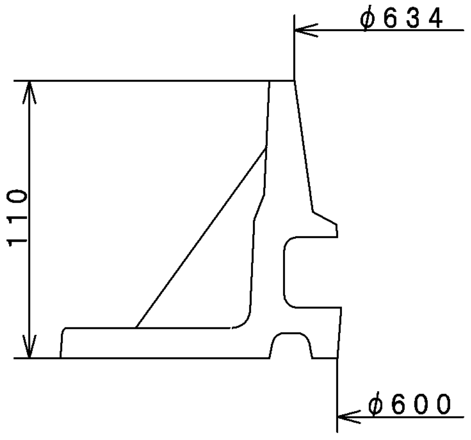
- 斜壁の埋め込みインサートはブロック1個につき3箇所設置するものとし、1箇所当たりの耐力は50kN(5t)以上とする。
- 緊結ボルトはM16、SUS304を標準とするが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは協議の上使用できる。
- 傾斜設置する埋め込みインサートとボルトの嵌合長は10mm以上を確保すること。
- 緊結ボルトは高さ調整用モルタルが付着しないように保護材等を使用し、施工すること。
- 緊結ボルト頂部には、保護キャップを使用し、ボルトを保護すること。また、キャップの材質については、鋳鉄製のものを原則とするが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは、協議の上使用できる。

※本図は参考図であり、機能を表現したものである。
機能としては、本図と同等の機能とする。

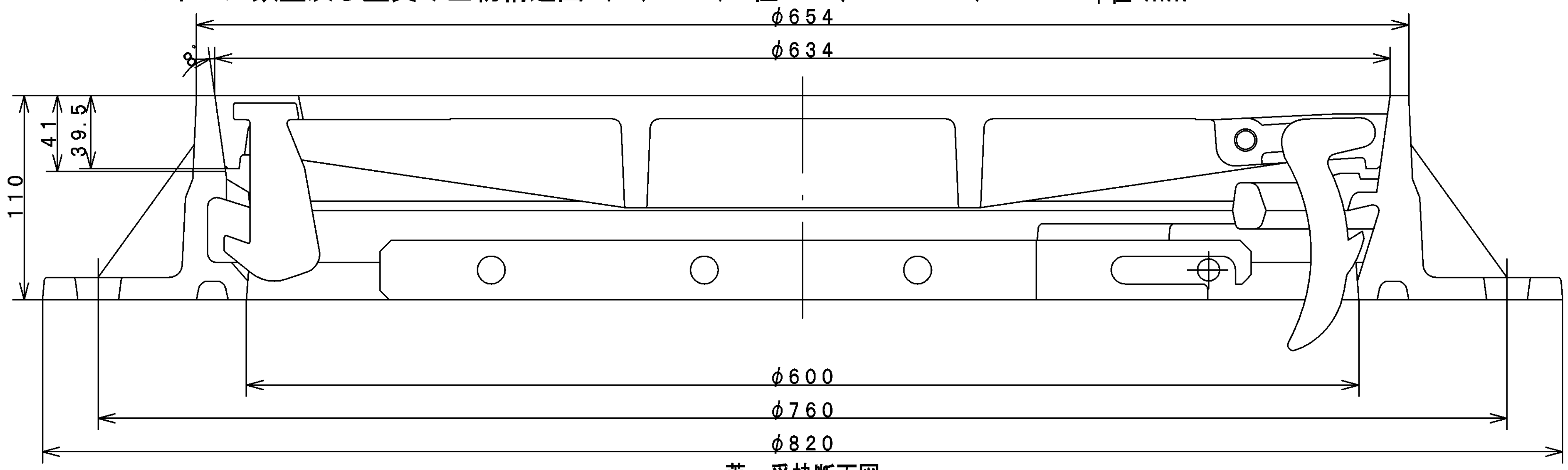
仙台市建設局

マンホール鉄蓋及び蓋受け金物構造図（3）　（口径60cm、T－14）

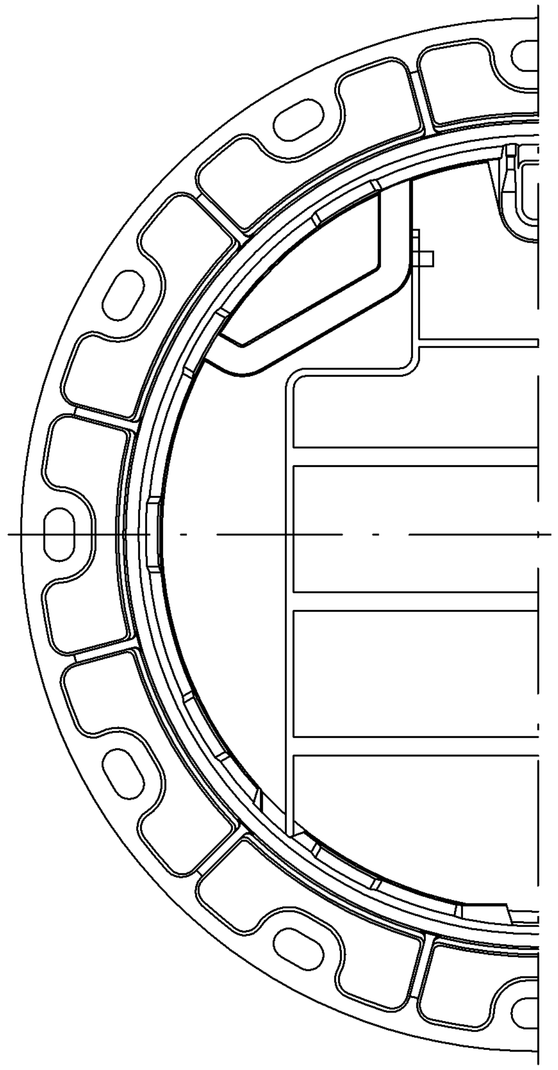
単位 mm



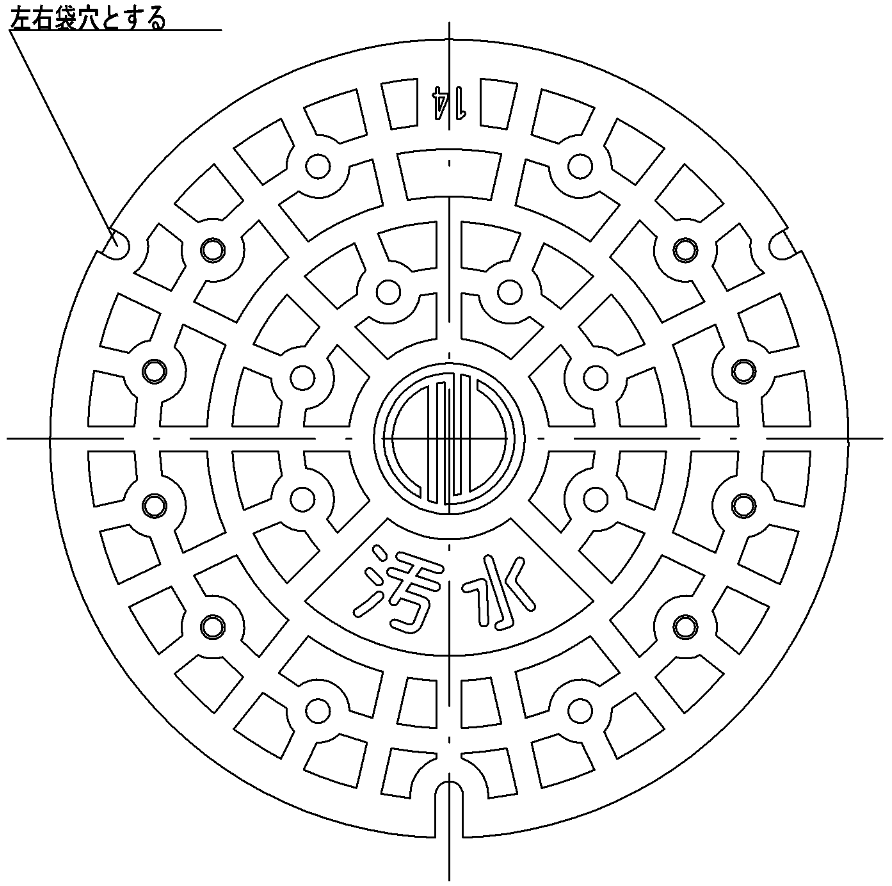
受枠一般断面図



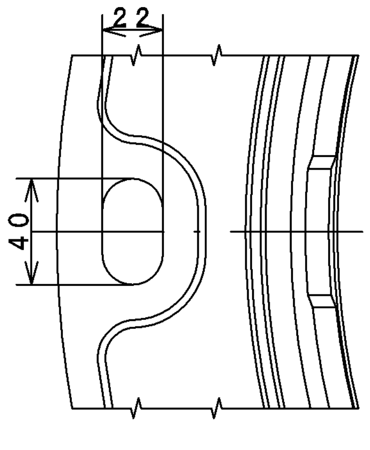
蓋、受枠断面図



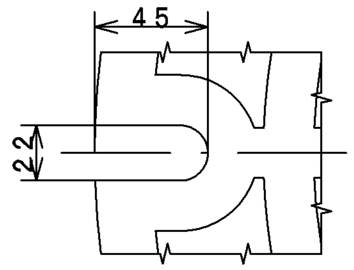
受枠詳細図



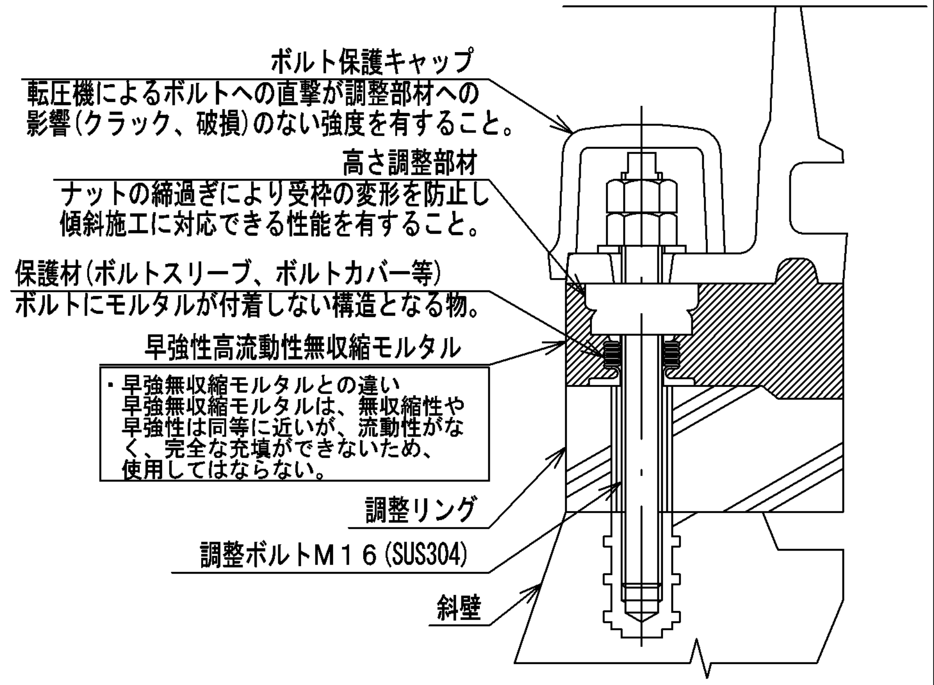
蓋平面図



アンカー穴詳細図



開閉用手カギ穴詳細図



鉄蓋据付調整部材詳細図

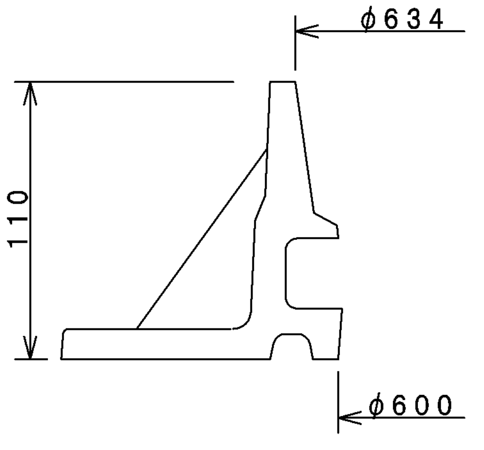
- 斜壁の埋め込みインサートはブロック1個につき3箇所設置するものとし、1箇所当たりの耐力は50kN(5t)以上とする。
- 緊結ボルトはM16、SUS304を標準とするが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは協議の上使用できる。
- 傾斜設置する埋め込みインサートとボルトの嵌合長は10mm以上を確保すること。
- 緊結ボルトは高さ調整用モルタルが付着しないように保護材等を使用し、施工すること。
- 緊結ボルト頂部には、保護キャップを使用し、ボルトを保護すること。また、キャップの材質については、鋳鉄製のものを原則とするが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは、協議の上使用できる。

※本図は参考図であり、機能を表現したものである。
機能としては、本図と同等の機能とする。

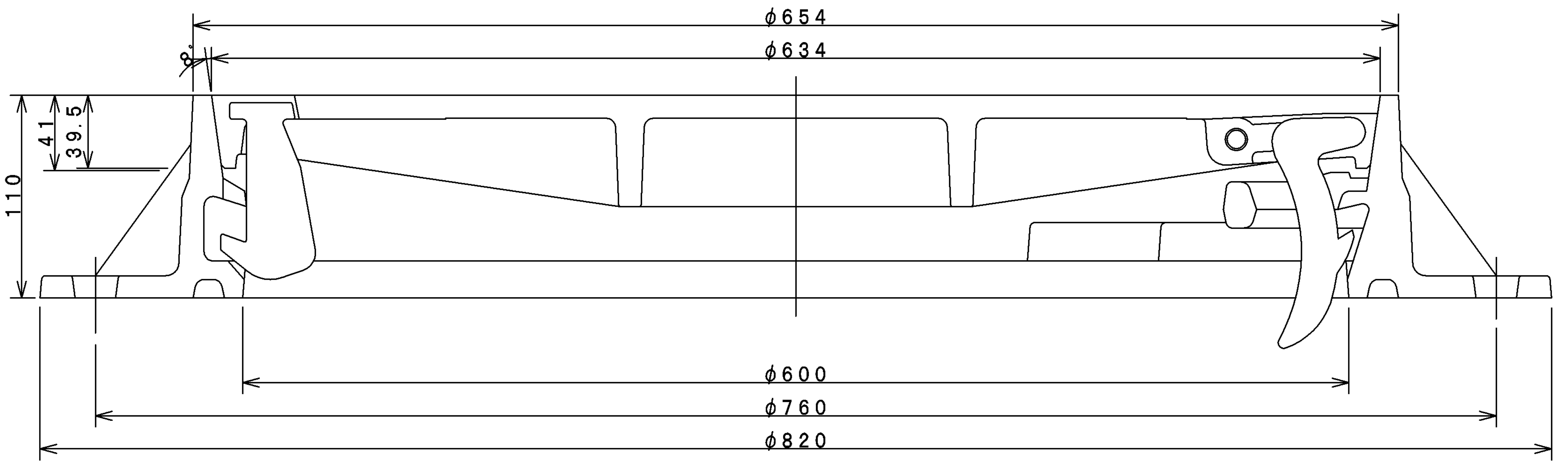
仙台市建設局

マンホール鉄蓋及び蓋受け金物構造図（4）　（口径60cm、T－14）

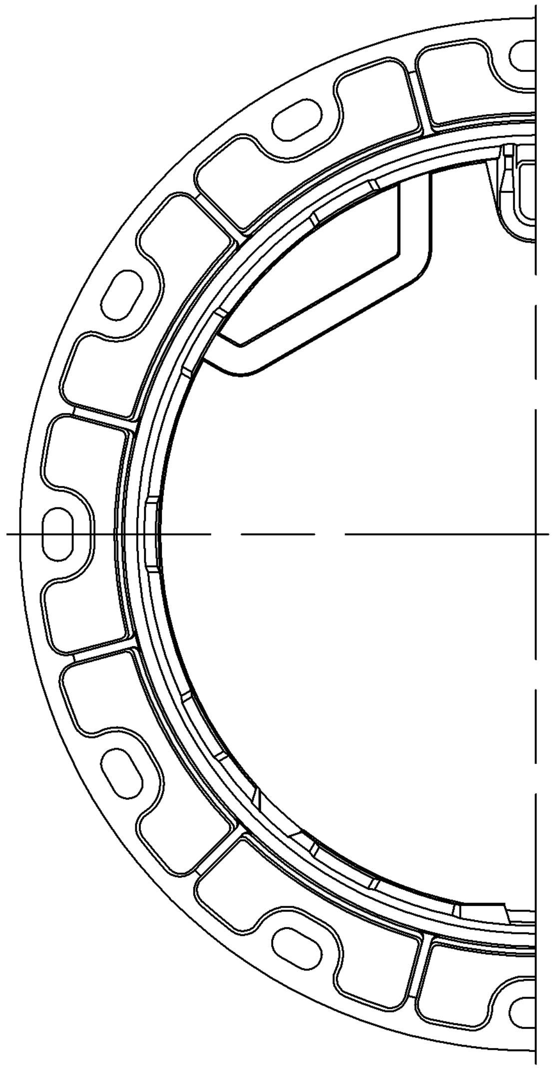
単位 mm



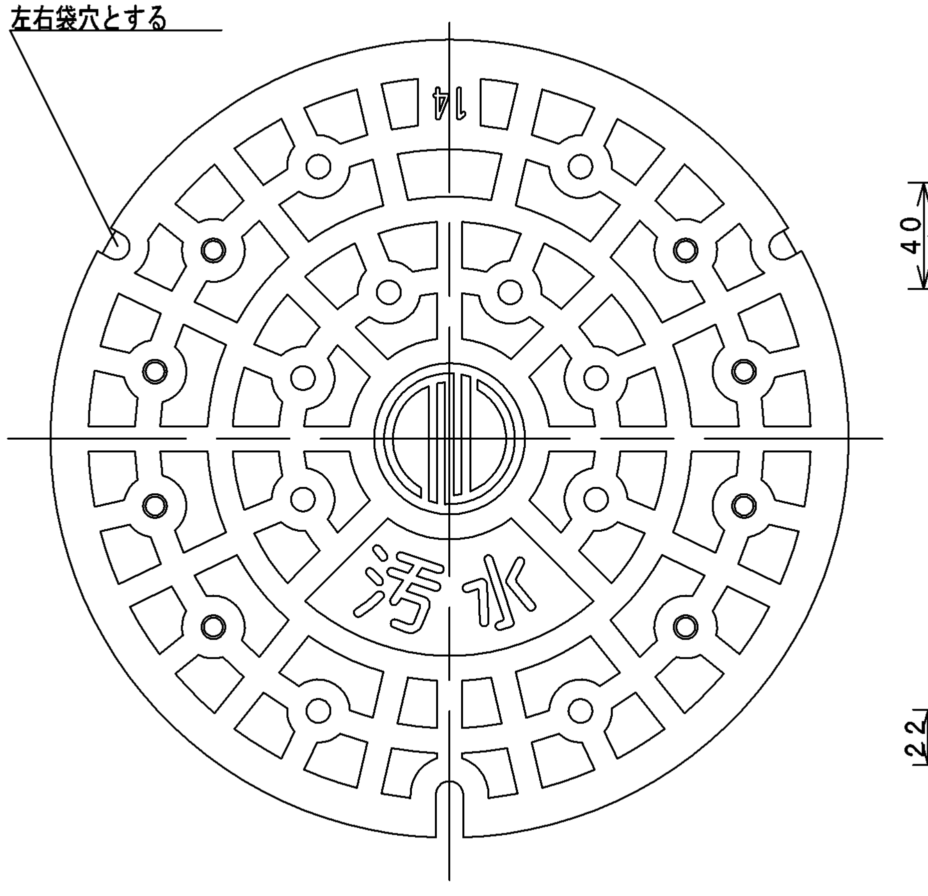
受枠一般断面図



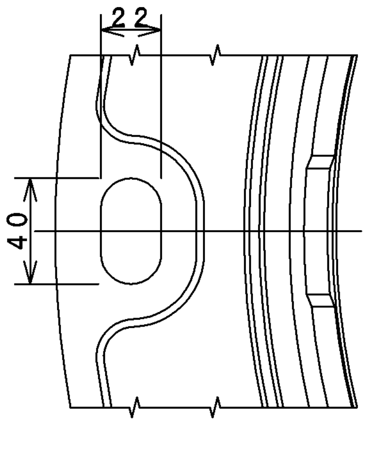
蓋、受枠断面図



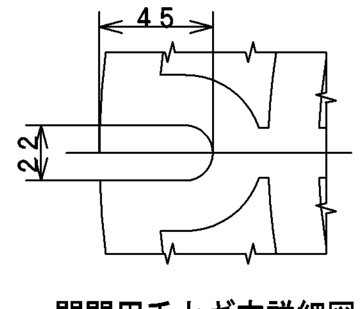
受枠詳細図



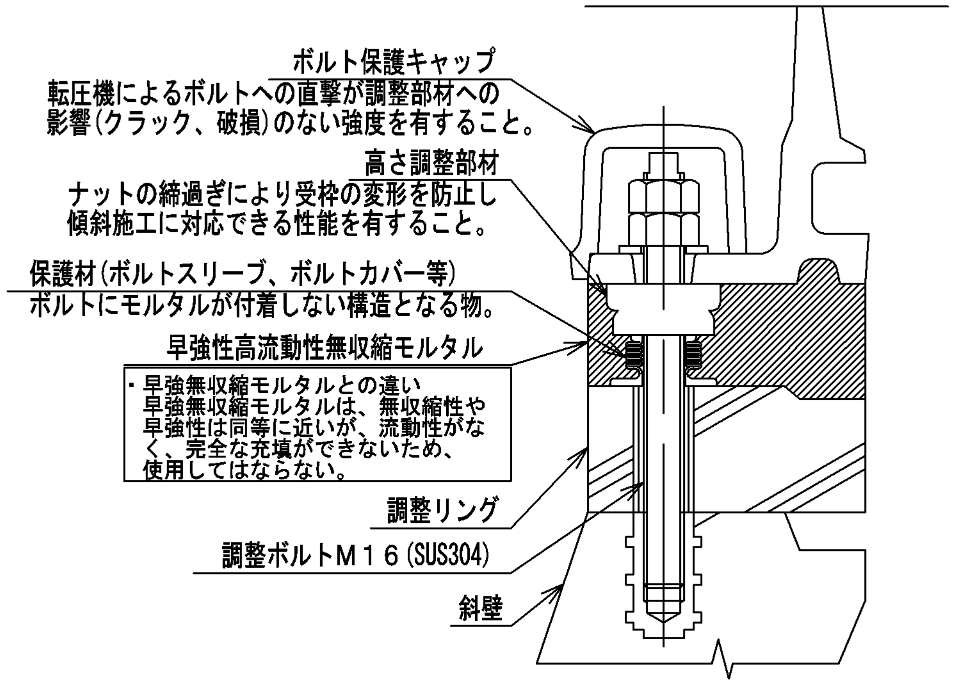
蓋平面図



アンカー穴詳細図



開閉用手カギ穴詳細図



鉄蓋据付調整部材詳細図

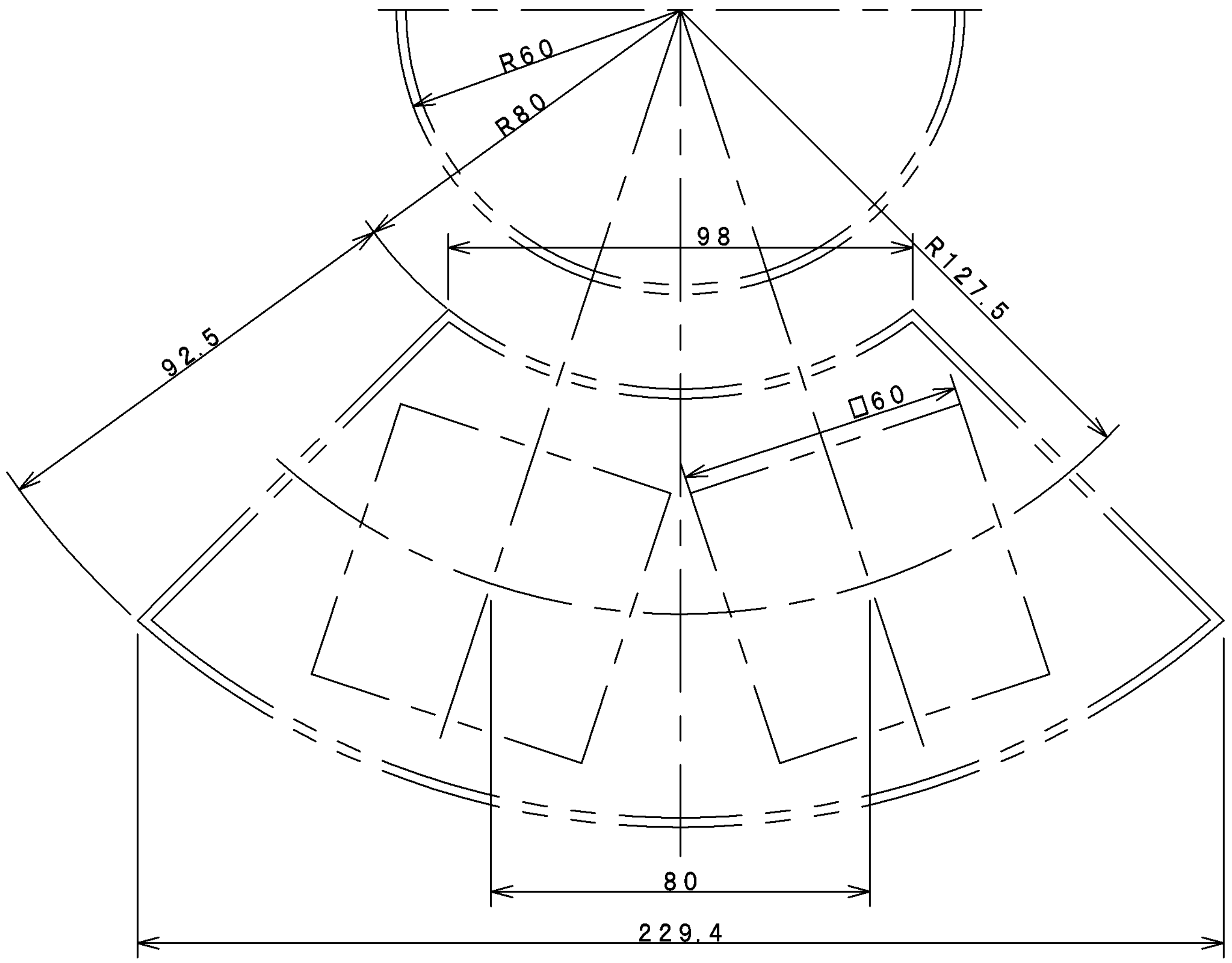
・斜壁の埋め込みインサートはブロック1個につき3箇所設置するものとし、1箇所当たりの耐力は50kN(5t)以上とする。
・緊結ボルトはM16、SUS304を標準とするが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは協議の上使用できる。
・傾斜設置する埋め込みインサートとボルトの嵌合長は10mm以上を確保すること。
・緊結ボルトは高さ調整用モルタルが付着しないように保護材等を使用し、施工すること。
・緊結ボルト頂部には、保護キャップを使用し、ボルトを保護すること。また、キャップの材質については、鋳鉄製のものを原則とするが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは、協議の上使用できる。

※本図は参考図であり、機能を表現したものである。
機能としては、本図と同等の機能とする。

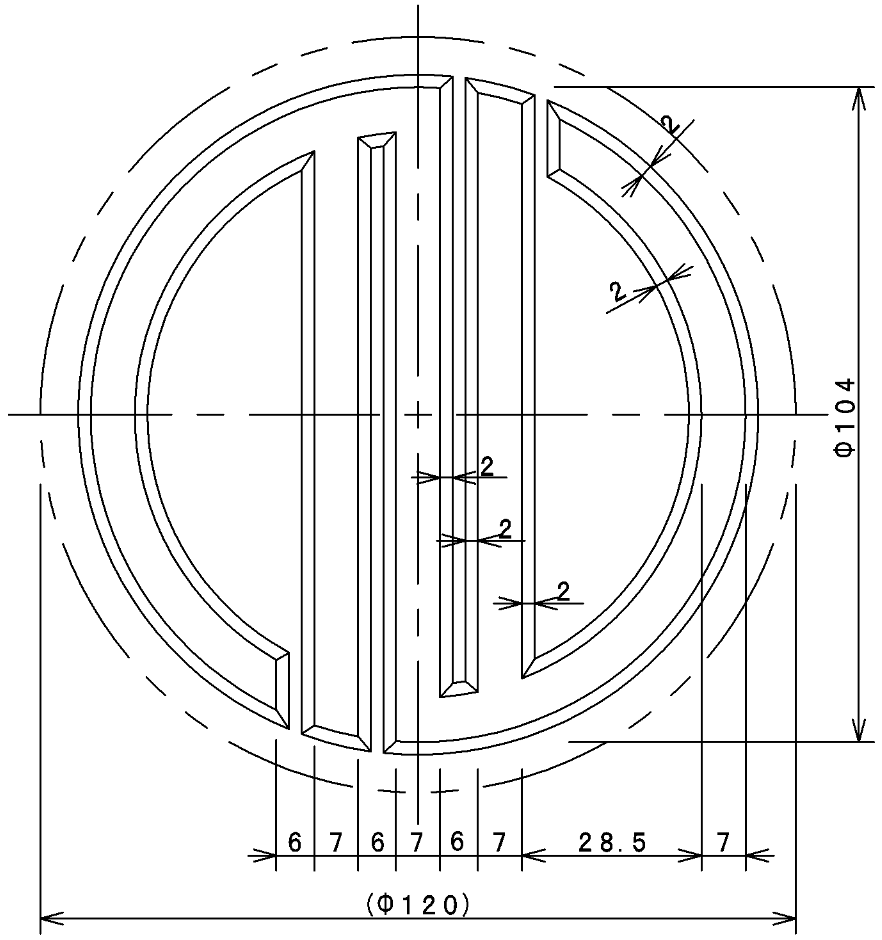
仙台市建設局

マンホール鉄蓋及び蓋受け金物構造図（5）

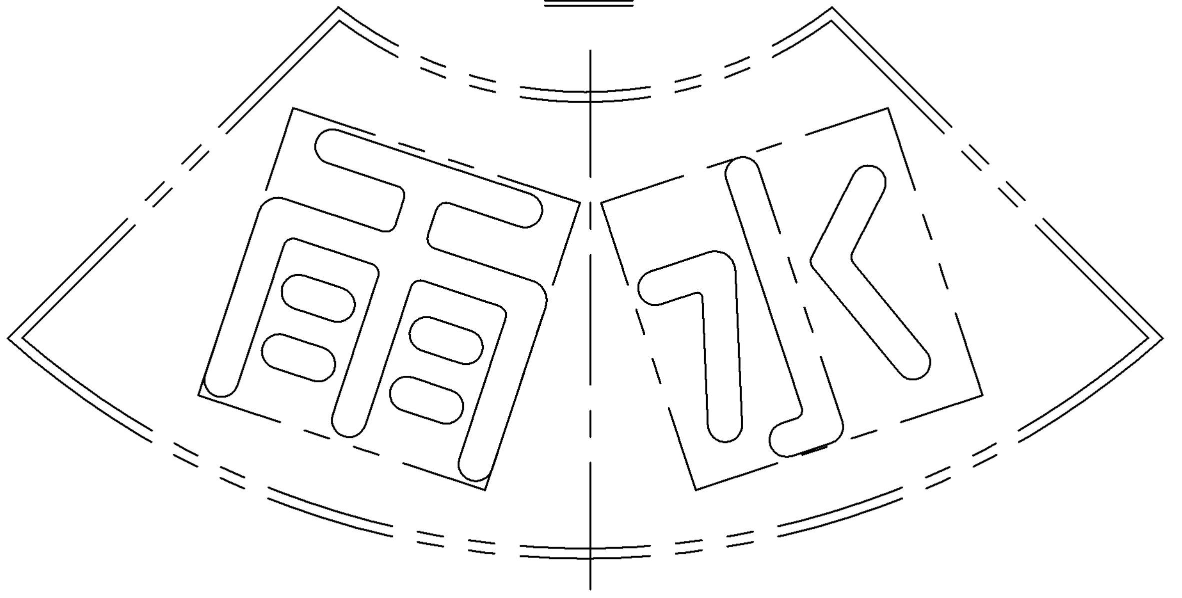
文字表示詳細図



文字表示詳細図



参考



・材料及び使用上の基準

1. 材質ＪＩＳ　G5502に規定する球状黒鉛鋳鉄品（ＦＣＤ）と同等以上とし、
蓋はＦＣＤ700、受枠はＦＣＤ600の材質とする。

2. 構造・使用基準

ア）蓋と受枠との接触面は機械加工とし、急勾配受けとし、蓋のがたつきを防止できる構造でなければならない。
イ）分流方式の場所に設置される蓋には「雨水」及び「汚水」文字の表示されたものを、合流方式の場所に設置される蓋にはこれら表示のないものを使用する。
ウ）表示される「雨水」及び「汚水」文字は、丸ゴシックで表示し、6cm×6cmの角に納めるものとする。
エ）汚水用の蓋はガス抜き孔を埋め、バール穴のみとする。雨水及び合流用蓋のガス抜き孔は、それぞれ8箇所とする。
オ）塗装は、内外面を清掃した後、乾燥が速やかで、密着性に富み、防食性及び耐候性に優れた塗料で行わなければならない。

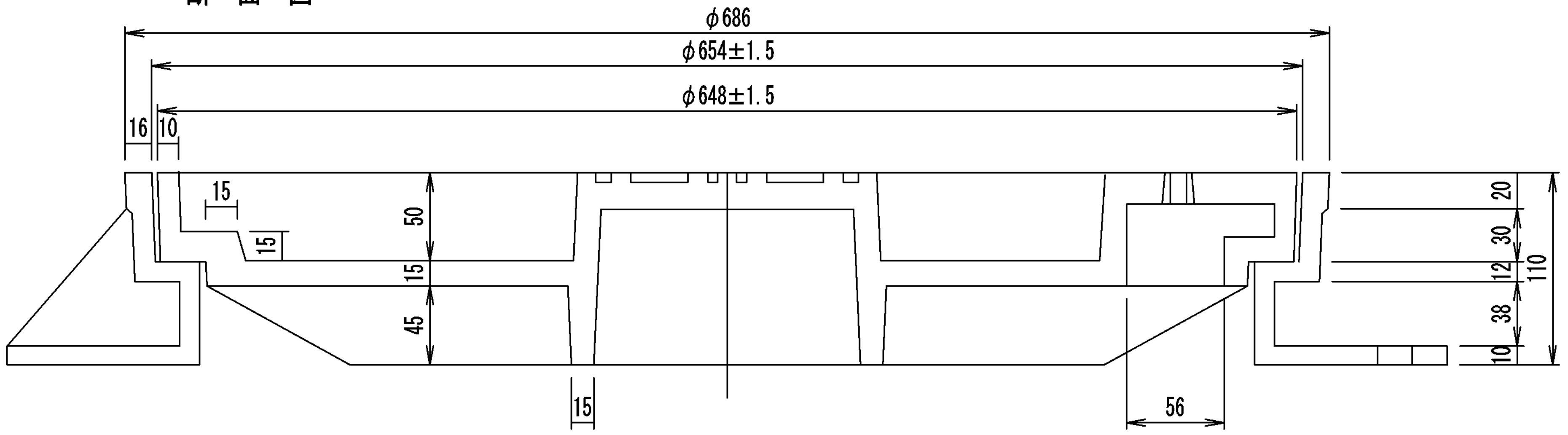
3. 表示
蓋の裏面に製造者名、製造年、材質の種類を表示しなければならない。
（例　〇×会社（マークでも可），2009, FCD700)

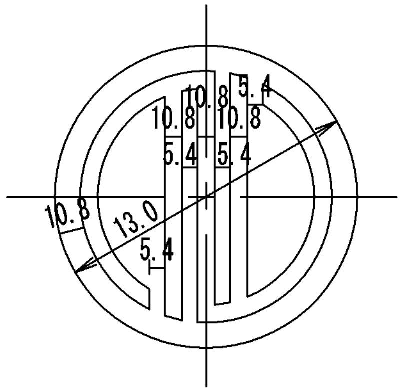
仙台市建設局

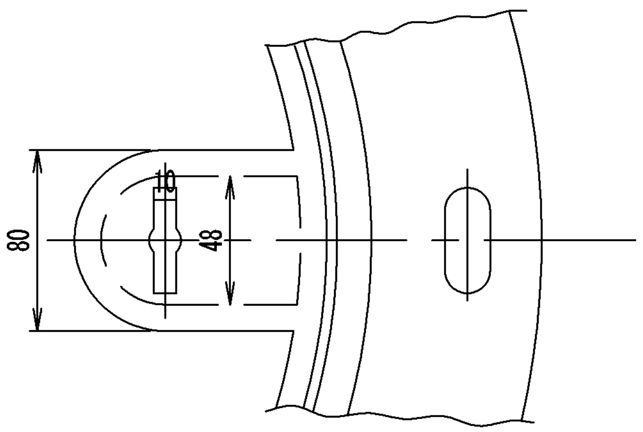
マンホール鉄蓋及び蓋受け金物構造図（6）　（口径60㎝、Ｔ－２０、歩道用）

単位 mm

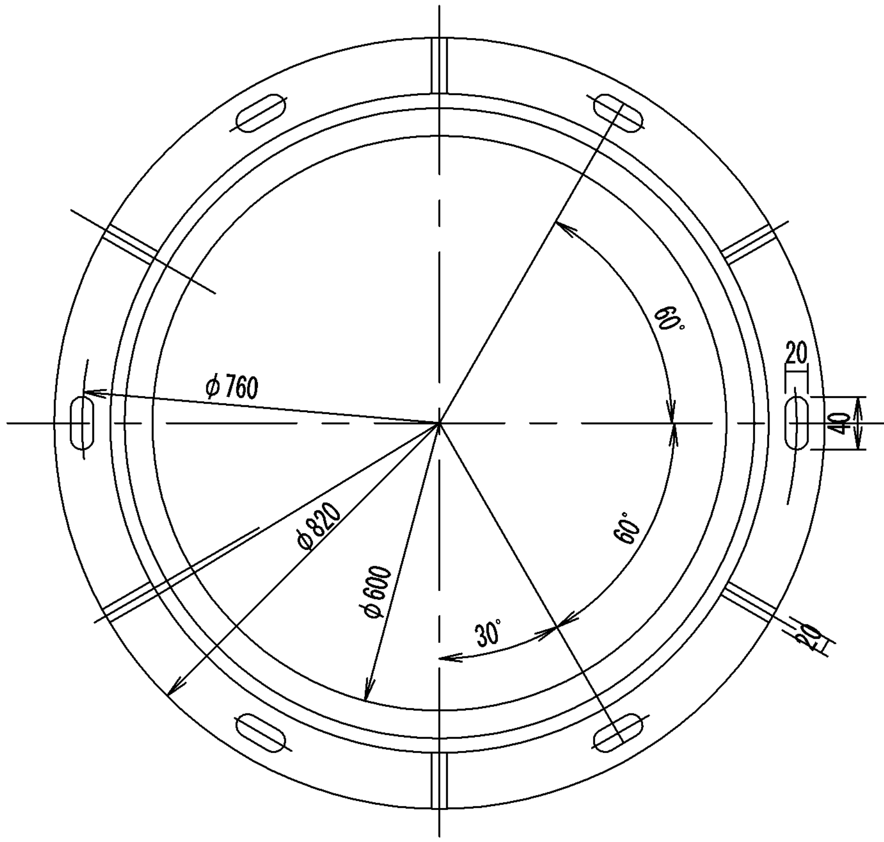
断面図



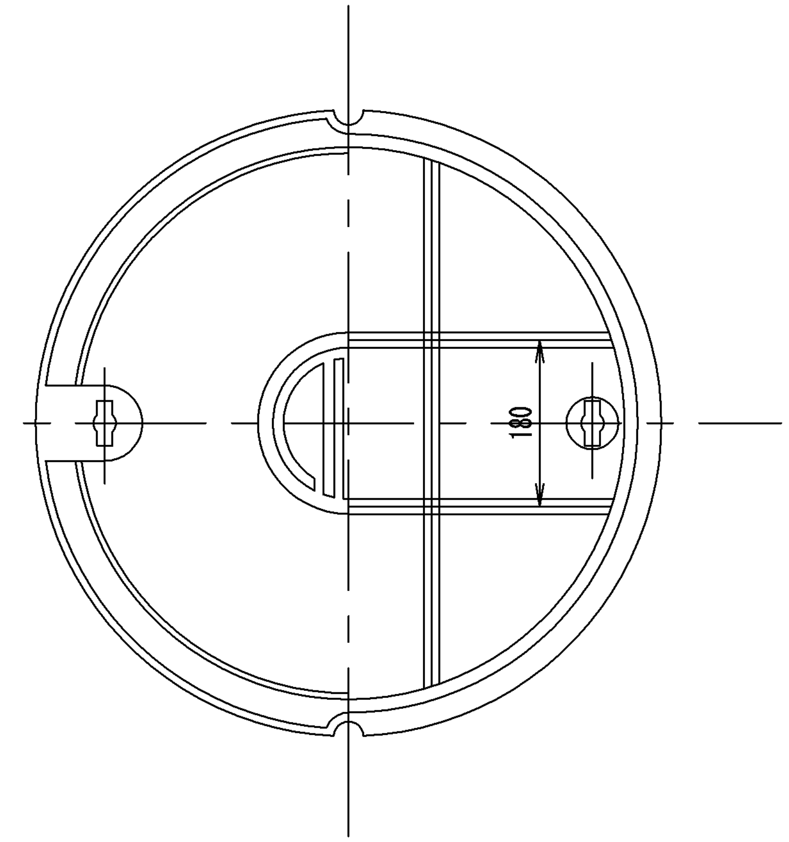




蓋受け平面図



平面図



材料及び使用上の基準
口径60㎝、T-20、JIS形に準ずる。

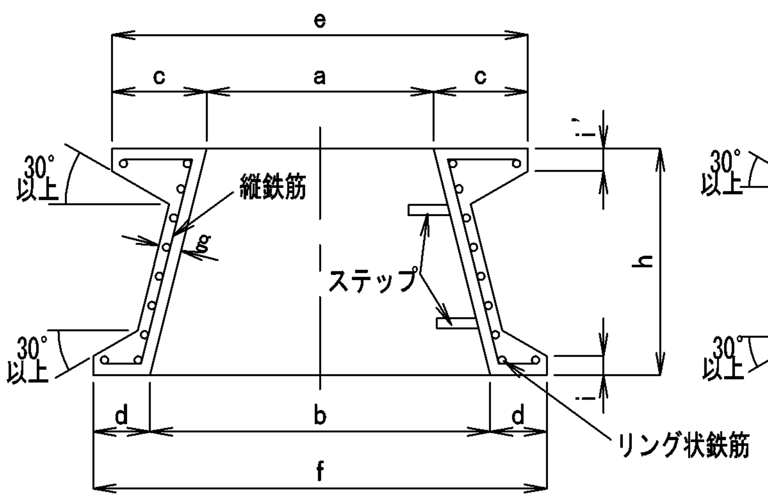
詳細については、現場条件に応じて工事監督員と協議すること。

仙台市建設局

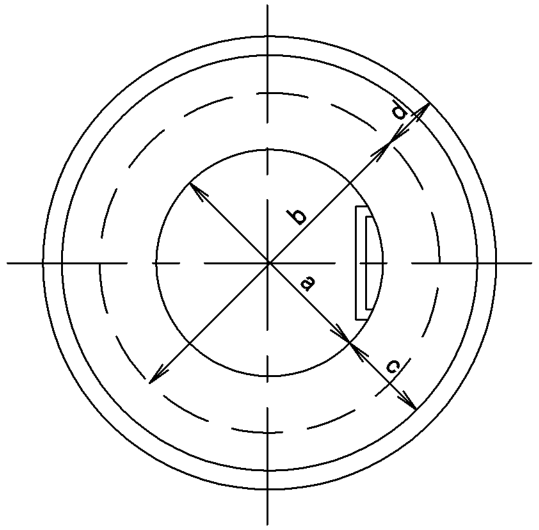
マンホール側塊詳細図（ＪＩＳ Ａ ５３７２）

斜 壁

断面図

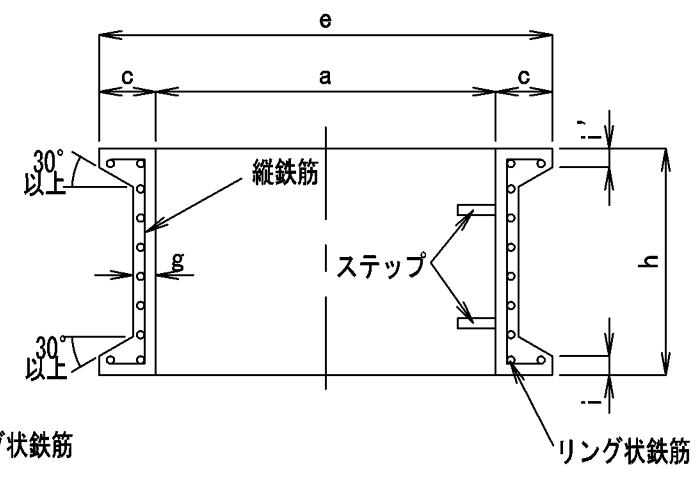


平面図

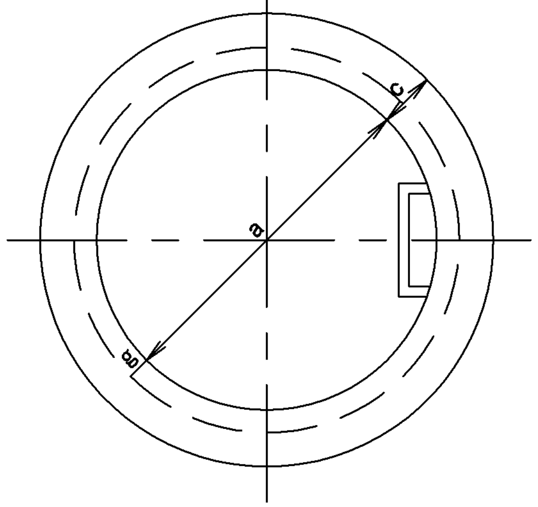


直 壁

断面図



平面図



【寸法・配筋・重量表】

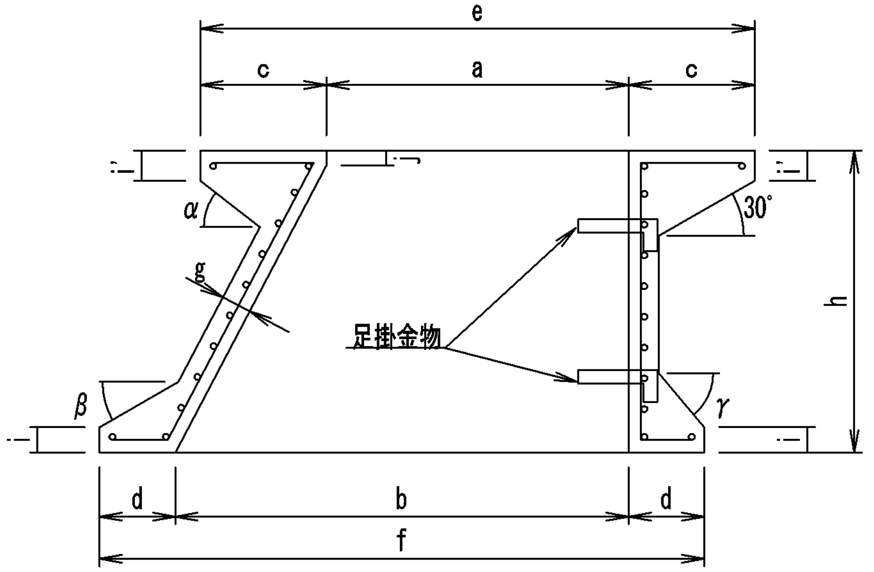
呼び		寸法（mm）											配筋			
													リング筋		縦鉄筋	
		a	b	c	d	e	f	g	h	i	i’	j	径（mm）	数量（本）	径（mm）	数量（本）
斜壁	600A	600	900	250	150	1,100	1,200	60	300	50	60	30	5.00	6	5.00	20
	600B	600	900	250	150	1,100	1,200	60	450	50	60	30	5.00	7	5.00	20
	600C	600	900	250	150	1,100	1,200	60	600	50	60	30	5.00	9	5.00	20
	600D	600	1,200	250	150	1,100	1,500	70	600	50	60	40	5.00	9	5.00	20
	900	900	1,200	150	150	1,200	1,500	70	600	50	50	－	5.00	9	5.00	28
	1,200	1,200	1,500	150	150	1,500	1,800	80	600	50	50	－	5.00	9	5.00	36
直壁	900A	900	－	150	－	1,200	－	60	300	50	50	－	5.00	6	5.00	20
	900B	900	－	150	－	1,200	－	60	600	50	50	－	5.00	9	5.00	20
	1,200A	1,200	－	150	－	1,500	－	70	300	50	50	－	5.00	6	5.00	28
	1,200B	1,200	－	150	－	1,500	－	70	600	50	50	－	5.00	9	5.00	28
	1,500A	1,500	－	150	－	1,800	－	80	300	50	50	－	5.00	6	5.00	36
	1,500B	1,500	－	150	－	1,800	－	80	600	50	50	－	5.00	9	5.00	36

仙台市建設局

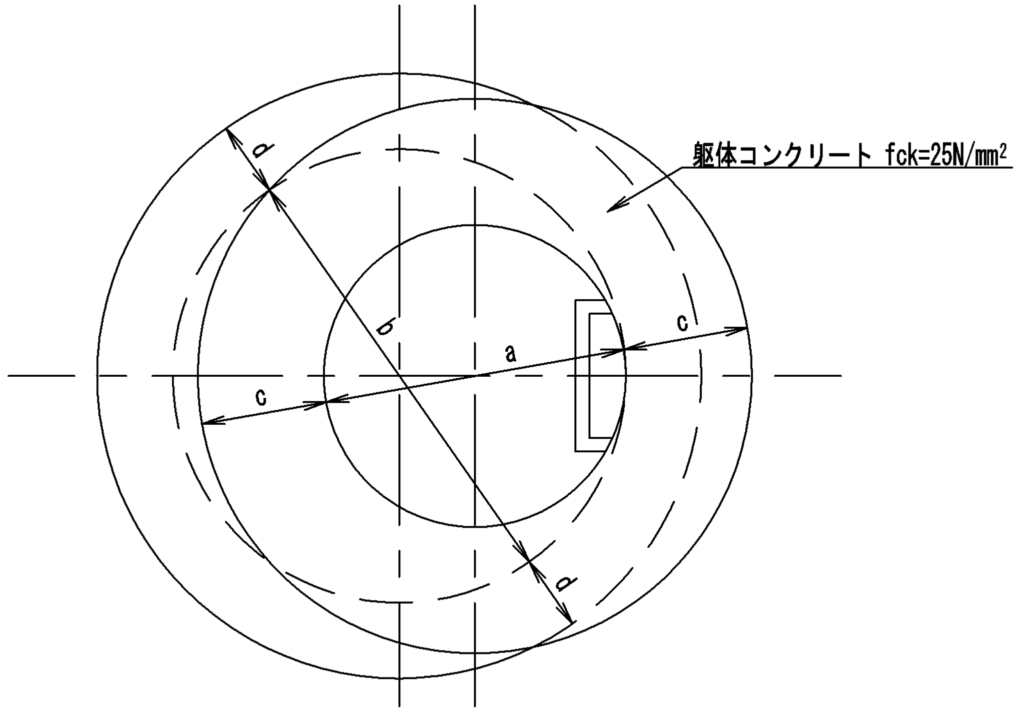
マンホール側塊（片斜壁）詳細図

S=1/15

断　面　図



平　面　図



	寸　法　表　(mm)													
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	i’	j	α	β	γ
60 × 90 × 30	600	900	250	150	1,100	1,200	60	300	50	60	30	87.8°	16.8°	30°
60 × 90 × 60	600	900	250	150	1,100	1,200	60	600	50	60	30	38°	30°	50°
60 × 1,200 × 60	600	1,200	250	150	1,100	1,500	70	600	50	60	30	90°	20.9°	30°

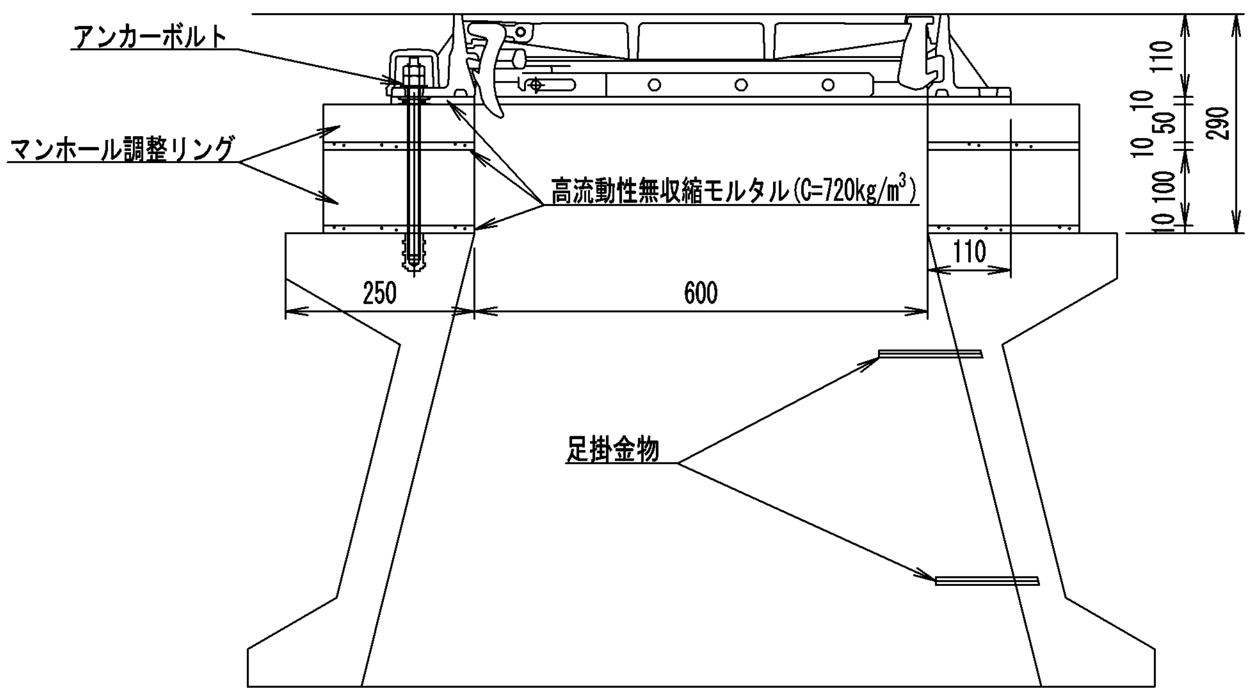
鉄 筋 数 量 表

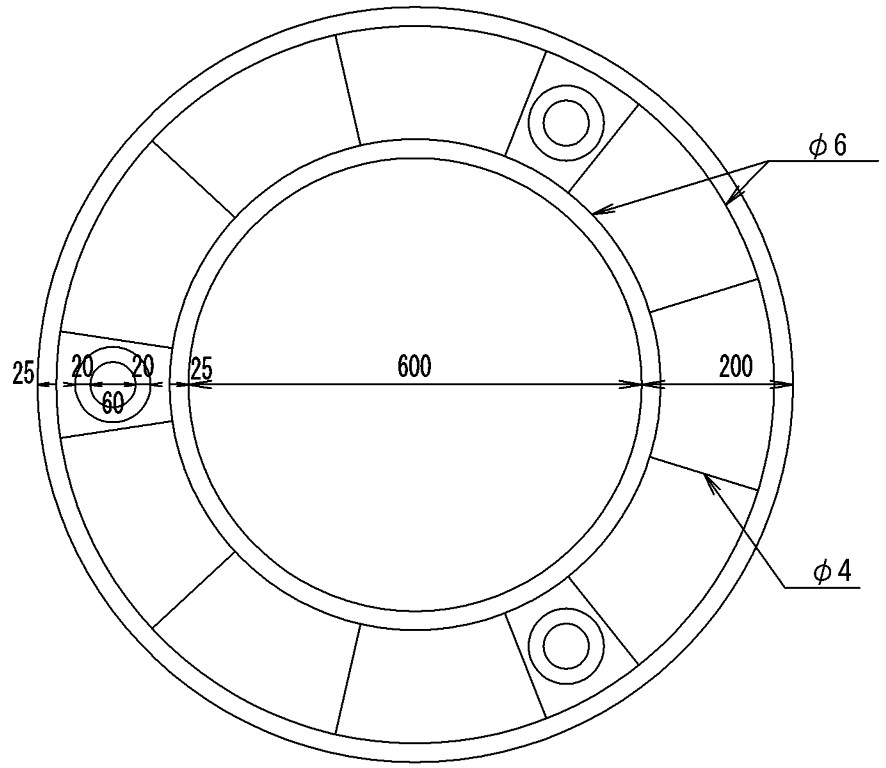
	らせん鉄筋		縦鉄筋	
	径(mm)	巻数	径(mm)	数量(本)
60 × 90 × 30	6	6	6	20
60 × 90 × 60	6	10	6	20
60 × 1,200 × 60	6	12	6	36

仙台市建設局

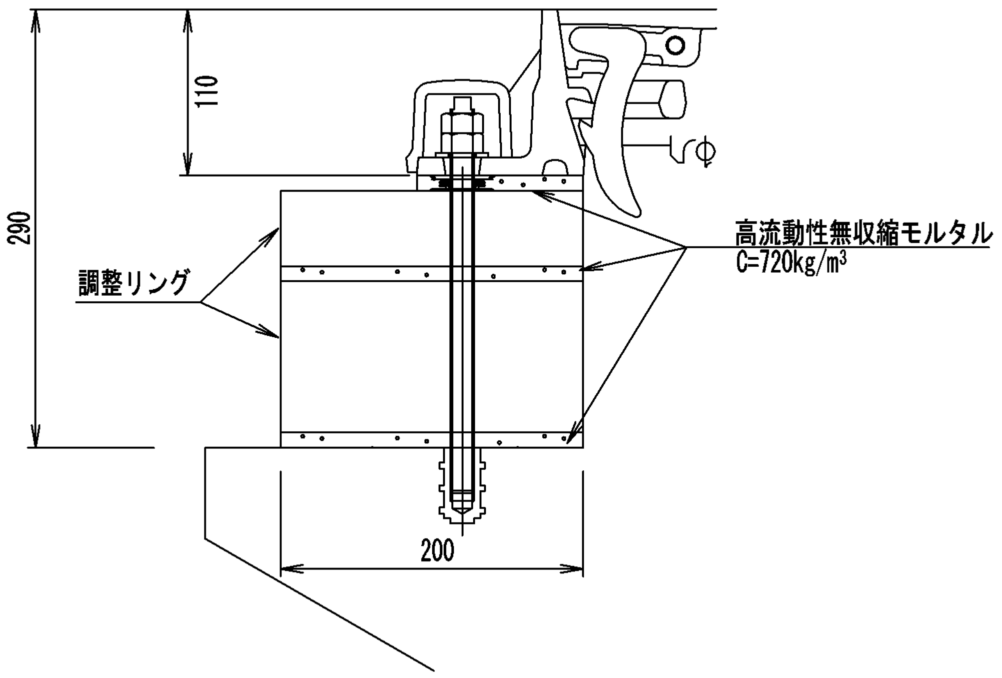
わく据付図（調整用リング付）　Ｓ＝１／１０

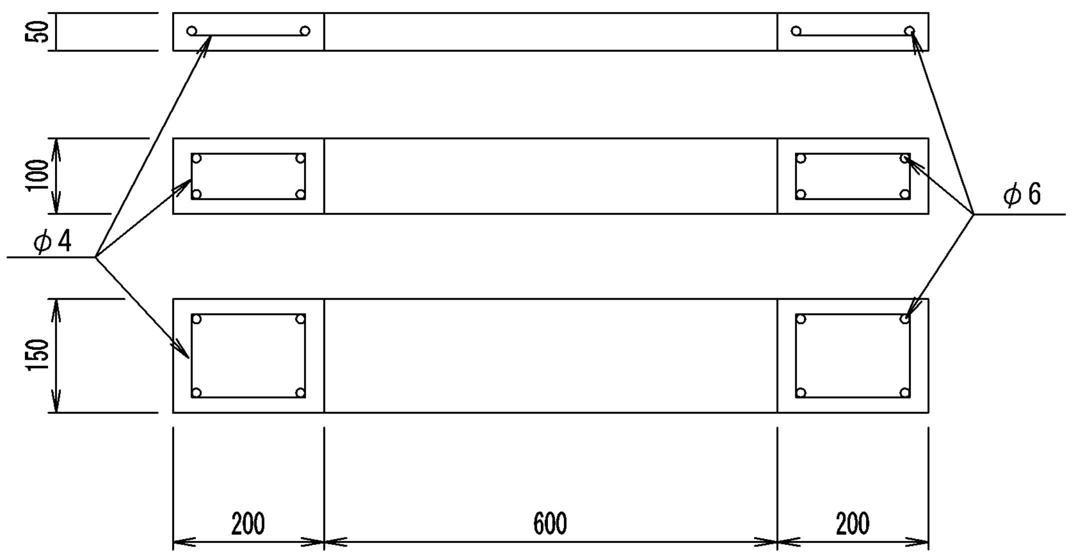
単位　mm





わく据付詳細図　S=1/5





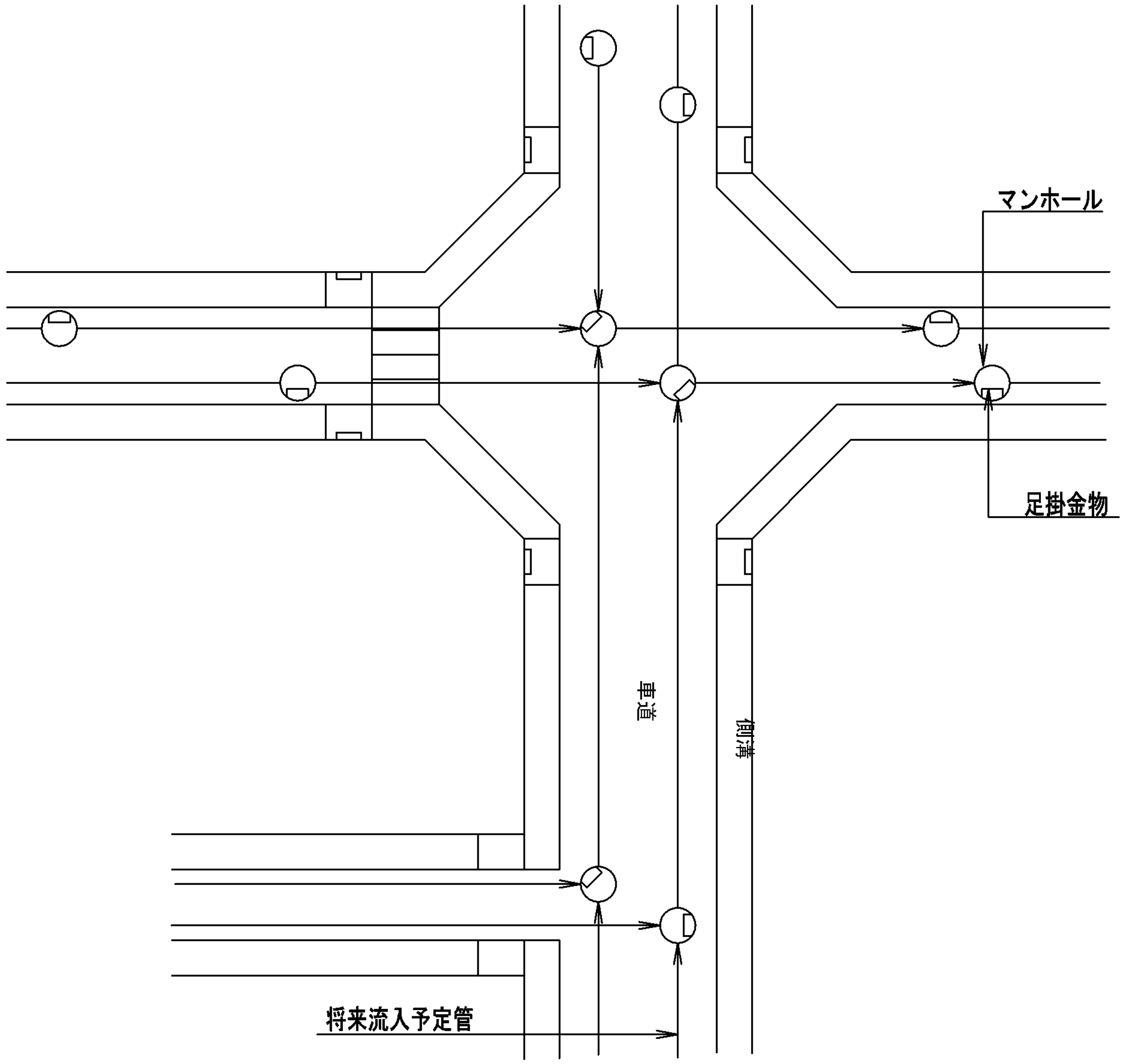
※調整高さが大きく、ステップ間隔が300以上となる場合は、
ステップ付きの調整リングを設置すること。

仙台市建設局

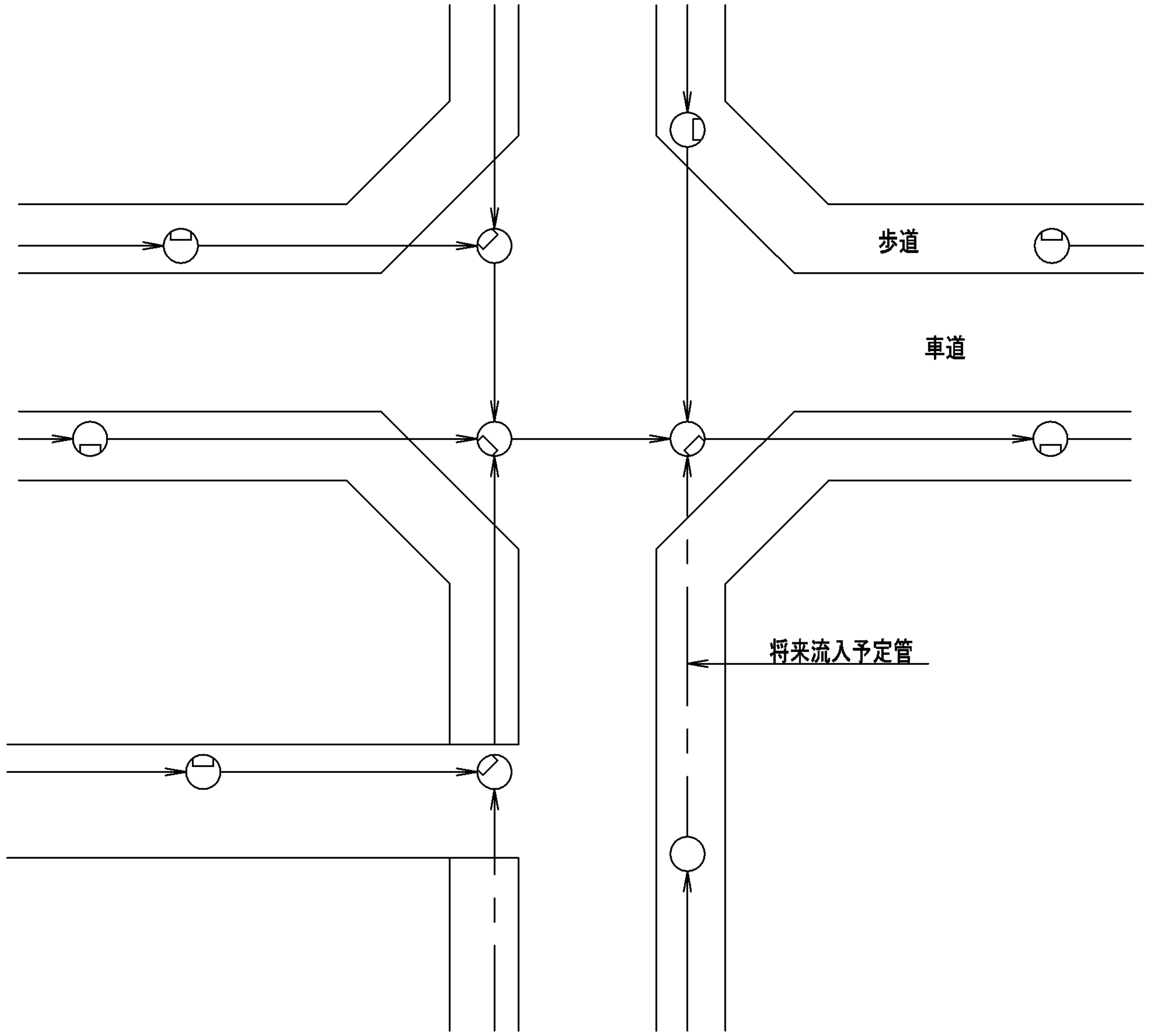
足掛金物設置位置標準図

○　足掛金物の設置位置は、本図を標準とするが、将来流入予定管(計画管)、副管の位置、現場状況等を考慮し決定するものとする。

足掛金物設置図(1)



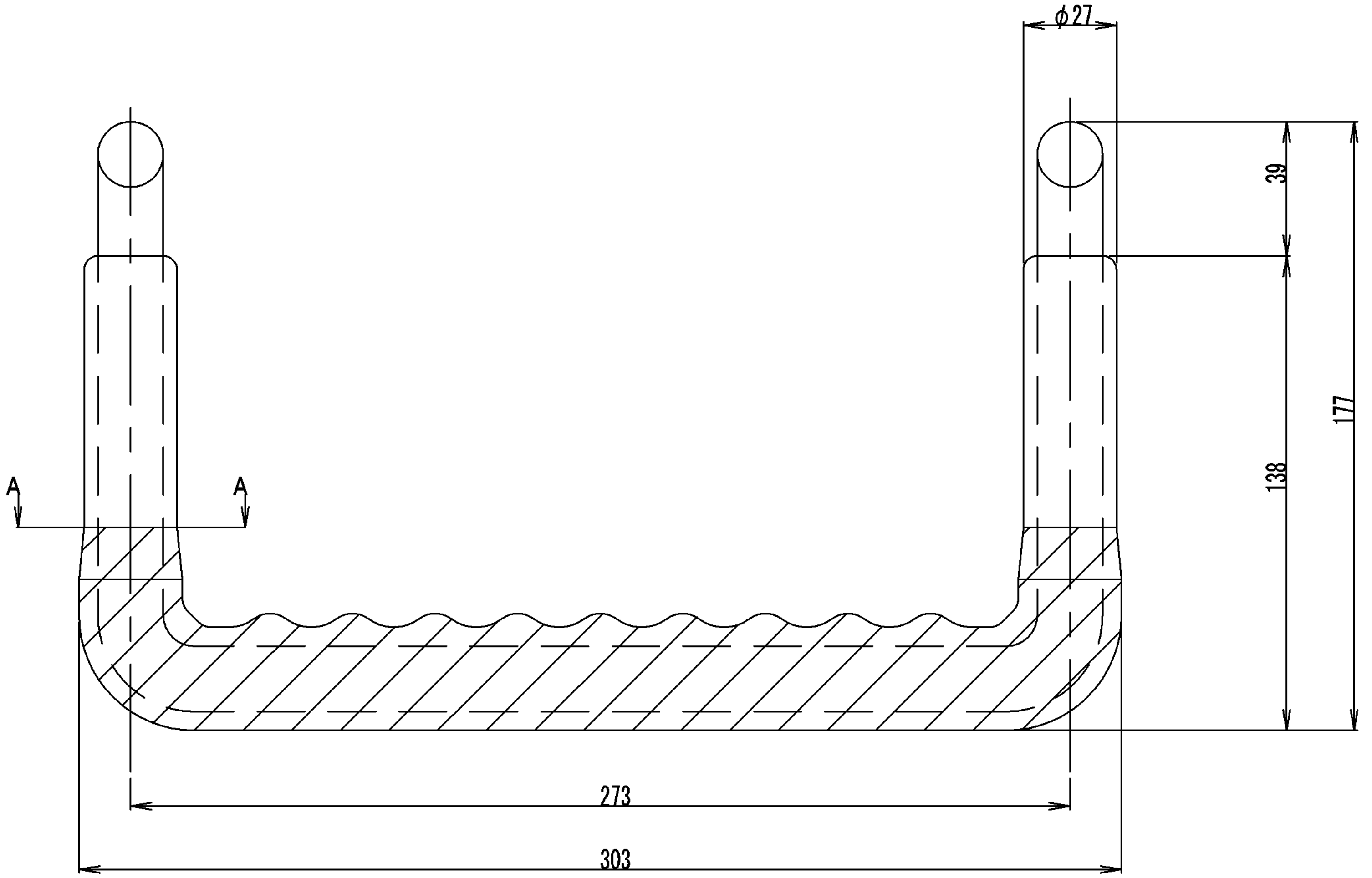
足掛金物設置図(2)

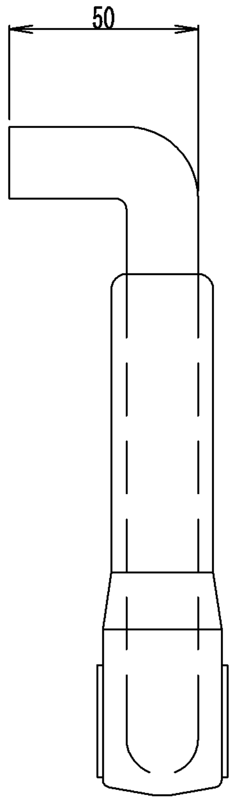


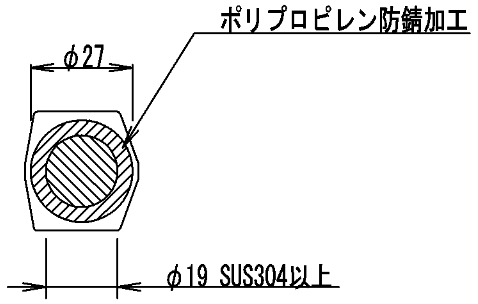
仙台市建設局

マンホール側塊用足掛金物詳細図

単位　㎜







Ａ－Ａ断面図

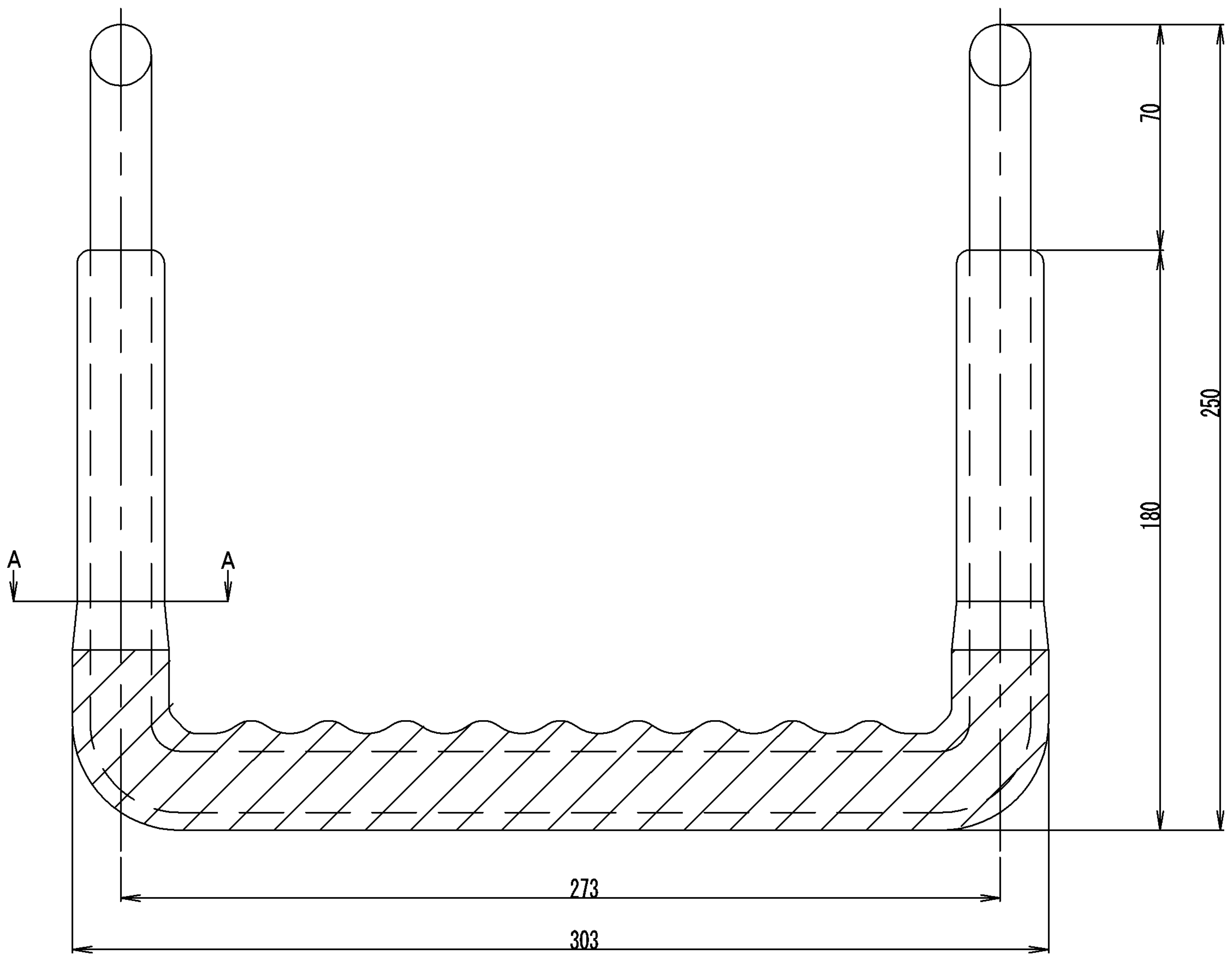
注１．すべり止めは両面加工とする。
　２．防錆被覆のデザインは作業に支障とならない範囲で変えることができる。
　３．足掛の端部に反射板を設置することができる。
　４．安全上支障のない構造であれば、コンクリート内埋め込み部の形状、寸法が多少異なっても協議の上使用することができる。
　５．材質については、ＳＵＳ３０４若しくはＳＵＳ４０３と同等以上と認められるものであれば、使用することができる。

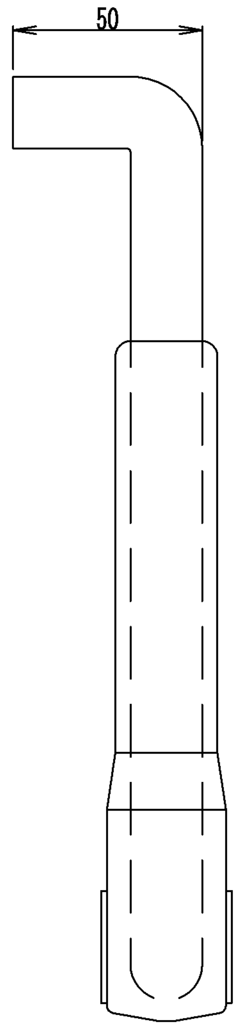
埋込(後で施工する場合)
（1）止水性には十分注意すること。
（2）穴あけは、必ずドリルを使用し、あけ過ぎに注意すること。
（3）外壁小口の破損部は、まずシール材を巻詰してから、セメントモルタルで補修し、パッキンを取りつけること。

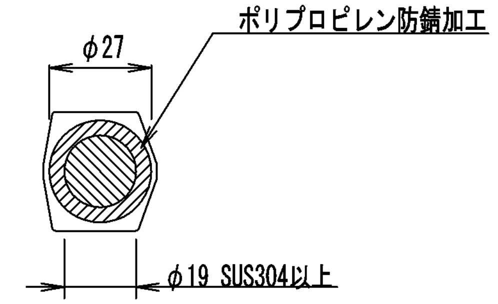
仙台市建設局

マンホール現場打ち用足掛金物詳細図

単位　mm







Ａ－Ａ断面図

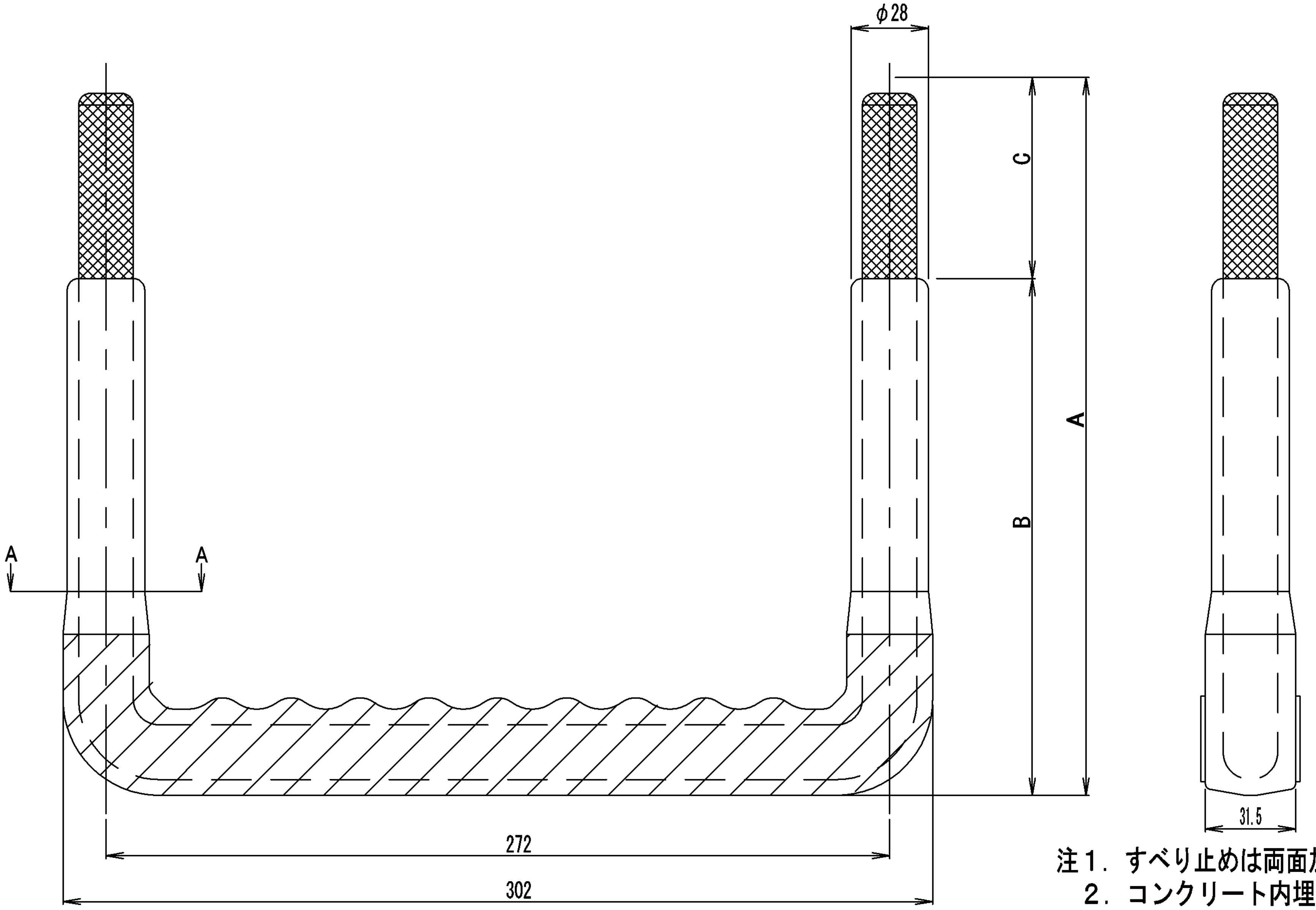
注１．すべり止めは両面加工とする。
　２．防錆被覆のデザインは作業に支障とならない範囲で変えることができる。
　３．足掛の端部に反射板を設置することができる。
　４．材質については、ＳＵＳ３０４若しくはＳＵＳ４０３と同等以上と認められるものであれば、使用することができる。

埋込(後で施工する場合)
（1）止水性には十分注意すること。
（2）穴あけは、必ずドリルを使用し、あけ過ぎに注意すること。
（3）外壁小口の破損部は、まずシール材を巻詰してから、セメントモルタルで補修し、パッキンを取りつけること。

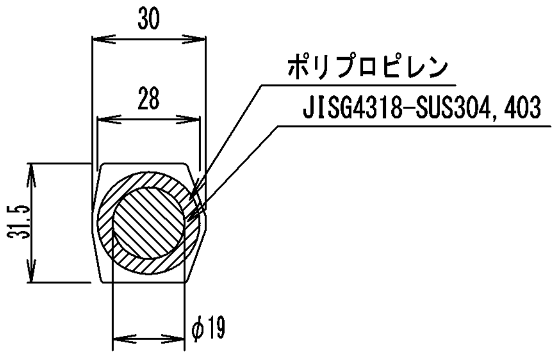
仙台市建設局

マンホール用後付け足掛金物詳細図

単位　mm



	側塊用	現場打用
A	170	250
B	135	180
C	35	70



Ａ－Ａ断面図

注１．すべり止めは両面加工とする。
２．コンクリート内埋め込み部は、切り込み等の抜け出し防止形状とする。
３．防錆被覆のデザインは作業に支障とならない範囲で変えることができる。
４．足掛の端部に反射板を設置することができる。
５．安全上支障のない構造であれば、コンクリート内埋め込み部の形状、寸法が多少異なっても協議の上使用することができる。
６．防食性については、ＳＵＳ３０４若しくはＳＵＳ４０３と同等以上と認められるものであれば、使用することができる。
７．取付方法については、止水性及び接着強度等がエポキシ系接着剤と同等以上と認められるものであれば、使用することができる。

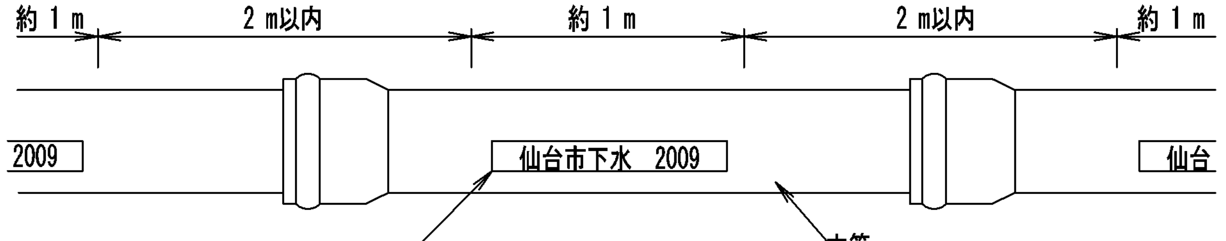
施工について
（1）止水性には十分注意すること。
（2）穴あけは、必ずドリルを使用し、あけ過ぎに注意すること。
（3）外壁小口の破損部は、まずシール材を巻詰してから、セメントモルタルで補修し、パッキンを取りつけること。

仙台市建設局

埋設表示テープ標準図

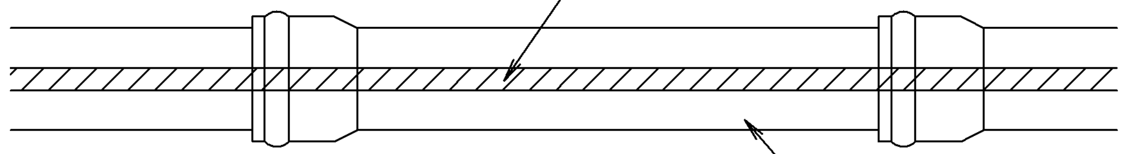
記入例　図ー①

○平面図



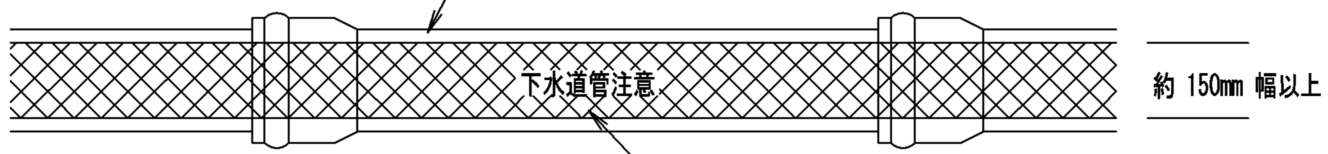
記入例　図ー②

○平面図

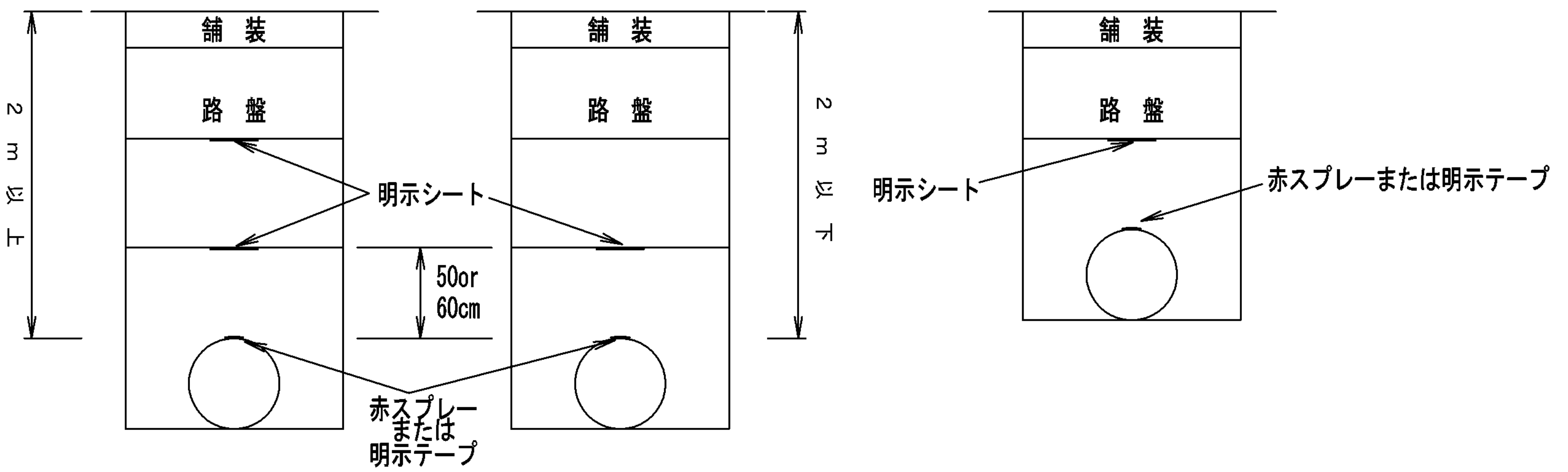


設置例　図ー③

○平面図



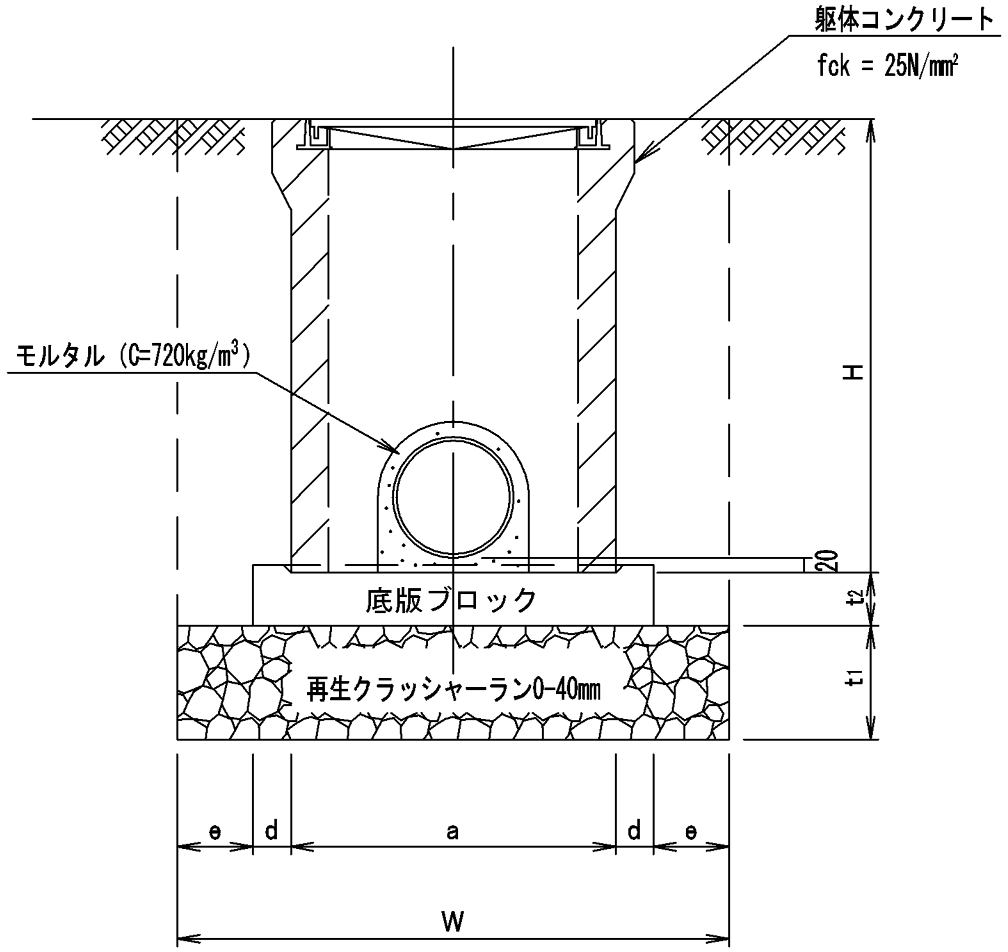
○断面図

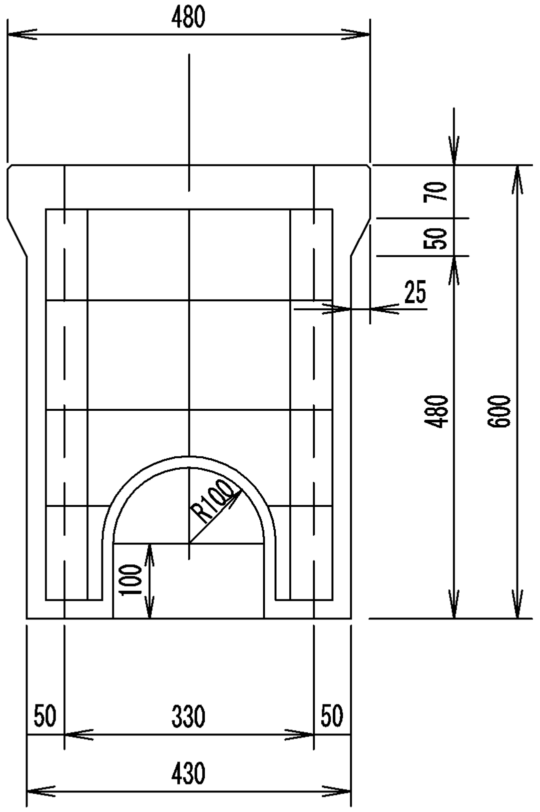


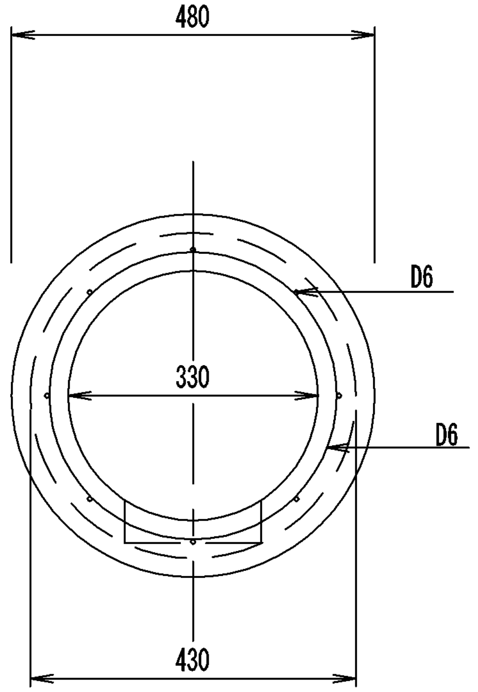
仙台市建設局

公共汚水ます（丸型密閉防臭蓋付）構造図
φ330型

単位　mm







注）底版部と最下段ブロックの接合部は、接合材またはモルタル等で止水を行うこと。

ますの設置基準と各部寸法

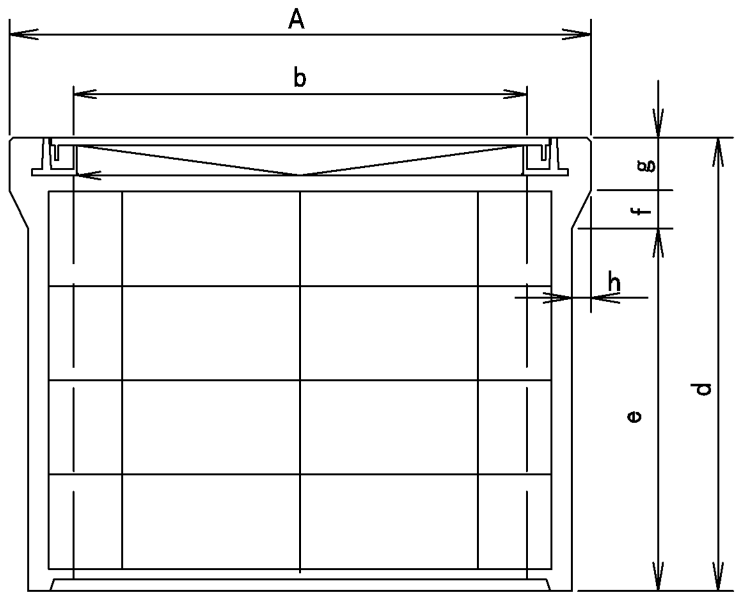
深さ(cm)　H	内径または内のり幅	t1	t2	d	e	a	W
30　以上　60　未満	330	150	70	50	100	430	730
60　以上　90　未満	400	150	70	50	100	500	800
90　以上　120　未満	450	150	70	50	100	550	850
120　以上　150　未満	600	150	100	60	200	720	1,240

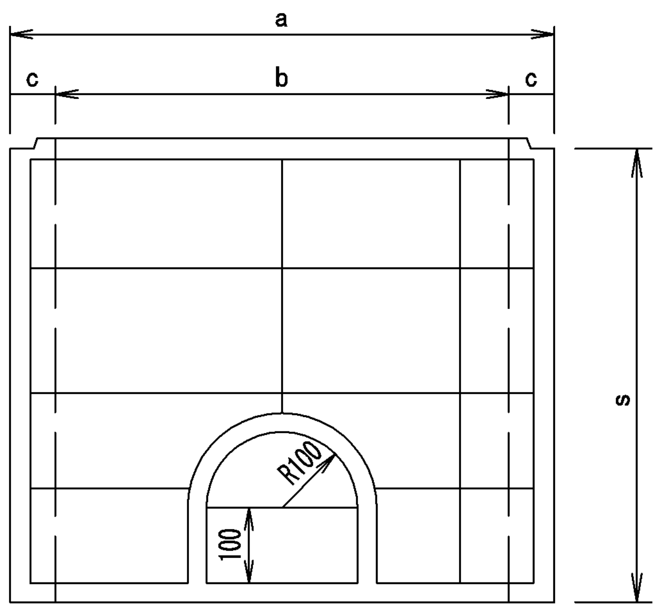
仙台市建設局

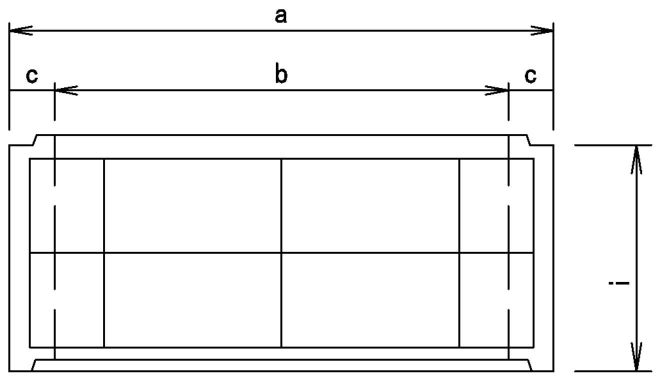
公共汚水ます（丸型密閉防臭蓋付）構造図

φ400～φ600型

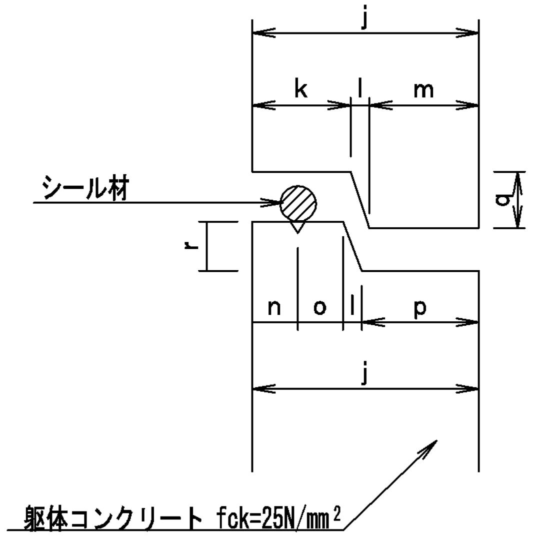
単位　mm

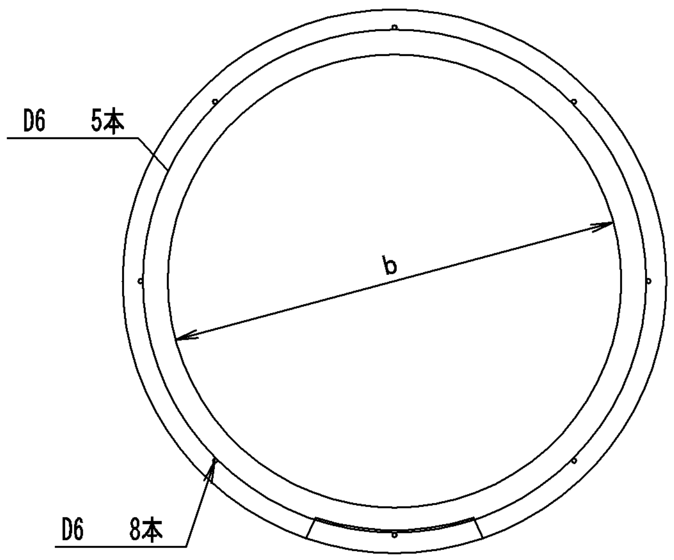






継手詳細図





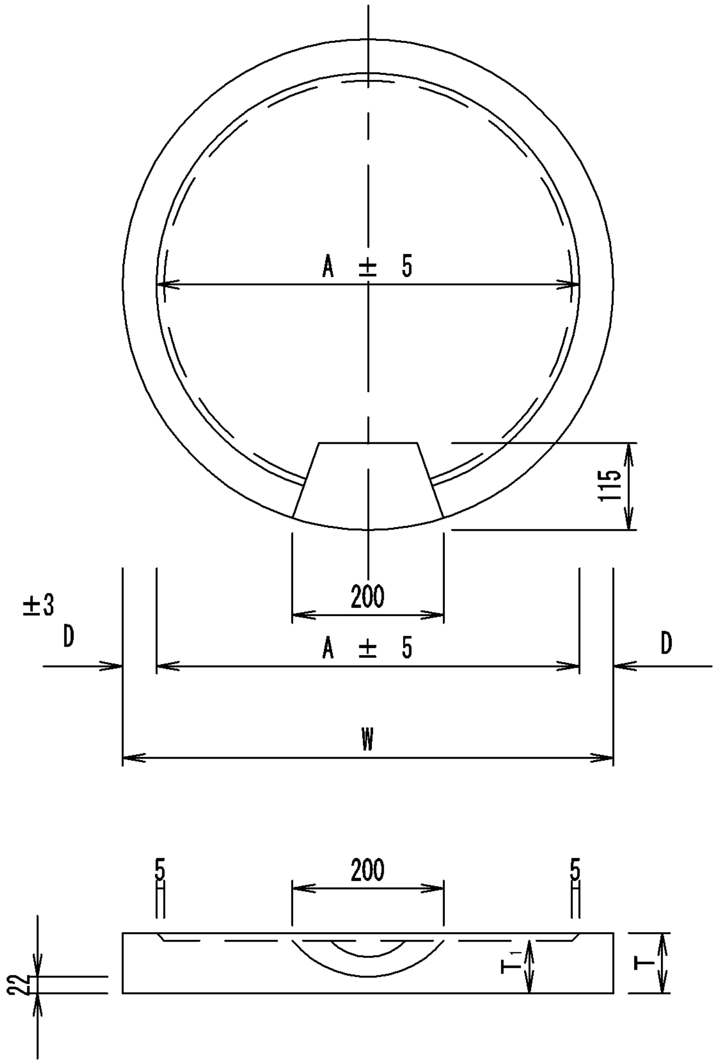
汚水ます寸法表

	A	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s
400×　900	550	500	400	50	300	180	50	70	25	－	50	21	5	24	9.5	9.5	26	15	13	600
450×1,200	600	550	450	50	600	480	50	70	25	－	50	21	5	24	9.5	9.5	26	15	13	600
600×1,500	770	720	600	60	600	480	50	70	25	300	60	26	5	29	12	12	31	15	13	600

仙台市建設局

公共汚水ます用底版ブロック構造図

単位 mm



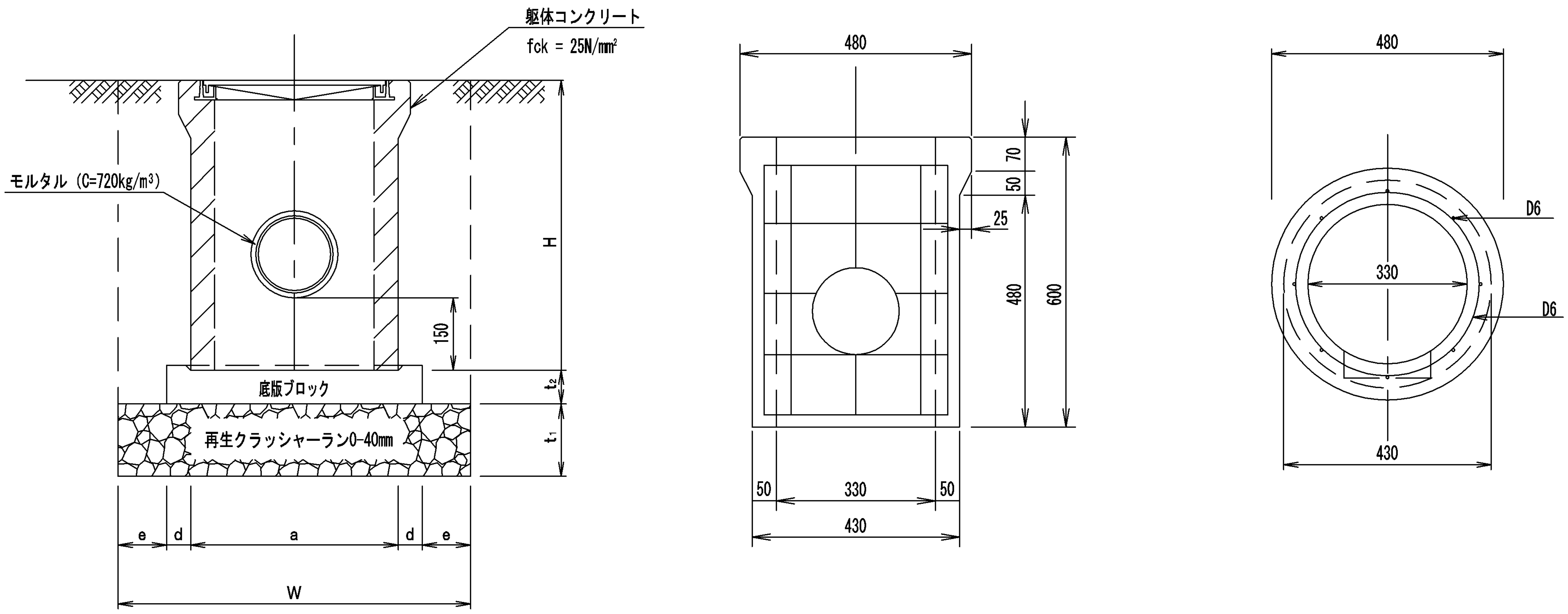
内 径	T	T_1	D	A	W
330	80	70	45	440	530
400	80	70	45	510	600
450	80	70	45	560	650
600	110	100	55	730	840

1 コンクリートの圧縮強度は、28N/mm^2以上とすること。
2 底版に用心鉄筋を使用してもよい。

仙台市建設局

公共雨水ます（丸型密閉防臭蓋付）構造図
φ330型

単位　mm



注）底版部と最下段ブロックの接合部は、接合材またはモルタル等で止水を行うこと。

ますの設置基準と各部寸法

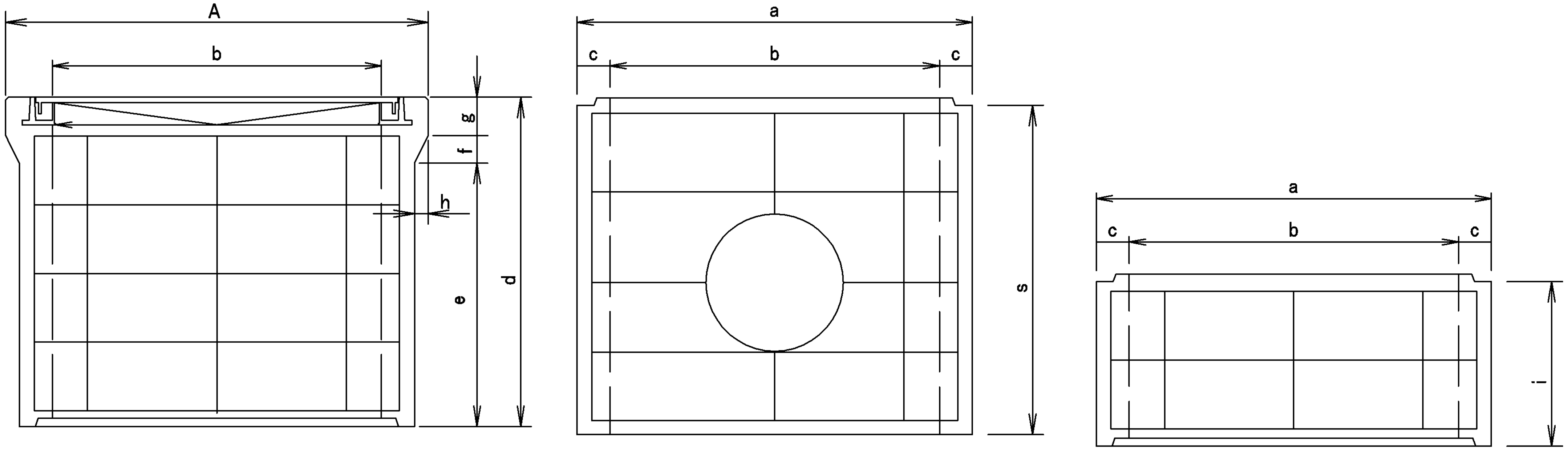
深さ(cm)　H	内径または内のり幅	t_1	t_2	d	e	a	W
30　以上　　60　未満	330	150	70	50	100	430	730
60　以上　　90　未満	400	150	70	50	100	500	800
90　以上　　120　未満	450	150	70	50	100	550	850
120　以上　　150　未満	600	150	100	60	200	720	1,240

1　雨水ます蓋は、汚水ます蓋と同規格とし、「汚水専用」を「雨水専用」に表示すること。

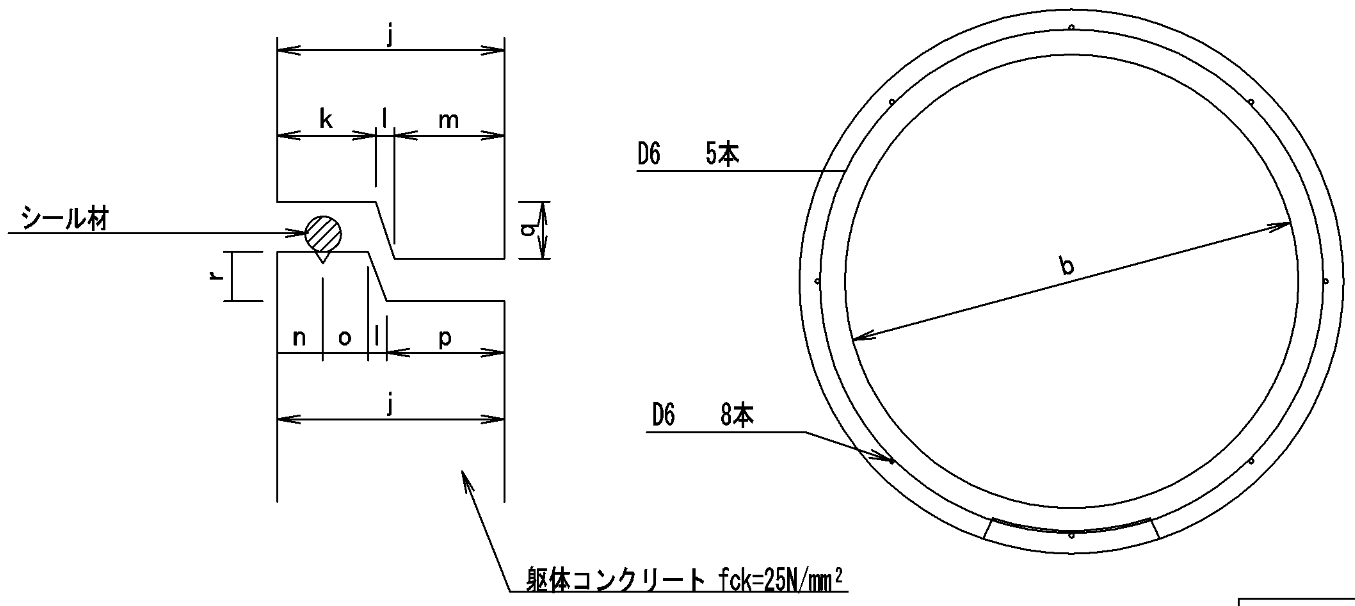
仙台市建設局

公共雨水ます（丸型密閉防臭蓋付）構造図
φ400～φ600型

単位　mm



継 手 詳 細 図



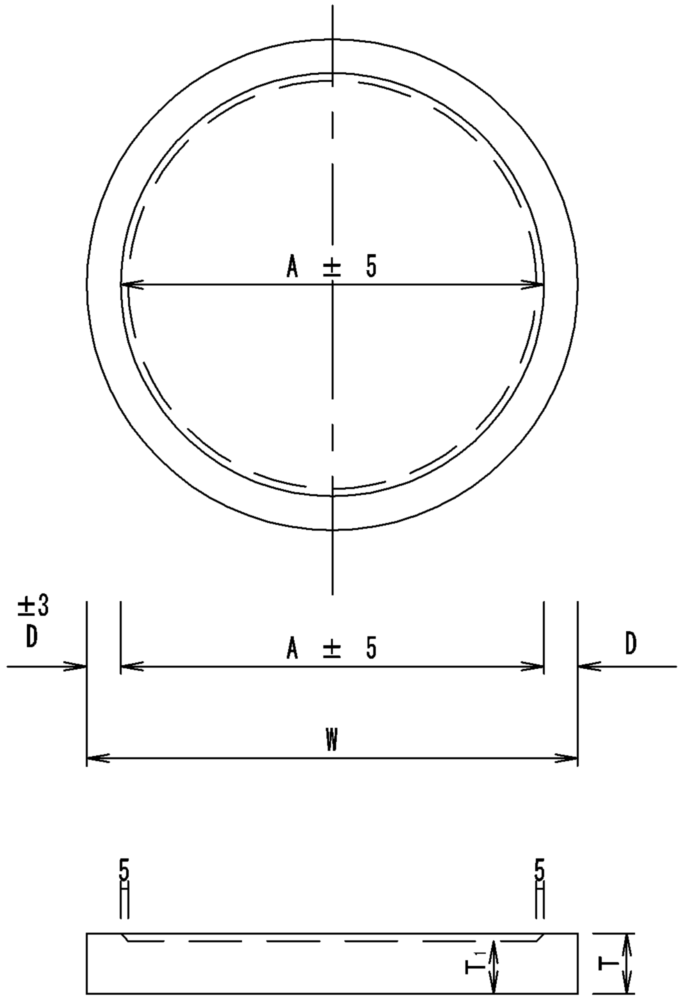
雨 水 ま す 寸 法 表

	A	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s
400×　900	550	500	400	50	300	180	50	70	25	-	50	21	5	24	9.5	9.5	26	15	13	600
450×1,200	600	550	450	50	600	480	50	70	25	-	50	21	5	24	9.5	9.5	26	15	13	600
600×1,500	770	720	600	60	600	480	50	70	25	300	60	26	5	29	12	12	31	15	13	600

1　雨水ます蓋は、汚水ます蓋と同規格とし、「汚水専用」を「雨水専用」に表示すること。

仙台市建設局

公共雨水ます用底版ブロック構造図

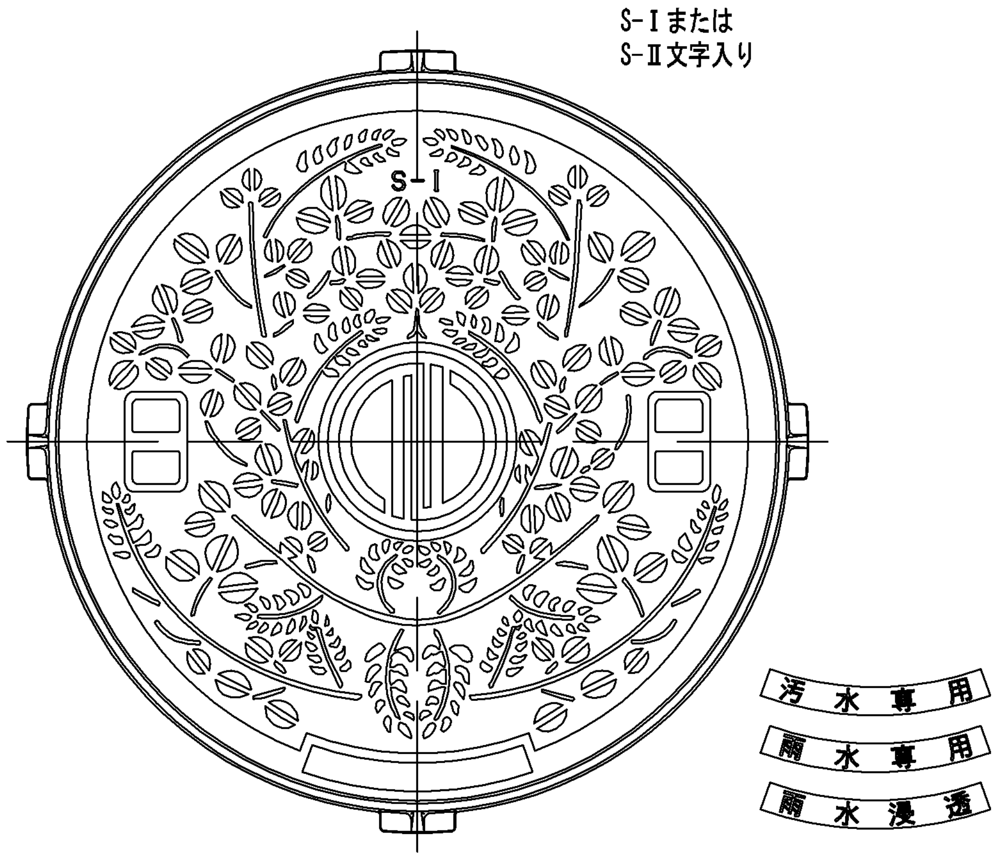


内 径	T	T_1	D	A	W
330	80	70	45	440	530
400	80	70	45	510	600
450	80	70	45	560	650
600	110	100	55	730	840

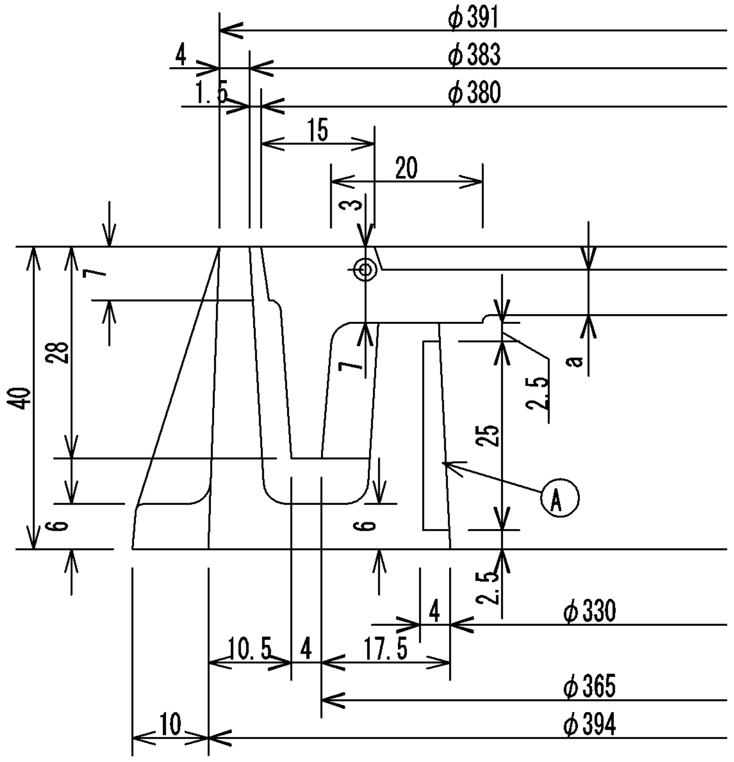
1 コンクリートの圧縮強度は、28N/mm 以上とすること。
2 底版に用心鉄筋を使用してもよい。

仙台市建設局

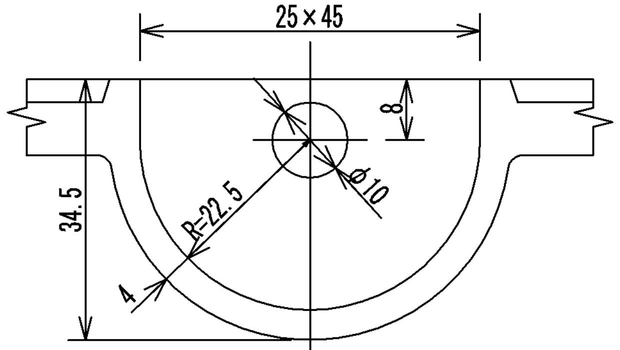
公共ます蓋（丸型密閉防臭蓋）構造図
φ330型

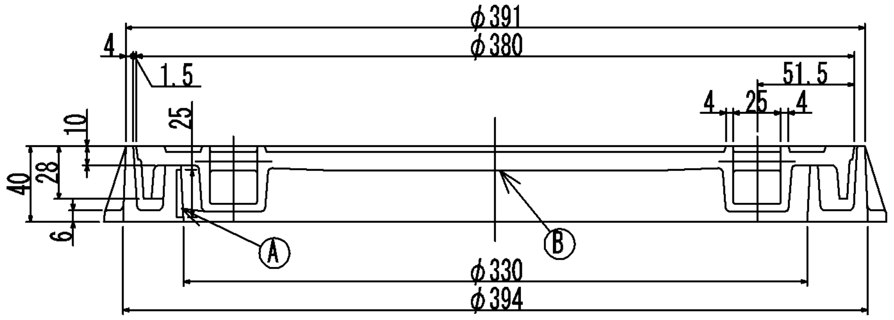


断面詳細図



カギ穴部詳細

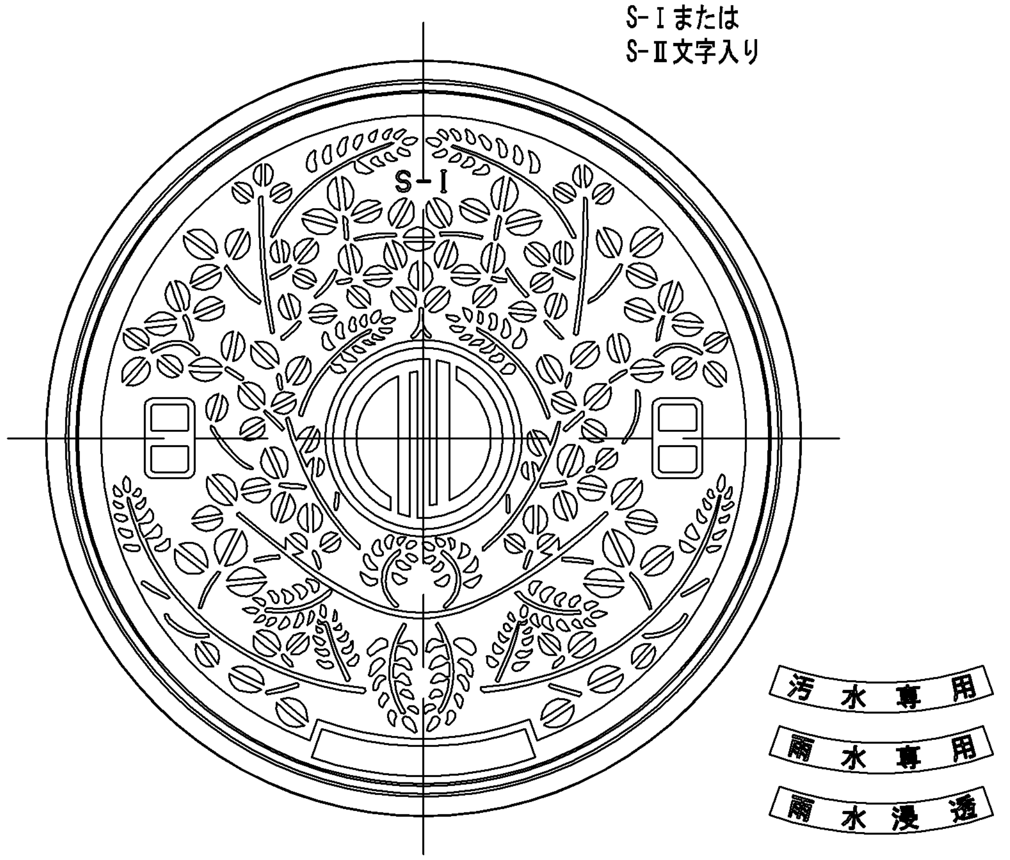




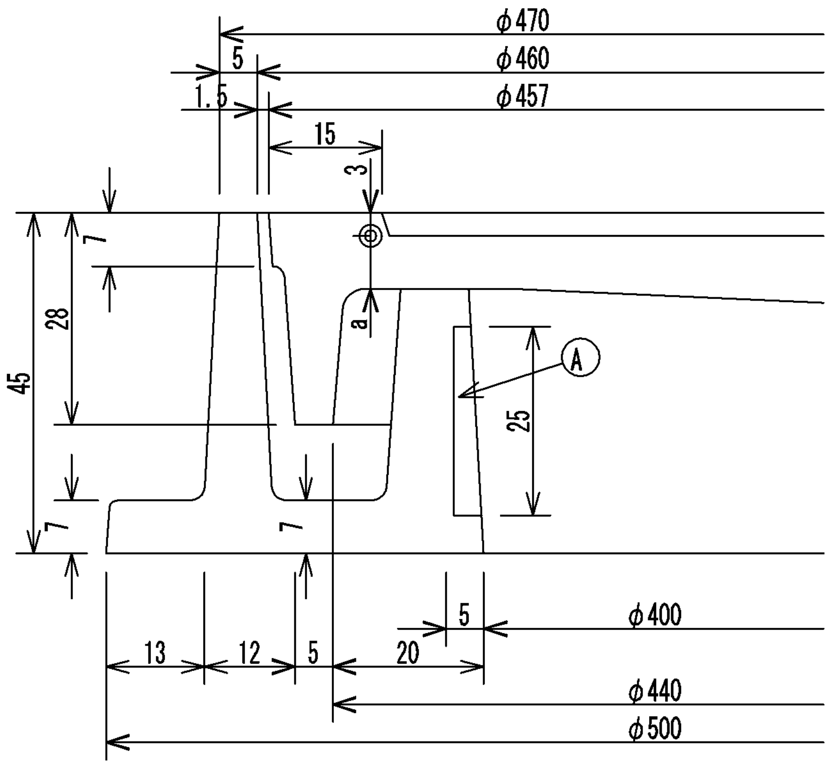
1. 受枠内面Ⓐ部に上記寸法(25×50)凹部を付け社章又は社名を鋳出する。
2. 蓋裏面中央Ⓑ部に社章又は社名及び鋳造年(西暦)材質を鋳出する。
3. 蓋の内厚(a)はS-Ⅰで6m/m以上,S-Ⅱで5m/m以上とする。
4. 材質はJIS5501のねずみ鋳鉄品2種の材質とする。
5. 規格S-Ⅰはt-6、S-Ⅱはt-2とする。

仙台市建設局

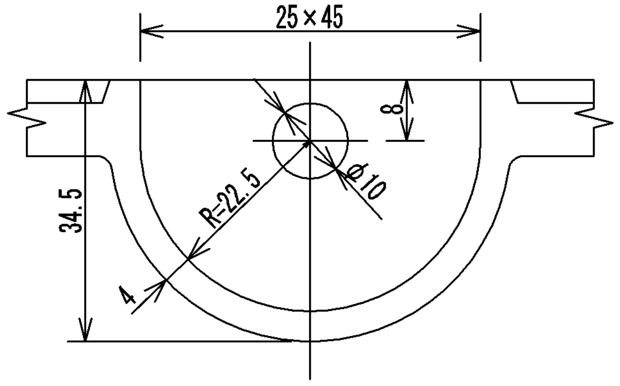
公共ます蓋（丸型密閉防臭蓋）構造図
φ400型

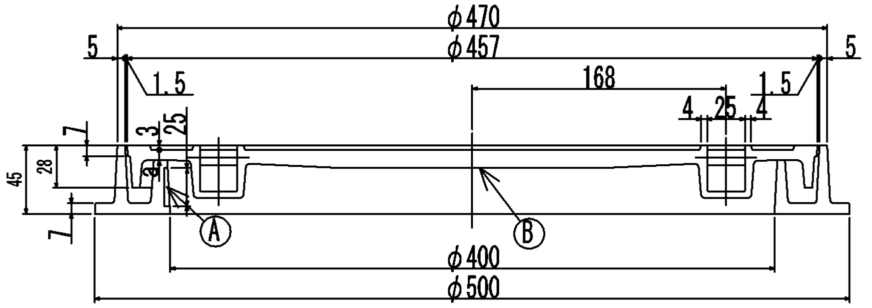


断面詳細図



カギ穴部詳細



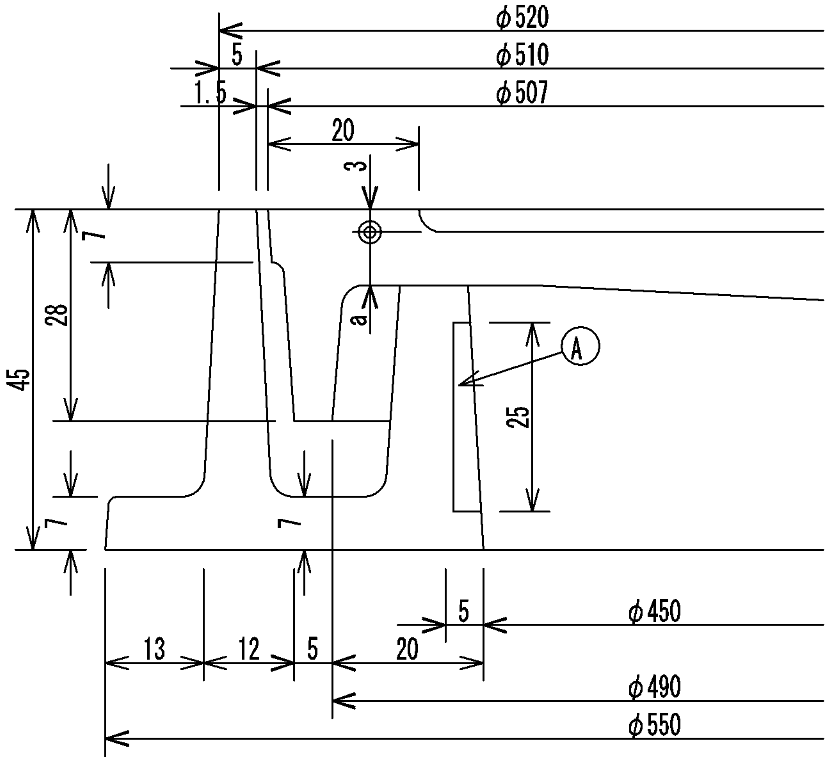


1. 受枠内面Ⓐ部に上記寸法(25×50)凹部を付け社章又は社名を鋳出する。
2. 蓋裏面中央Ⓑ部に社章又は社名及び鋳造年(西暦)材質を鋳出する。
3. 蓋の内厚(a)はS-Ⅰで7m/m以上,S-Ⅱで5m/m以上とする。
4. 材質はJIS5501のねずみ鋳鉄品2種の材質とする。
5. 規格S-Ⅰはt-6、S-Ⅱはt-2とする。

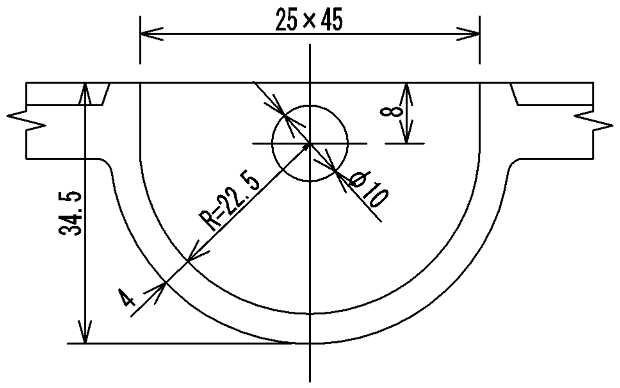
仙台市建設局

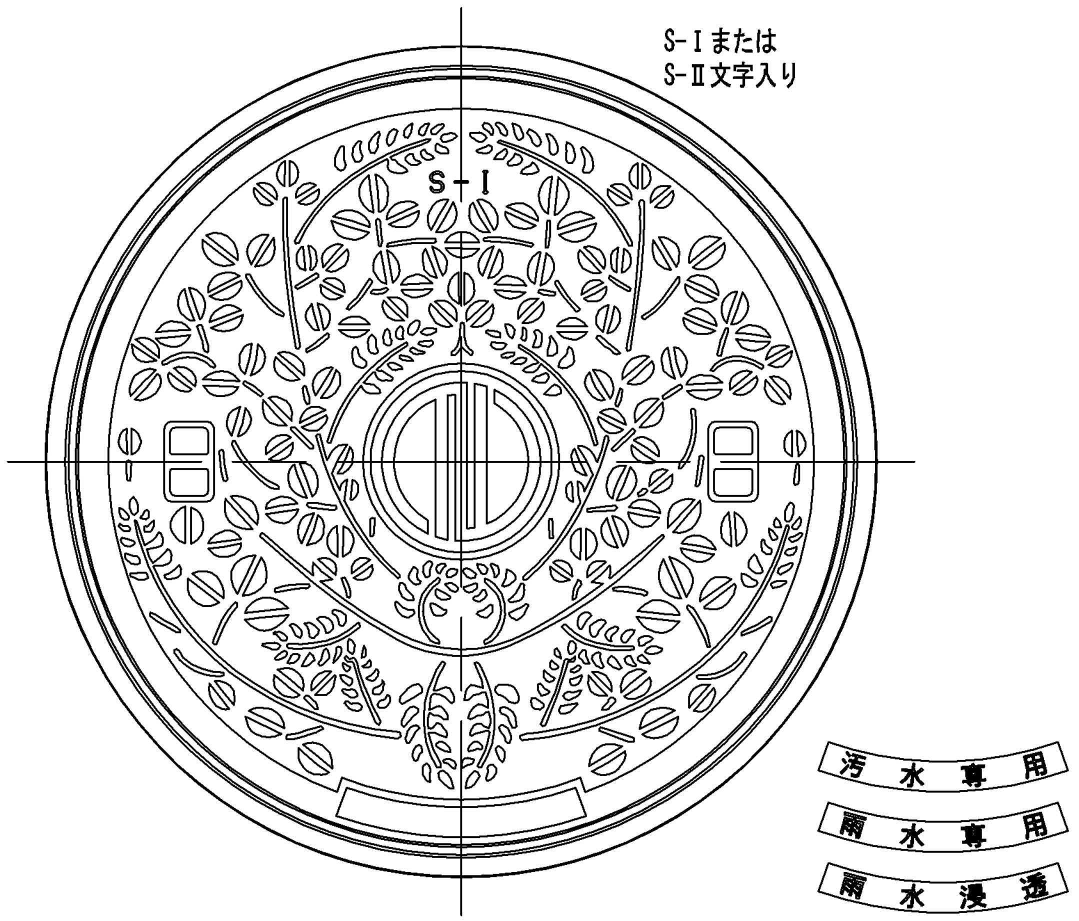
公共ます蓋（丸型密閉防臭蓋）構造図
φ450型

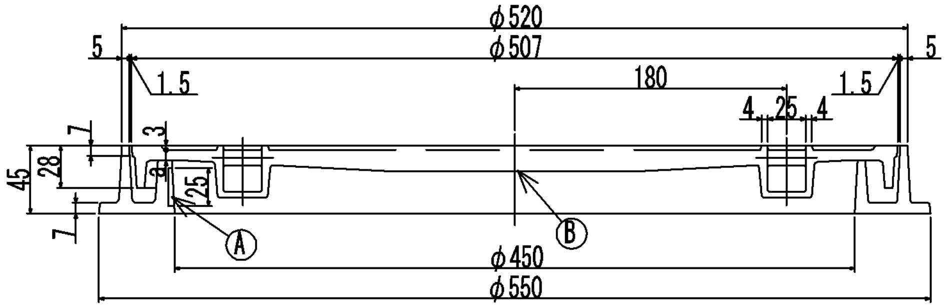
断面詳細図



カギ穴部詳細



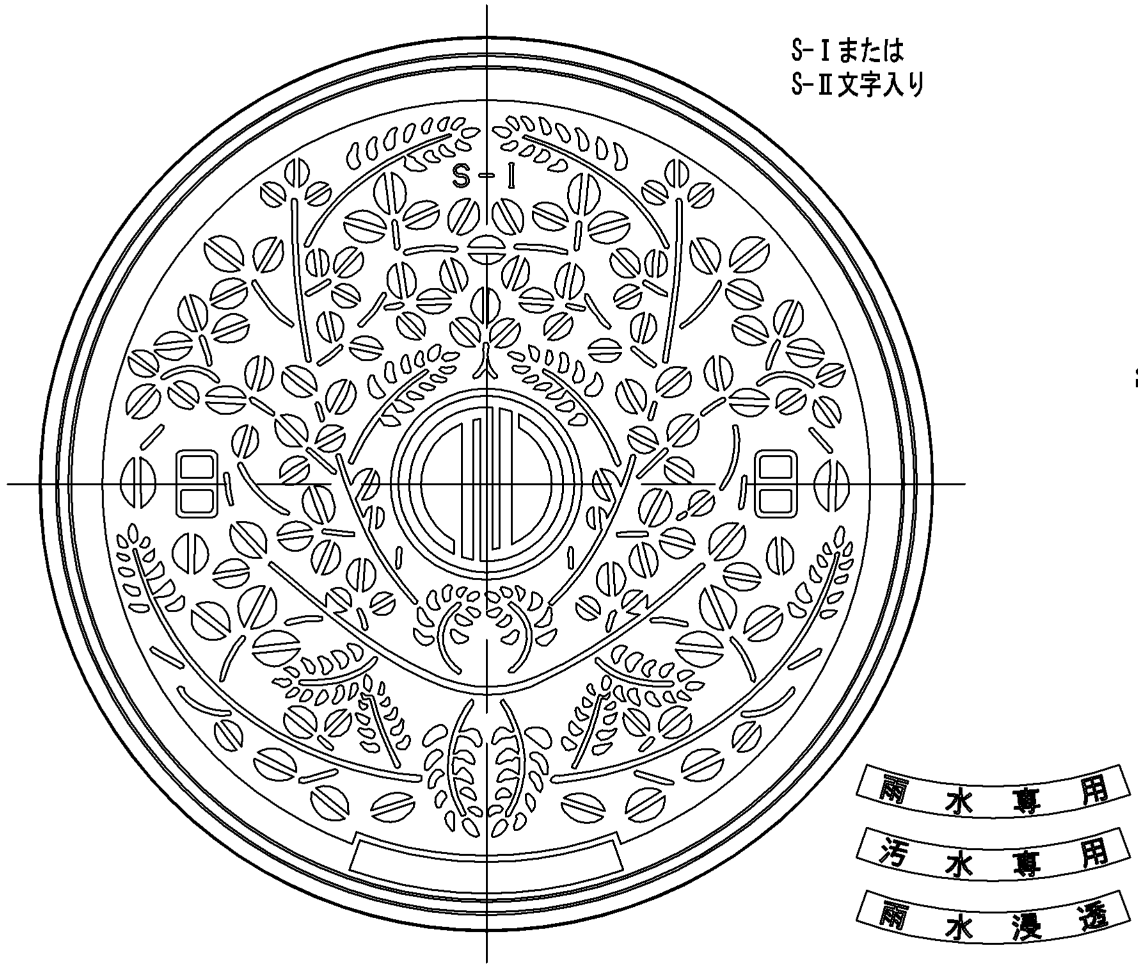




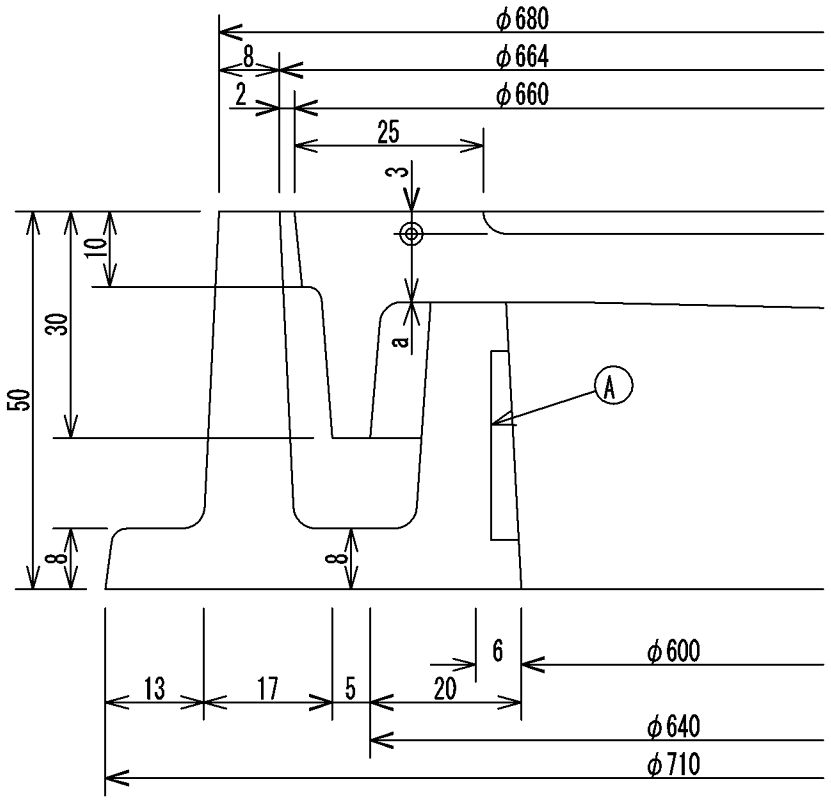
1. 受枠内面Ⓐ部に上記寸法(25×50)凹部を付け
   社章又は社名を鋳出する。
2. 蓋裏面中央Ⓑ部に社章又は社名及び鋳造年(西暦)
   材質を鋳出する。
3. 蓋の内厚(a)はS-Ⅰで7m/m以上,S-Ⅱで
   5m/m以上とする。
4. 材質はJIS5501のねずみ鋳鉄品2種の材質と
   する。
5. 規格S-Ⅰはt-6、S-Ⅱはt-2とする。

仙台市建設局

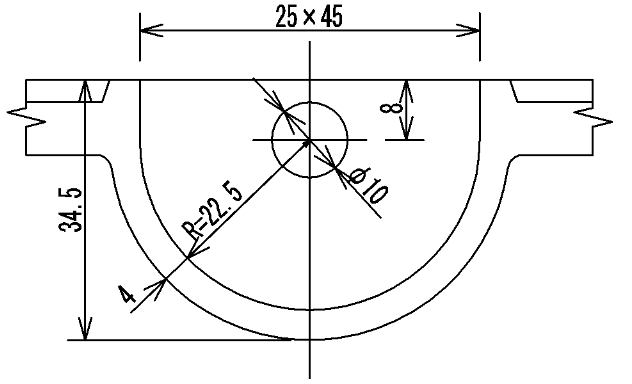
公共ます蓋（丸型密閉防臭蓋）構造図
φ600型

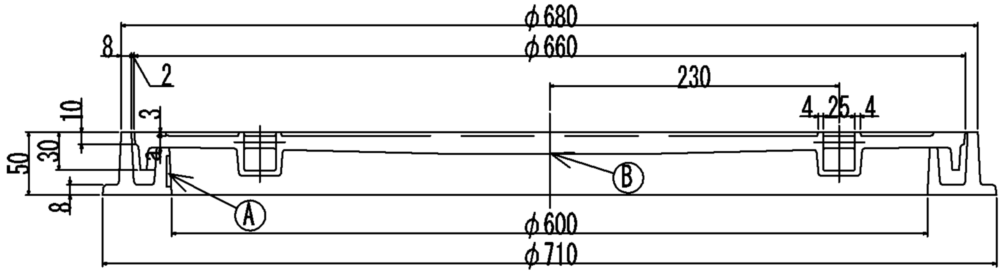


断面詳細図



カギ穴部詳細



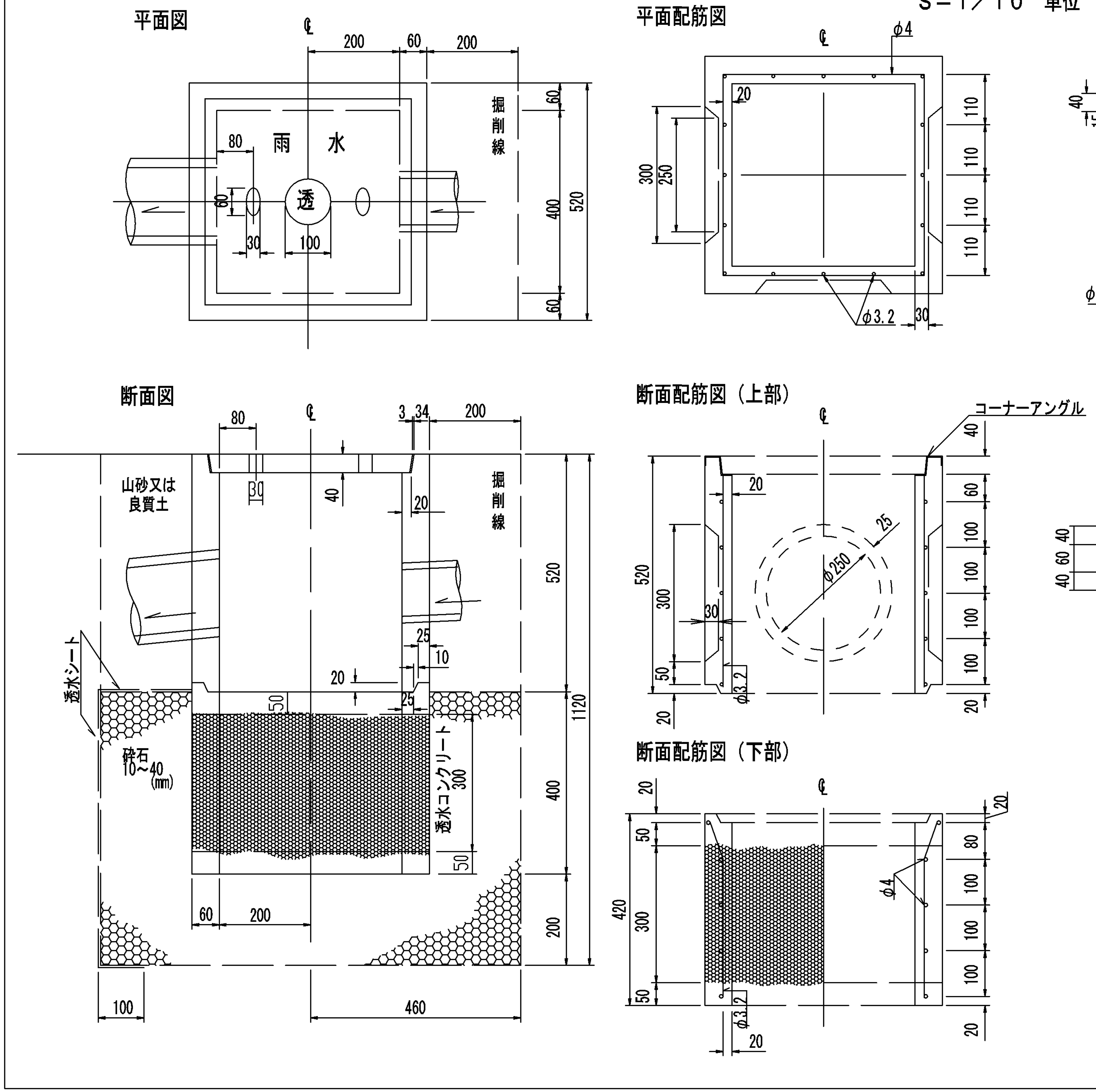


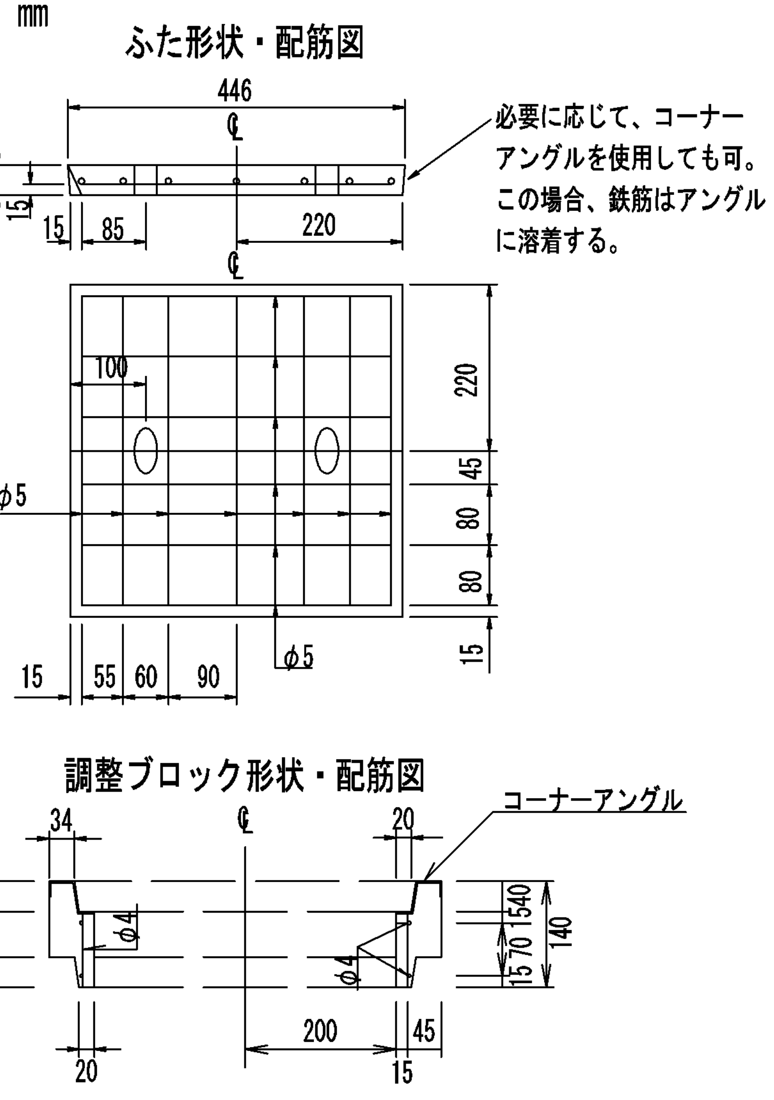
1. 受枠内面Ⓐ部に上記寸法(25×50)凹部を付け
   社章又は社名を鋳出する。
2. 蓋裏面中央Ⓑ部に社章又は社名及び鋳造年(西暦)
   材質を鋳出する。
3. 蓋の内厚(a)はS-Ⅰで9m/m以上,S-Ⅱで
   5m/m以上とする。
4. 材質はJIS5501のねずみ鋳鉄品2種の材質と
   する。
5. 規格S-Ⅰはt-6、S-Ⅱはt-2とする。

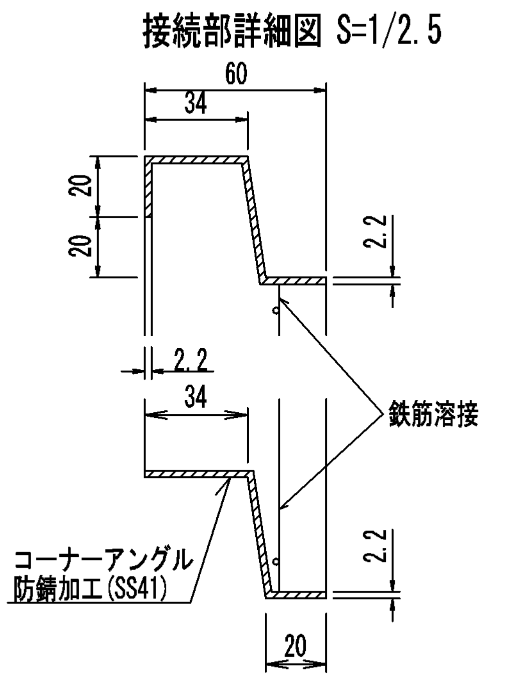
仙台市建設局

透水性公共雨水ます（内法400×400）構造標準図

S＝1／10　単位　mm







※　使用材料の基準

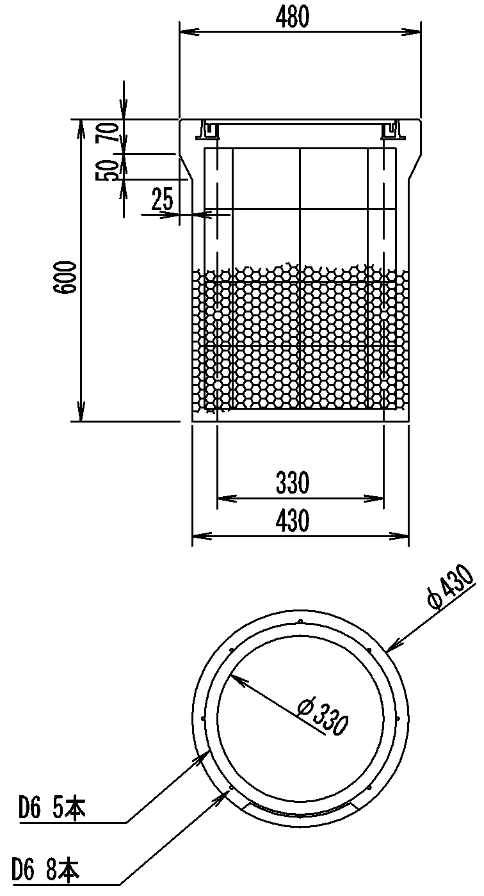
(1) コンクリート
　fck　= 25N/mm²

(2) 透水コンクリート
　fck　= 15N/mm²
　砕石　10mm＜φ＜13mm
　空隙率　15%＜n＜25%

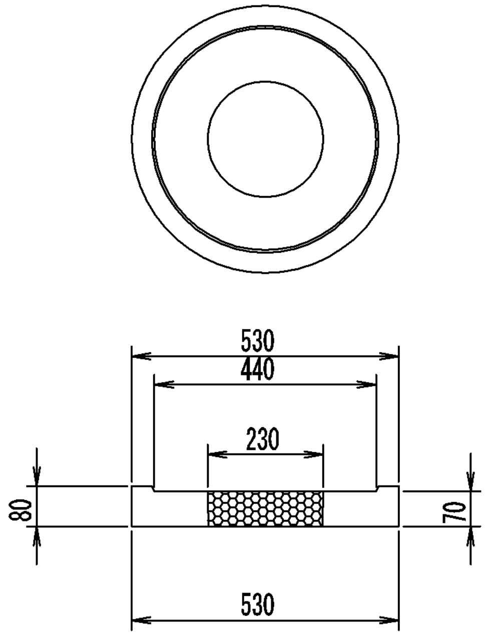
（3）鉄筋
　JIS.G.3532による普通鉄線、透水部分は、防錆加工をしたものを使用する。

仙台市建設局

雨水浸透ます　φ330（丸型密閉防臭蓋付）構造図　縮尺 S=1/15　単位：mm

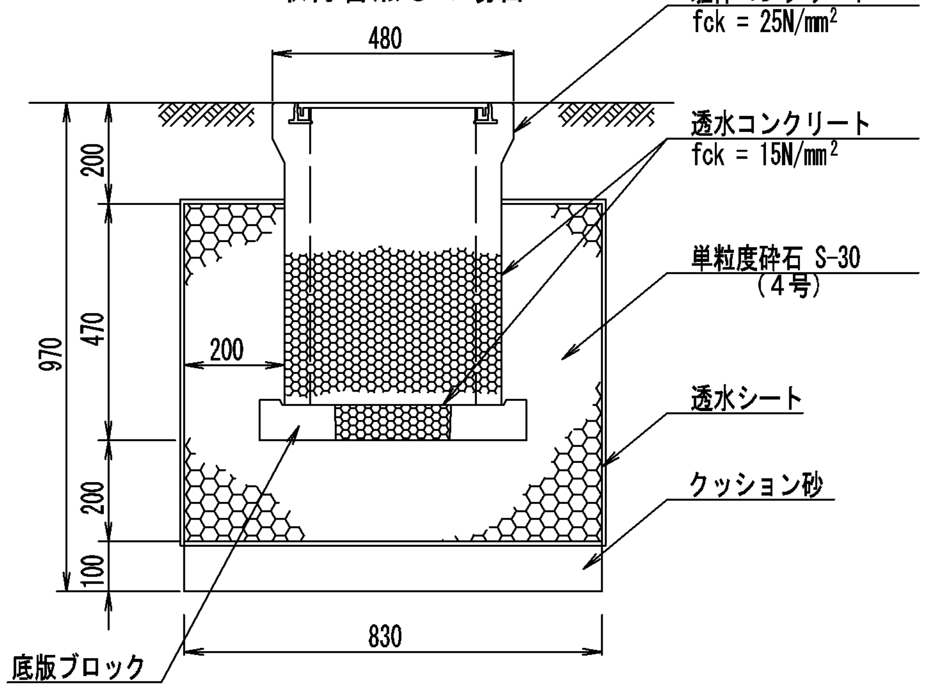


底版ブロック

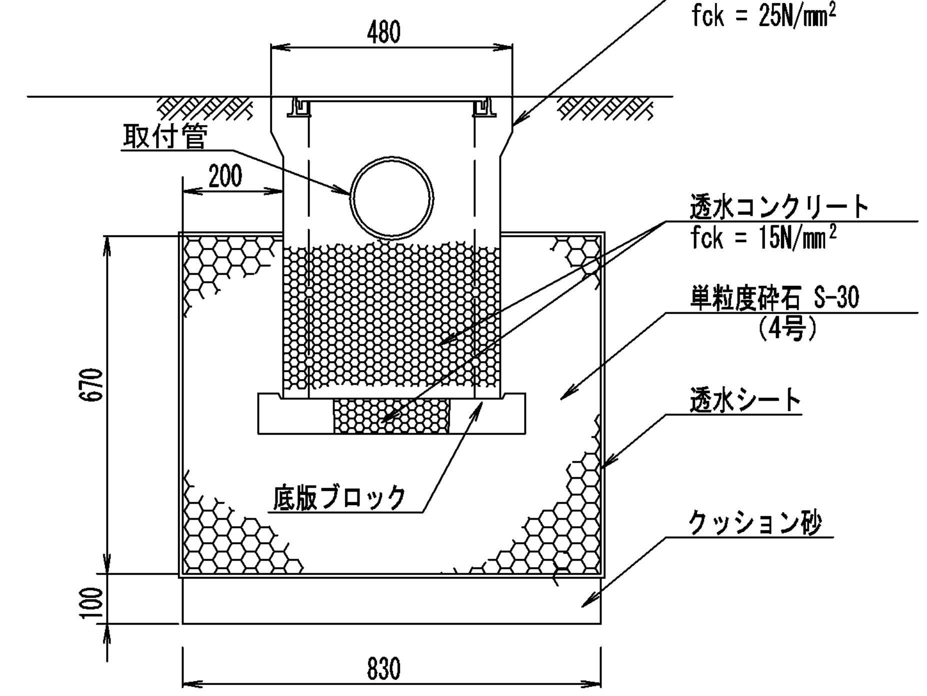


組立図

取付管無しの場合



取付管有りの場合



※浸透層の天端は、取付管の管底高に合わせること。

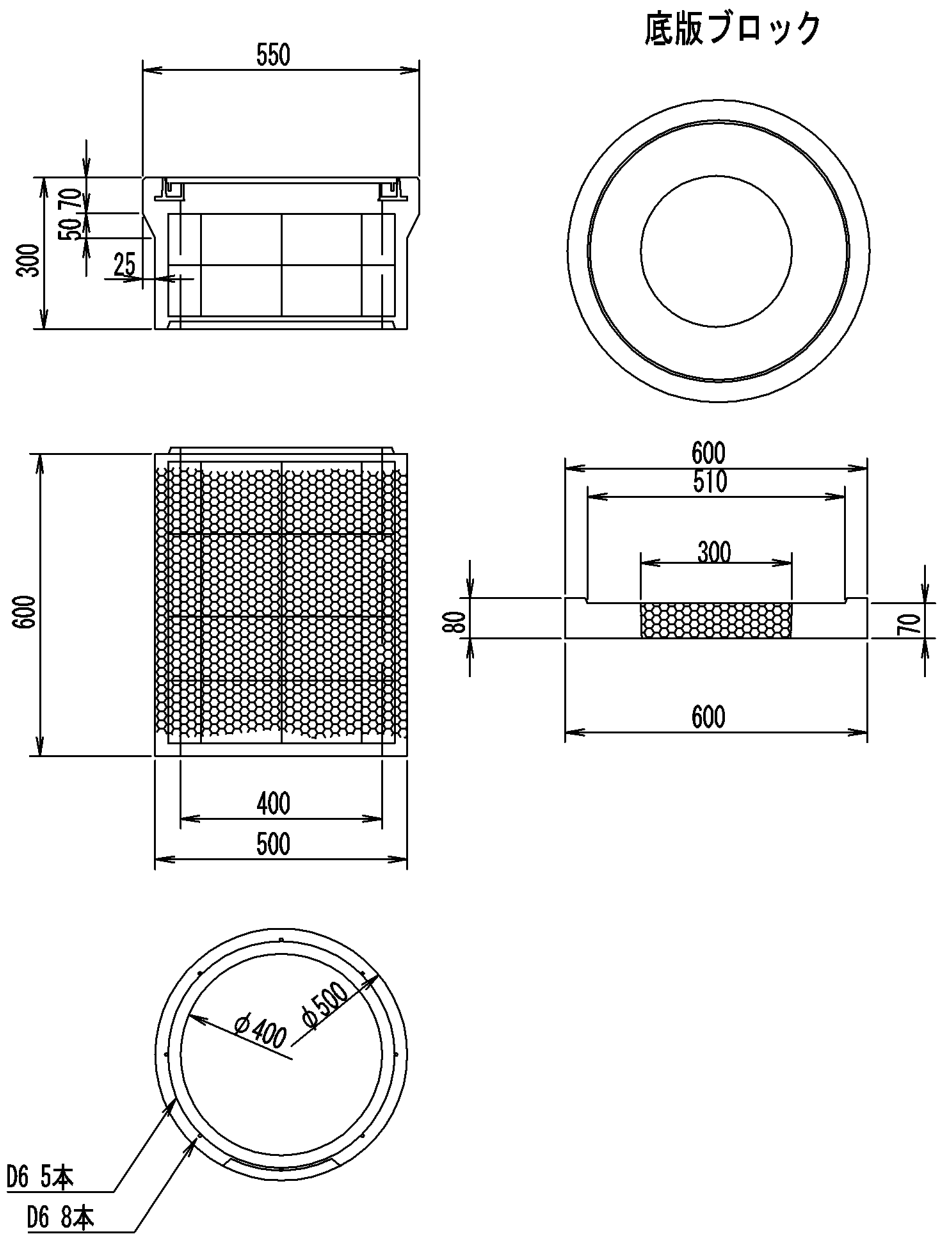
使用材料の基準

（1）コンクリート
　　ｆｃｋ = 25N／mm^2
（2）透水シート
　　透水係数 1×10^{-1} ～10^{-2} cm／sec 以上
　　厚さ 0.2mm以上
（3）透水コンクリート（透水コンクリート製品の場合）
　　ｆｃｋ = 15N／mm^2
　　透水係数 3×10^{-1} cm／sec 以上
（4）鉄筋（透水コンクリート製品の場合）
　　防錆加工したものを使用すること
（5）有孔径（有孔製品の場合）
　　有孔径は20mm以下、表面積に対する開孔率は0.5％以上

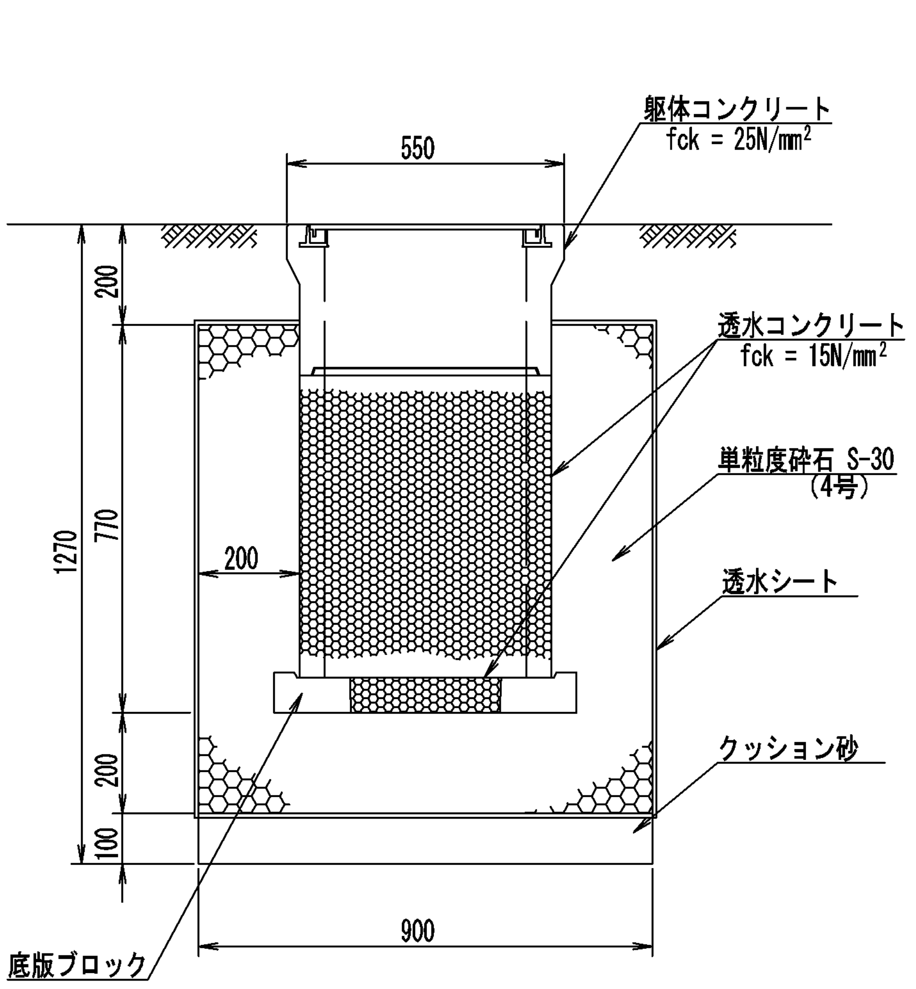
仙台市建設局

雨水浸透ます　φ400（丸型密閉防臭蓋付）構造図　縮尺　S=1/15　　単位：mm

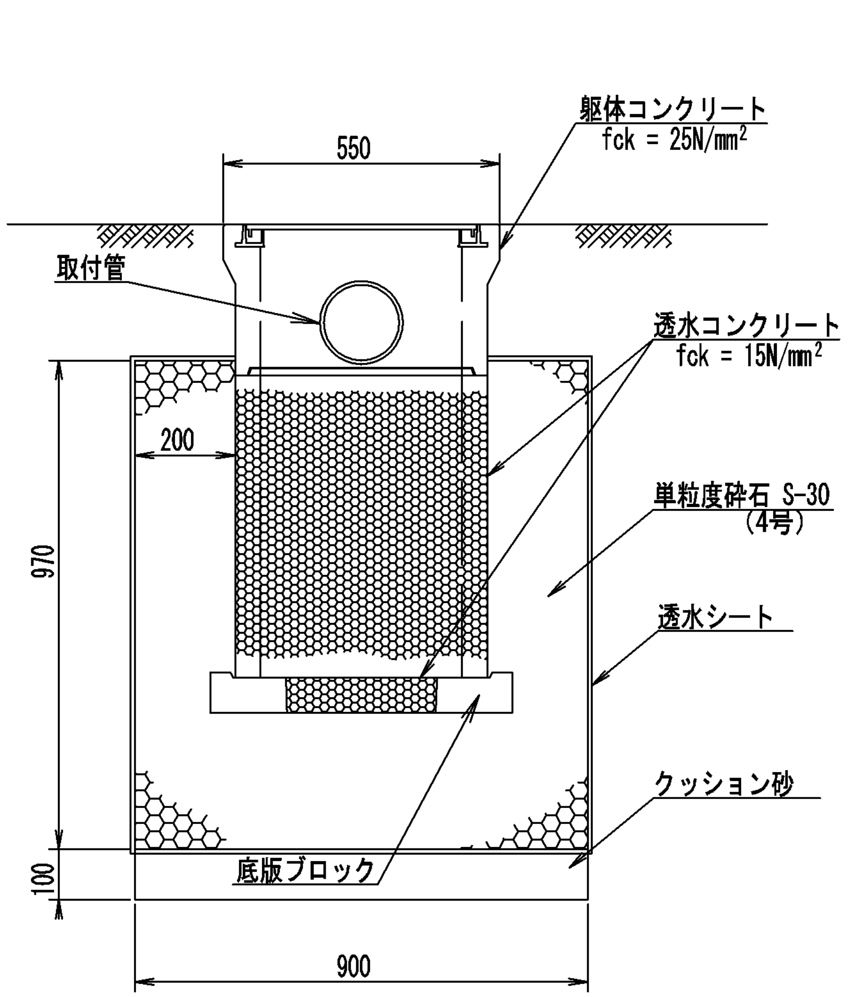
組立図



取付管無しの場合



取付管有りの場合



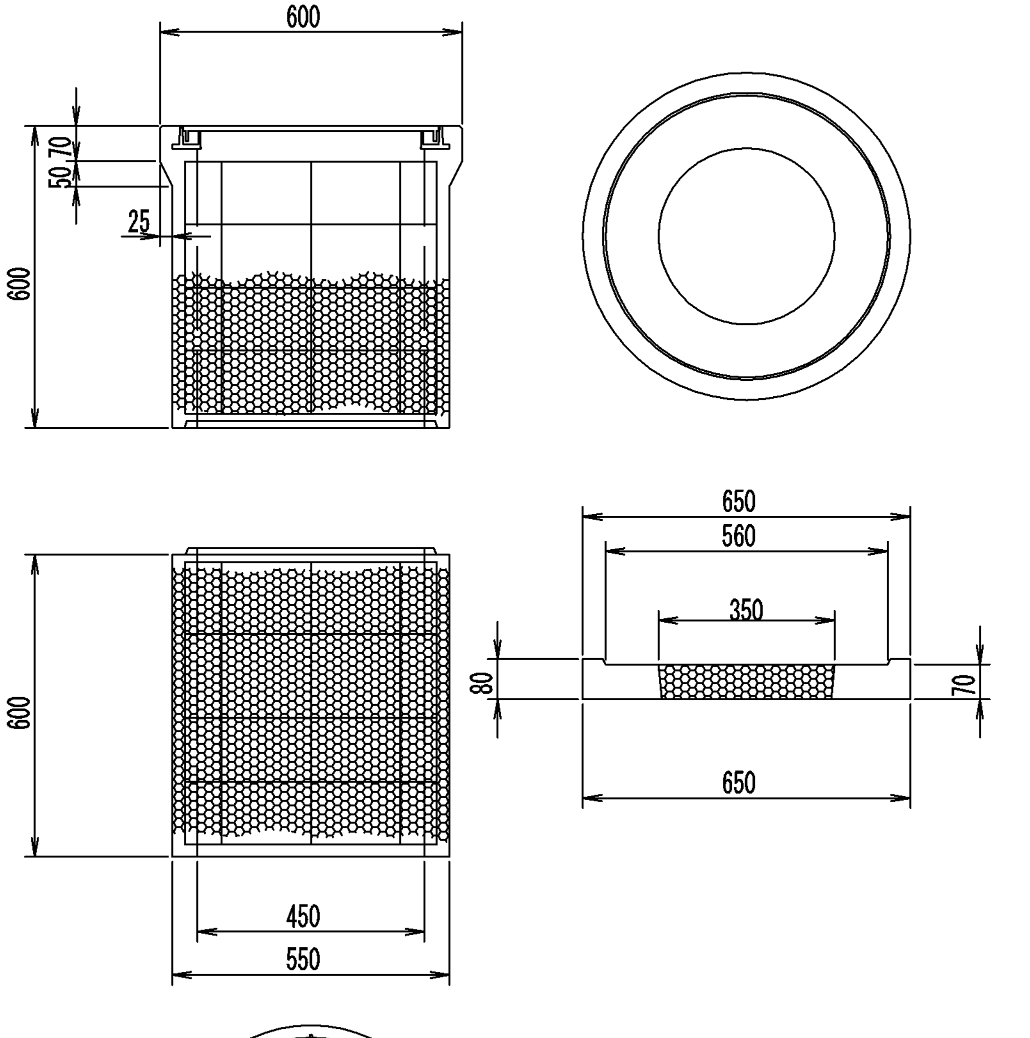
※浸透層の天端は、取付管の管底高に合わせること。

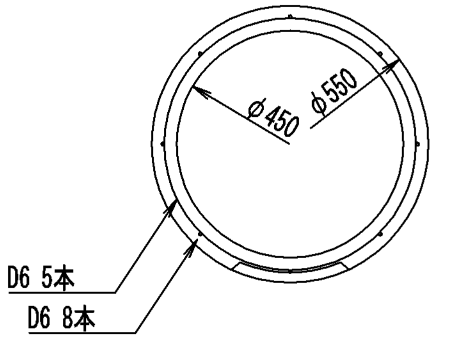
使用材料の基準

（1）コンクリート
　　$fck = 25N/mm^2$
（2）透水シート
　　透水係数 $1\times10^{-1}\sim10^{-2}$ cm／sec 以上
　　厚さ 0.2mm以上
（3）透水コンクリート（透水コンクリート製品の場合）
　　$fck = 15N/mm^2$
　　透水係数 3×10^{-1} cm／sec 以上
（4）鉄筋（透水コンクリート製品の場合）
　　防錆加工したものを使用すること
（5）有孔径（有孔製品の場合）
　　有孔径は20mm以下、表面積に対する開孔率は0.5%以上

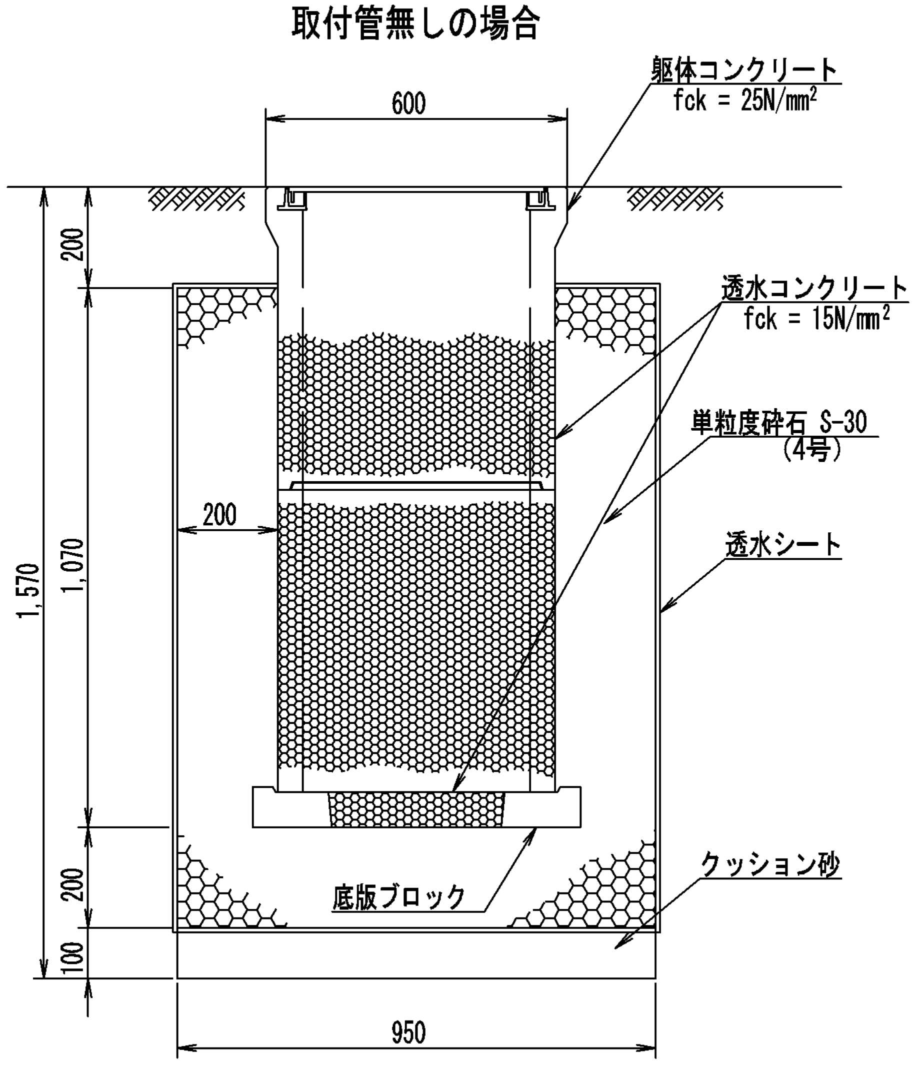
仙台市建設局

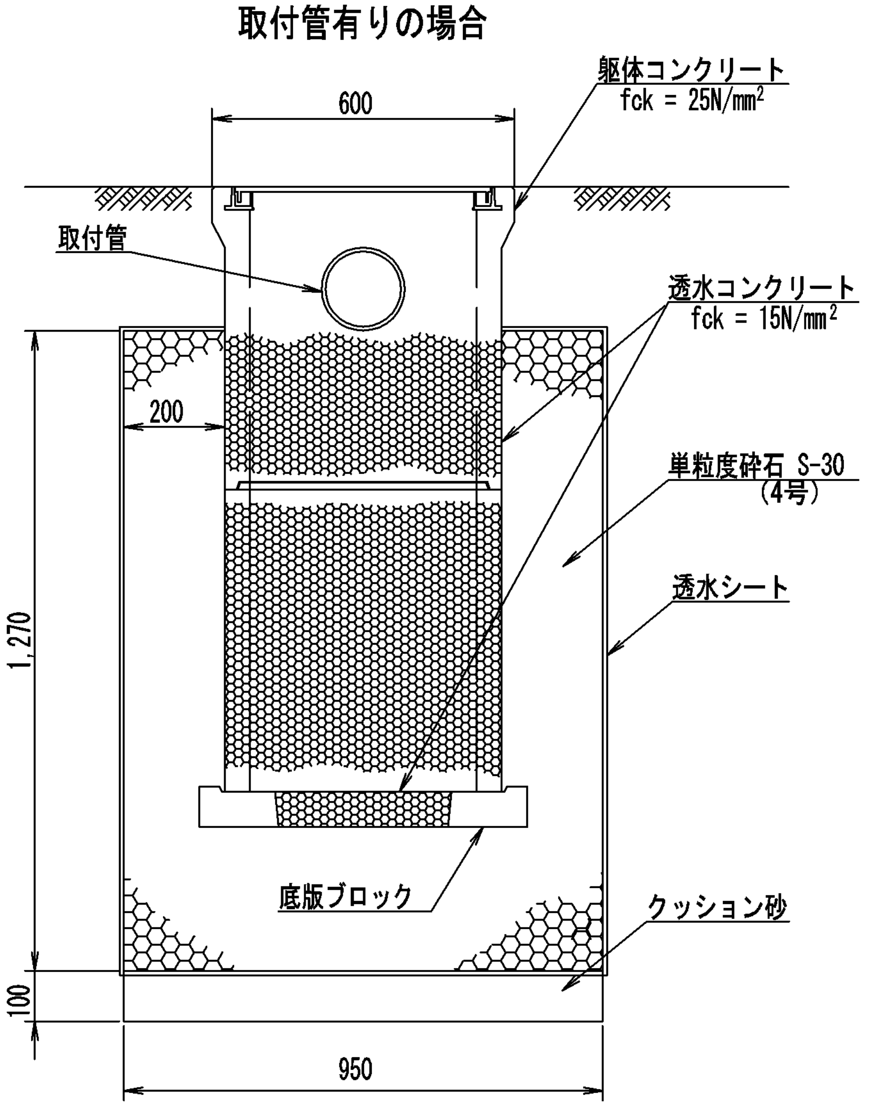
雨水浸透ます φ450（丸型密閉防臭蓋付）構造図 縮尺 S=1/15 単位：mm





組立図





※浸透層の天端は、取付管の管底高に合わせること。

使用材料の基準

（1）コンクリート
　　$fck = 25N/mm^2$

（2）透水シート
　　透水係数 $1\times10^{-1}\sim10^{-2}$ cm／sec 以上
　　厚さ 0.2mm以上

（3）透水コンクリート（透水コンクリート製品の場合）
　　$fck = 15N/mm^2$
　　透水係数 3×10^{-1} cm／sec 以上

（4）鉄筋（透水コンクリート製品の場合）
　　防錆加工したものを使用すること

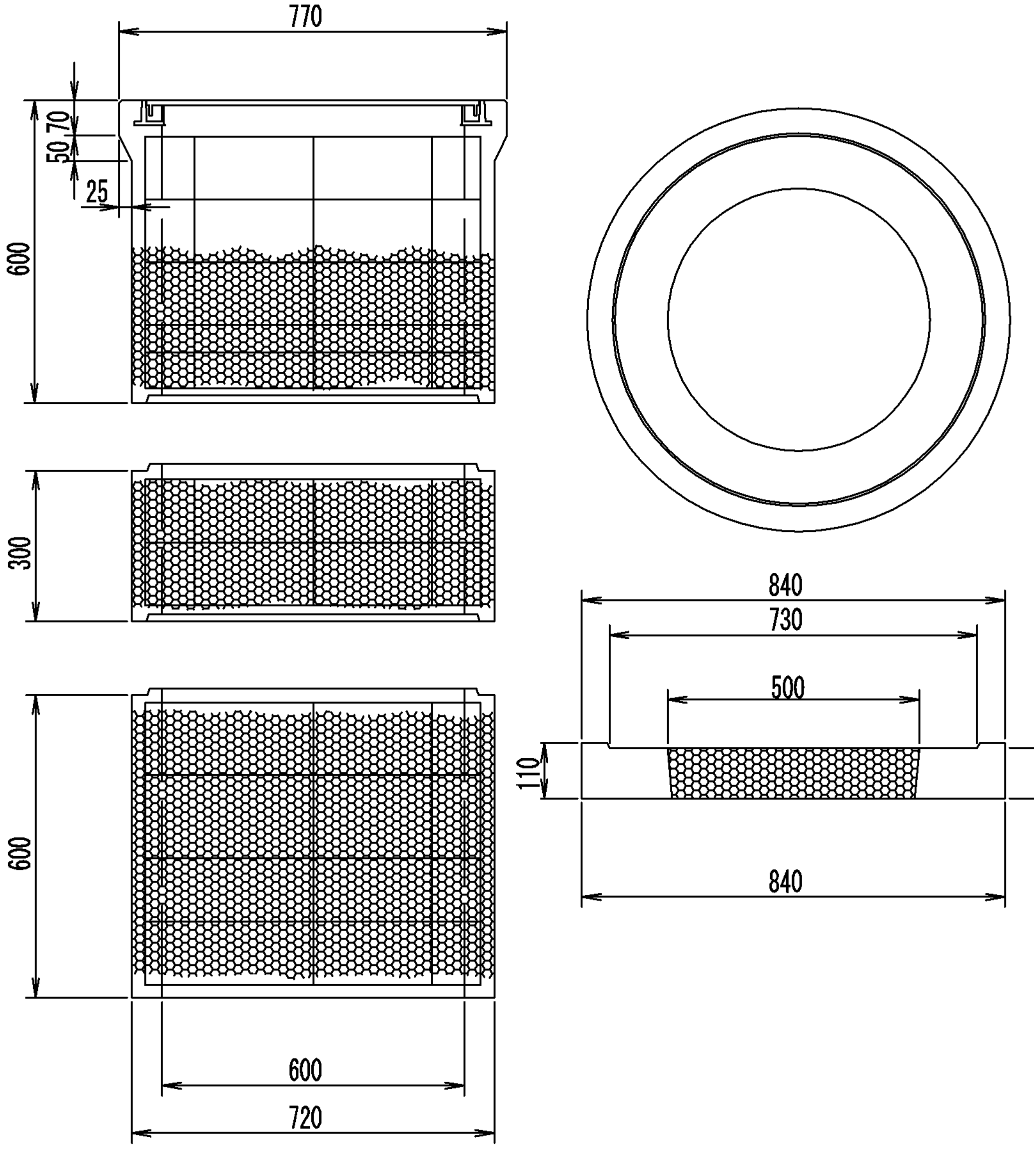
（5）有孔径（有孔製品の場合）
　　有孔径は20mm以下、表面積に対する開孔率は0.5%以上

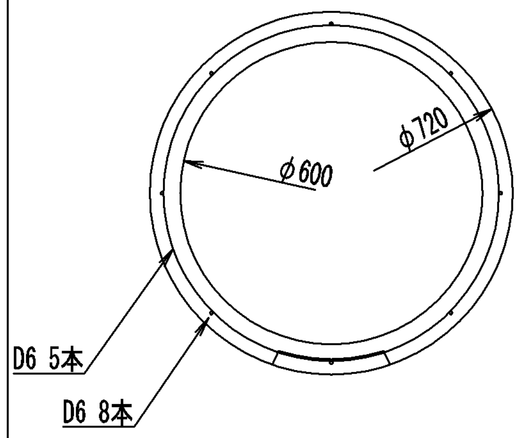
仙台市建設局

雨水浸透ます　φ600　（丸型密閉防臭蓋付）構造図

縮尺　S=1/15　単位：mm

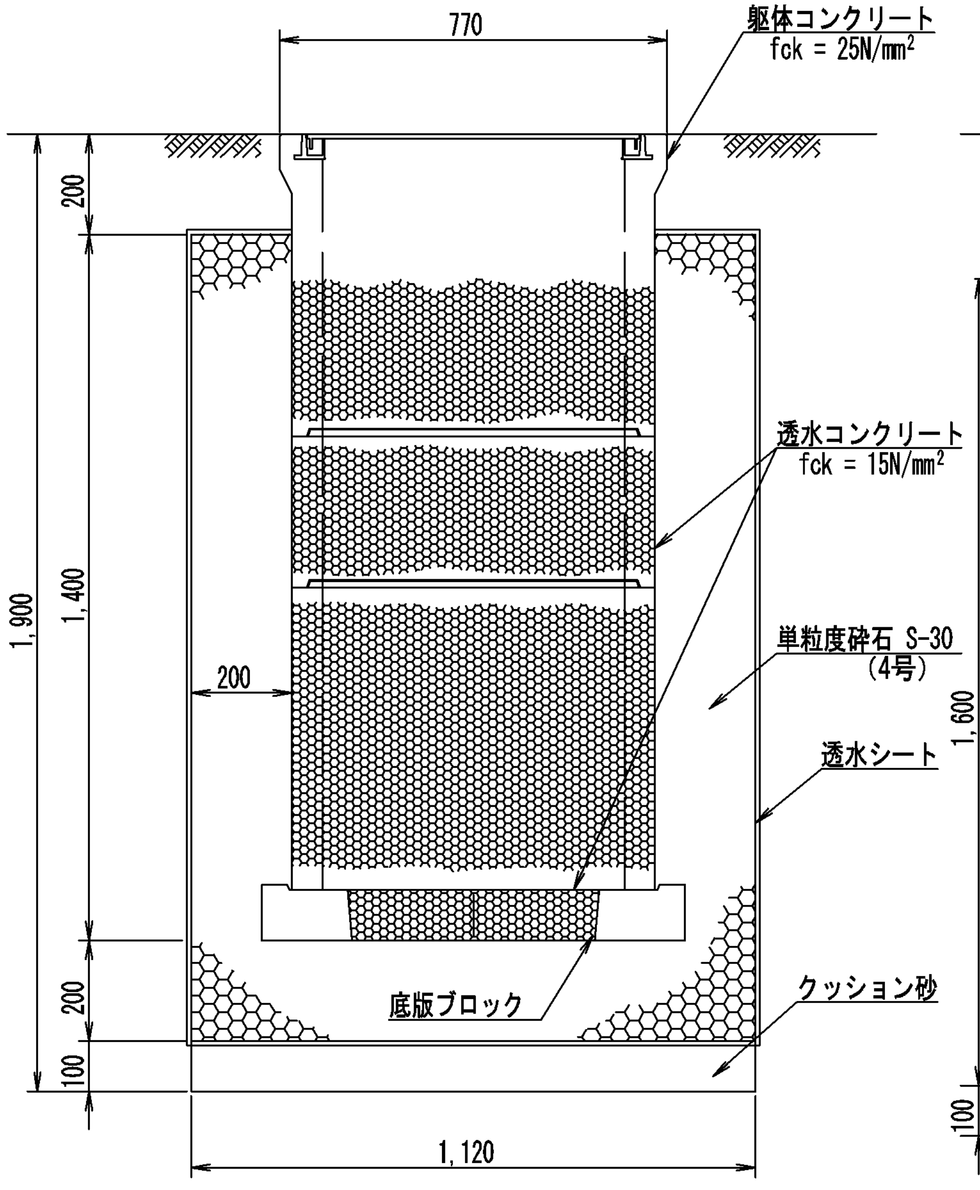
底版ブロック



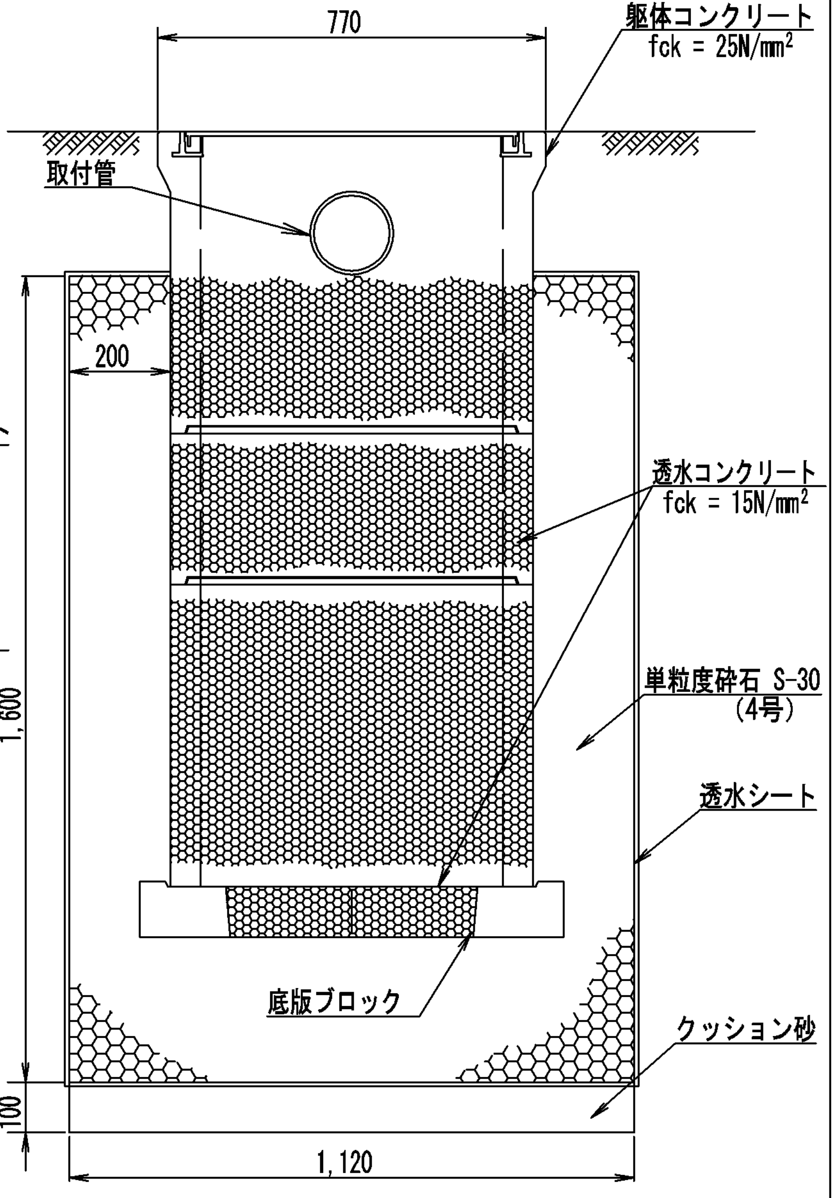


組立図

取付管無しの場合



取付管有りの場合



※浸透層の天端は、取付管の管底高に合わせること。

使用材料の基準

（1）コンクリート
　　ｆｃｋ = 25N／mm²

（2）透水シート
　　透水係数 1×10⁻¹～10⁻² cm／sec 以上
　　厚さ 0.2mm以上

（3）透水コンクリート（透水コンクリート製品の場合）
　　ｆｃｋ = 15N／mm²
　　透水係数 3×10⁻¹ cm／sec 以上

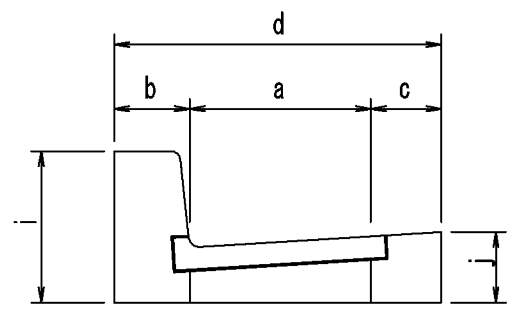
（4）鉄筋（透水コンクリート製品の場合）
　　防錆加工したものを使用すること

（5）有孔径（有孔製品の場合）
　　有孔径は20mm以下、表面積に対する開孔率は0.5%以上

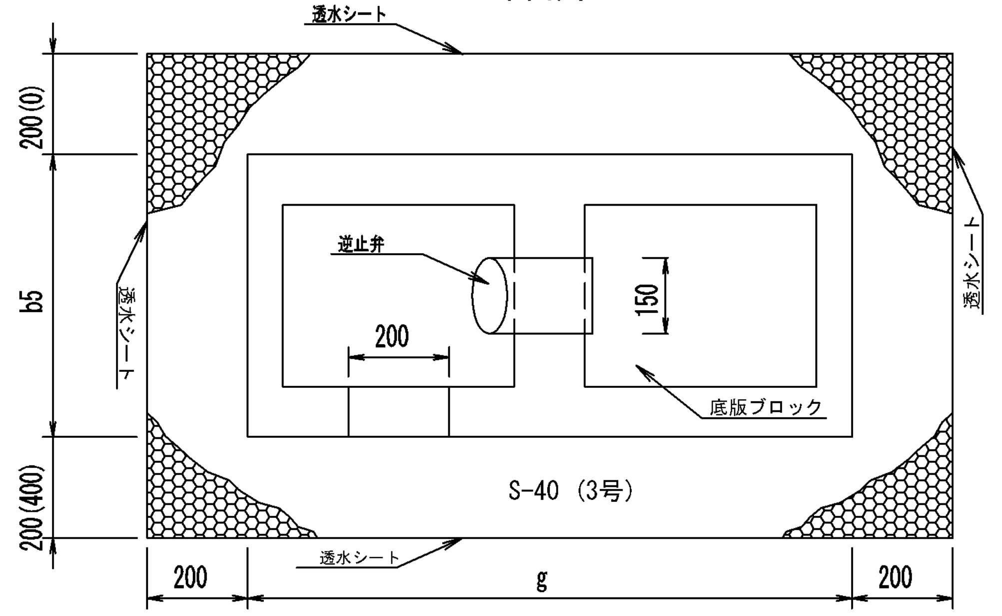
仙台市建設局

仙台市型浸透防臭二連ます構造図

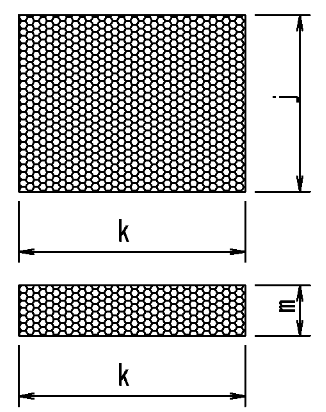
L型縁塊詳細図



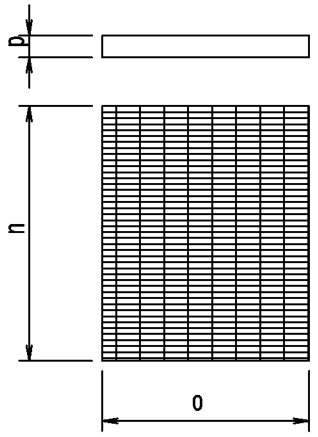
平面図



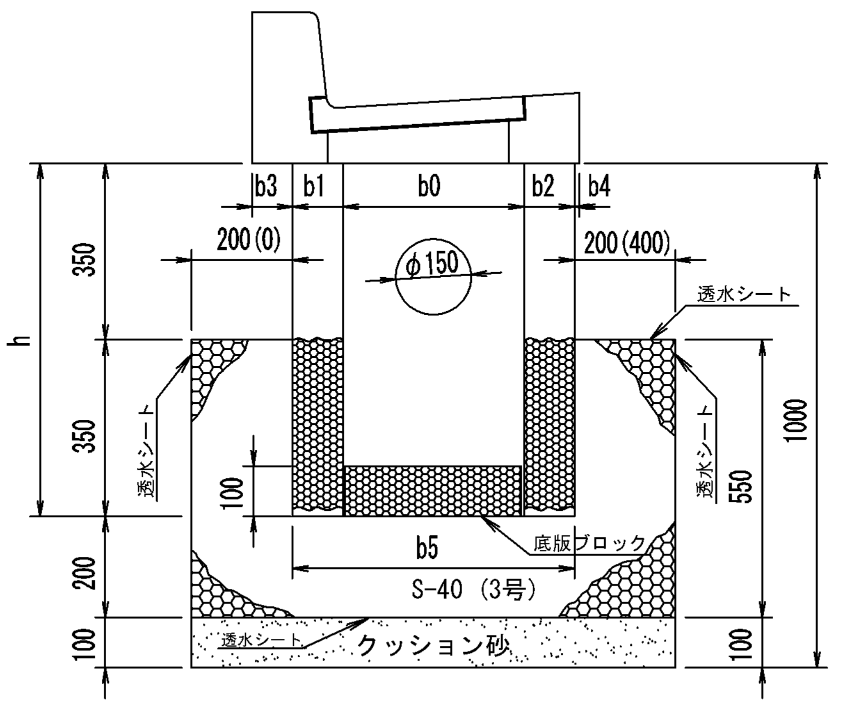
底版ブロック



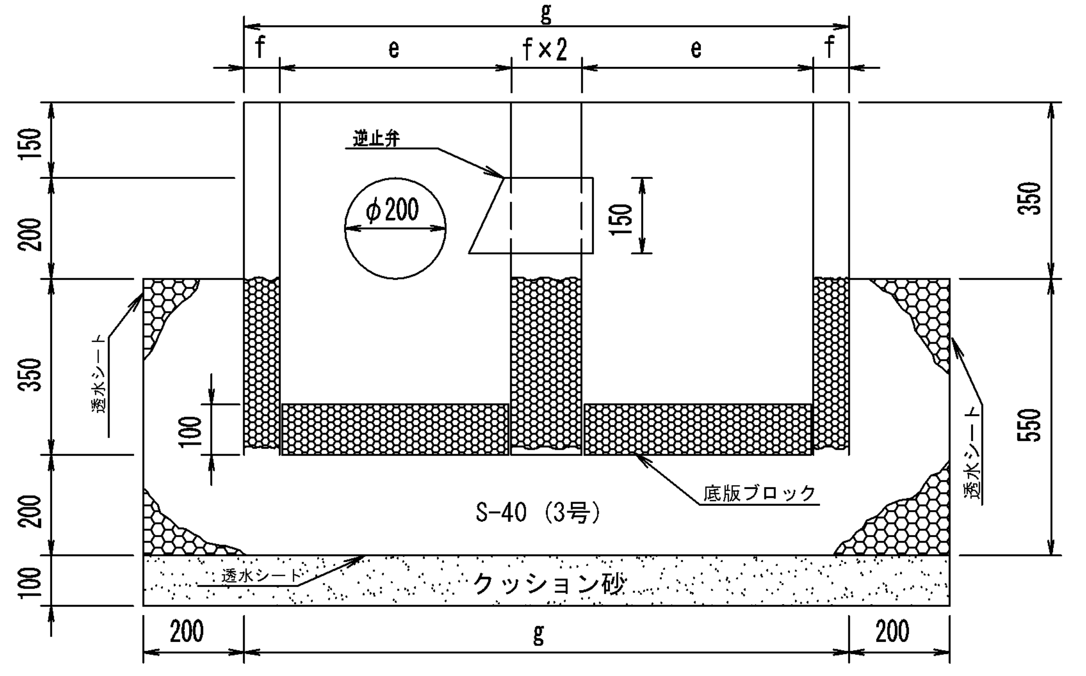
グレーチング（参考図）



断面図



正面図



使用材料の基準

（1）コンクリート
　　$fck = 25N/mm^2$
（2）透水シート
　　透水係数 1×10^{-1} ～10^{-2} cm／sec 以上
　　厚さ 0.2mm以上
（3）透水コンクリート（透水コンクリート製品の場合）
　　$fck = 15N/mm^2$
　　透水係数 3×10^{-1} cm／sec 以上
（4）鉄筋（透水コンクリート製品の場合）
　　防錆加工したものを使用すること
（5）有孔径（有孔製品の場合）
　　有孔径は20mm以下、表面積に対する開孔率は0.5%以上

※　（）内の寸法は境界に隣接する場合。

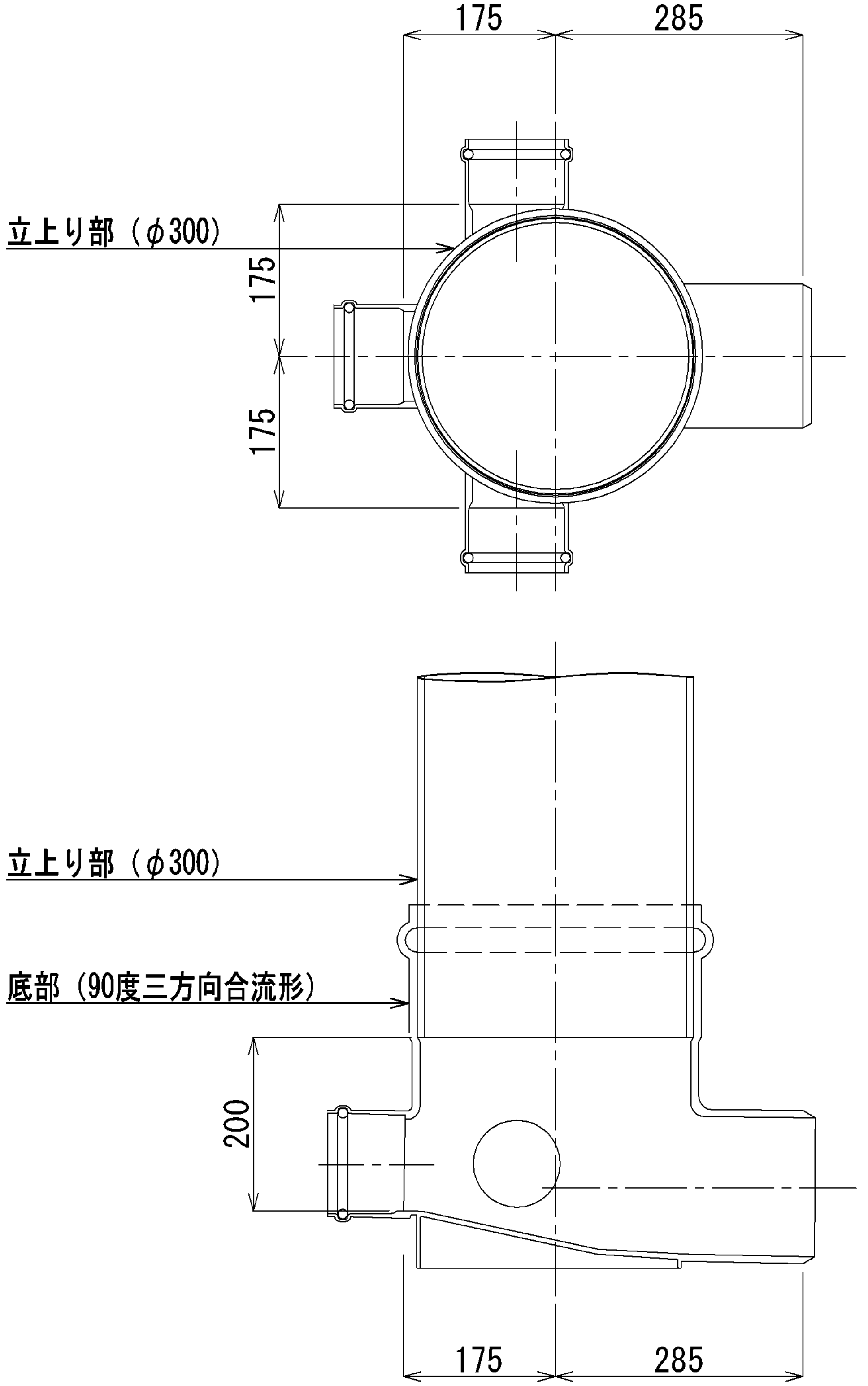
番号	記号	本体寸法（mm）																底版ブロック(mm)			グレーチング(mm)		
		a	b	b0	b1	b2	b3	b4	b5	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p
1	L250A	200	100	200	100	50	0	0	350	50	350	400	100	1,200	700	200	125	390	190	100	460	245	44
2	L250B	250	100	250	100	100	0	0	450	100	450	460	70	1,200	700	200	130	450	240	100	505	300	44
3	L300	300	100	300	100	100	0	0	500	100	500	460	70	1,200	700	200	135	450	290	100	505	345	44
4	特L275	360	150	360	100	100	80	10	560	140	650	460	70	1,200	700	300	140	450	350	100	505	410	44
5	特L250A	280	160	280	100	60	60	0	440	60	500	300	100	1,000	700	250	129	290	270	100	360	325	44

仙台市建設局

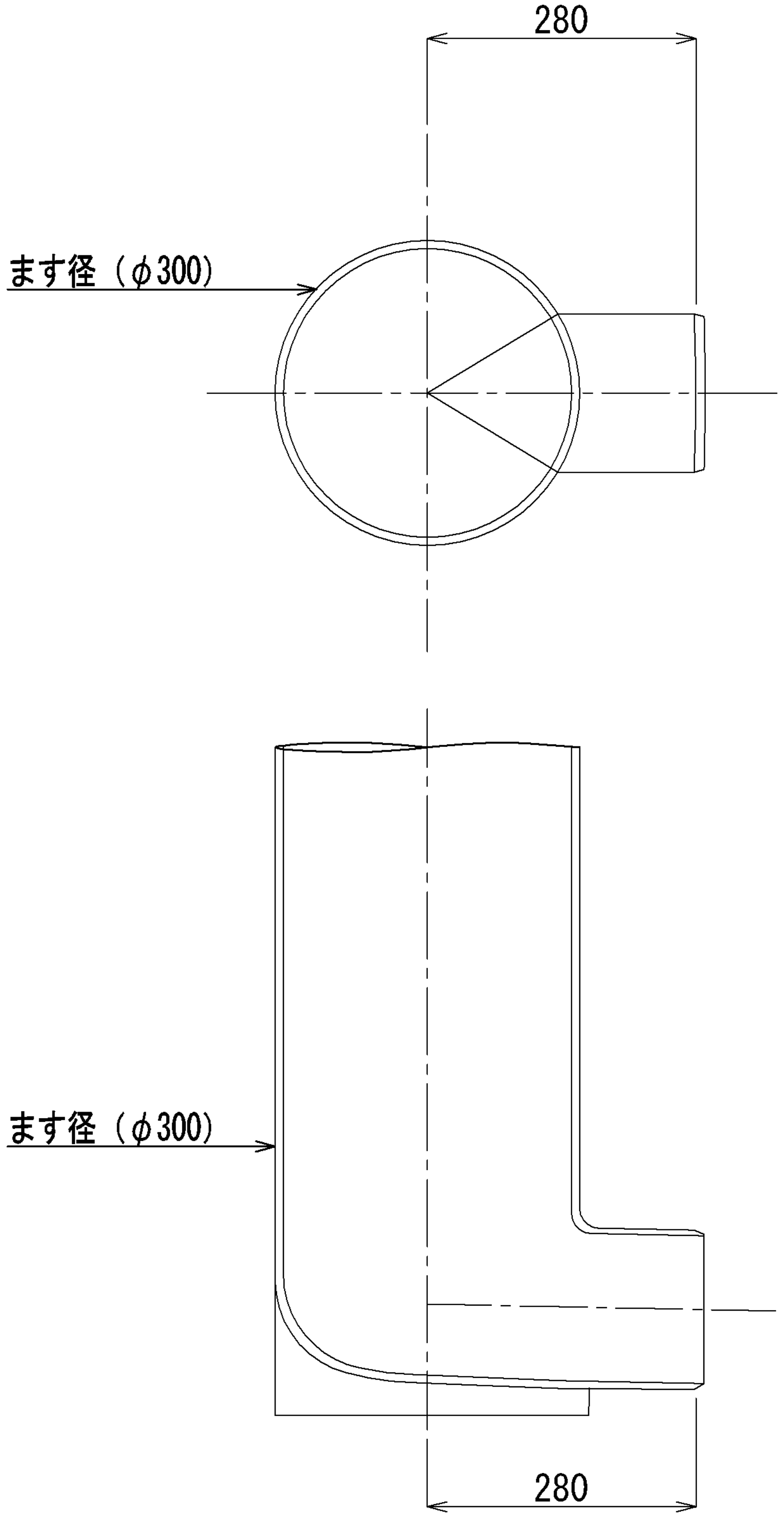
日本下水道協会規格
90°三方向合流形　ＪＳＷＡＳ　Ｋ－７
平成20年1月1日改正
流入受口取付形　ＪＳＷＡＳ　Ｋ－９
平成20年1月1日改正

下水道用硬質塩化ビニル製ます　構造図

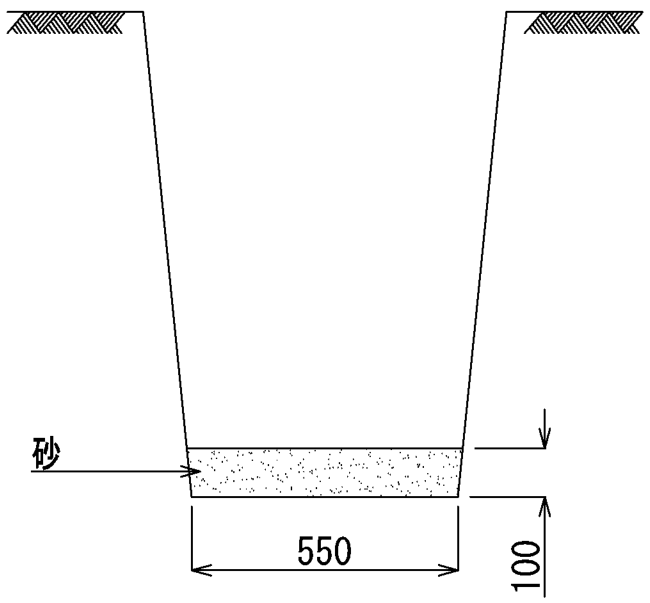
90度三方向合流形
ゴム輪タイプ（差し口形）



流入受口取付形



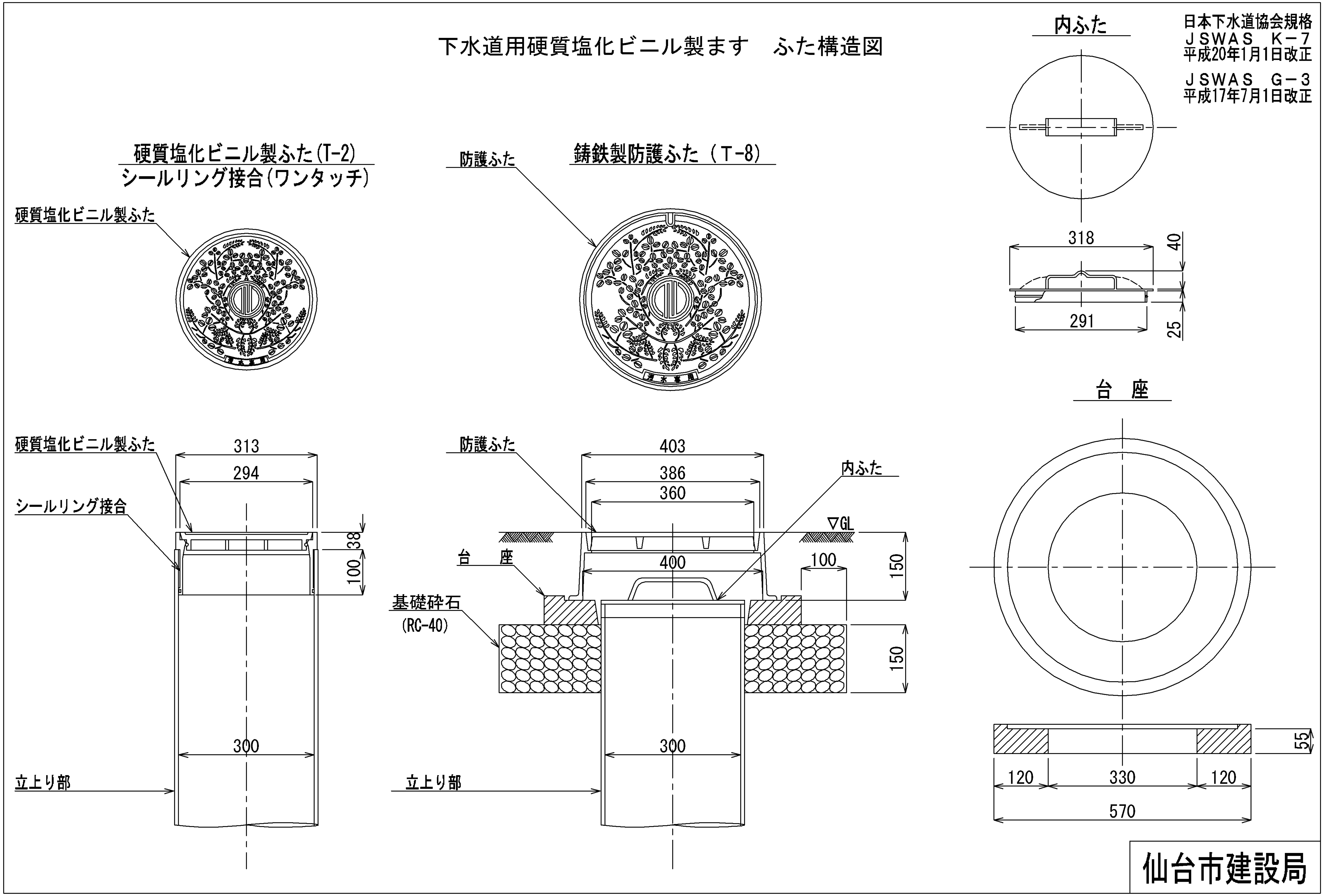
基 礎 図



※　流入受口取付形のます径（φ300）は
下水道協会規格（JSWAS K-9）の
起点形ドロップ（KDR）を準用している。

仙台市建設局

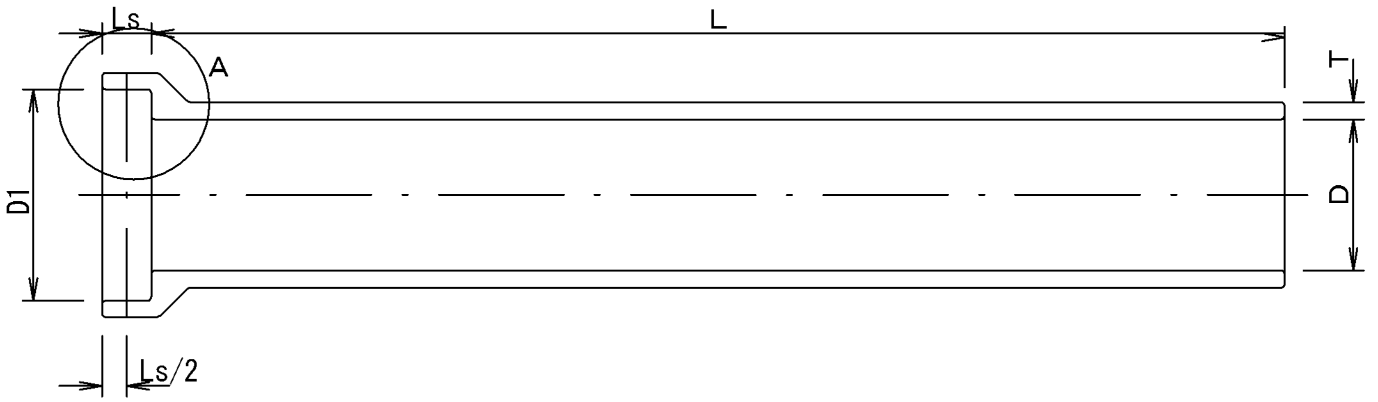
下水道用硬質塩化ビニル製ます　ふた構造図



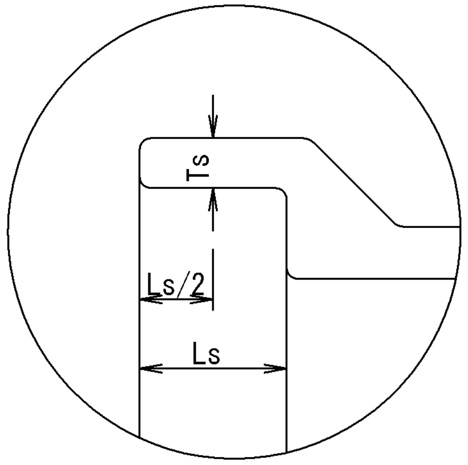
下水道用陶管詳細図（1）（参考図）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ Ｒ－２

直 管



A拡大図



(単位：mm)

呼び径	内 径 D	厚 さ T	受口内径 D1	受口厚さ Ts	受口深さ Ls	反 り (mm/m)
100	100± 3	16^{+2}_{0}	155± 8	15±2	50±5	4以下
125	125± 4	18^{+2}_{0}	185±10	17±2	55±5	
150	150± 4	19^{+2}_{0}	215±10	18±2	60±5	
200	200± 5	23^{+2}_{0}	280±13	22±3	65±5	
250	250± 6	26^{+3}_{0}	340±15	25±3	70±5	
300	300± 7	29^{+3}_{0}	400±18	28±3	75±5	
350	350± 8	32^{+3}_{0}	460±20	32±4		
400	400± 9	35^{+4}_{0}	520±25	35±4		
450	450±10	38^{+4}_{0}	585±30	38±4		
500	200±5	41^{+5}_{0}	650±35	41±5	85±5	
600	250±7	44^{+6}_{0}	780±40	44±6		

注1　受口内径(D1)及び受口厚さ(Ts)は、受口深さ(Ls)の約1/2の位置の寸法とする。
注2　反りは有効長比とする。

呼び径	有効長 L				
	660	750	1000	1500	2000
100	○	○	—	—	—
125, 150	○	○	○	—	—
200	○	○	○	○	—
250～600	—	—	○	○	○

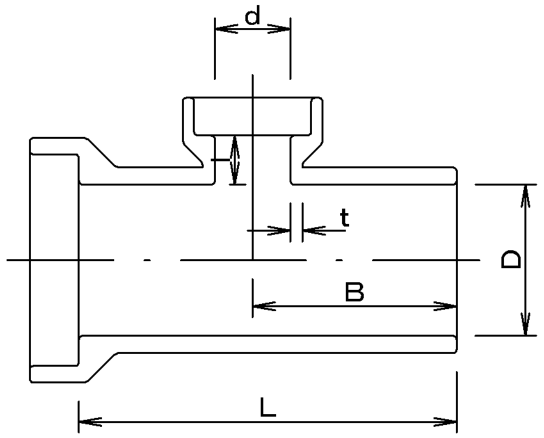
備考　有効長Ｌの許容差は-1%～+2%とする。

仙台市建設局

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｒ－２

下水道用陶管詳細図（２）（参考図）

90度枝付管



（単位：mm）

呼び径	本管部 内径 D	本管部 有効長 L	本管部 反り (mm/m)	枝管部 内径 d	枝管部 厚さ t	枝管部 有効長 l	枝心までの距離 B	角度
150-100	150± 4	500^{+10}_{-5}	6以下	100±4	16^{+3}_{0}	65±10	270±15	90±5度
150-125				125±5	18^{+3}_{0}		270±15 770±35	
200-100	200± 5	500^{+10}_{-5}		100±4	16^{+3}_{0}			
200-125				125±5	18^{+3}_{0}			
200-150				150±5	19^{+3}_{0}	70±10		
250-100	250± 6	1000^{+20}_{-10}		100±4	16^{+3}_{0}	65±10		
250-125				125±5	18^{+3}_{0}		770±35	
250-150				150±5	19^{+3}_{0}	75±10		
250-200				200±6	23^{+3}_{0}	80±10		
300-150	300± 7	1000^{+20}_{-10}		150±5	19^{+3}_{0}	75±10		
300-200				200±6	23^{+3}_{0}	80±10		
350-150	350± 8			150±5	19^{+3}_{0}			
350-200				200±6	23^{+3}_{0}	85±10		
400-150	400± 9			150±5	19^{+3}_{0}			
400-200				200±6	23^{+3}_{0}	90±10		
450-150	450±10			150±5	19^{+3}_{0}			
450-200				200±6	23^{+3}_{0}			
500-150	500±11			150±5	19^{+3}_{0}	95±15		
500-200				200±6	23^{+3}_{0}	110±15		
600-150	600±12			150±5	19^{+3}_{0}	100±15		
600-200				200±6	23^{+3}_{0}	130±15		

注1　本管部の厚さ（Ｔ）と本管部及び枝管部の受口内径（Ｄ1）、受口厚さ（Ｔｓ）及び受口深さ（Ｌｓ）は、直管の同じ呼び径の寸法とする。

注2　反りは有効長比とする。

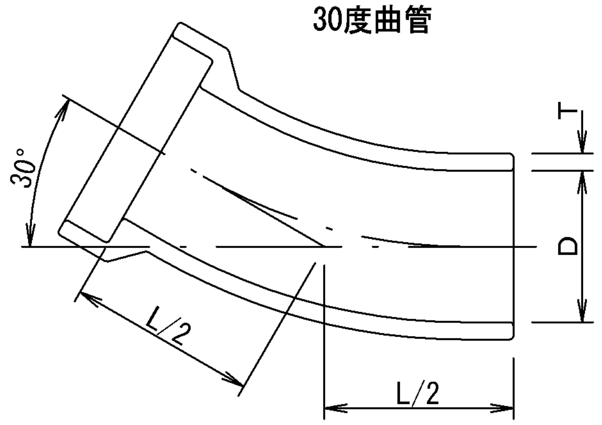
注3　枝心までの距離（Ｂ）270mmは、本管部の有効長（Ｌ）が500mmの管の適用し、枝心までの距離（Ｂ）770mmは本管部の有効長（Ｌ）が1000mmの管に適用する。

仙台市建設局

下水道用陶管詳細図（3）（参考図）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｒ－２

30度曲管



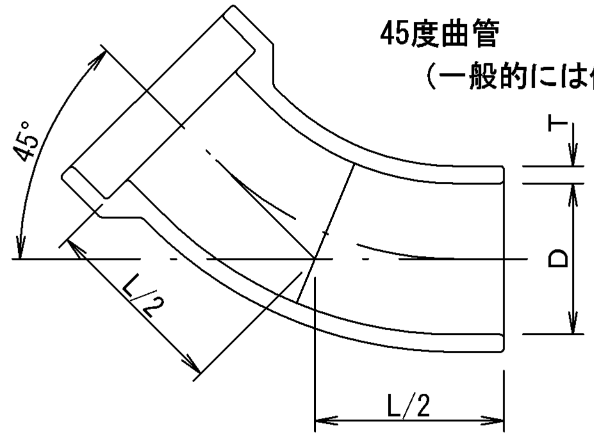
（単位：mm）

呼び径	内　径 D	厚　さ T	長　さ L	角 度
100	100±3	16^{+3}_{0}	500±15	30±5度
125	125±4	18^{+3}_{0}		
150	150±4	19^{+3}_{0}		
200	200±5	23^{+3}_{0}		
250	250±7	26^{+4}_{0}		
300	300±8	29^{+4}_{0}		

注1　受口内径（D1）、受口厚さ（Ｔｓ）及び受口深さ（Ｌｓ）は、
　　直管の同じ呼び径の寸法とする。

45度曲管

（一般的には使用しない）



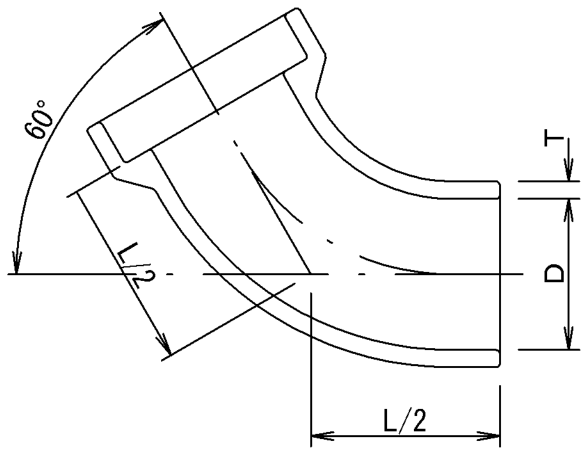
（単位：mm）

呼び径	内　径 D	厚　さ T	長　さ L	角 度
100	100±3	16^{+3}_{0}	500±15	45±5度
125	125±4	18^{+3}_{0}		
150	150±4	19^{+3}_{0}		
200	200±5	23^{+3}_{0}		

注1　受口内径（D1）、受口厚さ（Ｔｓ）及び受口深さ（Ｌｓ）は、
　　直管の同じ呼び径の寸法とする。

60度曲管

（一般的には使用しない）

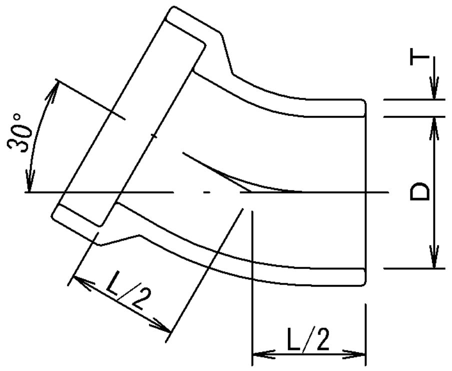


（単位：mm）

呼び径	内　径 D	厚　さ T	長　さ L	角 度
100	100±3	16^{+3}_{0}	500±15	60±5度
125	125±4	18^{+3}_{0}		
150	150±4	19^{+3}_{0}		
200	200±5	23^{+3}_{0}		

注1　受口内径（D1）、受口厚さ（Ｔｓ）及び受口深さ（Ｌｓ）は、
　　直管の同じ呼び径の寸法とする。

30度短曲管



（単位：mm）

呼び径	内　径 D	厚　さ T	長　さ L	角 度
100	100±3	16^{+3}_{0}	500±15	30±5度
125	125±4	18^{+3}_{0}		
150	150±4	19^{+3}_{0}		
200	200±5	23^{+3}_{0}		

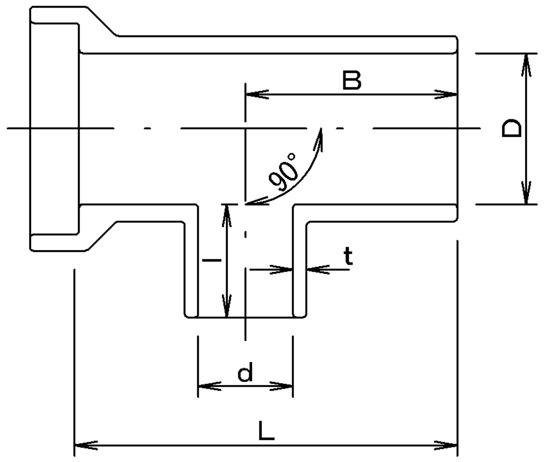
注1　受口内径（D1）、受口厚さ（Ｔｓ）及び受口深さ（Ｌｓ）は、
　　直管の同じ呼び径の寸法とする。

仙台市建設局

下水道用陶管詳細図（4）（参考図）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｒ－２

副管用枝付管



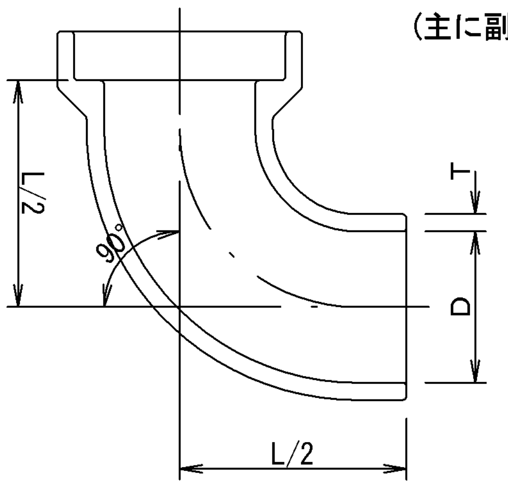
（単位：㎜）

呼び径	本管部			枝管部			枝心までの距離 B	角度
	内径 D	有効長 L	反り (㎜/m)	内径 d	厚さ t	有効長 l		
150-100	150± 4	500 $^{+10}_{-5}$ 1000$^{+10}_{-5}$	6以下	100±4	16^{+3}_{0}	150±10	280±15 400±20	90±5度
200-125	200± 5			125±5	18^{+3}_{0}			
200-150				150±5	19^{+3}_{0}			
250-150	250± 6							
250-200				200±6	23^{+3}_{0}			
300-200	300± 7							

注1　本管部の厚さ（T）、受口内径（D1）、受口厚さ（Ｔｓ）及び受口深さ（Ｌｓ）は、直管の同じ呼び径の寸法とする。
注2　反りは有効長比とする。
注3　枝心までの距離（B）270㎜は、本管部の有効長（L）が500㎜の管の適用し、枝心までの距離（B）400㎜は本管部の有効長（L）が1000㎜の管に適用する。

90度曲管

（主に副管用に使用）



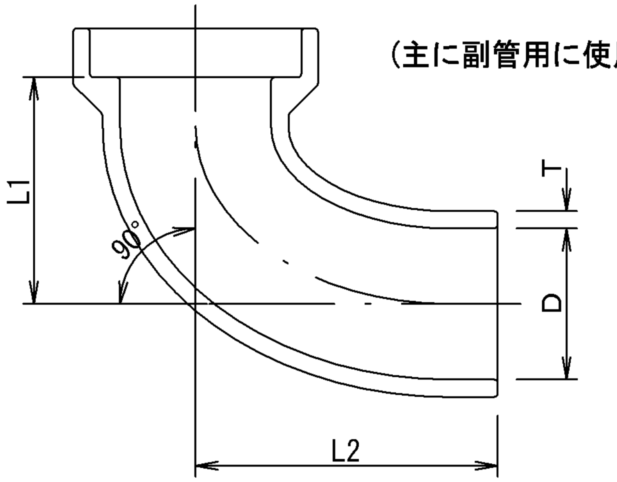
（単位：㎜）

呼び径	内径 D	厚さ T	長さ L	角度
100	100±3	16^{+3}_{0}	500±15	90±5度
125	125±4	18^{+3}_{0}	550±20	
150	150±4	19^{+3}_{0}		
200	200±5	23^{+3}_{0}	600±20	
250	250±7	26^{+4}_{0}	650±20	
300	300±8	29^{+4}_{0}	710±25	

注1　受口内径（D1）、受口厚さ（Ｔｓ）及び受口深さ（Ｌｓ）は、直管の同じ呼び径の寸法とする。

90度長曲管

（主に副管用に使用）



（単位：㎜）

呼び径	内径 D	厚さ T	長さ L_1	長さ L_2	角度
150	150±5	19^{+3}_{0}	300±11	400±20	90±5度
200	200±6	23^{+3}_{0}			

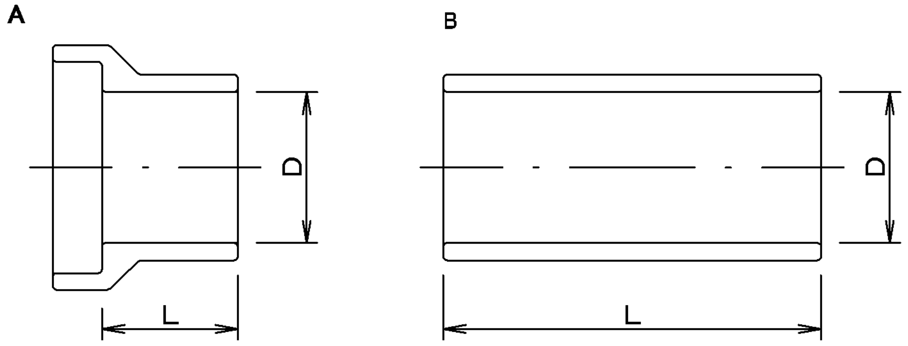
注1　受口内径（D1）、受口厚さ（Ｔｓ）及び受口深さ（Ｌｓ）は、直管の同じ呼び径の寸法とする。

仙台市建設局

下水道用陶管詳細図（5）（参考図）

日本下水道協会規格
ＪＳＷＡＳ　Ｒ－２

短 管

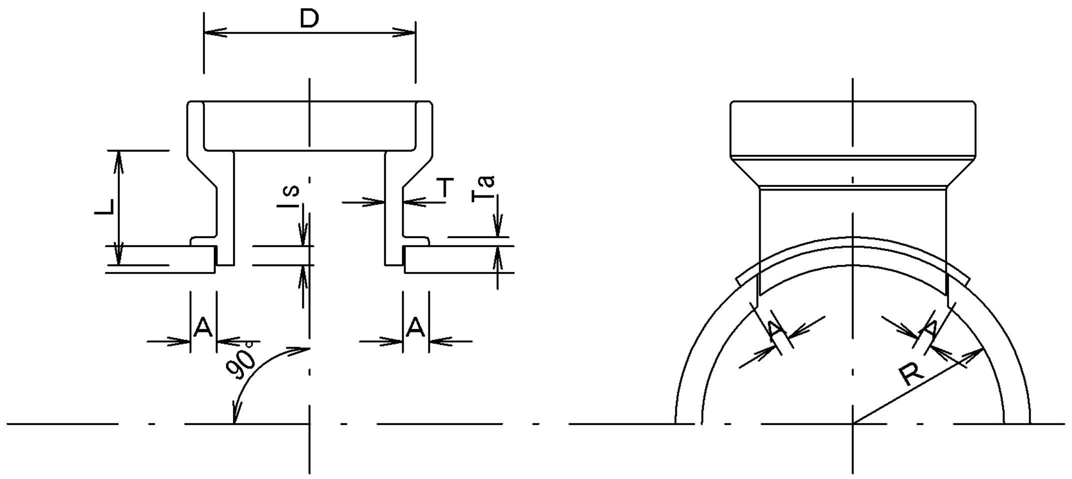


（単位：mm）

種 類	呼び径	内 径 D	有効長 L
A	100	100± 3	180± 8 500 $^{+10}_{-15}$
	125	125± 4	
	150	150± 4	
	200	200± 5	
	250	250± 6	
	300	300± 7	
	350	350± 8	500 $^{+10}_{-15}$
	400	400± 9	
	450	450±10	
	500	500±11	
	600	600±12	
B	100	100± 3	500 $^{+10}_{-15}$
	125	125± 4	
	150	150± 4	
	200	200± 5	
	250	250± 6	
	300	300± 7	
	350	350± 8	
	400	400± 9	
	450	450±10	
	500	500±11	
	600	600±12	

注1　Aの厚さ（T）、受口内径（D１）受口の厚さ（Ｔs）及び受口深さ（Ｌs）は直管の同じ呼び径の寸法とする。
注2　Bの厚さ（T）は、直管の同じ呼び径の寸法とする。

90度支管



（単位：mm）

呼び径	内径 D	厚 さ T	有効長 L	差入れ長 さ l_s	つ ば 幅 A	つ ば 厚 さ t_a	R	角 度
100	100±3	16^{+3}_{0}	110± 8	25±5	25以上	9以上	150	90±5度
125	125±4	18^{+3}_{0}	120± 9					
150	150±4	19^{+3}_{0}			30以上	10以上	200	
200	200±5	23^{+3}_{0}	150±12		35以上	12以上		
250	250±7	26^{+4}_{0}	190±15	35±5	40以上	13以上	300	
300	300±8	29^{+4}_{0}	210±16		45以上	14以上		
100	100±3	16^{+3}_{0}	120± 9	25±5	25以上	9以上	600	
125	125±4	18^{+3}_{0}	130±10					
150	150±4	19^{+3}_{0}		35±5	30以上	10以上		
200	200±5	23^{+3}_{0}	160±12		35以上	12以上		
250	250±7	26^{+4}_{0}	200±15	45±6	40以上	13以上		
300	300±8	29^{+4}_{0}	220±17		45以上	14以上		

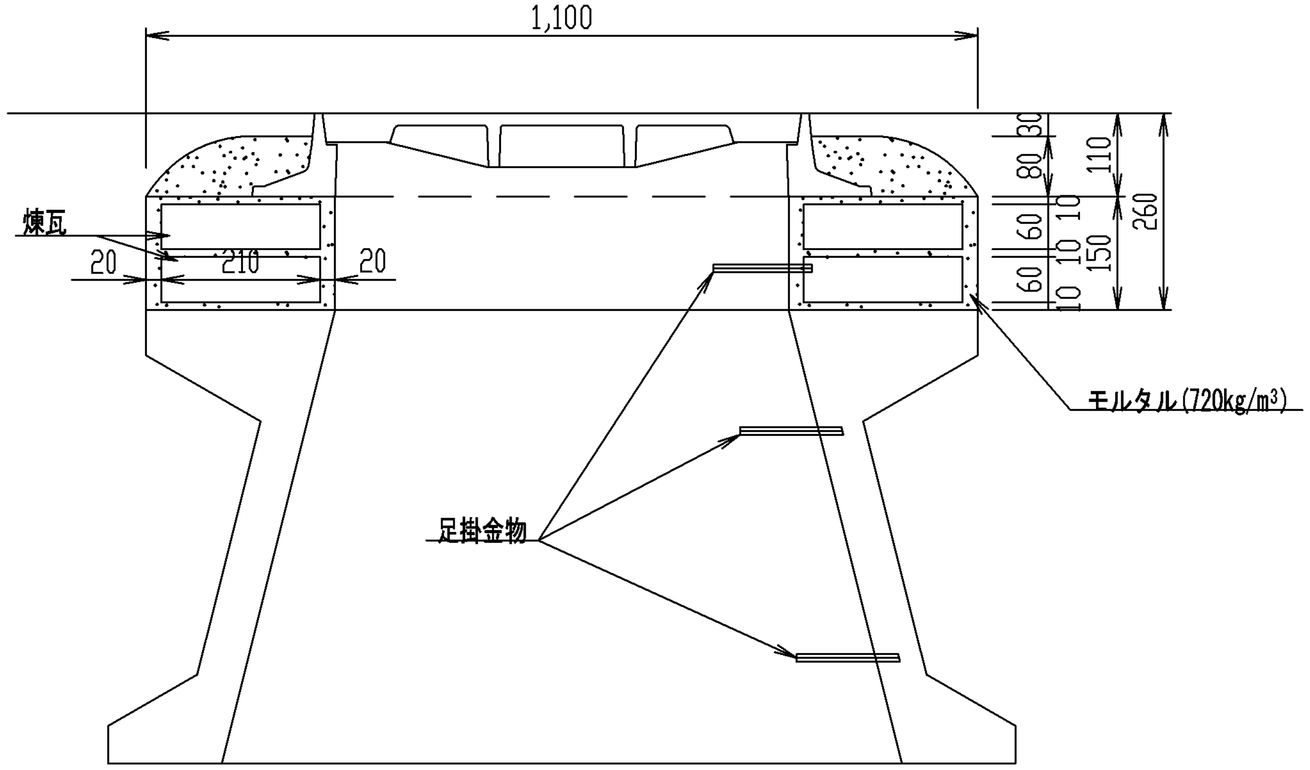
注1　受口内径（D1）、受口厚さ（Ｔｓ）及び受口深さ（Ｌｓ）は、直管の同じ呼び径の寸法とする。
注2　Rは標準寸法である。

仙台市建設局

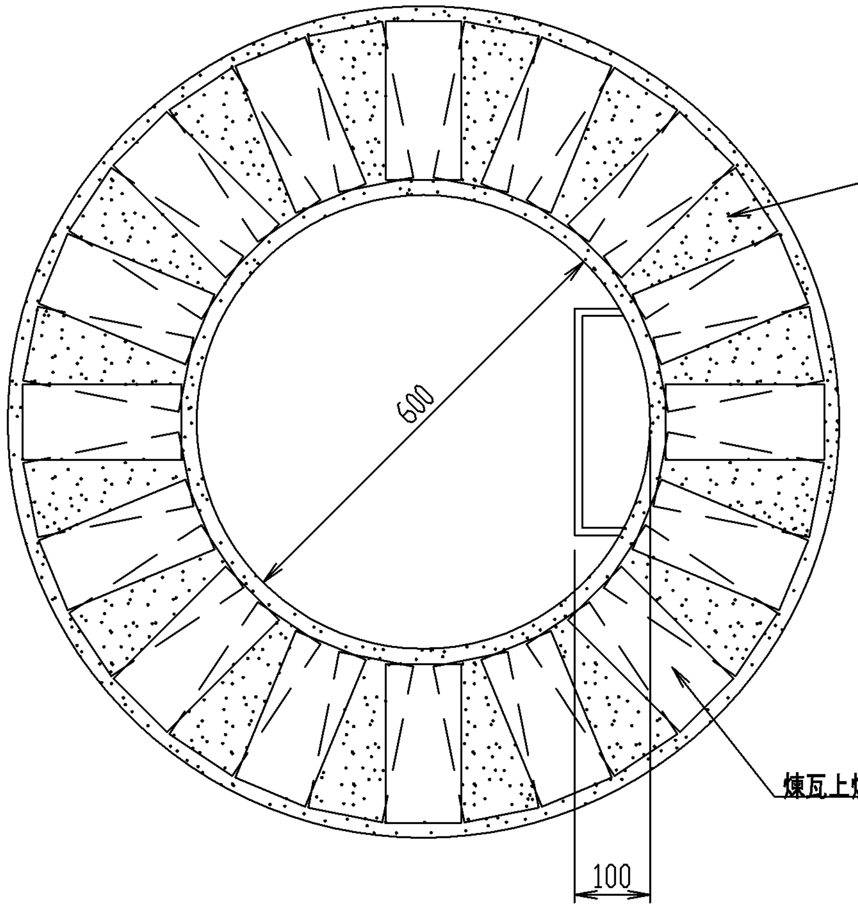
わく据付図（調整用レンガ付）（参考図）　Ｓ＝１／１０

単位　mm

断　面　図



平　面　図



注　この標準図は、急傾斜の道路に設置する場合に適用すること。

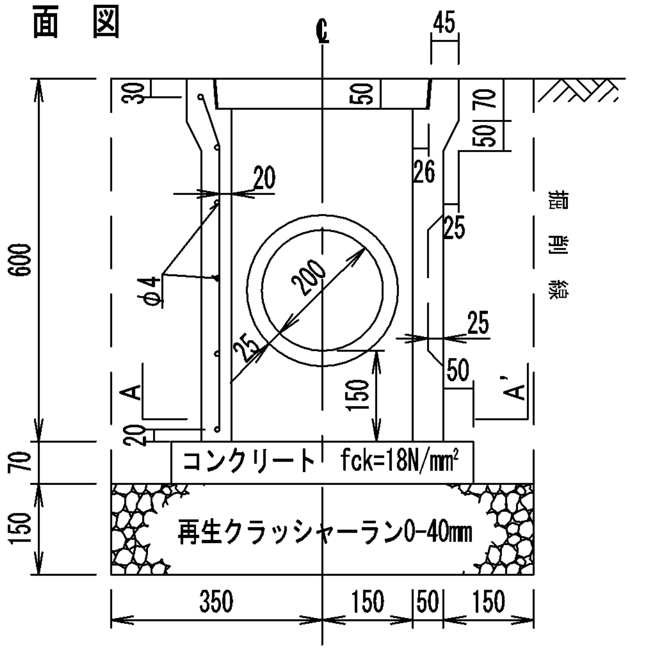
仙台市建設局

公共雨水ます（角形、コンクリート蓋付）構造図（参考図）

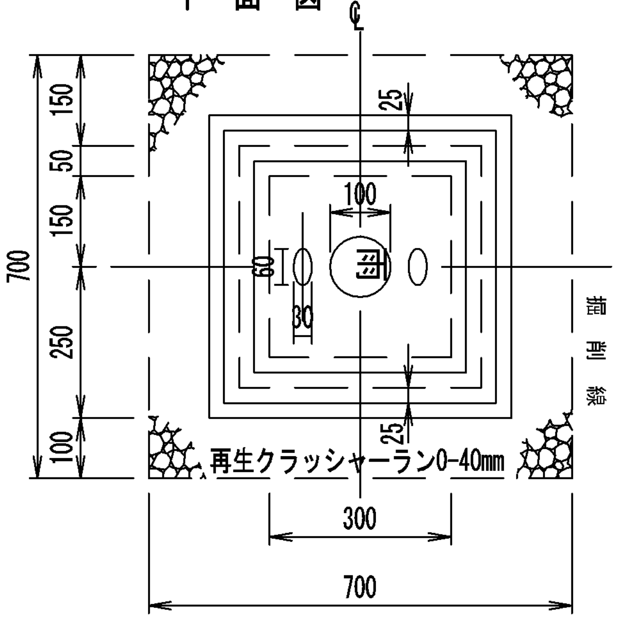
S＝1／12．5　単位　mm

○　内法　300×300形(取付管、φ≦200)

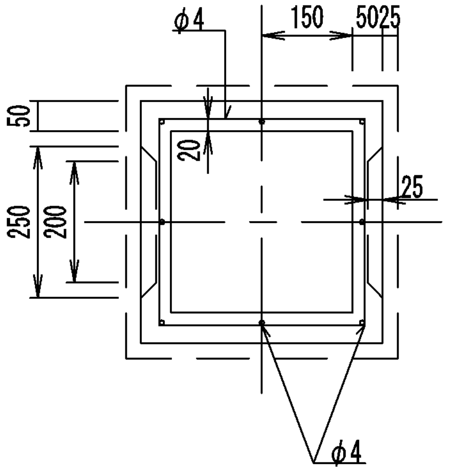
断　面　図



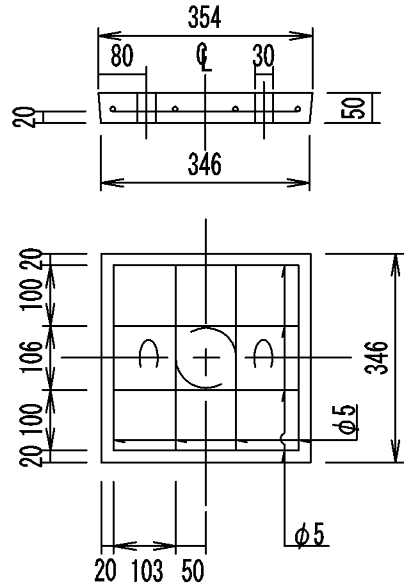
平　面　図



A－A' 断 面 配 筋 図

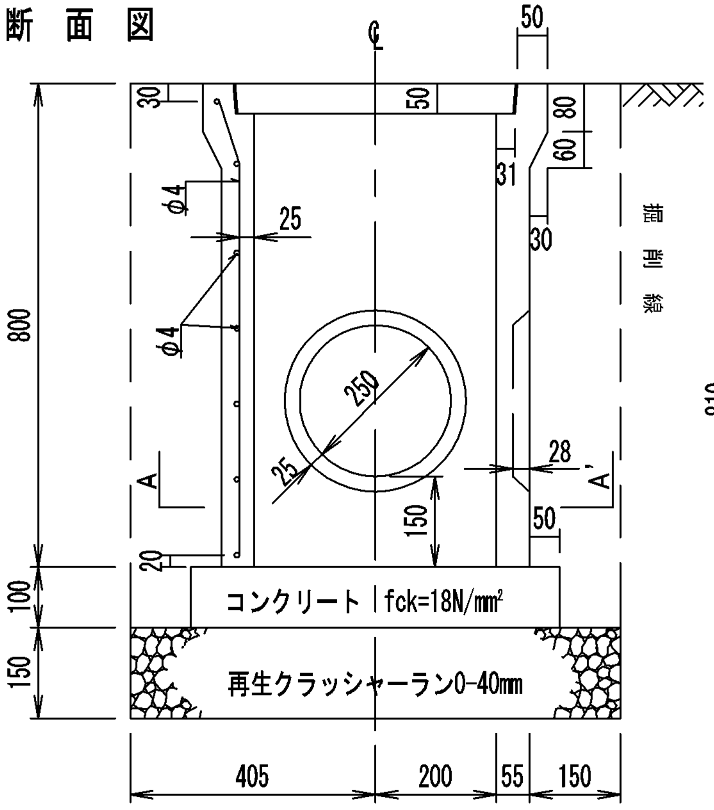


ふた形状・配筋図

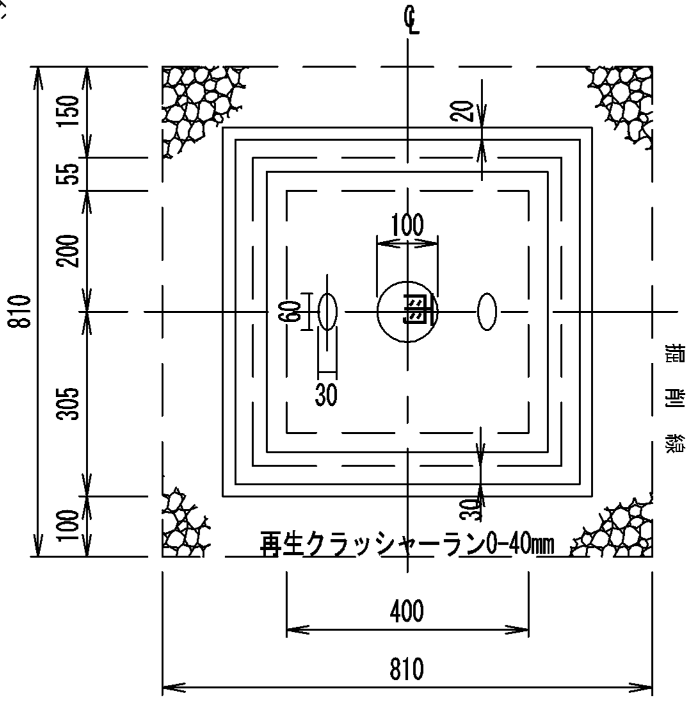


○　内法　400×400形(取付管、φ≦250)

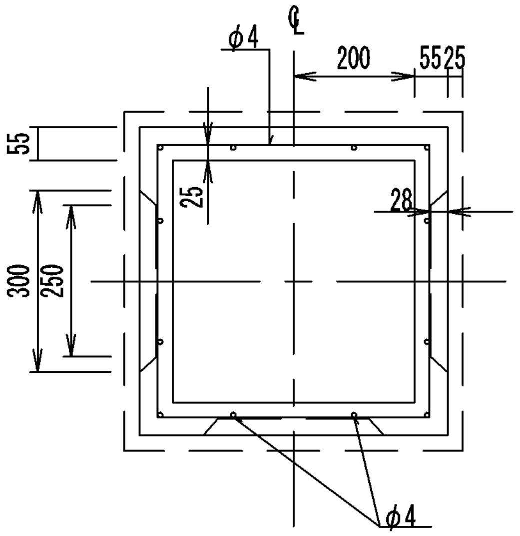
断　面　図



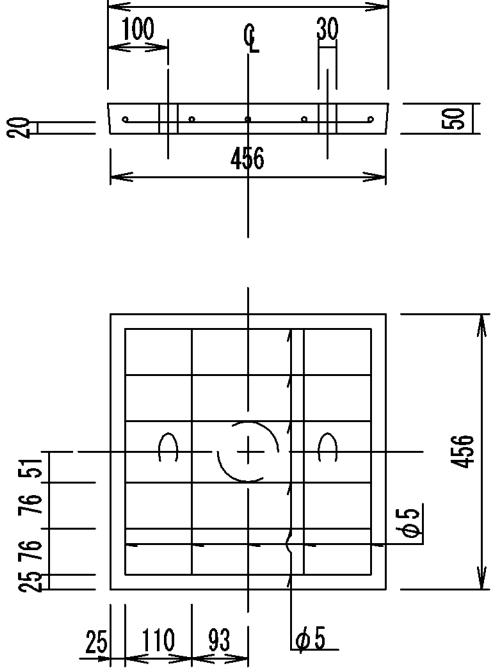
平　面　図



A－A' 断 面 配 筋 図



ふた形状・配筋図



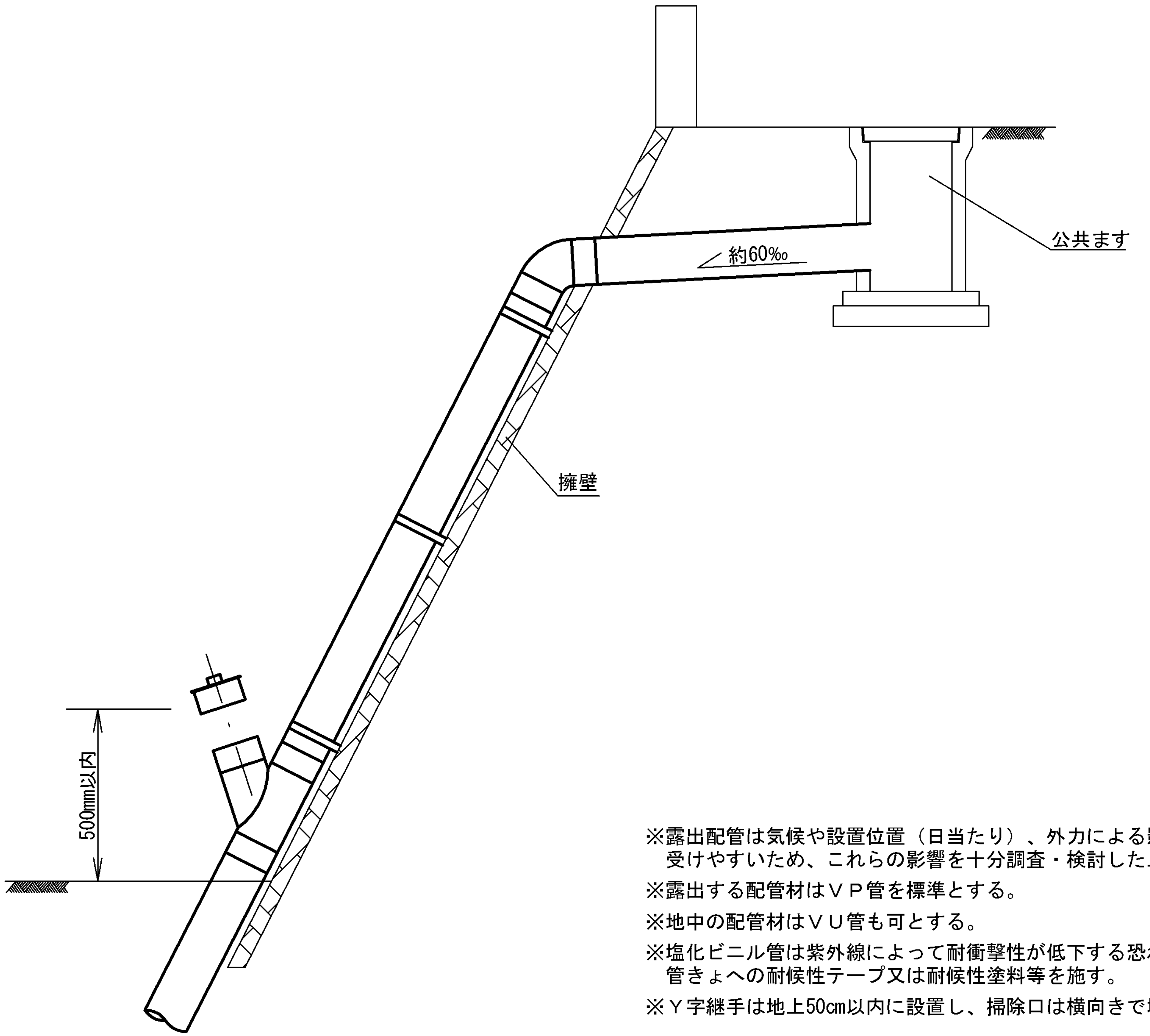
※使用材料の基準

(1)コンクリート　躯体：fck=25N/mm²　基礎：fck=18N/mm²

(2)鉄筋、JIS.G.3532による普通鉄線を使用

仙台市建設局

露出配管設置例（参考図）



※露出配管は気候や設置位置（日当たり）、外力による影響を
　受けやすいため、これらの影響を十分調査・検討した上で導入する。

※露出する配管材はＶＰ管を標準とする。

※地中の配管材はＶＵ管も可とする。

※塩化ビニル管は紫外線によって耐衝撃性が低下する恐れがあるため、
　管きょへの耐候性テープ又は耐候性塗料等を施す。

※Ｙ字継手は地上50㎝以内に設置し、掃除口は横向きで塀に添わせる。

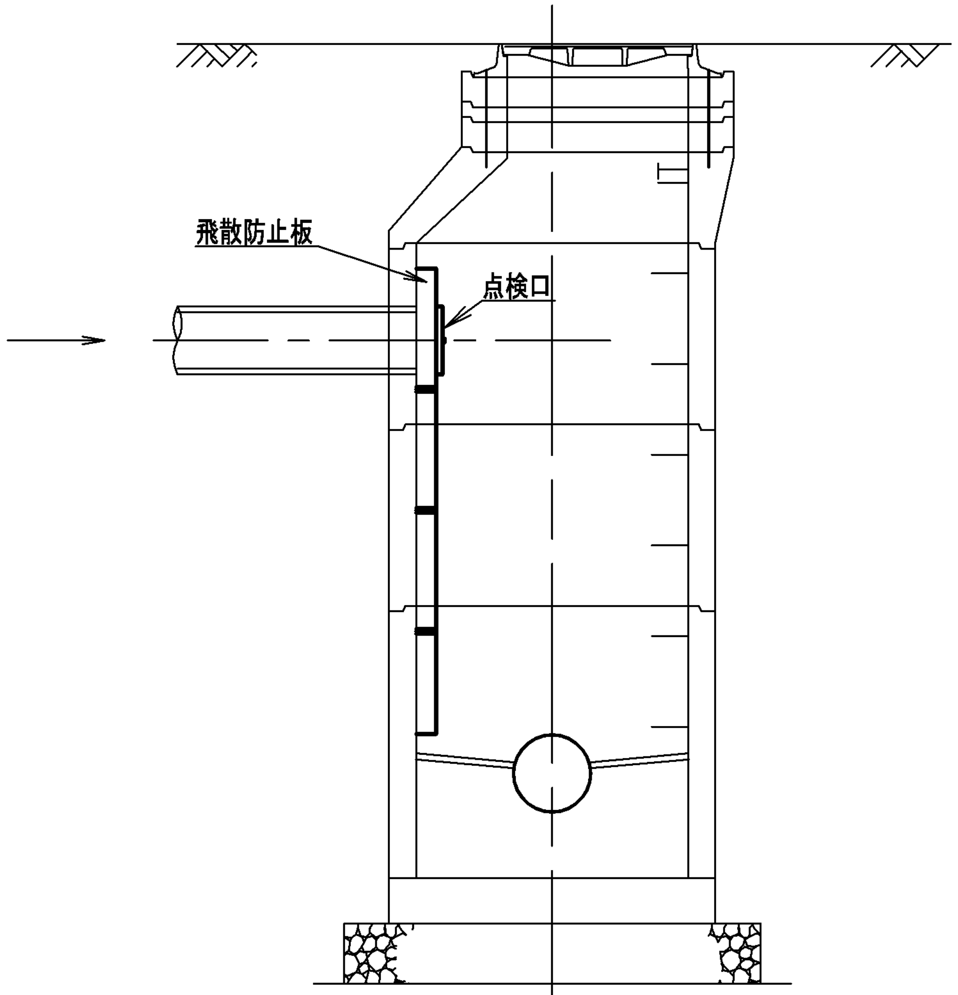
仙台市建設局

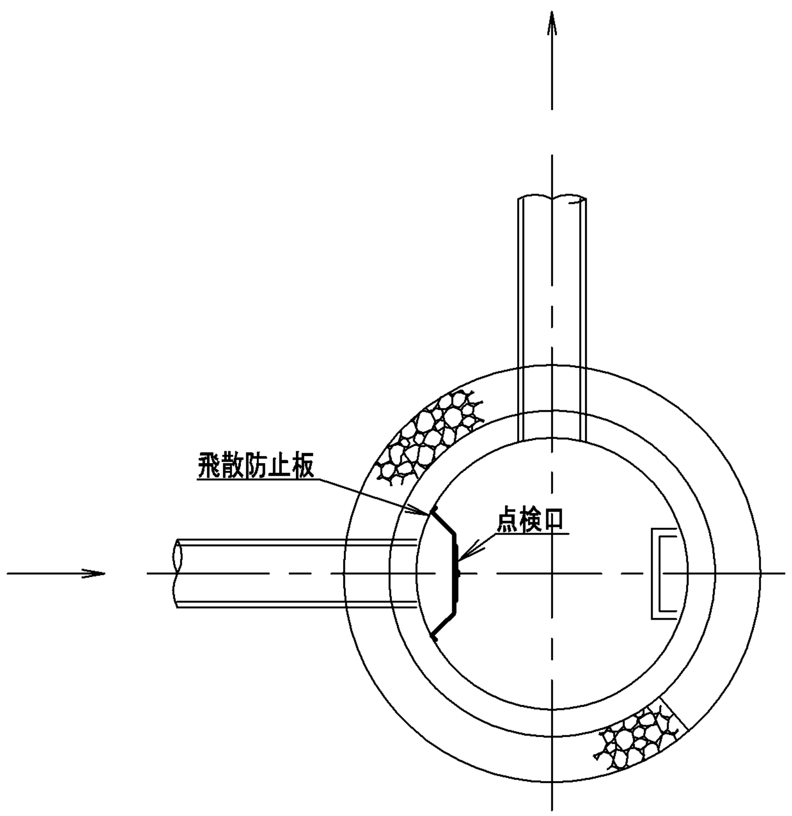
飛散防止板設置例（参考図）

単位：mm

飛散防止板（バッフル板）設置

※既設1号マンホールへの接続の場合のみ



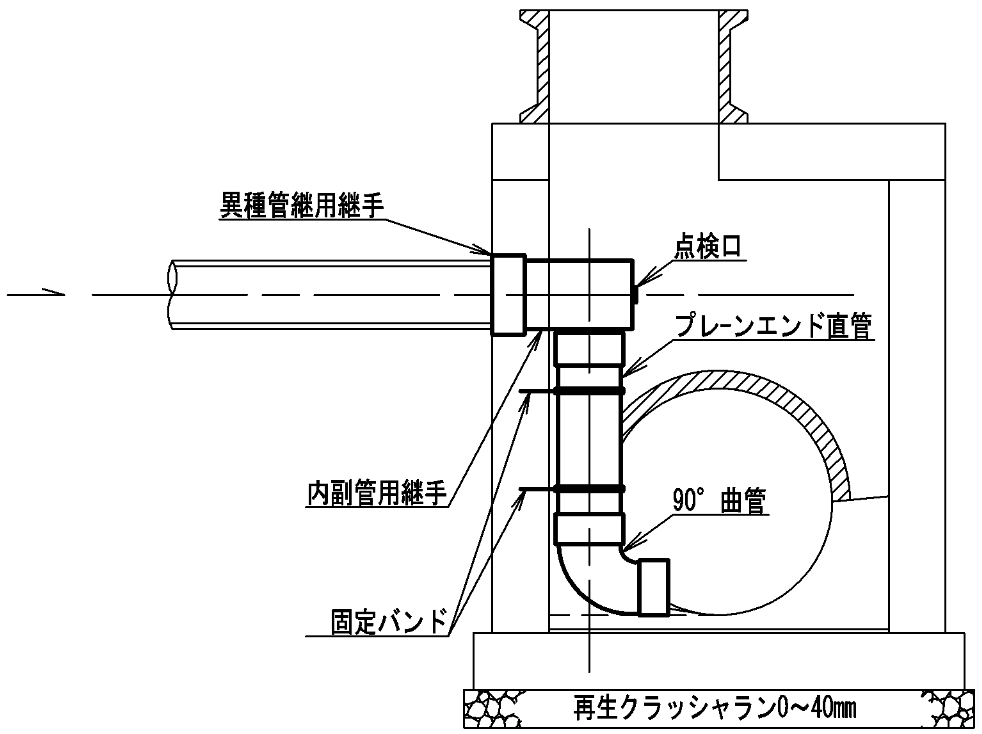


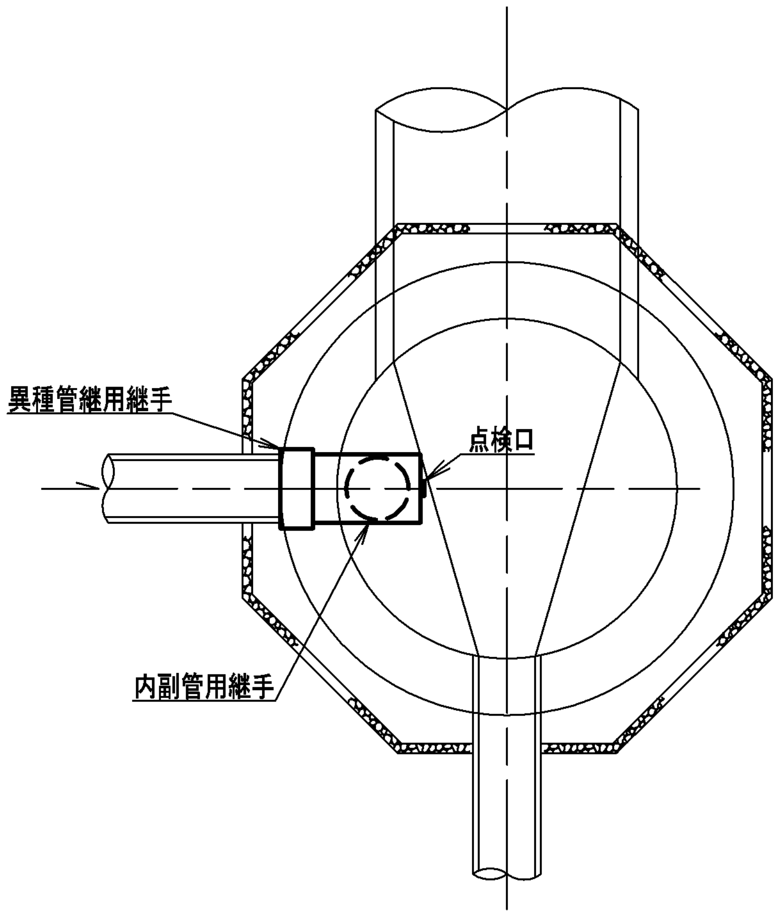
※材質はSUS又は塩化ビニルとする。

仙台市建設局

内副管取付構造図（参考図）

単位：mm





仙台市建設局